

Ⅱ．調査項目別調査結果の概要

1. 魚類調査

1. 魚類調査

1.1 魚類調査結果の概要

(1) 確認種

今回取りまとめを行った一級河川 27 水系 31 河川（直轄管理区間 28 河川、指定区間 14 河川（うち、指定区間のみ実施が 3 河川））及び二級河川 8 水系 8 河川で確認された魚類は 18 目 77 科 295 種でした。確認種数が最も多かった一級河川は、近畿地方の加古川で 105 種、次いで揖保川で 104 種でした。二級河川では、東北地方の夏井川、鮫川でそれぞれ 50 種でした。

本年の取りまとめは、7 巡目（5 年で 1 巡）の 2 回目であり、対象とした河川水系は少ないため、種類数や確認地区数等について過年度（巡目）との比較は注意をする必要があります。

(2) 重要種

今回取りまとめを行った 39 河川で確認された重要種^{注1)}は、環境省版レッドリストで絶滅危惧 I A 類（CR）に選定されているシナイモツゴ、絶滅危惧 I B 類（EN）に選定されているホトケドジョウ等 92 種でした。なお、環境省版レッドリストには、ワタカヤスゴモロコといった琵琶湖固有の種や、サツキマスとサクラマスといった分布域の異なる近縁種が掲載されています。これらの種は、放流等の人為的な移動等によって自然分布域以外の水系で確認されることが多くなっており、地域固有の生態系への影響も懸念されています。したがって、自然分布域ではないと考えられる水系で確認されている場合は、重要種として計数をしていません。重要種の確認種数が最も多かった河川は、九州地方の筑後川で 31 種、次いで中国地方の高梁川で 24 種でした。

注1) 重要種について

本資料においては、次の文献のいずれかに該当する種や亜種を重要種としました。

- ・ 「文化財保護法」の特別天然記念物及び天然記念物。
- ・ 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種及び緊急指定種。
- ・ 「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト 2020：令和 2 年 3 月 27 日報道発表資料）及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成 29 年 3 月 21 日報道発表資料）

絶滅：我が国ではすでに絶滅したと考えられる種。

野生絶滅：飼育・栽培下でのみ存続している種。

絶滅危惧 I A 類：ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種。

絶滅危惧 I B 類：I A 類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種。

（注：貝類、底生動物、陸上昆虫類等では I A 類と I B 類を併せて「絶滅危惧 I 類：絶滅の危機に瀕している種」としている。）

絶滅危惧 II 類：絶滅の危険が増大している種。

準絶滅危惧：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種。

情報不足：評価するだけの情報が不足している種。

絶滅のおそれのある地域個体群：地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群。

(3) 国外外来種

1) 国外外来種の確認状況

今回取りまとめを行った 39 河川で確認された国外外来種^{注2)}は、ブルーギル、オオクチバス、カムルチー等 20 種でした。国外外来種の確認種数が最も多かった河川は、北陸地方の信濃川で 13 種でした。地方別では、近畿地方で 15 種と多く確認されました。

2) 特定外来生物の確認状況

上記の国外外来種のうち、外来生物法が定める特定外来生物は、カダヤシ科のカダヤシ、サンフィッシュ科のブルーギル、オオクチバス、コクチバス等の 6 種でした。

注2) 国外外来種の選定基準について

- 1) 外来種とは、本来その生物が生息していない地域に貿易や人の移動等を介して意図的・非意図的に導入された種をいいます。外来種のうち、日本国外から持ち込まれた種を「国外外来種」といい、日本国内の種であっても本来その生物が生息していない地域に、他の場所から持ち込まれた種は「国内外来種」といいます。本資料における国外外来種とは、おおむね明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物すべてを指し、侵入以後に国内に定着した種であるか否かの判断は、選定の際に考慮していません。
- 2) 特定外来生物とは、『特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(2005年6月1日施行)』により、輸入や飼養等が規制される生物(生きているものに限られ、個体だけではなく、卵、種子、器官なども含まれる)です。おおむね明治以降に国外から導入された国外外来種のうち、生態系、人の生命・身体及び農林水産業へ被害を及ぼすもの、または及ぼすおそれがある生物が指定されています。
- 3) 生態系被害防止外来種リスト(我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト)とは、侵略性が高く、我が国の生態系、人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼす又はそのおそれがあるものを生態的特性及び我が国に導入される社会的状況も踏まえて選定した外来種のリストです。特定外来生物以外は外来生物法に基づく規制の対象にはなりません。今後の外来種対策の基礎的情報として、様々な主体へ適切な行動を呼びかけるものです。各主体における対策の検討・実施に資するよう、対策の方向性から以下の3カテゴリに分類します。
 - (i) 定着予防外来種(定着を予防する外来種)

定着予防外来種は、「国内に未定着のもの。定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、導入の予防や水際での監視、野外への逸出・定着の防止、発見した場合の早期防除が必要な外来種」として選定されています。以下の2つに細分化されています。

 - 侵入予防外来種

国内に未侵入の種。特に導入の予防、水際での監視、バラスト水対策等で国内への侵入を未然に防ぐ必要がある。
 - 重点対策外来種

侵入の情報はあるが、定着は確認されていない種。
 - (ii) 総合対策外来種(総合的に対策が必要な外来種)

総合対策外来種は、「国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害のおそれがあるため、国、地方公共団体、国民など各主体がそれぞれの役割において、防除(野外での取り除き、分布拡大の防止等)、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種」として選定されています。以下の3つに細分化されています。

 - 緊急対策外来種

外来種被害防止行動計画における対策の優先度の考え方にに基づき、被害の深刻度に関する基準^{*1}として①～④のいずれかに該当することに加え、対策の実効性、実行可能性として⑤に該当する種。特に緊急性が高く、特に、各主体がそれぞれの役割において、積極的に防除を行う必要がある。
 - 重点対策外来種

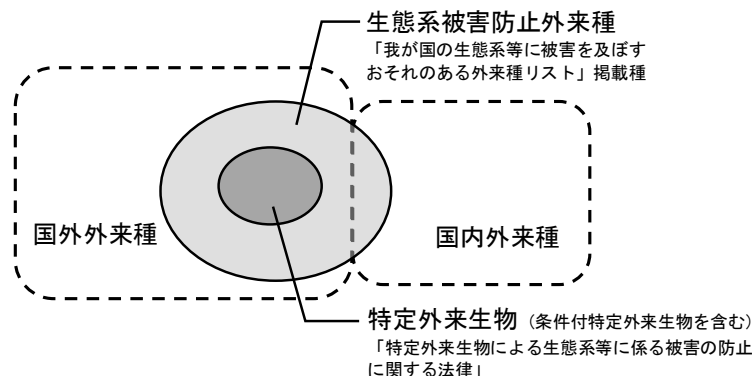
外来種被害防止行動計画における対策の優先度の考え方にに基づき、被害の深刻度に関する基準^{*1}として①～④のいずれかに該当する種。甚大な被害が予想されるため、特に、各主体のそれぞれの役割における対策の必要性が高い。
 - その他の総合対策外来種
 - (iii) 産業管理外来種(適切な管理が必要な産業上重要な外来種)

産業管理外来種は、「産業又は公益的役割において重要で、現状では生態系等への影響がより小さく、同等程度の社会経済的効果が得られるというような代替性がなく、その利用にあたっては逸出等の防止のための適切な管理を行うことが必要な外来種」として選定されています。

*1 緊急対策外来種、重点対策外来種における対策の優先度の考え方

(被害の深刻度に関する基準)

- ①生態系に係る潜在的な影響・被害が特に甚大
- ②生物多様性保全上重要な地域に侵入・定着し被害をもたらす可能性が高い
- ③絶滅危惧種等の生息・生育に甚大な被害を及ぼす可能性が高い
- ④人の生命・身体や農林水産業等社会経済に対して甚大な被害を及ぼす(対策の実効性、実行可能性)
- ⑤防除手法が開発されている、又は開発される見込みがある等、一定程度の知見があり、対策の目標を立て得る



(参考) 国外外来種、生態系被害防止外来種、特定外来生物の関係

確認種一覧（魚類）（その1）

No.	目と名	科と名	種と名	学名	北海道		東北				関東		北陸		中部		近畿				中国		四国		九州		確認河川数	
					津川	利根川	荒川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川		利根川
1	ヤツメウナギ目	ヤツメウナギ科	スナヤツメ北方種	<i>Lethenteron</i> sp.N.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8	
2			スナヤツメ南方種	<i>Lethenteron</i> sp.S.																							11	
-			スナヤツメ類	<i>Lethenteron</i> sp.N and/or sp.S																							13	
3			シベリアヤツメ	<i>Lethenteron kessleri</i>	●																						1	
4			カワヤツメ	<i>Lethenteron camtschaticum</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	7	
-			カワヤツメ属	<i>Lethenteron</i> sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	7	
5	メジロザメ目	ドチザメ科	ドチザメ	<i>Triakis scyllium</i>																							1	
6	トビエイ目	アカエイ科	アカエイ	<i>Hemirygion akaiei</i>																							1	
7		ツバクロエイ科	ツバクロエイ	<i>Gymnura japonica</i>																							9	
8		マダラトビエイ科	ナルトビエイ	<i>Aetobatus parutobiei</i>																							1	
9	カライワシ目	カライワシ科	カライワシ	<i>Elops hawaiiensis</i>																							6	
10		イセゴイ科	イセゴイ	<i>Megalops cyprinoides</i>																							1	
-			イセゴイ科	Megalopidae																							1	
11	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	●																						23	
12			オオウナギ	<i>Anguilla marmorata</i>																							1	
13		ウミヘビ科	ダイナンウミヘビ	<i>Ophisurus macrorhynchos</i>																							1	
14			ホタテウミヘビ	<i>Ophichthus zophistius</i>																							1	
15		アナゴ科	マアナゴ	<i>Conger myriaster</i>																							1	
16	ニシン目	ヒラ科	ヒラ	<i>Ilisha elongata</i>																							1	
17		ニシン科	マイワシ	<i>Sardinops melanostictus</i>																							2	
18			サツバ	<i>Sardinella zunasi</i>																							11	
19			コノシロ	<i>Konosirus punctatus</i>																							11	
20		カタクチイワシ科	エツ	<i>Coilia nasus</i>																							1	
21			カタクチイワシ	<i>Engraulis japonica</i>																							7	
22			インドアイノコイワシ	<i>Stolephorus balinensis</i>																							1	
23	コイ目	コイ科	コイ(野生型)	<i>Cyprinus carpio</i>																							1	
24			コイ(飼育型)	<i>Cyprinus carpio</i>																							14	
-			コイ(型不明)	<i>Cyprinus carpio</i>																							24	
25			コイ(改良品種型)	<i>Cyprinus carpio</i>																							11	
26			ガンゴロウブナ	<i>Carassius cuvieri</i>																							19	
27			キンギョ	<i>Carassius auratus</i>																							2	
28			ニゴロブナ	<i>Carassius buergeri grandoculis</i>																							2	
29			キンブナ	<i>Carassius buergeri</i> subsp.2																							1	
30			オオキンブナ	<i>Carassius buergeri buergeri</i>																							3	
-			ブナ類	<i>Carassius buergeri</i>																							2	
31			キンブナ	<i>Carassius</i> sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	32
-			ブナ属	<i>Carassius</i> sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	22
32			ヤリタナゴ	<i>Tanakia lanceolata</i>																							10	
33			アブラボテ	<i>Tanakia limbata</i>																							7	
34			カネヒラ	<i>Acheilognathus rhombeus</i>																							10	
35			イチモンジタナゴ	<i>Acheilognathus cyanostigma</i>																							1	
36			シロヒレタビラ	<i>Acheilognathus tabira tabira</i>																							1	
37			キタアカヒレタビラ	<i>Acheilognathus tabira tohokuensis</i>																							1	
-			タビラ	<i>Acheilognathus tabira</i>																							1	
38			タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>																							16	
39			ニッポンバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus kurumeus</i>																							1	
-			バラタナゴ類	<i>Rhodeus ocellatus</i>																							1	
40	(コイ目)	(コイ科)	スイゲンゼニタナゴ	<i>Rhodeus smithii</i> subsp.																							1	

注1) 水系名(河川名)欄の※は二級河川を示す。
 注2) 水系名(河川名)欄の△は指定管理区間のみの河川を示す。
 注3) 種数の計数は「平成28年度版河川水辺の国勢調査 基本調査マニュアル[河川版] (平成28年1月改訂)」に準拠して行った。
 注4) ●◎は、確認(うち◎は、P1-142~P1-153に示す分析対象種のうち、当該一級河川の直轄管理区間で今回初確認)を示す。

確認種一覧（魚類）（その3）

No.	目と名	科和名	種和名	学名	北海道		東北				関東		北陸		中部		近畿				中国		四国		九州		確認河川数
					津川	利根川	荒川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	利根川	
77			オオシマドジョウ	<i>Cobitis</i> sp. BIWAE type A																							6
78			ニシシマドジョウ	<i>Cobitis</i> sp. BIWAE type B																							7
79			ヒガシシマドジョウ	<i>Cobitis</i> sp. BIWAE type C																							9
80			シマドジョウ種群	<i>Cobitis biwae</i> complex																							4
81			トウカイヨガタスジシマドジョウ	<i>Cobitis minamori tokaiensis</i>																							2
82			チヌヨガタスジシマドジョウ	<i>Cobitis striata striata</i>																							5
83			アリアケスジシマドジョウ	<i>Cobitis kaibarai</i>																							1
84			オオガタスジシマドジョウ	<i>Cobitis magnostriata</i>																							1
85			ヤマトシマドジョウ	<i>Cobitis matsubarae</i>																							3
86			ヒナイドジョウ	<i>Cobitis shikokuensis</i>																							1
-			シマドジョウ属	<i>Cobitis</i> sp.																							1
87			アジドジョウ	<i>Niwaella delicata</i>																							4
88		フクドジョウ科	フクドジョウ	<i>Barbatula oreas</i>																							6
89			エゾホトケドジョウ	<i>Lefua nikkonis</i>																							2
90			ヒメドジョウ	<i>Lefua costata</i>																							2
91			ホトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i>																							4
92	ナマズ目	ギギ科	ギギ	<i>Tachysurus nudiceps</i>																							18
93			ネコギギ	<i>Tachysurus ichikawai</i>																							1
94			ギバチ	<i>Tachysurus tokiensis</i>																							4
95			アリアケギバチ	<i>Tachysurus aurantiacus</i>																							2
96			コウライギギ	<i>Tachysurus fulvidraco</i>																							1
97		ナマズ科	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>																							26
98			タニガワナマズ	<i>Silurus tomodai</i>																							3
-			ナマズ属	<i>Silurus</i> sp.																							2
99		アカザ科	アカザ	<i>Liobagrus reinii</i>																							18
100		アメリカナマズ科	チャネルキャットフィッシュ	<i>Ictalurus punctatus</i>																							3
101		ゴンスイ科	ゴンスイ	<i>Plotosus japonicus</i>																							6
102	サケ目	キュウリウオ科	ワカサギ	<i>Hypomesus nipponensis</i>																							13
103		アユ科	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>																							34
104		シラウオ科	アリアケシラウオ	<i>Salanx ariakensis</i>																							1
105			アリアケヒメシラウオ	<i>Neosalanx reganius</i>																							1
106			シラウオ	<i>Salangichthys microdon</i>																							4
107			イシカワシラウオ	<i>Neosalangichthys ishikawae</i>																							1
108		サケ科	イトウ	<i>Hucho perryi</i>																							1
109			ブラウントラウト	<i>Salmo trutta</i>																							2
110			アメマス	<i>Salvelinus leucomaenis leucomaenis</i>																							3
-			アメマス(エノイワナ)	<i>Salvelinus leucomaenis leucomaenis</i>																							5
111			ニッコウイワナ	<i>Salvelinus leucomaenis pluvius</i>																							4
-			アメマス類	<i>Salvelinus leucomaenis</i>																							7
112			ニジマス	<i>Oncorhynchus mykiss</i>																							8
113			サケ	<i>Oncorhynchus keta</i>																							8
114			カラフトマス	<i>Oncorhynchus gorbuscha</i>																							1
115			サクラマス	<i>Oncorhynchus masou masou</i>																							6
-			サクラマス(ヤマメ)	<i>Oncorhynchus masou masou</i>																							16
116			サツキマス(アマゴ)	<i>Oncorhynchus masou ishikawae</i>																							4
117	(サケ目)	(サケ科)	ピワマス	<i>Oncorhynchus</i> sp.																							1
-			サケ属	<i>Oncorhynchus</i> sp.																							1
-			サケ科	Salmonidae																							1

注1) 水系名(河川名)欄の※は二級河川を示す。
 注2) 水系名(河川名)欄の△は指定管理区間のみの河川を示す。
 注3) 種数の計数は「平成28年度版河川水辺の国勢調査 基本調査マニュアル[河川版] (平成28年1月改訂)」に準拠して行った。
 注4) ●◎は、確認(うち◎は、P1-142~P1-153に示す分析対象種のうち、当該一級河川の直轄管理区間で今回初確認)を示す。

確認種一覧（魚類）（その4）

No.	目と名	科と名	種と名	学名	北海道		東北				関東		北陸		中部		近畿				中国		四国		九州		確認河川数	
					津	沼	利根	荒	利根	利根	信濃	庄川	天竜	庄内	淀川	淀川	淀川	淀川	大和	加古	揖保	九頭	与保	福田	高梁	小瀬		肱川
118	タウナギ目	タウナギ科	タウナギ(本土産)	<i>Monopterus albus</i>																								5
119	トゲウオ目	トゲウオ科	陸封型イトヨ	<i>Gasterosteus aculeatus</i> subsp.1			●																					2
120	-		ニホンイトヨ	<i>Gasterosteus nipponicus</i>	●																							1
121	-		イトヨ属	<i>Gasterosteus</i> sp.			●																					1
122		ヨウジウオ科	トミヨ	<i>Pungitius sinensis</i>	●	●	●																					5
123			オクヨウジ	<i>Urocampus nanus</i>																								1
124			ヨウジウオ	<i>Syngnathus schlegelii</i>																								2
125			ガンテンイシヨウジ	<i>Hippichthys penicillus</i>																								11
126			イッセンヨウジ	<i>Coelionotus leiaspis</i>																								1
127	ボラ目	ボラ科	テングヨウジ	<i>Microphis brachyurus brachyurus</i>																								5
128			ボラ	<i>Mugil cephalus cephalus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	31
129			メナダ	<i>Planiliza haematocheilus</i>																								16
130			セスジボラ	<i>Planiliza luvergnii</i>																								4
131			コボラ	<i>Planiliza macrolepis</i>																								2
132	トウゴロウイワシ目	トウゴロウイワシ科	ボラ科	Mugilidae																								1
133	カダヤシ目	カダヤシ科	トウゴロウイワシ	<i>Doboatherina bleekeri</i>																								4
134	ダツ目	メダカ科	カダヤシ	<i>Gambusia affinis</i>																								8
135	-		ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>																								25
136			キタノメダカ	<i>Oryzias sakaizumii</i>																								5
137			メダカ交雑集団	<i>Oryzias latipes-sakaizumii</i>																								1
138			メダカ類	<i>Oryzias</i> sp.																								2
139			メダカ(飼育品種)	<i>Oryzias latipes</i>																								8
140	スズキ目	メバル科	クルメサヨリ	<i>Hyporhamphus intermedius</i>																								1
141			サヨリ	<i>Hyporhamphus sajori</i>																								6
142			ダツ	<i>Strongylura anastomella</i>																								1
143			クロソイ	<i>Sebastes schlegelii</i>																								2
144			メバル類	<i>Sebastes species complex</i>																								1
145			タケノコメバル	<i>Sebastes oblongus</i>																								3
146			マゴチ	<i>Platycephalus</i> sp.2																								14
147			コチ属	<i>Platycephalus</i> sp.																								3
148			イネゴチ	<i>Cociella crocodila</i>																								2
149			アカメ	<i>Lates japonicus</i>																								1
150			タカサゴイシモチ科	トゲナガタカサゴイシモチ																								1
151				セスジタカサゴイシモチ	<i>Ambassis miops</i>																							1
152			ケツギョ科	オヤニラミ	<i>Coreoperca kawamebari</i>																							8
153				ヨウライオヤニラミ	<i>Coreoperca herzi</i>																							1
154			スズキ科	ヘラスズキ	<i>Lateolabrax latius</i>																							4
155				スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>																							23
156			ハタ科	クエ	<i>Epinephelus bruneus</i>																							1
157			サンフィッシュ科	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus macrochirus</i>																							24
158				オオクチバス	<i>Micropterus salmoides</i>																							25
159				コクチバス	<i>Micropterus dolomieu dolomieu</i>																							9
160				オオクチバス属	<i>Micropterus</i> sp.																							1
161			アジ科	マアジ	<i>Trachurus japonicus</i>																							2
162	(スズキ目)	(アジ科)	イケカツオ	<i>Scomberoides lysan</i>																								1
163			コマンアジ	<i>Trachinotus bailloni</i>																								1
164			カスミアジ	<i>Caranx melampygus</i>																								1
165			ギンガメアジ	<i>Caranx sexfasciatus</i>																								7

注1) 水系名(河川名)欄の※は二級河川を示す。
 注2) 水系名(河川名)欄の△は指定管理区間のみの河川を示す。
 注3) 種数の計数は「平成28年度版河川水辺の国勢調査 基本調査マニュアル[河川版](平成28年1月改訂)」に準拠して行った。
 注4) ●◎は、確認(うち◎は、P1-142~P1-153に示す分析対象種のうち、当該一級河川の直轄管理区間で今回初確認)を示す。

参考：生態系被害防止外来種のうち魚類国内外来種一覧

No.	目名	科名	種名	学名	国内外来種	北海道		東北					関東		北陸		中部		近畿				中国		四国		九州				確認河川数											
						落滑川	鶴川	十勝川	岩木川	名取川	最上川	赤川	野内川	小本川	夏井川	鮫川	(利根川水系)利根川本川△	相模川	富士川	信濃川	黒部川	庄川	鶴川	天竜川	庄内川	(淀川水系)瀬田川	(淀川水系)猪名川	(淀川水系)木津川	(淀川水系)野洲川	(淀川水系)淀川		大和川	加古川	揖保川	九頭竜川	与保呂川	福田川	高梁川	小瀬川	肱川	山国川	筑後川
1	コイ目	コイ科	ハス	<i>Opsariichthys uncirostris uncirostris</i>	総合(その他)													○					●	●							○				○	○	○		2			
2			モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>	総合(その他)	○	○	○	○	○	○								●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●			●	●	●	●	●	●	20		
3	ナマズ目	ギギ科	ギギ	<i>Tachysurus nudiceps</i>	総合(その他)				○						○	○			○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	○				11			
4	スズキ目	ケンギョ科	オヤニラミ	<i>Coreoperca kawamebari</i>	総合(その他)																		●							●	●		●	●	●	●	○			7		
水系別確認種数						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	2	2	2	4	3	1	2	2	1	0	0	3	2	1	3	2	2	1	1
地方別確認種数						0										1	1		1		1							4					3		1				3			

注1) 水系名(河川名)欄の※は二級河川を示す。
 注2) 水系名(河川名)欄の△は指定管理区間のみの河川を示す。
 注3) 種数の計数は「平成28年度版河川水辺の国勢調査 基本調査マニュアル〔河川版〕(平成28年1月改訂)」に準拠して行った。
 注4) ●は、確認を示す。
 注5) ○は、自然分布域外での確認を示す。

「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(以下「生態系被害防止外来種リスト」)掲載種」
 定着予防(侵入予防)：国内に未侵入・未定着であり、定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、特に国内への侵入を未然に防ぐ必要がある外来種。
 定着予防(その他)：侵入の情報はあるが、国内に未定着であり、定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、早期防除が必要な外来種。
 総合対策(緊急)：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急性が高く、積極的に防除が必要な外来種。
 総合対策(重点)：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、甚大な被害が予想される重点的に対策が必要な外来種。
 総合対策(その他)：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急、重点に該当しない種。
 産業管理：産業又は公益的役割において重要であり、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種。

1.2 河川管理との関わり（河川の自然度・健全度）

ここでは、河川管理との関わりを把握することを目的として、河川の自然度・健全度として河口からの河川の連続性に着目し、回遊性魚類の分布の関係を整理しました。

【河川の連続性】

（魚類調査）

・カマキリは7河川、カジカ中卵型は3河川、ウツセミカジカ（淡水性両側回遊型）は5河川で確認

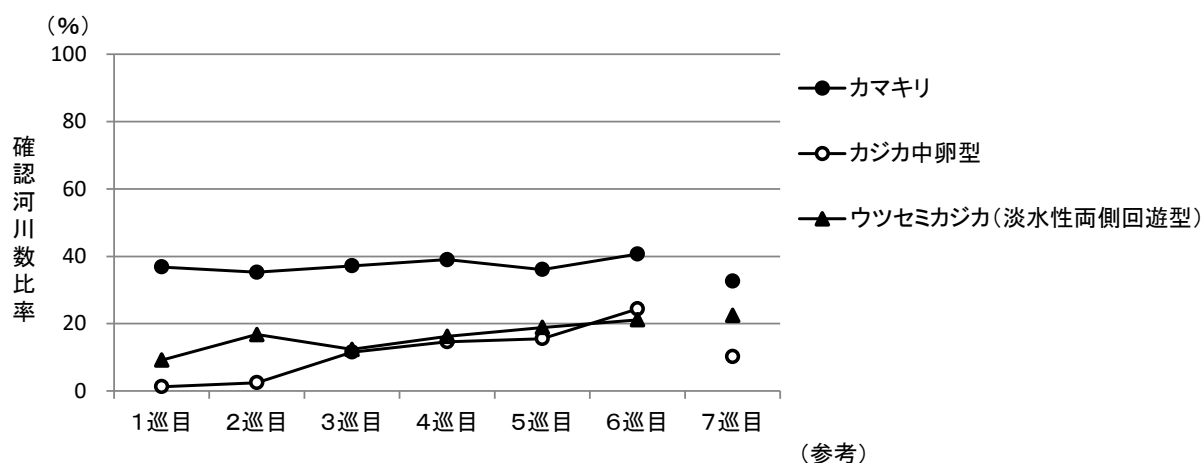
河川の連続性の指標として、通し回遊魚のうち、カマキリ、カジカ中卵型、ウツセミカジカ（淡水性両側回遊型）を対象に、令和4年度調査のうち一級河川の直轄管理区間28河川で縦断的な確認範囲を整理しました。

今回取りまとめを行った28河川（一級河川の直轄管理区間）のうち、カマキリが確認されたのは7河川、カジカ中卵型が確認されたのは3河川、ウツセミカジカ（淡水性両側回遊型）が確認されたのは5河川でした。今回の調査結果からは一部で、今回調査で出現がみられなくなった河川や生息域が変化した河川が確認されており、今後の動向に注意が必要です。

（資料掲載：1-19～1-23ページ、1-142～143ページ）

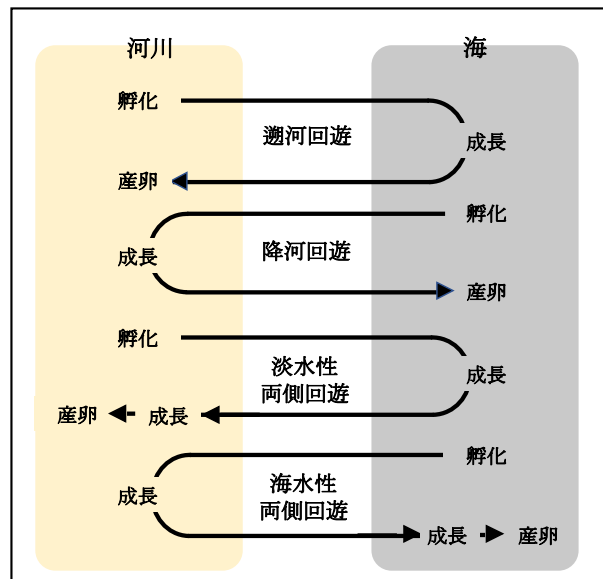
1～7巡目調査の確認河川数の比較

種類	1巡目調査 (76河川)	2巡目調査 (119河川)	3巡目調査 (121河川)	4巡目調査 (123河川)	5巡目調査 (122河川)	6巡目調査 (123河川)	7巡目調査 (49河川)
カマキリ	28河川 〔36.8〕	42河川 〔35.3〕	45河川 〔37.2〕	48河川 〔39.0〕	44河川 〔36.1〕	50河川 〔40.7〕	16河川 〔32.7〕
カジカ中卵型	河川 〔1.3〕	3河川 〔2.5〕	14河川 〔11.6〕	18河川 〔14.6〕	19河川 〔15.6〕	30河川 〔24.4〕	5河川 〔10.2〕
ウツセミカジカ (淡水性両側回遊型)	7河川 〔9.2〕	20河川 〔16.8〕	15河川 〔12.4〕	20河川 〔16.3〕	23河川 〔18.9〕	26河川 〔21.1〕	11河川 〔22.4〕



- ※ 確認河川数の比較は、調査実施全河川のうち、直轄管理区間のデータを対象とした。
- ※ 1～6巡目調査のデータは、調査実施全河川のうち、種名等についてスクリーニングされ、河川環境データベースに格納されている調査データを対象にした。
- ※ () 内は調査実施河川数を示す。
- ※ [] 内は確認河川数の調査実施河川数に対する割合 (%) を示す。
- ※ カジカ中卵型、ウツセミカジカ（淡水性両側回遊型）は、以前は正確に同定されていない可能性があり、2巡目調査、3巡目調査の値は参考値とする。

【参考資料】



通し回遊4つの型

なお、今回対象としたウツセミカジカは、淡水性両側回遊に相当する

遡河回遊

産卵のため川を遡上する魚類。

【例：サケ】

降河回遊

川で成長し、産卵のため海へ降河する魚類。

【例：ニホンウナギ】

淡水性両側回遊

川で産卵、孵化した稚魚が、海へ降河し成長、その後川に遡上、更に成長、成熟したのちに産卵する魚類

【例：アユ】

海水性両側回遊

海域と河川域を能動的に移動し、両方の水域で成長し、海で産卵する魚類。

周縁性淡水魚も含まれる。

【例：スズキ、ボラ】

注1) 出典：魚類学の百科事典。(2018) 日本魚類学会.

カマキリは、カジカ科カマキリ属の日本の固有種で、青森県以南の太平洋、日本海流入河川に分布^{注1)}し、本州の日本海側、瀬戸内海流入河川にも多く生息します。産卵は海の沿岸近くで行われ、孵化した仔魚は沿岸で遊泳生活をした後、稚魚に成長して川を遡上します。

カジカ中卵型、ウツセミカジカ（淡水性両側回遊型）は、下流域で産卵し、孵化した仔魚は海へ下り遊泳生活をした後、川を遡上します。

カマキリ、カジカ中卵型、ウツセミカジカ（淡水性両側回遊型）のような底生魚は、アユ等の遊泳魚と比較して、低い落差の堰堤等でも遡上を阻害されることが知られています。

カマキリは、今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち 7 河川で確認されました。このうち本川で確認された個体の縦断的な確認範囲を経年的にみると、横断工作物による遡上への影響は確認されなかったものの、H29 までの最上川、大淀川では、河川中流域までの遡上が確認されましたが、今回調査では確認されなくなりました。

カジカ中卵型は、今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち 3 河川で、ウツセミカジカ（淡水性両側回遊型）は、今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち 5 河川で確認されました。両側回遊性のカジカ中卵型、ウツセミカジカ（淡水性両側回遊型）のうち本川で確認された個体の縦断的な確認範囲を経年的にみると、横断工作物による遡上への影響は確認されなかったものの、H29 までの黒部川、加古川では、河川中流域までの遡上が確認されましたが、今回調査では確認されなくなりました。





カマキリ、カジカ類（カジカ（中卵型）、ウツセミカジカ（淡水性両側回遊型）は、共に冷水性種でもあります。今回整理した河川では、出現がみられなくなった河川もあることから、今後、巡目全体で分布を俯瞰し、気候変動の影響についても留意する必要もあると考えられます。

注 1) 出典：日本産魚類検索 全種の同定 第三版、東海大出版会。



水系名	調査回	調査年度	調査区分	河口からの距離 (km)																	総計	
				0-5	5-10	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	45-50	50-60	60-70	70-80	80-90	90-100	100以上			
最上川	1	-	-	該当調査なし																	-	
	2	H9	直轄			3		8				2										13
	3	H14	直轄	1		12		11														24
	4	H19	直轄			3																3
	5	H24	直轄		1	5									1							7
	6	H29	直轄						8						1							9
	7	R4	直轄	出現なし																	-	
赤川	1	-	-	該当調査なし																	-	
	2	H9	直轄	14																		14
	3	H14	直轄	10																		10
	4	H19	直轄	23																		23
	5	H24	直轄	8																		8
	6	H29	直轄	3																		3
	7	R4	直轄	出現なし																	-	
相模川	1	-	-	該当調査なし																	-	
	2	H8	直轄	出現なし																	-	
	3	H14	直轄	3	11																	14
	4	H19	直轄		1																	1
	5	H24	直轄		3																	3
	6	H29	直轄	2	2																	4
	7	R4	直轄	2																		2
富士川	1	H6	直轄	3																	3	
	2	H10	直轄	4																	4	
	3	H16	直轄	6																	6	
	4	H21	直轄	159																	159	
	5	H26	直轄	33																	33	
	6	R1	直轄	3																	3	
	7	R4	直轄	4																	4	
信濃川	1	-	-	該当調査なし																	-	
	2	H9	直轄	出現なし																	-	
	3	H14	直轄	出現なし																	-	
	4	H19	直轄																			1
	5	H24	直轄	出現なし																	-	
	6	H29	直轄	出現なし																	-	
	7	R4	直轄	出現なし																	-	

- ※ 数値は出現個体数
- ※ 太線は最上流地区の距離範囲を示す。
- ※ 河川横断工作物、出現個体数共に本川のデータのみ表示。
- ※ 魚道の状況は、平成26年度全国の一級河川における「河川の連続性実態調査」を元に、令和4年時点の最新情報に更新。

【凡例】	
	: 調査範囲
	: 推定生息範囲 (数値は確認個体数)
	: 河川横断工作物 (魚道なし)
	: 河川横断工作物 (魚道あり)

カマキリの確認範囲と横断工作物 (その1)

水系名	調査回	調査年度	調査区分	河口からの距離(km)														総計	
				0-5	5-10	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	45-50	50-60	60-70	70-80	80-90		90-100
黒部川	1	H5	直轄	1															1
	2	H10	直轄	7															7
	3	H15	直轄	10															10
	4	H19	直轄	5															5
	5	H24	直轄	3	5														8
	6	H29	直轄	3	2														5
	7	R4	直轄	3	2														5
庄川	1	-	-	該当調査なし														-	
	2	H9	直轄	91	2		2												95
	3	H14	直轄	13	2		2	1											18
	4	H19	直轄		4		1												5
	5	H24	直轄	97	7		6												110
	6	H29	直轄	5			2												7
	7	R4	直轄				1												1
天竜川	1	-	-	該当調査なし														-	
	2	H9	直轄	出現なし														-	
	3	H14	直轄	10			1	5											16
	4	H19	直轄	1			2												3
	5	H24	直轄	2			1												3
	6	H29	直轄	4															4
	7	R4	直轄	7			3	16											26
庄内川	1	H5	直轄	出現なし														-	
	2	H9	直轄	出現なし														-	
	3	H13	直轄				4												4
	4	H18	直轄				71												71
	5	H24	直轄	出現なし														-	
	6	H29	直轄	1			7												8
	7	R4	直轄	1			4												5
大淀川	1	-	-	該当調査なし														-	
	2	H8	直轄	1					4										5
	3	H15	直轄			6	1	9											16
	4	H21	直轄					4											4
	5	H26	直轄		1	1		4											6
	6	H30	直轄					23											23
	7	R4	直轄	出現なし														-	





※ 数値は出現個体数

※ 太線は最上流地区の距離範囲を示す。

※ 河川横断工作物、出現個体数共に本川のデータのみ表示している。

(渡川水系) 四万十川ではR3において支川の後川で確認があるため、本文記載の確認河川数とは異なる。

※ 魚道の状況は、平成26年度全国の一級河川における「河川の連続性実態調査」を元に、令和4年時点の最新情報に更新。

【凡例】	
	: 調査範囲
	: 推定生息範囲(数値は確認個体数)
	: 河川横断工作物(魚道なし)
	: 河川横断工作物(魚道あり)

カマキリの確認範囲と横断工作物 (その2)

水系名	調査回	調査年度	調査区分	河口からの距離(km)												総計		
				0-5	5-10	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	45-50	50-60	60-70		70-80	80-90
岩木川	1	-	-	該当調査なし												-		
	2	H9	直轄	出現なし														-
	3	H14	直轄	出現なし														-
	4	H19	直轄	出現なし														-
	5	H24	直轄	出現なし														-
	6	H29	直轄	1														1
	7	R4	直轄	出現なし														-
名取川	1	-	直轄	該当調査なし												-		
	2	H9	直轄	出現なし														-
	3	H14	直轄	出現なし														-
	4	H19	直轄	出現なし														-
	5	H24	直轄	出現なし														-
	6	H29	直轄	出現なし														-
	7	R4	直轄	1														1
赤川	1	-	-	該当調査なし												-		
	2	H9	直轄	出現なし														-
	3	H14	直轄	出現なし														-
	4	H19	直轄	出現なし														-
	5	H24	直轄	4														4
	6	H29	直轄	出現なし														-
	7	R4	直轄	出現なし														-
富士川	1	H6	直轄	出現なし													-	
	2	H10	直轄	出現なし													-	
	3	H16	直轄	出現なし													-	
	4	H21	直轄	8													8	
	5	H26	直轄	17													17	
	6	R1	直轄	16													16	
	7	R4	直轄	41													41	
信濃川	1	-	-	該当調査なし												-		
	2	H9	直轄					1									1	
	3	H14	直轄						1								1	
	4	H19	直轄	出現なし													-	
	5	H24	直轄	出現なし													-	
	6	H29	直轄														1	
	7	R4	直轄	出現なし													-	

※ 数値は出現個体数

※ 太線は最上流地区の距離範囲を示す。

※ 河川横断工作物、出現個体数共に本川のデータのみ表示。

※ 魚道の状況は、平成26年度全国の一級河川における「河川の連続性実態調査」を元に、令和4年時点の最新情報に更新。

【凡例】	
	: 調査範囲
	: 推定生息範囲(数値は確認個体数)
	: 河川横断工作物(魚道なし)
	: 河川横断工作物(魚道あり)

ウツセミカジカ (淡水性両側回遊型) とカジカ中卵型の
確認範囲と横断工作物 (その1)

水系名	調査回	調査年度	調査区分	河口からの距離 (km)														総計					
				0-5	5-10	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	45-50	50-60	60-70	70-80	80-90		90-100	100以上			
黒部川	1	H5	直轄	出現なし																		-	
	2	H10	直轄	出現なし																			-
	3	H15	直轄	出現なし																			-
	4	H19	直轄	1																			1
	5	H24	直轄	出現なし																			-
	6	H29	直轄	1																			1
	7	R4	直轄	出現なし																			-
庄川	1	-	-	該当調査なし																		-	
	2	H9	直轄	15	28	4																47	
	3	H14	直轄	36	54	16	2															108	
	4	H19	直轄	36		20																56	
	5	H24	直轄	16	82	32																131	
	6	H29	直轄	3	29	7	3															42	
	7	R4	直轄	30		10																40	
天竜川	1	-	-	該当調査なし																		-	
	2	H9	直轄	出現なし																		-	
	3	H14	直轄	2		11	4															17	
	4	H19	直轄	11		15	19															45	
	5	H24	直轄			1	1															2	
	6	H29	直轄			4	2															6	
	7	R4	直轄			7	3															10	
庄内川	1	H5	直轄	出現なし																		-	
	2	H9	直轄	出現なし																		-	
	3	H13	直轄	出現なし																		-	
	4	H18	直轄	出現なし																		-	
	5	H24	直轄	出現なし																		-	
	6	H29	直轄			16																16	
	7	R4	直轄			1																1	
(淀川水系) 淀川	1	H6	直轄	出現なし																		-	
	2	H11	直轄	出現なし																		-	
	3	H16	直轄	出現なし																		-	
	4	H19	直轄	出現なし																		-	
	5	H24	直轄								1											1	
	6	H29	直轄	出現なし																		-	
	7	R4	直轄	出現なし																		-	



- ※ 数値は出現個体数
- ※ 太線は最上流地区の距離範囲を示す。
- ※ 河川横断工作物、出現個体数共に本川のデータのみ表示。
- ※ 魚道の状況は、平成26年度全国の一級河川における「河川の連続性実態調査」を元に、令和4年時点の最新情報に更新。
- ※ (淀川水系) 野洲川は2巡目、3巡目において支川のみで確認された。

【凡例】	
	: 調査範囲
	: 推定生息範囲 (数値は確認個体数)
	: 河川横断工作物 (魚道なし)
	: 河川横断工作物 (魚道あり)

ウツセミカジカ (淡水性両側回遊型) とカジカ中卵型の 確認範囲と横断工作物 (その2)

水系名	調査回	調査年度	調査区分	河口からの距離(km)														総計			
				0-5	5-10	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	45-50	50-60	60-70	70-80	80-90		90-100	100以上	
加古川	1	-	直轄	該当調査なし														-			
	2	H9	直轄	出現なし																	-
	3	H14	直轄	出現なし																	-
	4	H19	直轄	出現なし																	-
	5	H24	直轄	出現なし																	-
	6	H29	直轄			2															2
	7	R4	直轄	出現なし																	
高梁川	1	-	-	該当調査なし														-			
	2	H9	直轄	出現なし																	-
	3	H14	直轄																		6
	4	H19	直轄																		18
	5	H24	直轄			1															15
	6	H29	直轄			2															26
	7	R4	直轄			11				2											33
小瀬川	1	-	-	該当調査なし														-			
	2	H9	直轄	出現なし																	-
	3	H14	直轄	出現なし																	-
	4	H19	直轄			1															1
	5	H24	直轄			1															1
	6	H29	直轄			3															3
	7	R4	直轄			6	4														10

- ※ 数値は出現個体数
- ※ 太線は最上流地区の距離範囲を示す。
- ※ 河川横断工作物、出現個体数共に本川のデータのみ表示。
- ※ 魚道の状況は、平成26年度全国の一級河川における「河川の連続性実態調査」を元に、令和4年時点の最新情報に更新。

【凡例】	
	: 調査範囲
	: 推定生息範囲(数値は確認個体数)
	: 河川横断工作物(魚道なし)
	: 河川横断工作物(魚道あり)

ウツセミカジカ（淡水性両側回遊型）とカジカ中卵型の
確認範囲と横断工作物（その3）

1.3 生物多様性

ここでは、河川における生物多様性をみるため、河川環境区分毎の「種の多様性」について整理しました。

【調査対象環境区分と確認種数】

(魚類調査)

・調査対象環境区分別の確認種数の比較

生物多様性の指標となる確認種数について、調査対象環境区分との関係を整理しました。

平均確認種数が最も多かった調査対象環境区分は「湛水域」であり、最も確認種数が少なかった調査対象環境区分は「湧水」及び「淵、早瀬の連続箇所」でした。

(資料掲載：1-25ページ)

今回の結果から生物多様性の指標となる、調査対象環境区分と確認種との関係を整理しました。なお、集計の際には、生物多様性の指標とするため、国外外来種は除いて集計しました。

調査対象環境区分の設定は、河川環境を以下の5環境に分類したものに加え、調査地区内に複数の早瀬、淵が存在することが、多様性に資することを評価するため、「早瀬+淵」を新たに加えました。

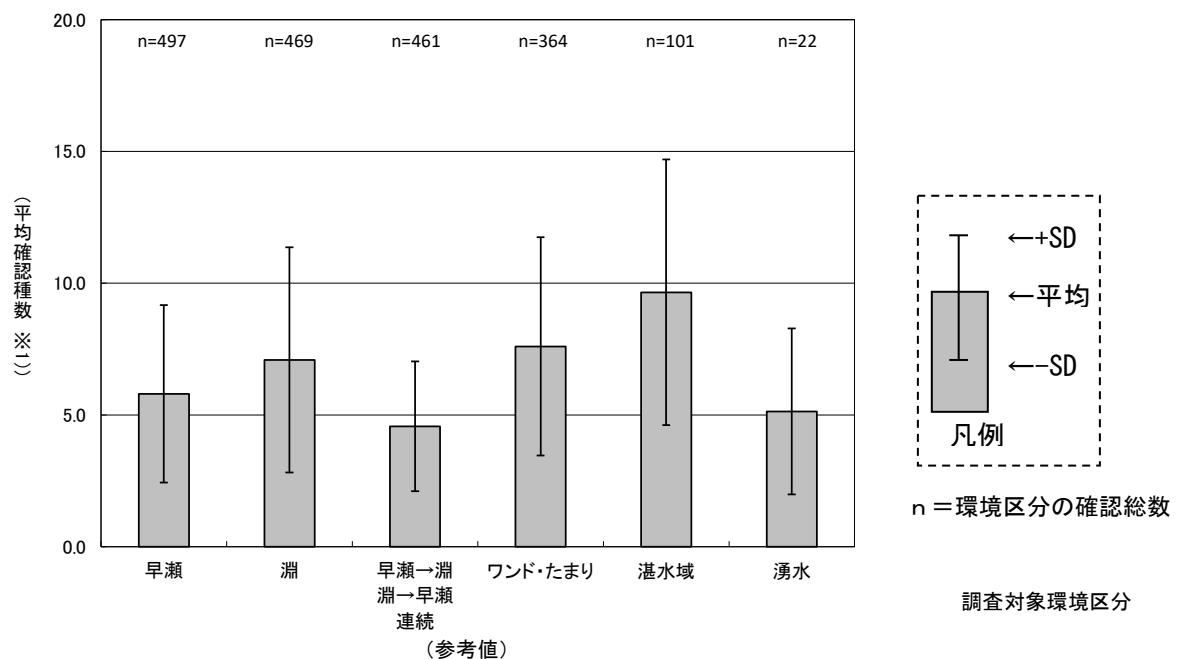
調査対象環境区分名	調査地区の設定場所
早瀬	目視観察において水深が浅く、水面の乱れや白波が立つ等の特徴を持っている場所を「早瀬」と判断する。 [遊泳力の強い魚種などが利用する、流れを好む魚類の生息場、エサ場]
淵	水の色が濃い等、周囲より相対的に水深が深くなっていると思われる場所を「淵」と判断する。低水路全体で水深が深い場所が連続する部分(通常“とろ”と呼ばれる)は「その他」に含める。 [大型の魚種の生息場、夜間の休憩場所など、]
淵、早瀬の連続箇所	河川内における、淵、早瀬の連続による確認状況を把握するため、河川別、地区別、季節別に上記2区分の組合せが、連続してみられたものを1セットとして集計 (例：淵→早瀬、早瀬→淵 ※早瀬単独、淵単独は含まない)。
ワンド・たまり	平常時も本川と連続している止水域や高水敷にみられる閉鎖的水域等、河川区域内にみられる河川の通常の流れと分離された水域を「ワンド・たまり」と判断する。基本的に、河川の通常の流れと分離された水域と認識される場所を表現するものとし、本川に連続する細流や水路等に形成される止水域についても含める。 [大型の魚種の生息場、緩流域を好む魚種、夜間の休憩場所など]
湛水域	河川横断工作物等により通常の流れがせき止められ、湛水している区間を「湛水域」と判断する。流入部における湛水域の境界域は、水面勾配の変化点までとする。[大型の魚種の生息場、緩流域を好む魚種、夜間の休憩場所など]
湧水	目視観察で水底の砂礫の舞い上がっている場所や、水温や水の色が本川と異なる等の特徴をもつ場所等を「湧水」と判断する。湧水はホトケドジョウ等固有の魚類の生息の確認頻度が高い。 [湧水に固有の魚種の生息場、緩流域を好む魚種、夜間の休憩場所など]

整理の結果、調査対象環境区分別の確認種数の違いが確認されました。

今回調査のうち、環境区分の箇所数が多かったのは、早瀬の 497 箇所、次いで、淵の 469 箇所でした。湧水は少ない状況でした。

環境区分別で平均確認種数が多かったのは、調査対象環境区分が「湛水域」でした。また、最も確認種数が少なかったのは、「湧水」及び「淵、早瀬の連続箇所」でした。

なお、単一の河川環境区分の生息種数も大切ですが、この区分には異なる魚類が生息するため、様々な環境が複合することにより、河川に生息する魚類の多様性も維持されることから、多くの河川環境区分が河川に存在することが望まれます。



※1 確認種数の集計は単純集計で国外外来種は除外し、環境区分ごとの確認種数を平均化した参考値。

※2 魚類の調査対象の環境区分、これ以外に「その他」があるが、これには汽水域、干潟等を含んでいる区分であり海水魚が含まれてくるため、集計からは除外した。

調査対象環境区分別の平均確認種数

・外来生物（特定外来生物等）の分布は拡大傾向

特定外来生物に指定されており、在来の魚類群集への影響が懸念されているブルーギル、オオクチバス、コクチバス、チャネルキャットフィッシュ、カダヤシ、コウライギギ、オオタナゴの7種に加え、我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リストにおいて産業管理外来種に指定されているニジマス、ブラウントラウトをとり上げ、令和4年度調査のうち一級河川の直轄管理区間28河川で確認状況を整理しました。

今回確認された、特定外来生物であるブルーギル、オオクチバス、コクチバス、チャネルキャットフィッシュ、カダヤシについては既往分布域での確認が継続、あるいは増加傾向であり、定着及び拡大が示唆される結果となりました。最近になって確認されてきているオオタナゴは、利根川水系で分布が拡大している傾向がみられました。これらの種は今後、全国的に分布域を拡大し、在来の近縁種に影響を与えることが危惧されます。

産業管理外来種に指定されている、ニジマスについては、今回、分布範囲の緩やかな拡大傾向がみられました。

なお、コウライギギ、オオタナゴは、今回確認されていません。

(資料掲載：1-30～1-56ページ、1-142～1-145ページ)

国外外来種の中には、レジャーや養殖のための輸入に伴う河川等への放流などにより、本来は生息しない日本国内に侵入し、河川等へ広がっている種が数多くみられます。

このような、活動に伴う生物の移動と定着により、生態的に有利な外来種によって在来種が捕食・駆逐される等の影響を受ける可能性があります。

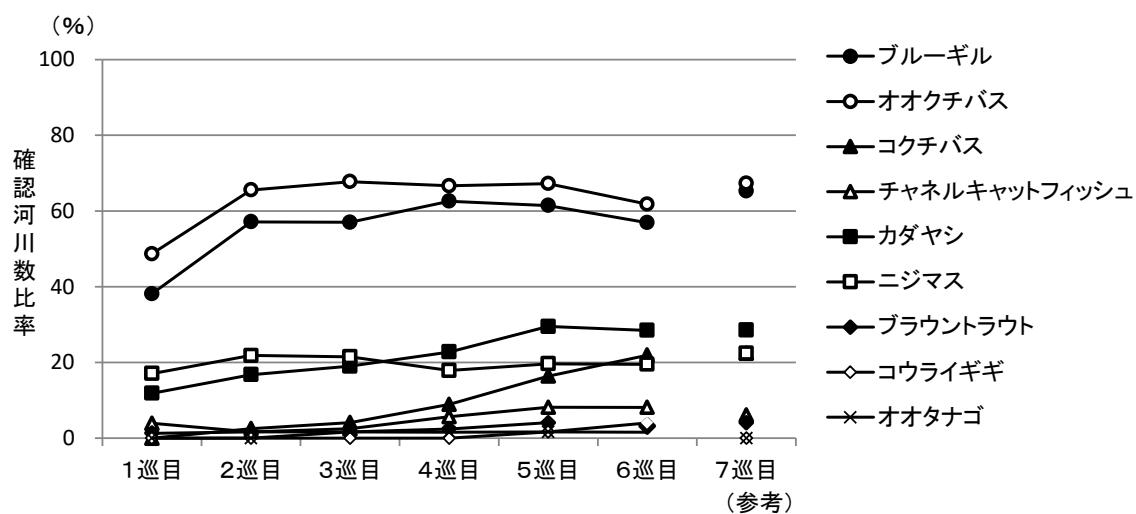
ここでは、このような国外外来種について、1～7巡目調査全体の分布状況を整理し、分布拡大状況を把握しました。

※特定外来生物とは、『特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（最終改正及び施行2018年4月）』により、輸入や飼養等が規制されている生物（生きているものに限られ、個体だけではなく、卵、種子、器官なども含まれる）です。おおむね明治以降に国外から導入された国外外来種のうち、生態系、人の生命・身体及び農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがある生物が指定されています。また、生態系被害防止外来種リスト掲載種は、外来生物法に基づく飼養等の規制が課されるものではありませんが、これらの外来生物は生態系に悪影響を及ぼしうることから、利用に関わる個人や事業者等に対し、適切な取扱いが求められています。

※生態系被害防止外来種リスト（我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト）とは、我が国の生物多様性を保全するため、様々な主体の参画のもとで外来種対策の一層の進展を図ることを目的とし、環境省及び農林水産省が「生態系、人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼす又はそのおそれがある生物」を生態的特性及び社会的状況も踏まえて選定した外来種リストです。

1～7巡目調査の確認河川数の比較

種類	1巡目調査 (76河川)	2巡目調査 (119河川)	3巡目調査 (121河川)	4巡目調査 (123河川)	5巡目調査 (122河川)	6巡目調査 (123河川)	7巡目調査 (49河川)
ブルーギル	29河川 〔38.2〕	68河川 〔57.1〕	69河川 〔57.0〕	77河川 〔62.6〕	75河川 〔61.5〕	70河川 〔56.9〕	32河川 〔65.3〕
オオクチバス	37河川 〔48.7〕	78河川 〔65.5〕	82河川 〔67.8〕	82河川 〔66.7〕	82河川 〔67.2〕	76河川 〔61.8〕	33河川 〔67.3〕
コクチバス	0河川 〔0.0〕	3河川 〔2.5〕	5河川 〔4.1〕	11河川 〔8.9〕	20河川 〔16.4〕	27河川 〔22.0〕	11河川 〔22.4〕
チャンネルキャット トフィッシュ	3河川 〔3.9〕	2河川 〔1.7〕	3河川 〔2.5〕	7河川 〔5.7〕	10河川 〔8.2〕	10河川 〔8.1〕	3河川 〔6.1〕
カダヤシ	9河川 〔11.8〕	20河川 〔16.8〕	23河川 〔19.0〕	28河川 〔22.8〕	36河川 〔29.5〕	35河川 〔28.5〕	14河川 〔28.6〕
ニジマス	13河川 〔17.1〕	26河川 〔21.8〕	26河川 〔21.5〕	22河川 〔17.9〕	24河川 〔19.7〕	24河川 〔19.5〕	11河川 〔22.4〕
ブラウントラウト	1河川 〔1.3〕	2河川 〔1.7〕	2河川 〔1.7〕	3河川 〔2.4〕	5河川 〔4.1〕	4河川 〔3.3〕	2河川 〔4.1〕
コウライギギ	0河川 〔0.0〕	0河川 〔0.0〕	0河川 〔0.0〕	0河川 〔0.0〕	2河川 〔1.6〕	5河川 〔4.1〕	0河川 〔0.0〕
オオタナゴ	0河川 〔0.0〕	0河川 〔0.0〕	2河川 〔1.7〕	2河川 〔1.6〕	2河川 〔1.6〕	2河川 〔1.6〕	0河川 〔0.0〕



- ※ 確認河川数の比較は、調査実施全河川のうち、直轄管理区間のデータを対象とした。
- ※ 1～6巡目調査のデータは、調査実施全河川のうち、種名等についてスクリーニングされ、河川環境データベースに格納されている調査データを対象にした。
- ※ () 内は調査実施河川数を示す。
- ※ [] 内は確認河川数の調査実施河川数に対する割合 (%) を示す。

ブルーギルとオオクチバスは、今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち、ブルーギルが 20 河川、オオクチバスが 21 河川で確認されました。両種とも東北地方から九州地方までの範囲で確認が継続しており、定着が示唆されました。

コクチバスは、今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち、8 河川で確認され、（淀川水系）野洲川では河川水辺の国勢調査として初めて確認されました。明確に経年的に分布の拡大傾向がみられており、特に中部地方、近畿地方において分布域の拡大傾向がみられます。

チャンネルキャットフィッシュは、今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち、3 河川で確認され、中部地方の天竜川では河川水辺の国勢調査として初めて確認されました。定着は、利根川水系が中心で、4 巡目に阿武隈川水系に新たに定着が確認されています。以降は分布域の拡大傾向はみられませんが、本種は定着初期段階にある種といえます。

カダヤシは、今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち 7 河川で確認され、関東地方の相模川、近畿地方の（淀川水系）野洲川では河川水辺の国勢調査として初めて確認されました。分布は若干の増加傾向であり、既往の分布地域には、継続して分布している傾向がみられました。

ニジマスは、今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち、7 河川で確認されました。経年的に分布の拡大傾向がみられており、東北地方、関東地方の利根川水系、中国地方で、分布の拡大傾向がみられます。

ブラントラウトは、今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち 2 河川で確認されました。これまで、北海道から北陸地方にかけて不連続で確認されています。中部地方、東北地方で新たに確認されたほか、既に確認されている水系内でも分布の拡大傾向がみられます。

コウライギギは、今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）では確認されませんでした。現在までのところ、利根川水系で分布が拡大している傾向がみられました。

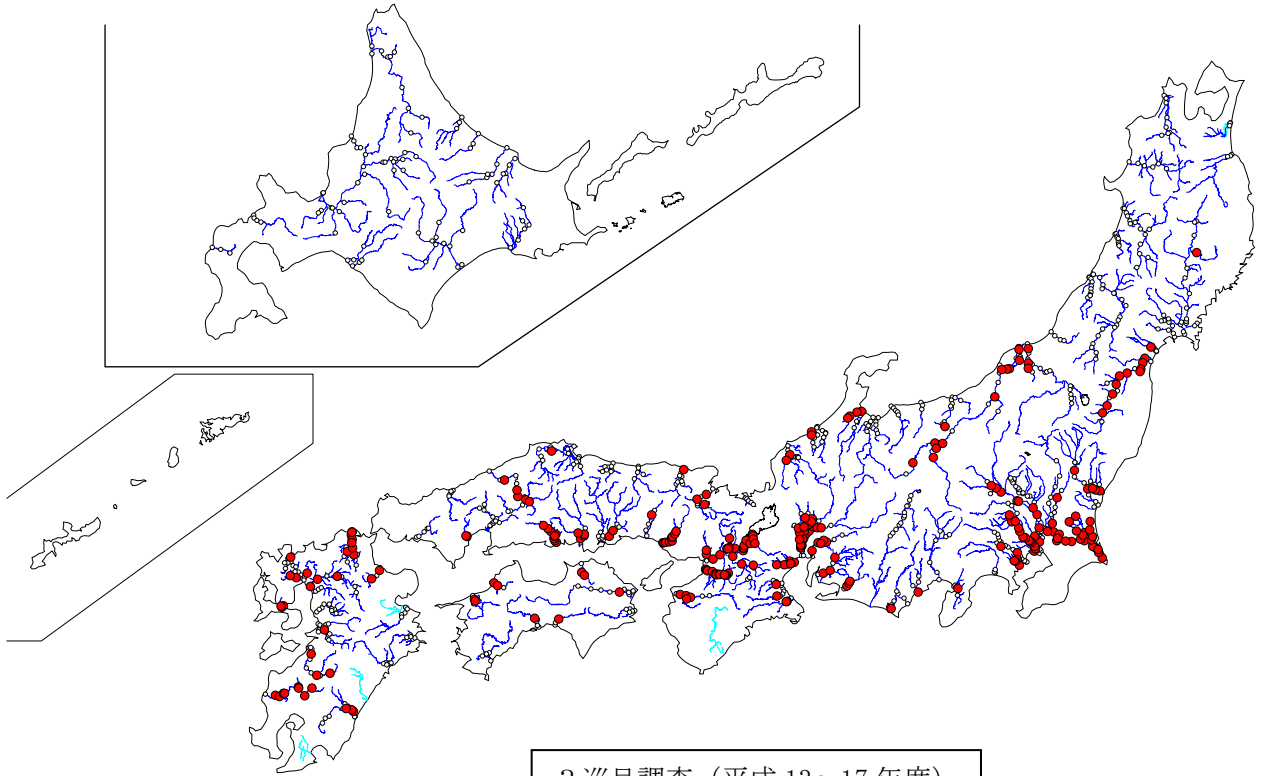
オオタナゴは、今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）では確認されませんでした。オオタナゴは 3 巡目に河川水辺の国勢調査として初めて確認されて以降、関東地方の利根川水系でのみ確認されています。現在までのところ、利根川下流域の水系にとどまっている傾向がみられました。

これらのうち、コクチバス、ブラントラウト、コウライギギ、オオタナゴなどは定着初期段階にある魚種であり、特に留意すべき種であるといえます。

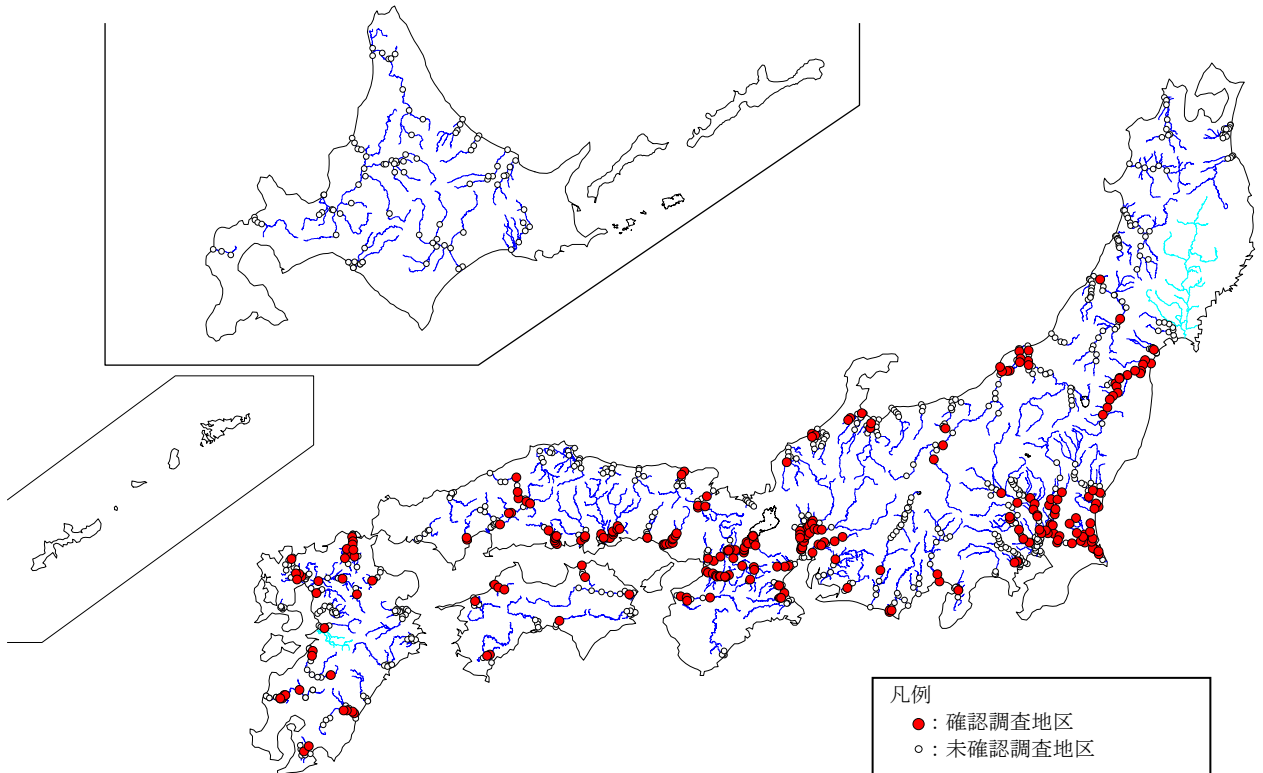


※コウライギギについては、今回調査では指定区間のみで確認された。

2巡目調査（平成8～12年度）



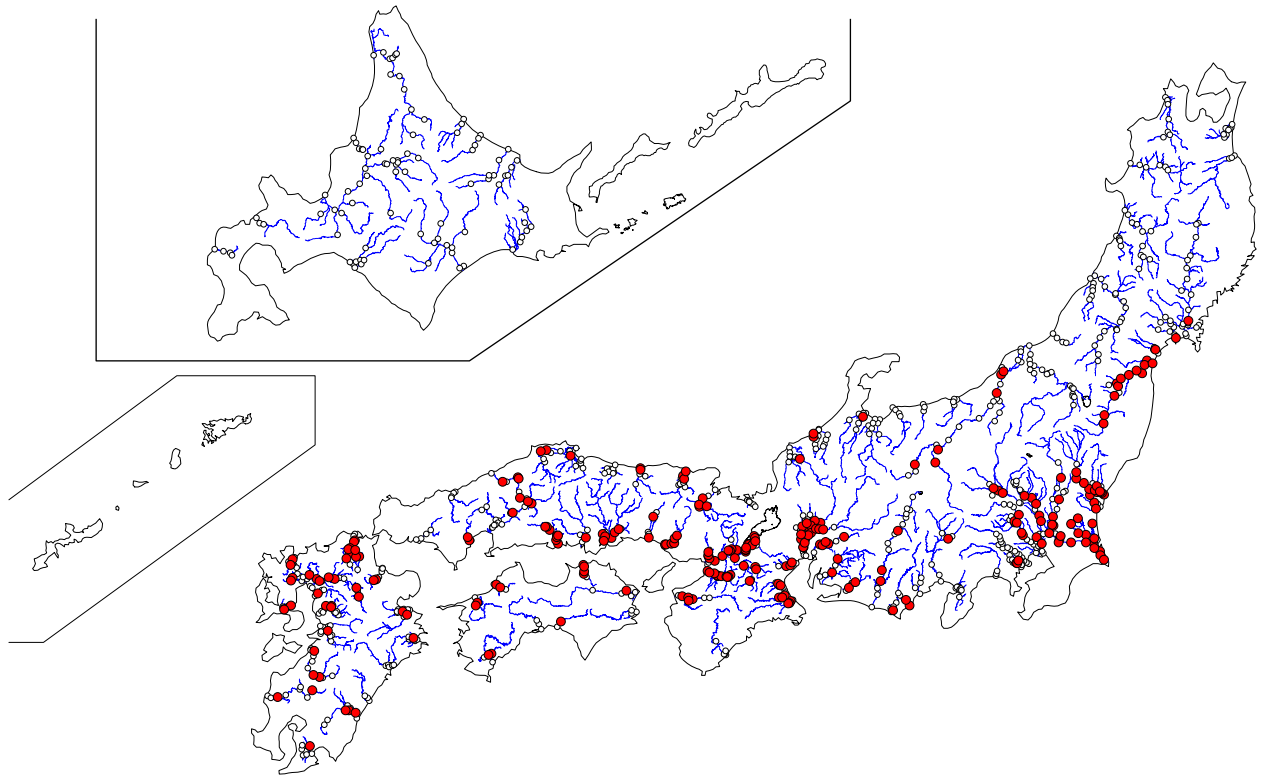
3巡目調査（平成13～17年度）



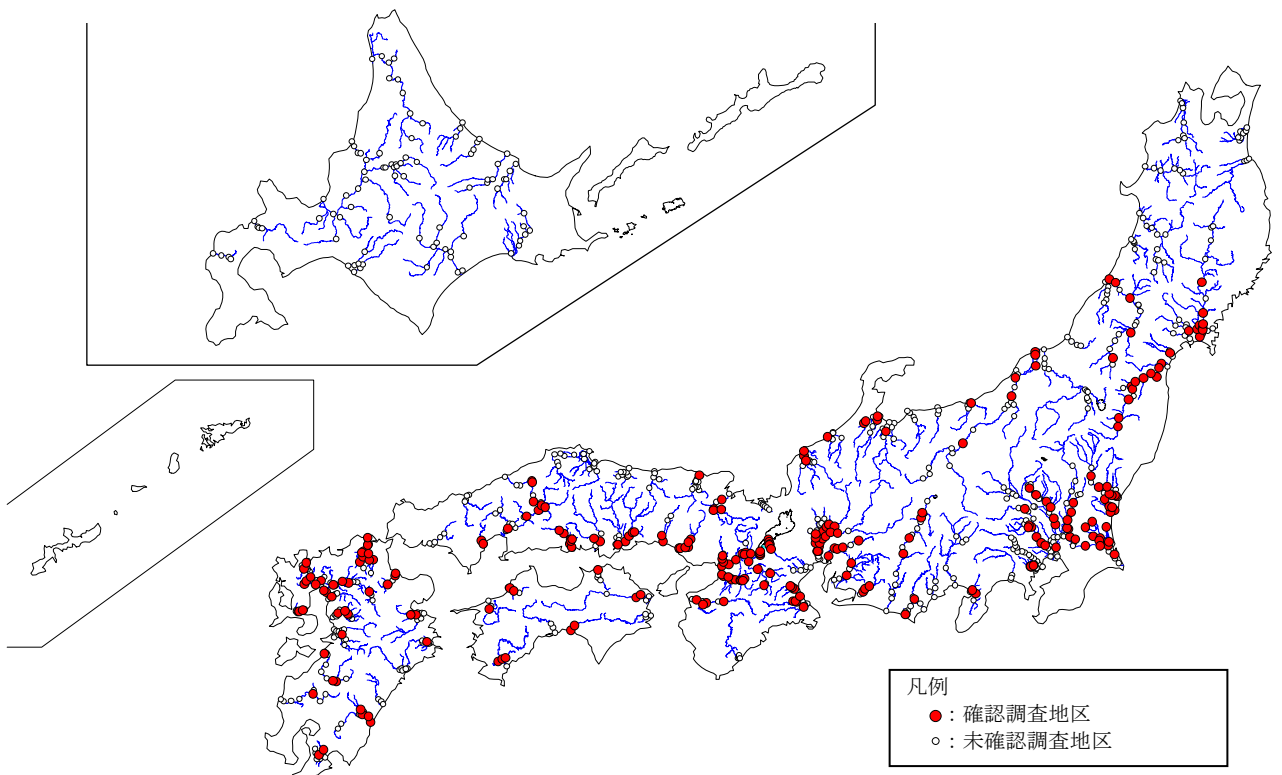
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ブルーギルの確認された調査地区（2巡目調査、3巡目調査）

4 巡目調査（平成 18～22 年度）



5 巡目調査（平成 23～27 年度）

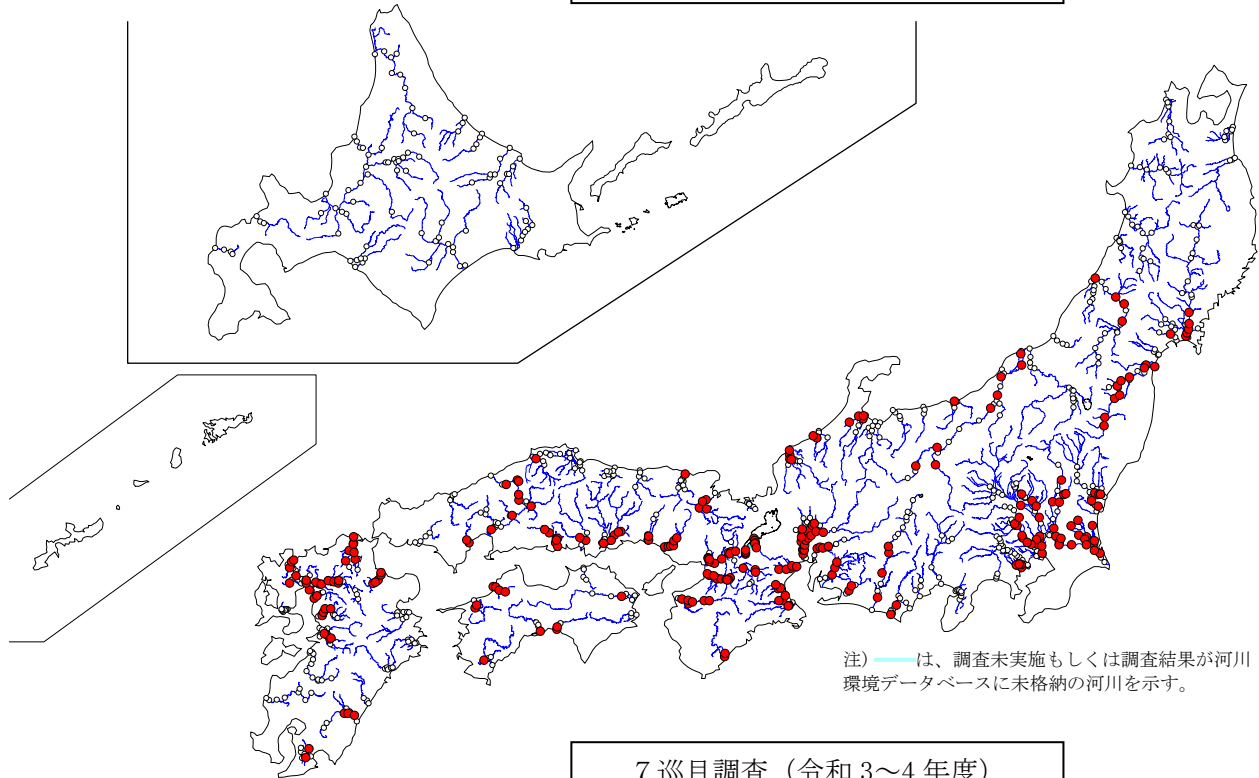


- 凡例
- : 確認調査地区
 - : 未確認調査地区

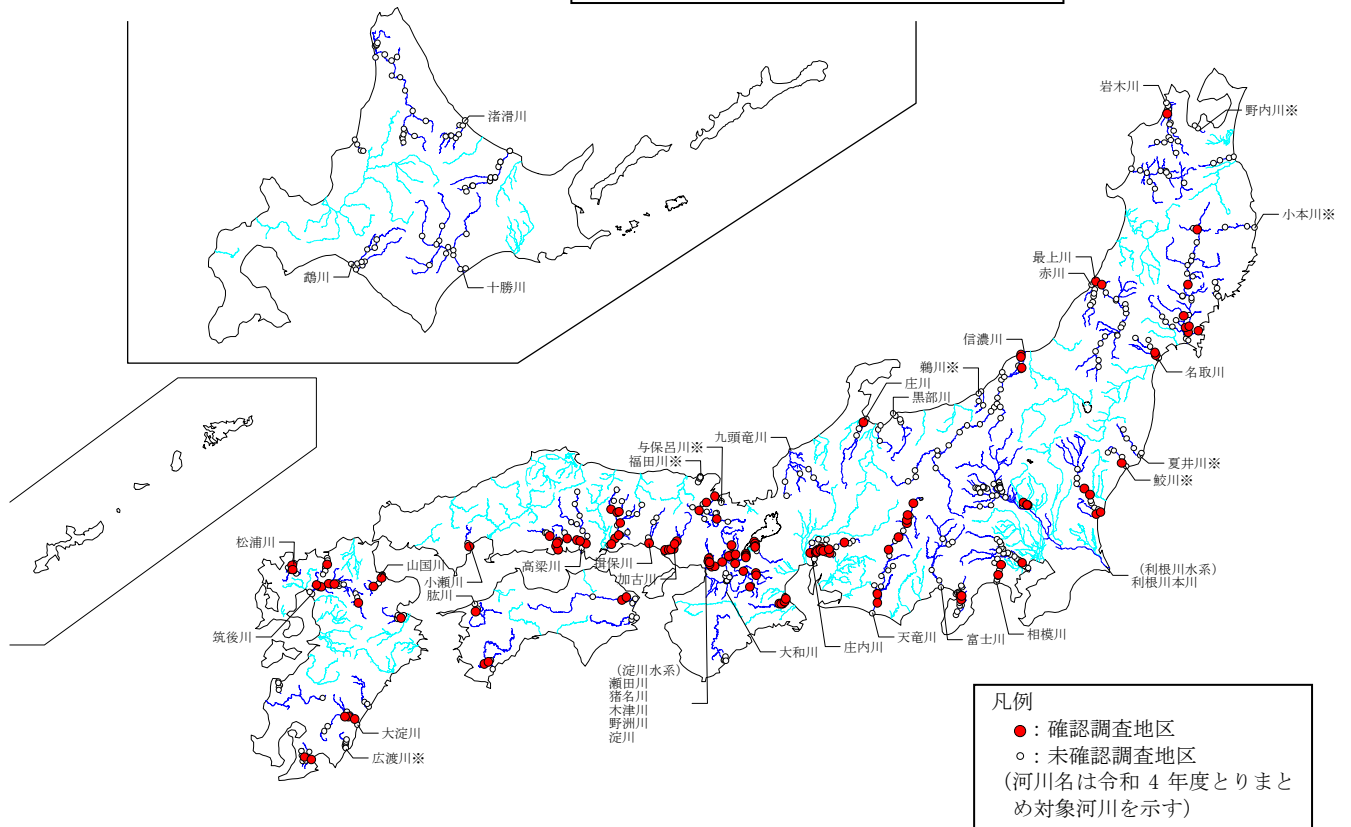
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ブルーギルの確認された調査地区（4 巡目調査、5 巡目調査）

6 巡目調査 (平成 28～令和 2 年度)



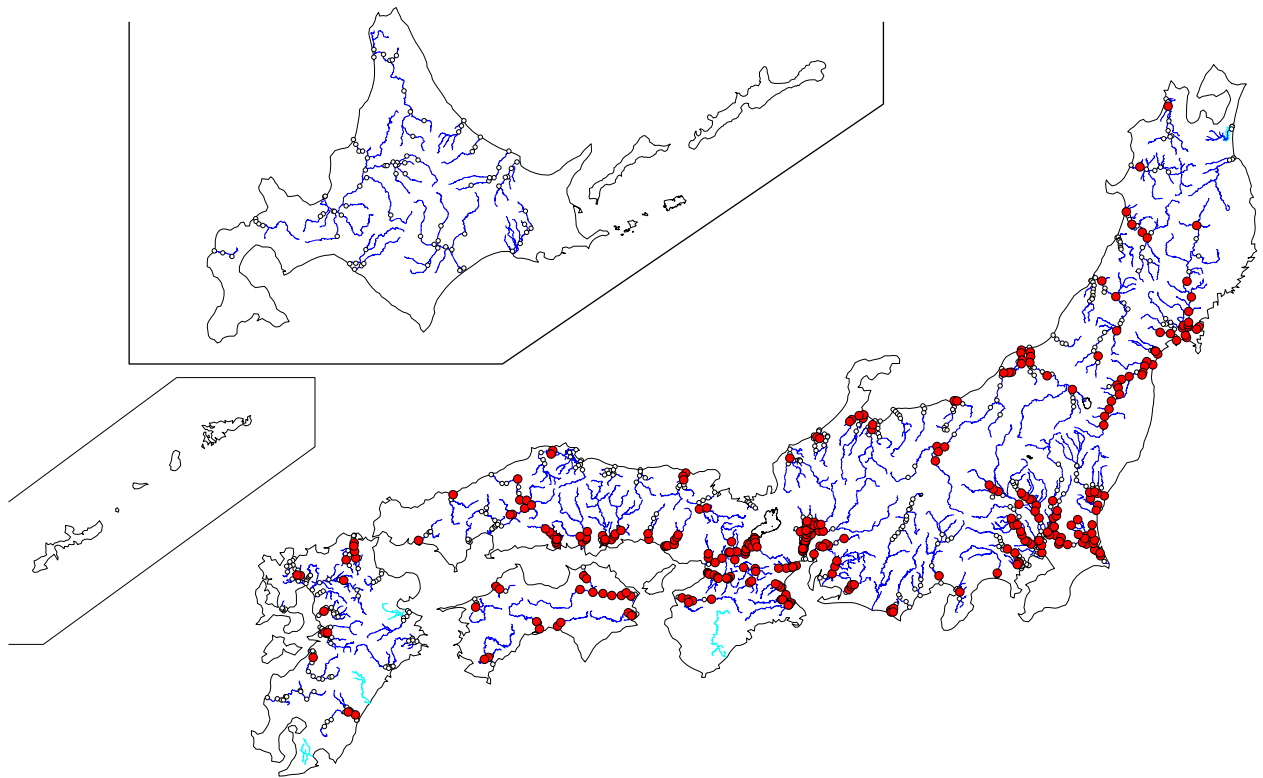
7 巡目調査 (令和 3～4 年度)



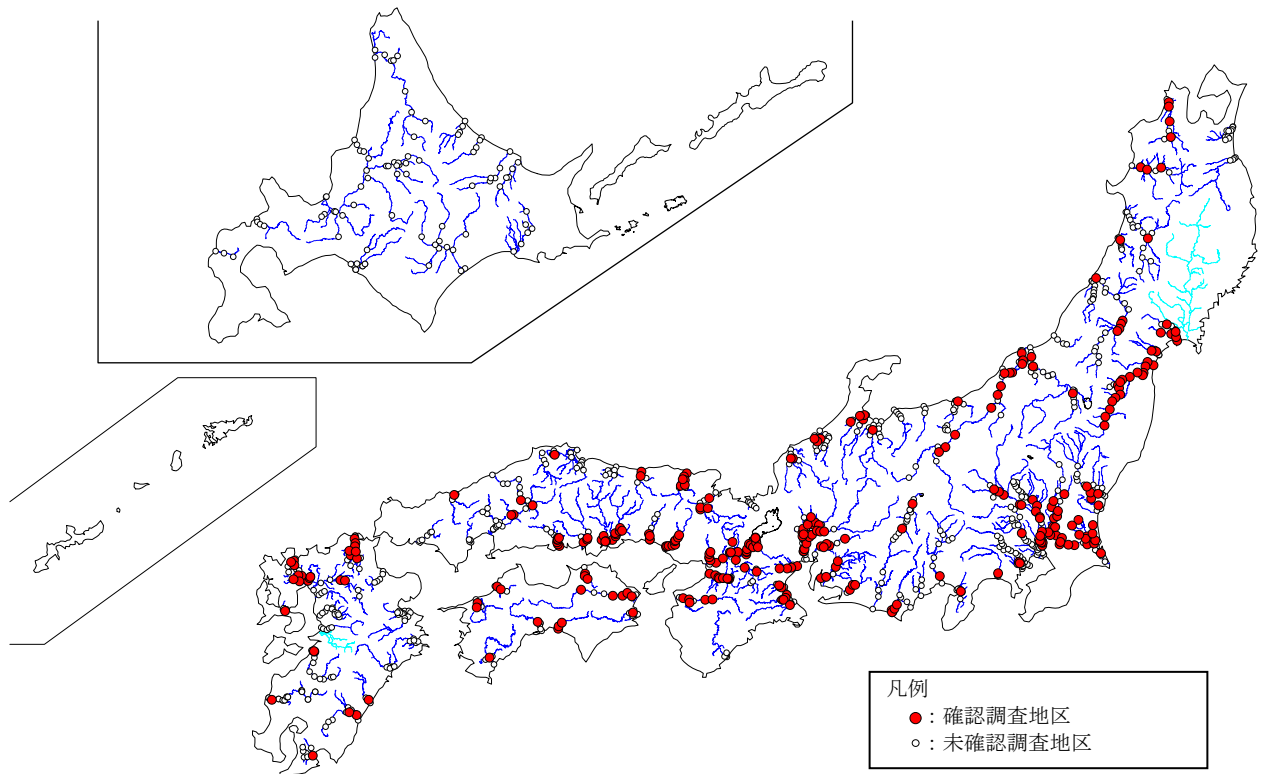
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系 (河川) を示す。

ブルーギルの確認された調査地区 (6 巡目調査、7 巡目調査)

2 巡目調査（平成 8～12 年度）



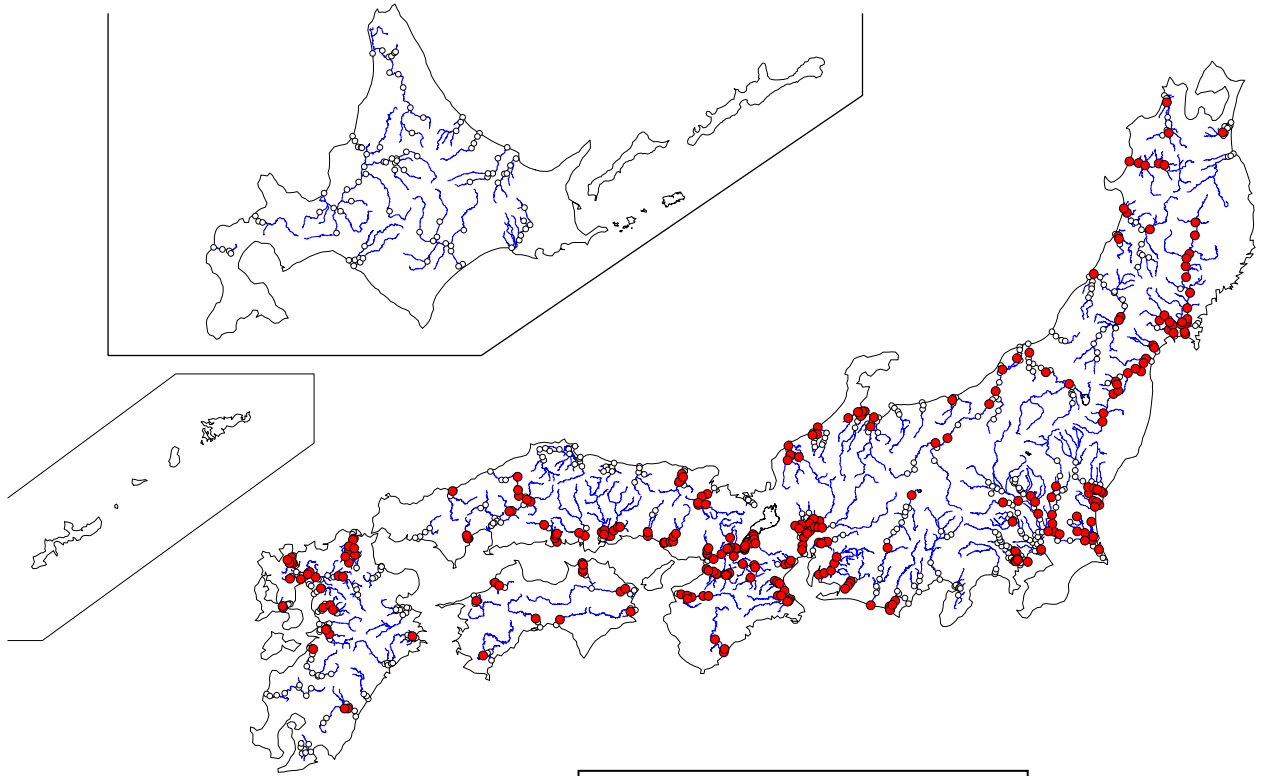
3 巡目調査（平成 13～17 年度）



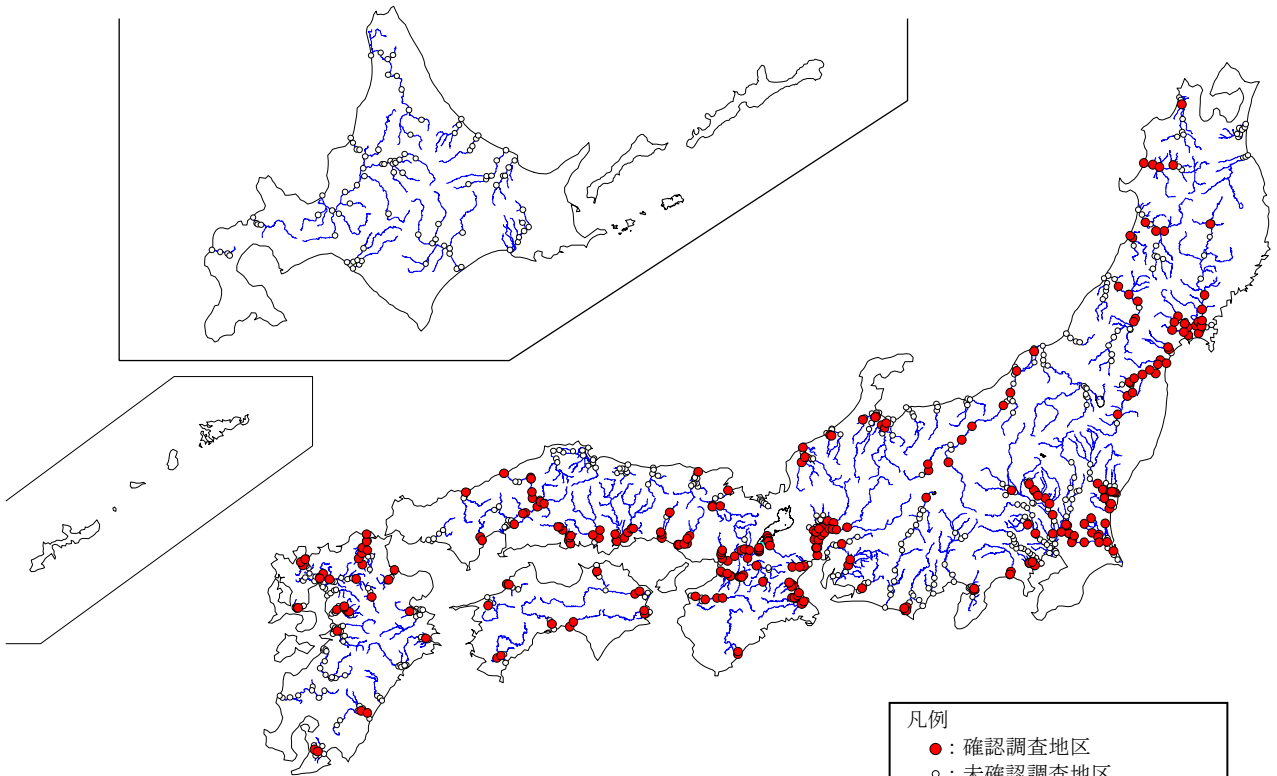
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

オオクチバスの確認された調査地区（2 巡目調査、3 巡目調査）

4 巡目調査 (平成 18～22 年度)




5 巡目調査 (平成 23～27 年度)



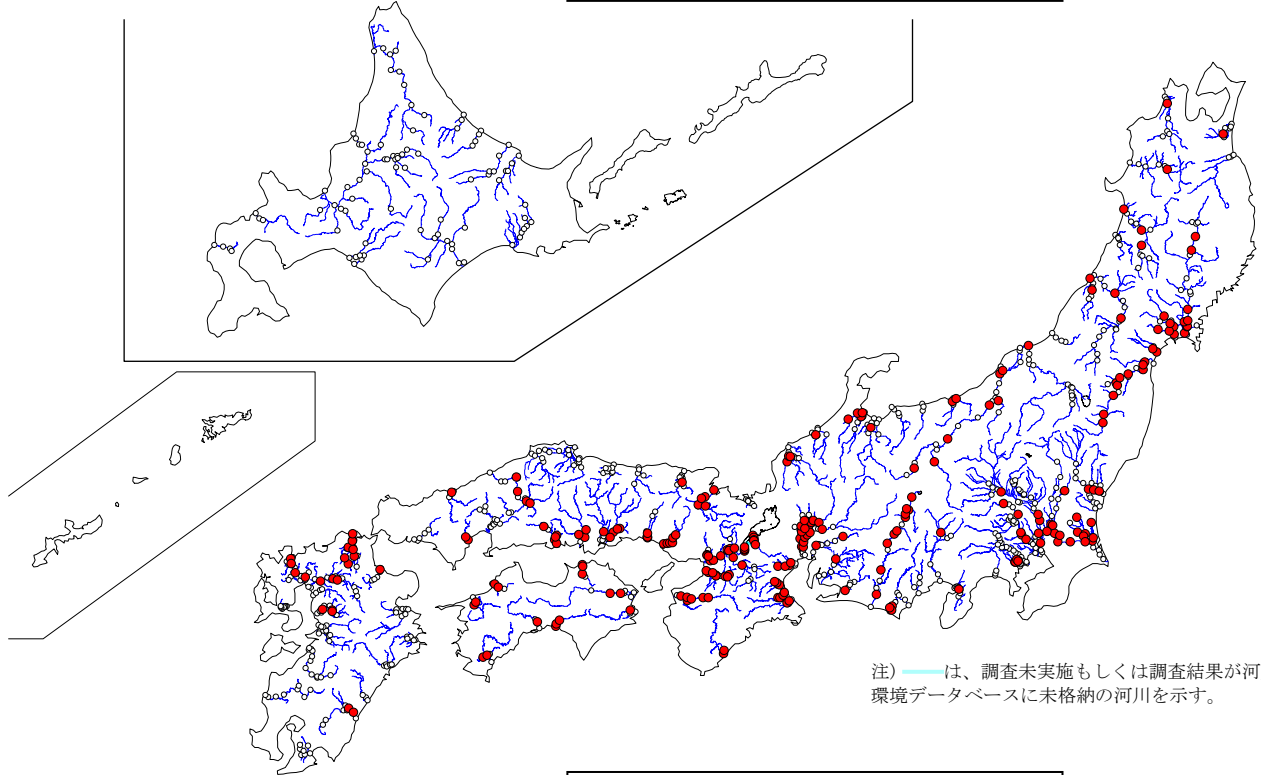
凡例

- : 確認調査地区
- : 未確認調査地区

注)  は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

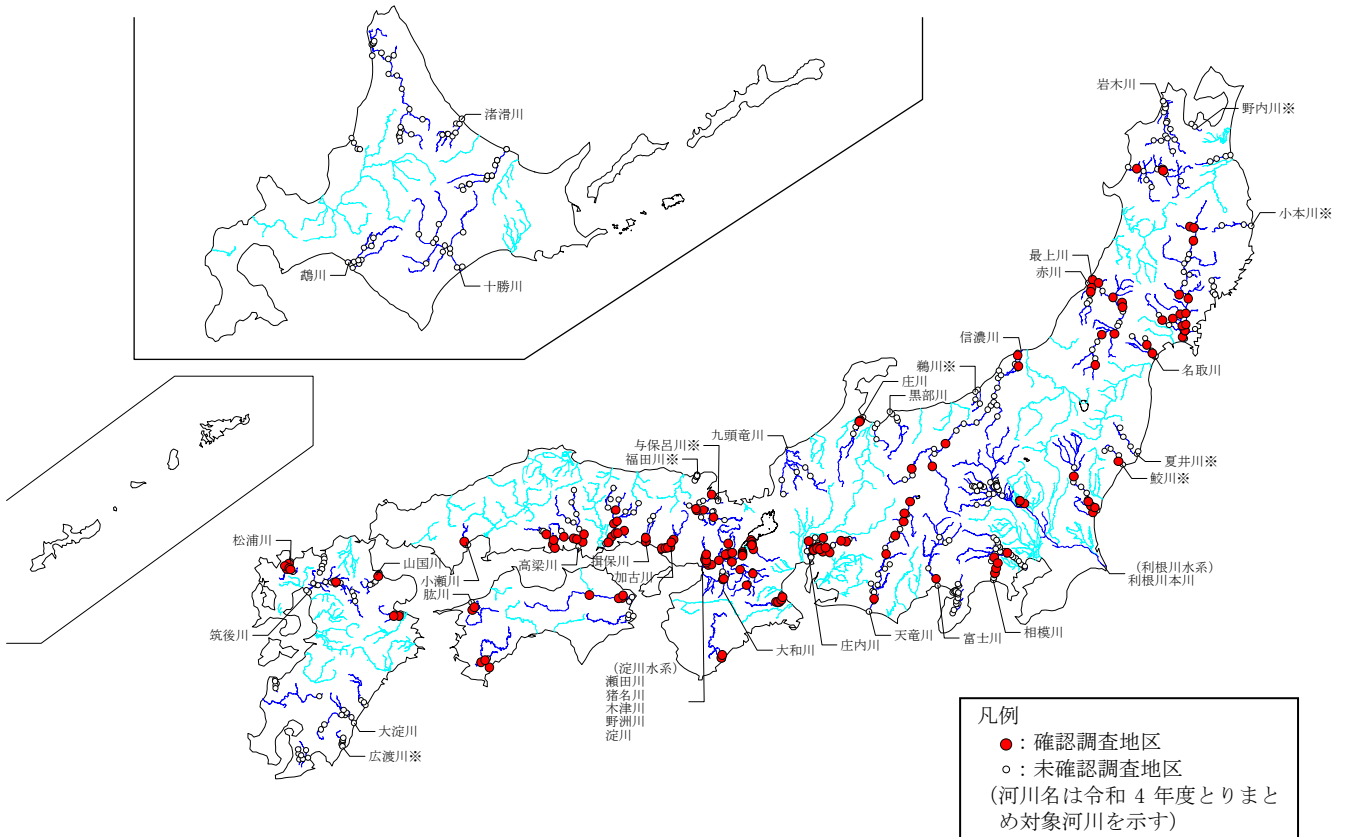
オオクチバスの確認された調査地区 (4 巡目調査、5 巡目調査)

6 巡目調査 (平成 28～令和 2 年度)



注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

7 巡目調査 (令和 3～4 年度)

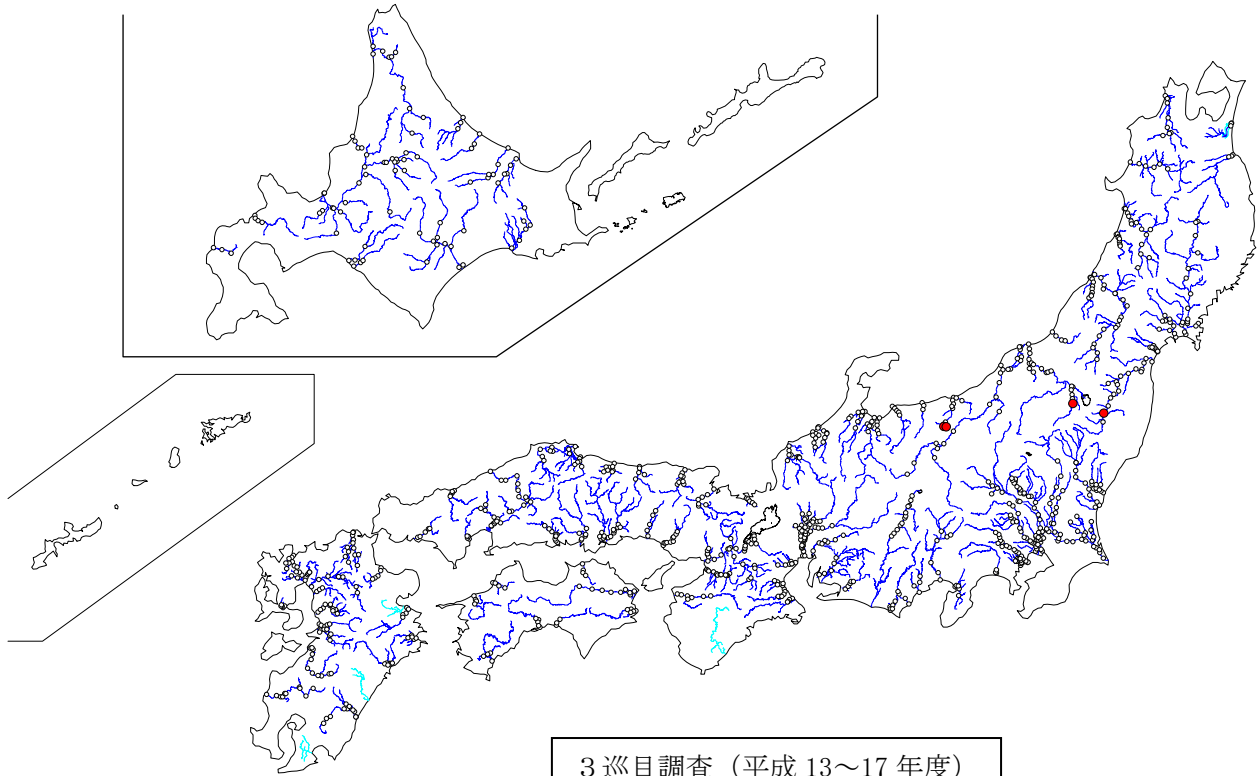


凡例
 ●: 確認調査地区
 ○: 未確認調査地区
 (河川名は令和 4 年度とりまとめ対象河川を示す)

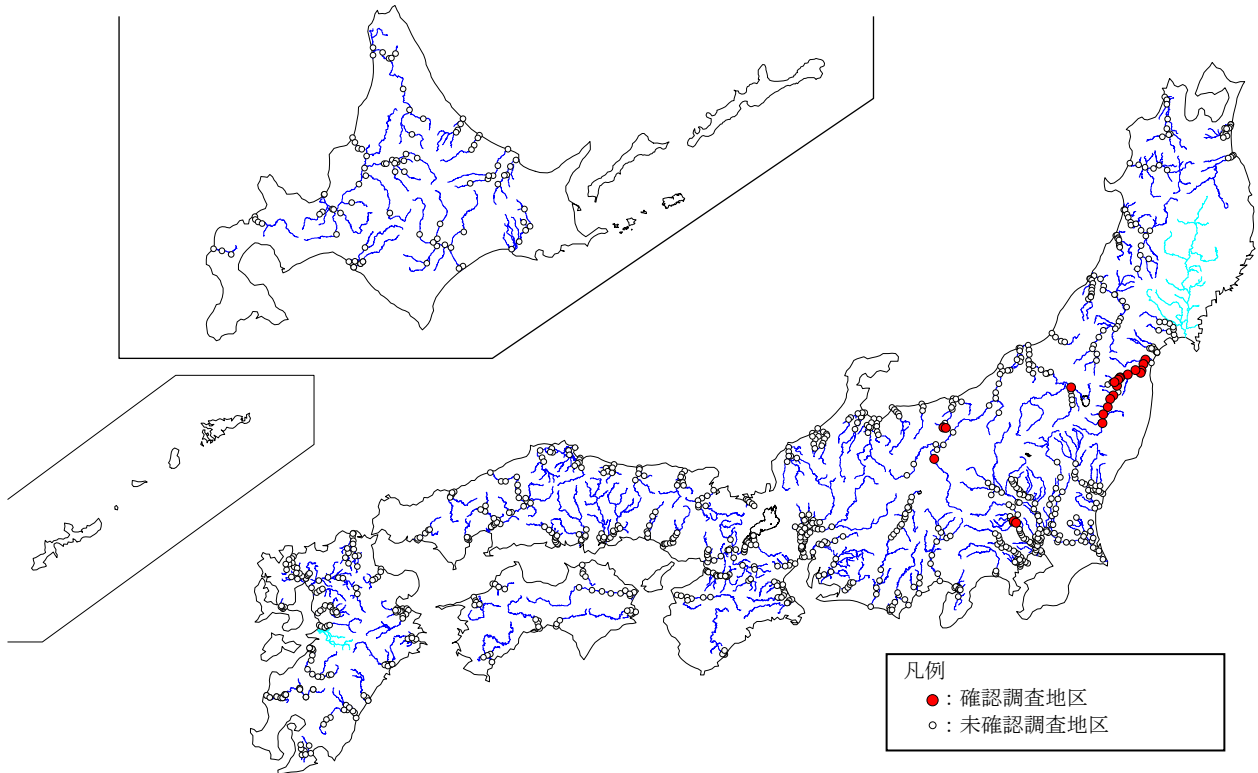
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系 (河川) を示す。

オオクチバスの確認された調査地区 (6 巡目調査、7 巡目調査)

2 巡目調査（平成 8～12 年度）



3 巡目調査（平成 13～17 年度）

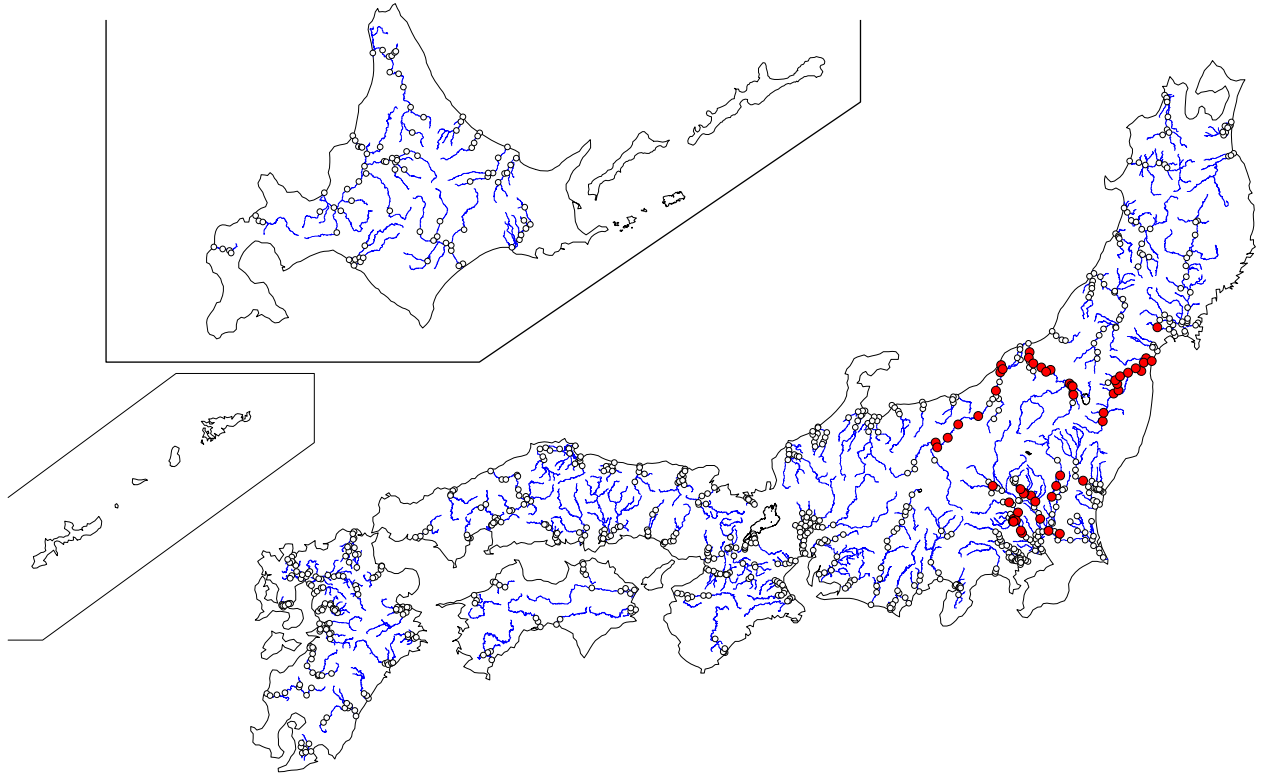


- 凡例
- : 確認調査地区
 - : 未確認調査地区

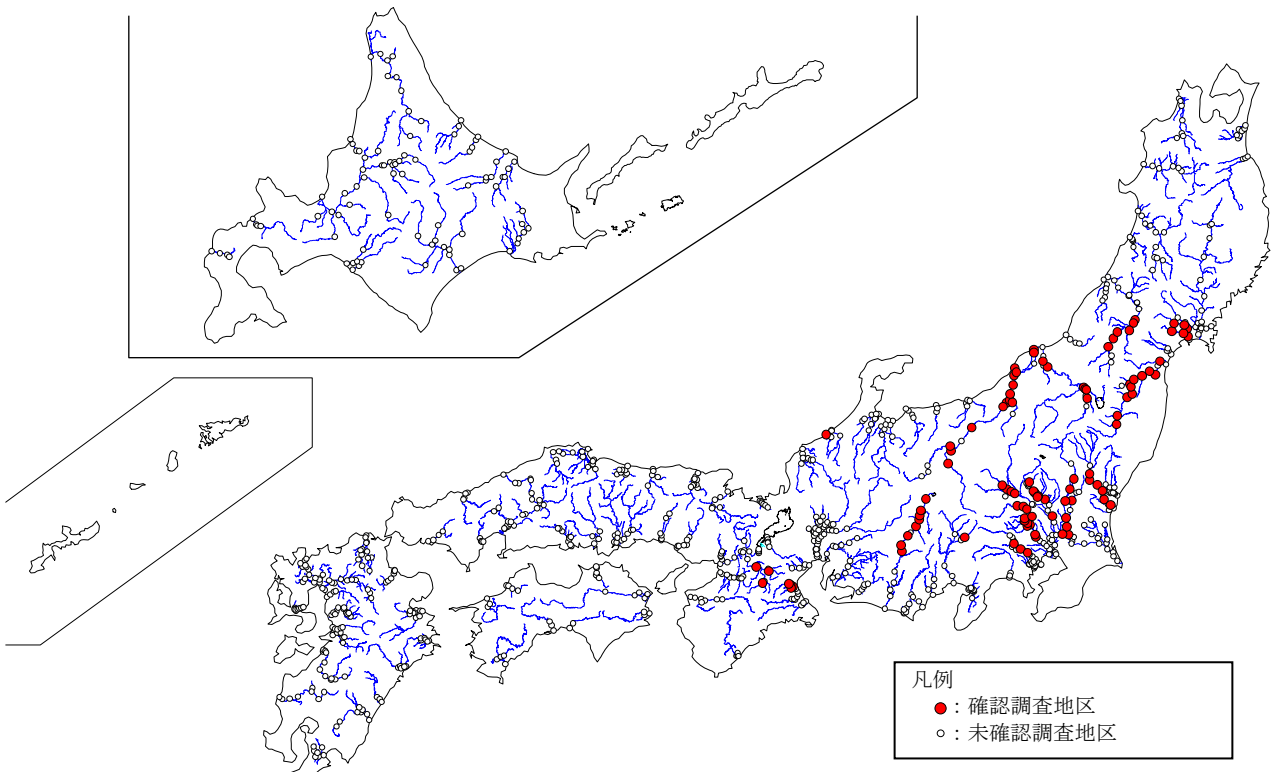
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

コクチバスの確認された調査地区（2 巡目調査、3 巡目調査）

4巡目調査（平成18～22年度）



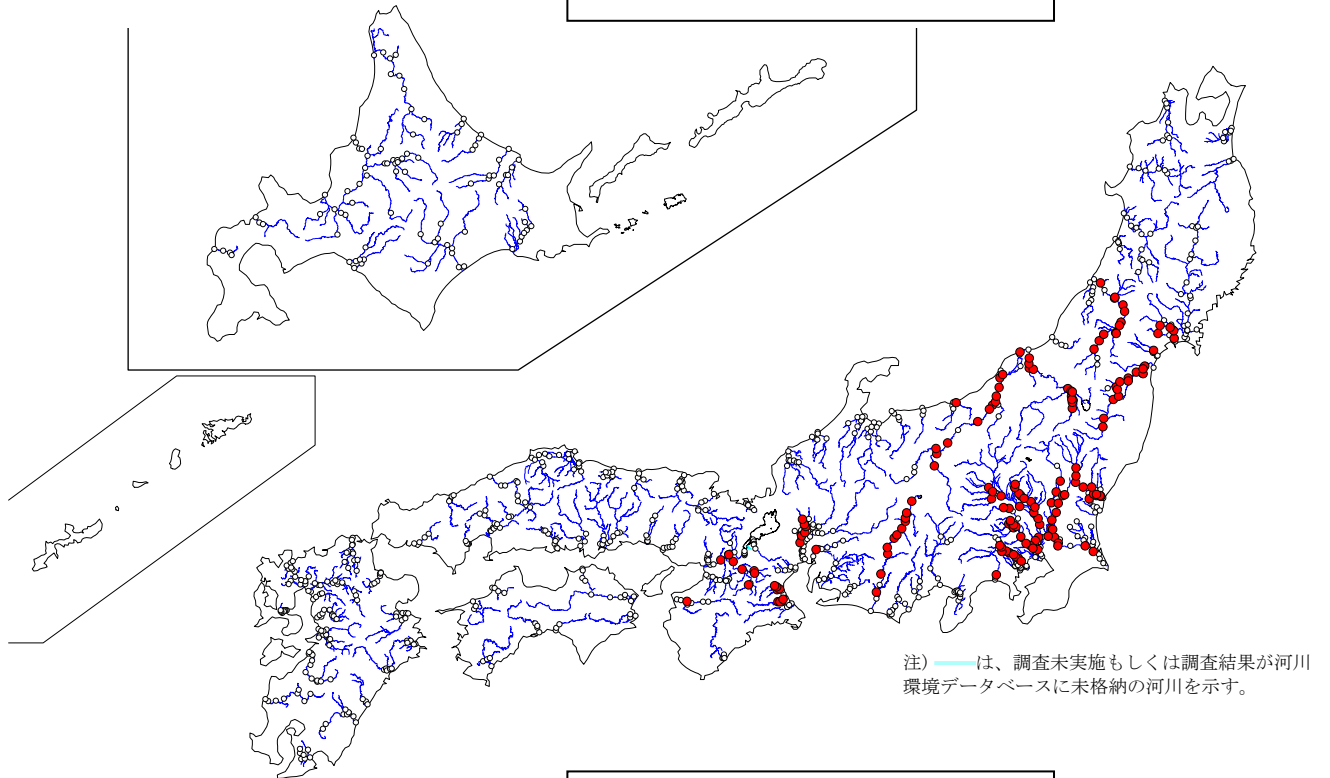
5巡目調査（平成23～27年度）



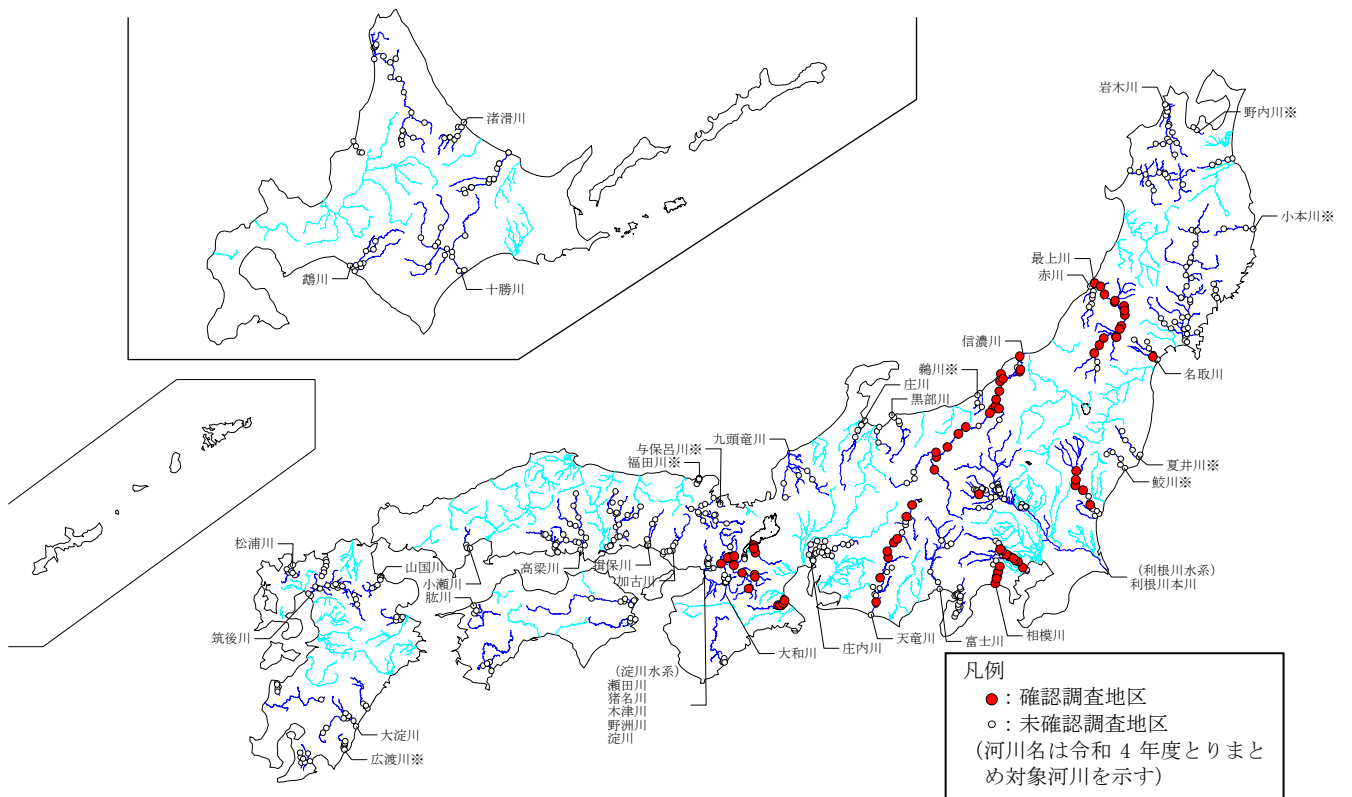
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

コクチバスの確認された調査地区（4巡目調査、5巡目調査）

6 巡目調査（平成 28～令和 2 年度）



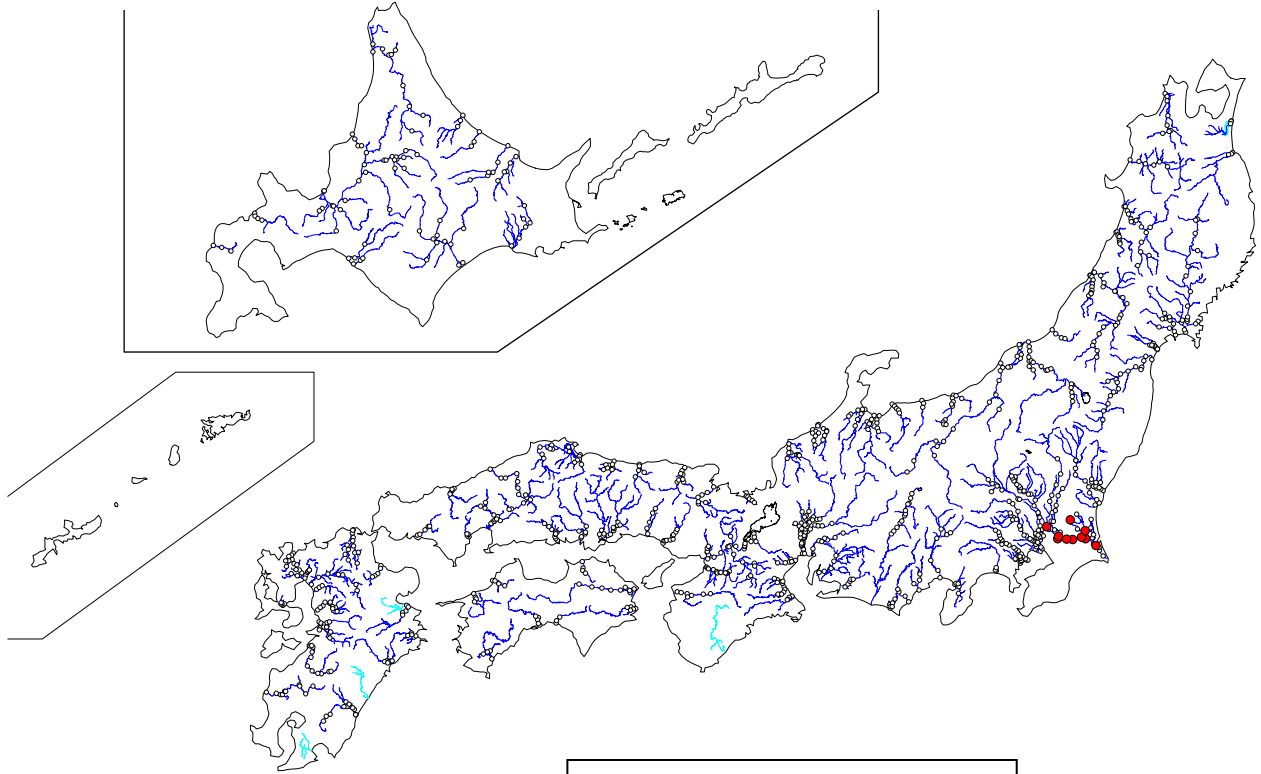
7 巡目調査（令和 3～4 年度）



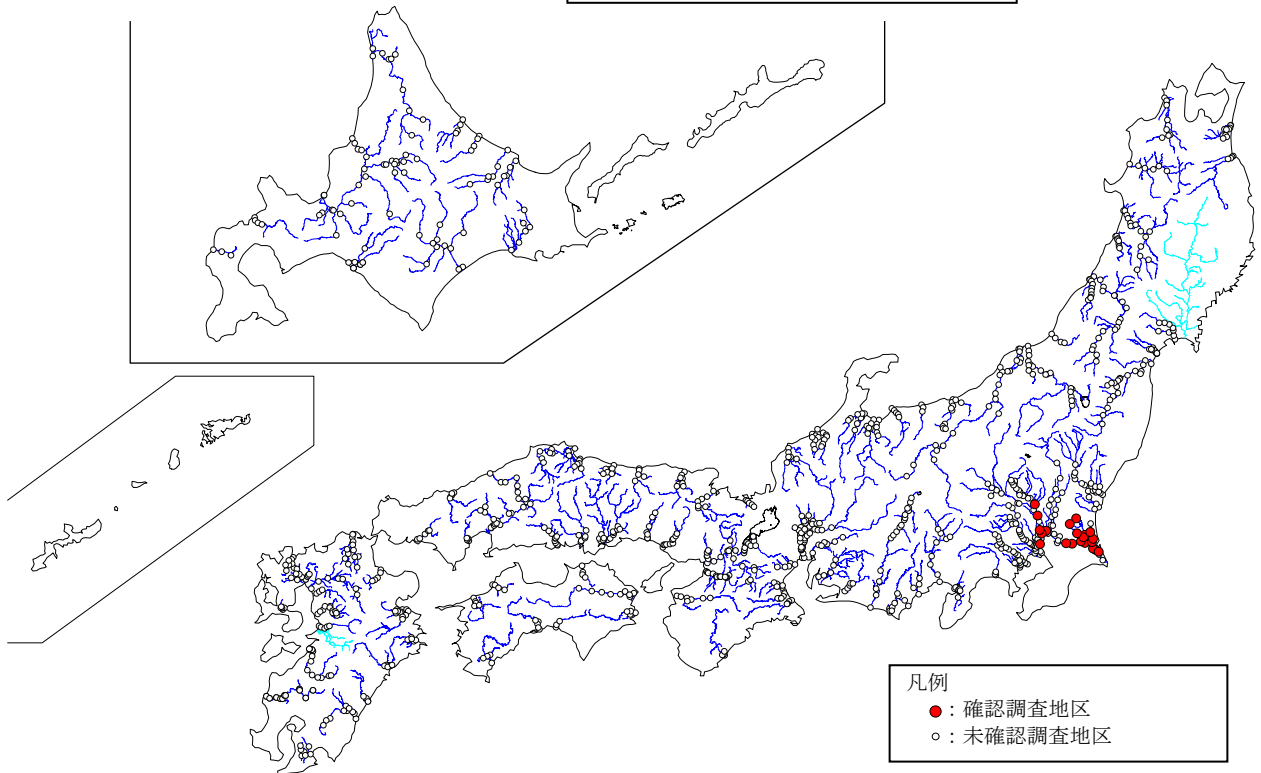
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系（河川）を示す。

コクチバスの確認された調査地区（6 巡目調査、7 巡目調査）

2 巡目調査（平成 8～12 年度）



3 巡目調査（平成 13～17 年度）



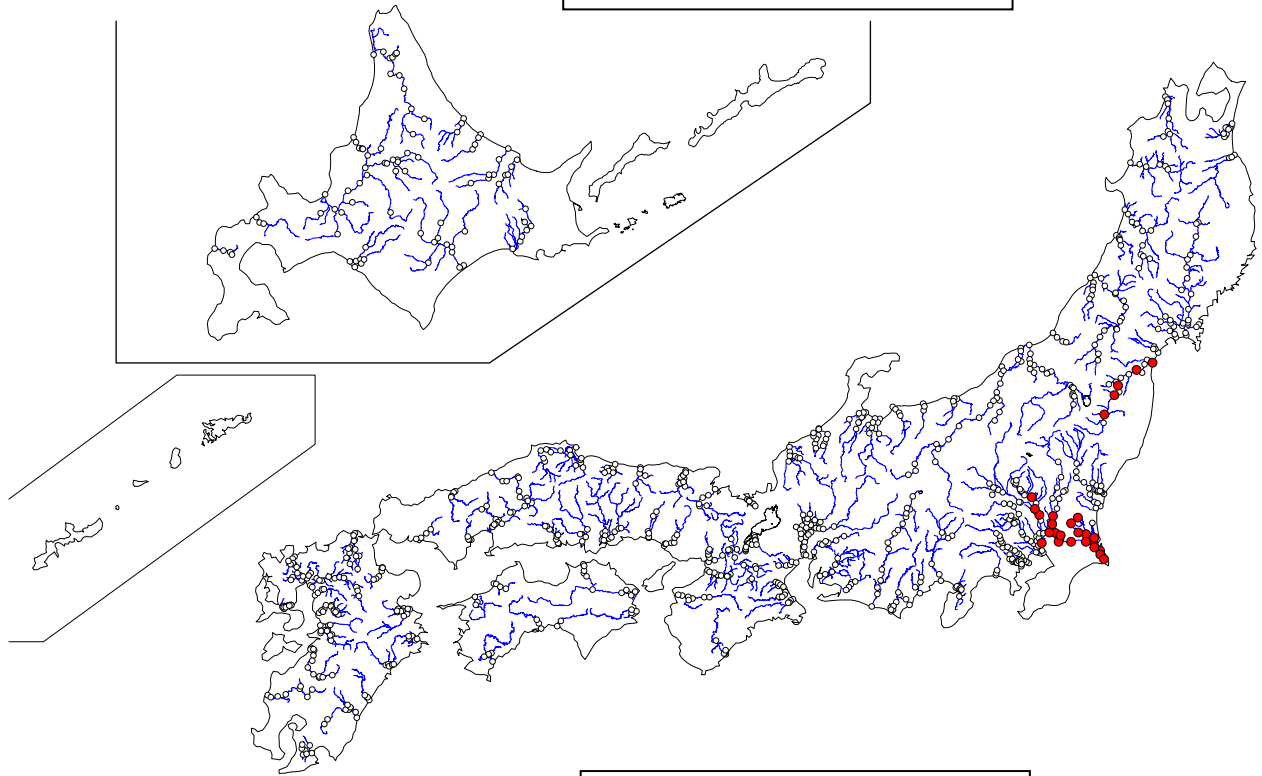
凡例

- : 確認調査地区
- : 未確認調査地区

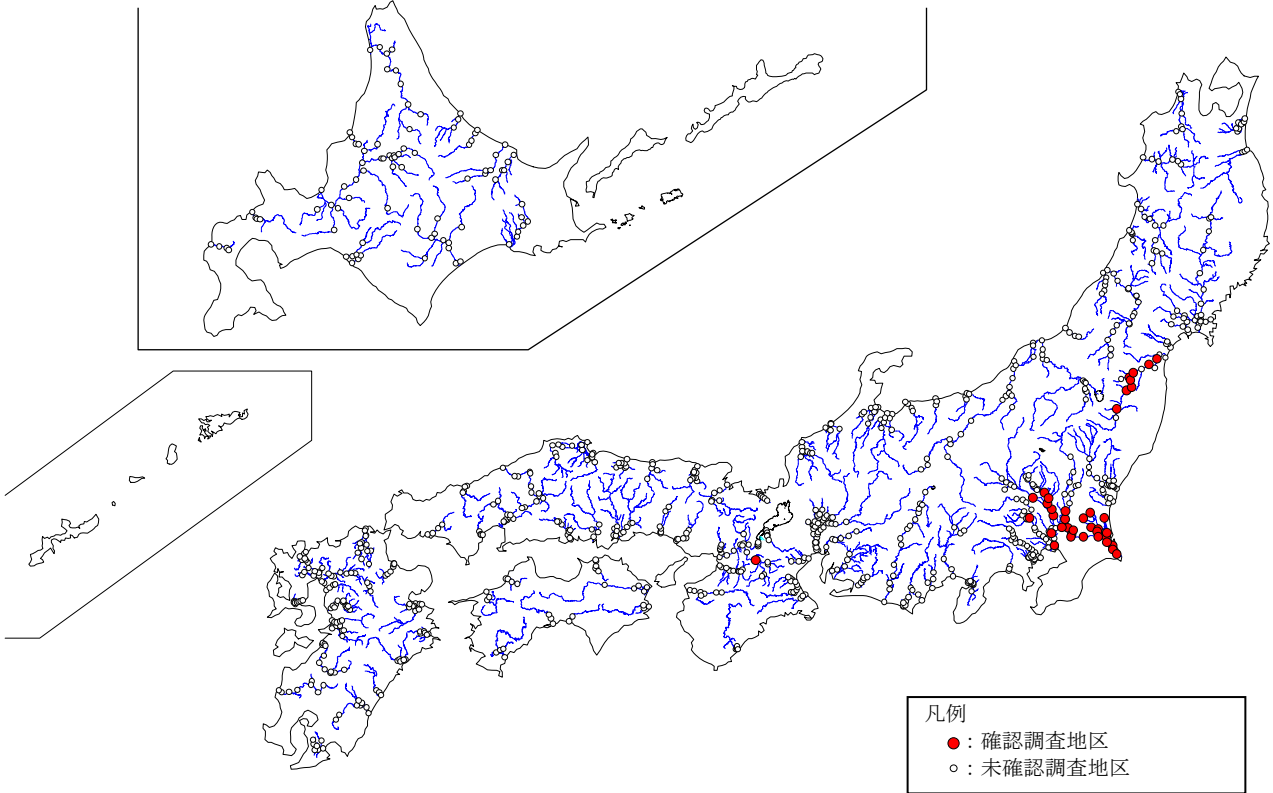
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

チャンネルキャットフィッシュの確認された調査地区（2 巡目調査、3 巡目調査）

4 巡目調査（平成 18～22 年度）



5 巡目調査（平成 23～27 年度）



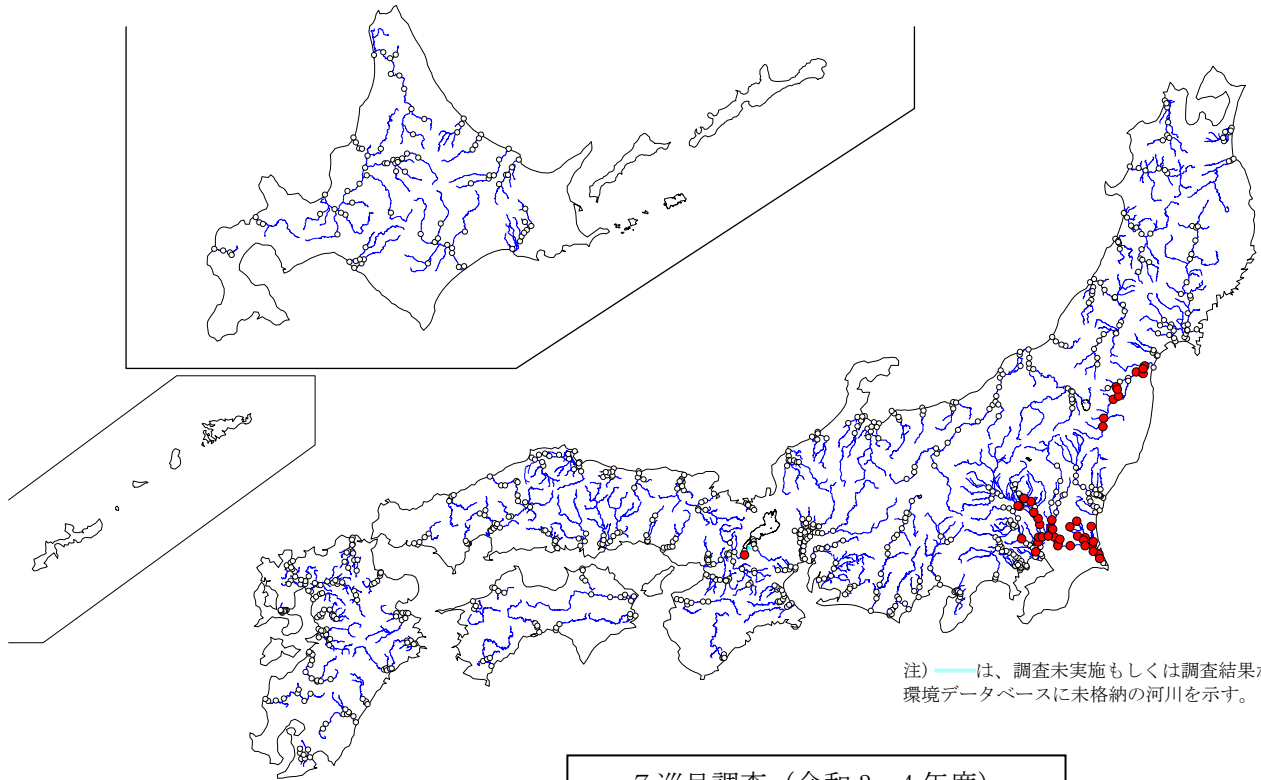
凡例

- : 確認調査地区
- : 未確認調査地区

注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

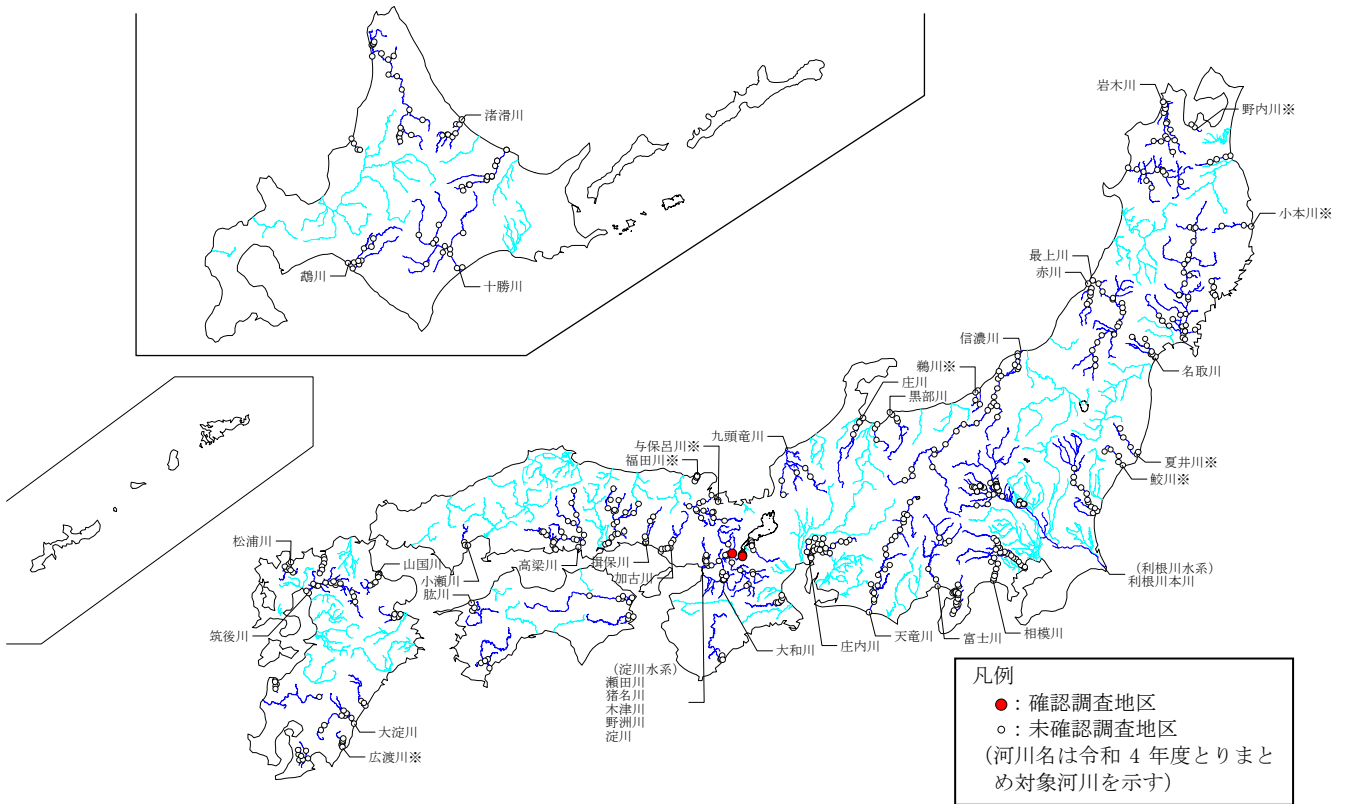
チャンネルキャットフィッシュの確認された調査地区（4 巡目調査、5 巡目調査）

6 巡目調査（平成 28～令和 2 年度）



注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

7 巡目調査（令和 3～4 年度）

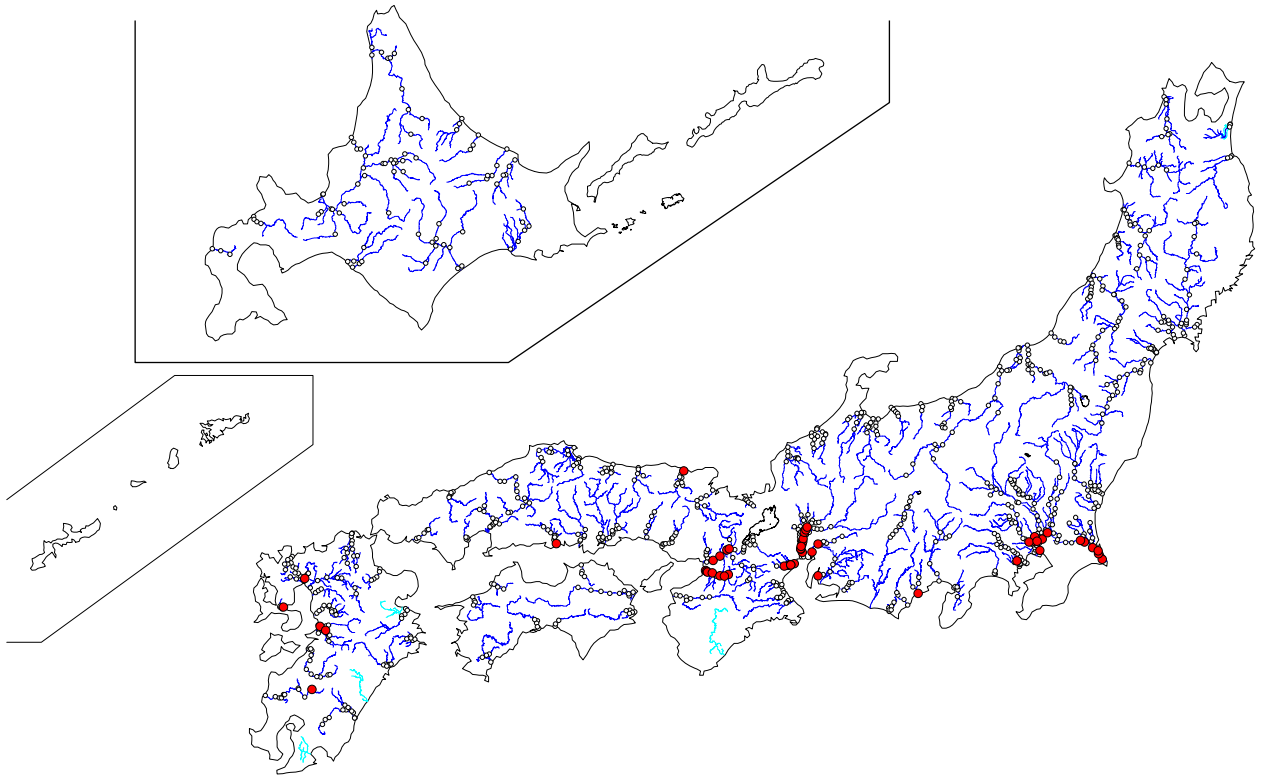


凡例
 ●：確認調査地区
 ○：未確認調査地区
 (河川名は令和 4 年度とりまとめ対象河川を示す)

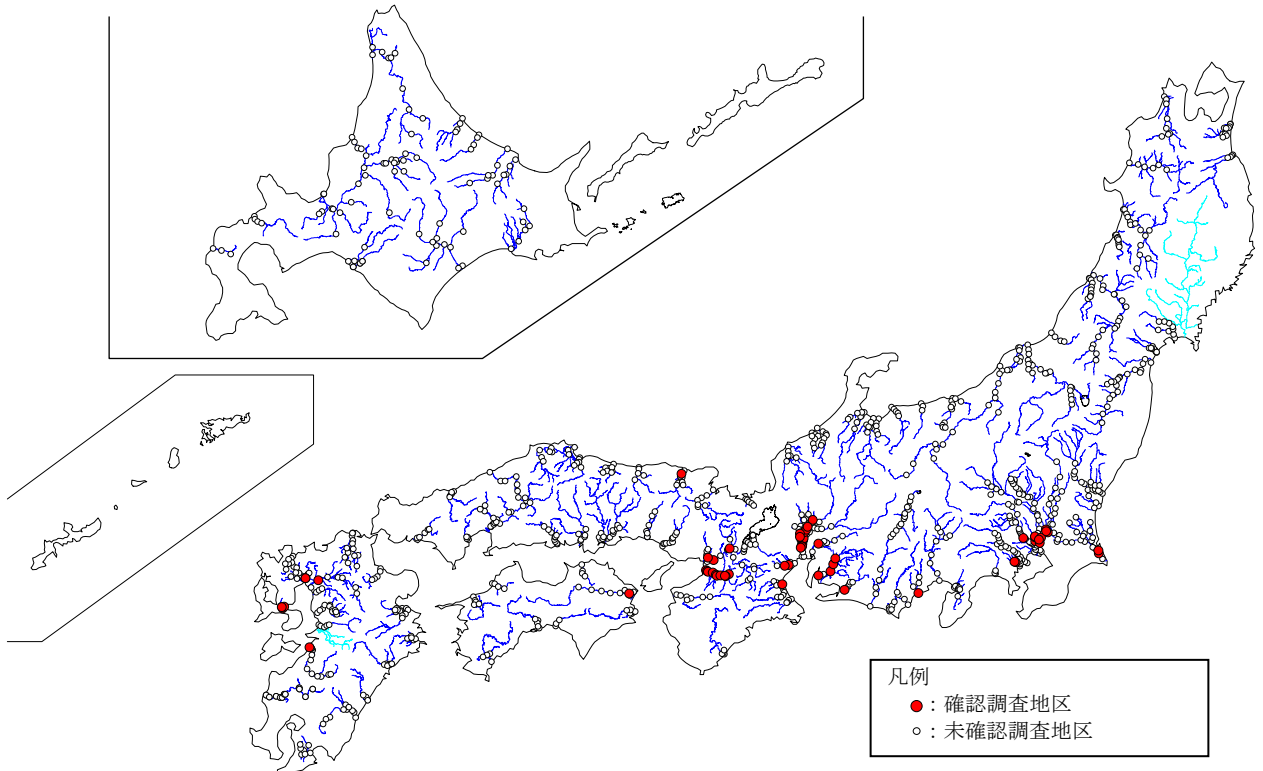
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系（河川）を示す。

チャンネルキャットフィッシュの確認された調査地区（6 巡目調査、7 巡目調査）

2巡目調査（平成8～12年度）



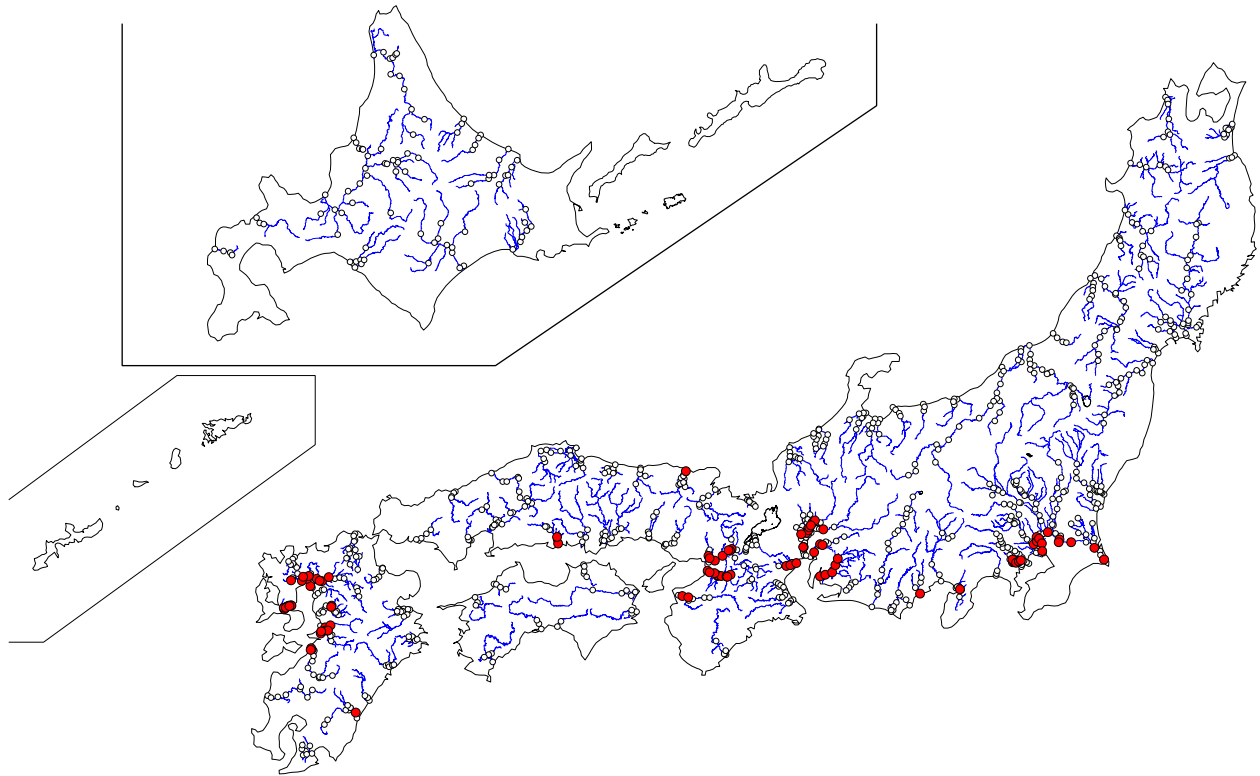
3巡目調査（平成13～17年度）



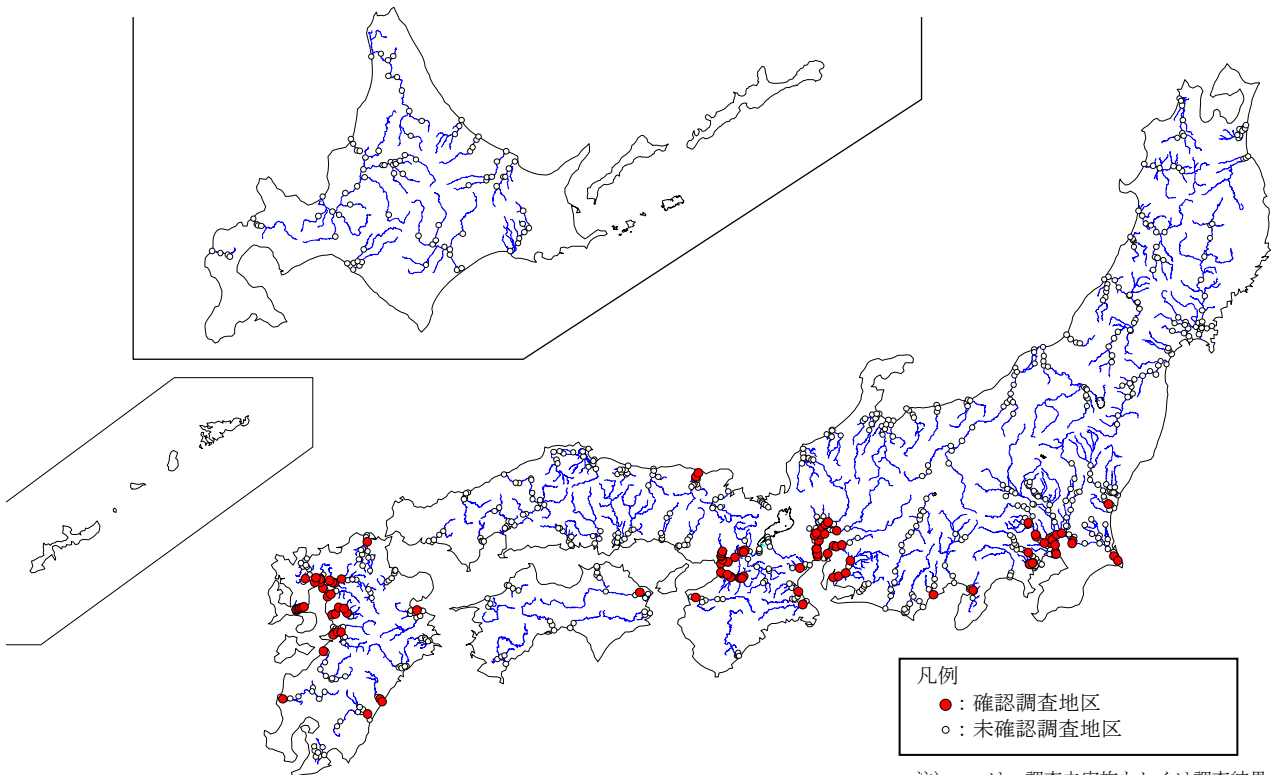
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

カダヤシの確認された調査地区（2巡目調査、3巡目調査）


4 巡目調査（平成 18～22 年度）



5 巡目調査（平成 23～27 年度）

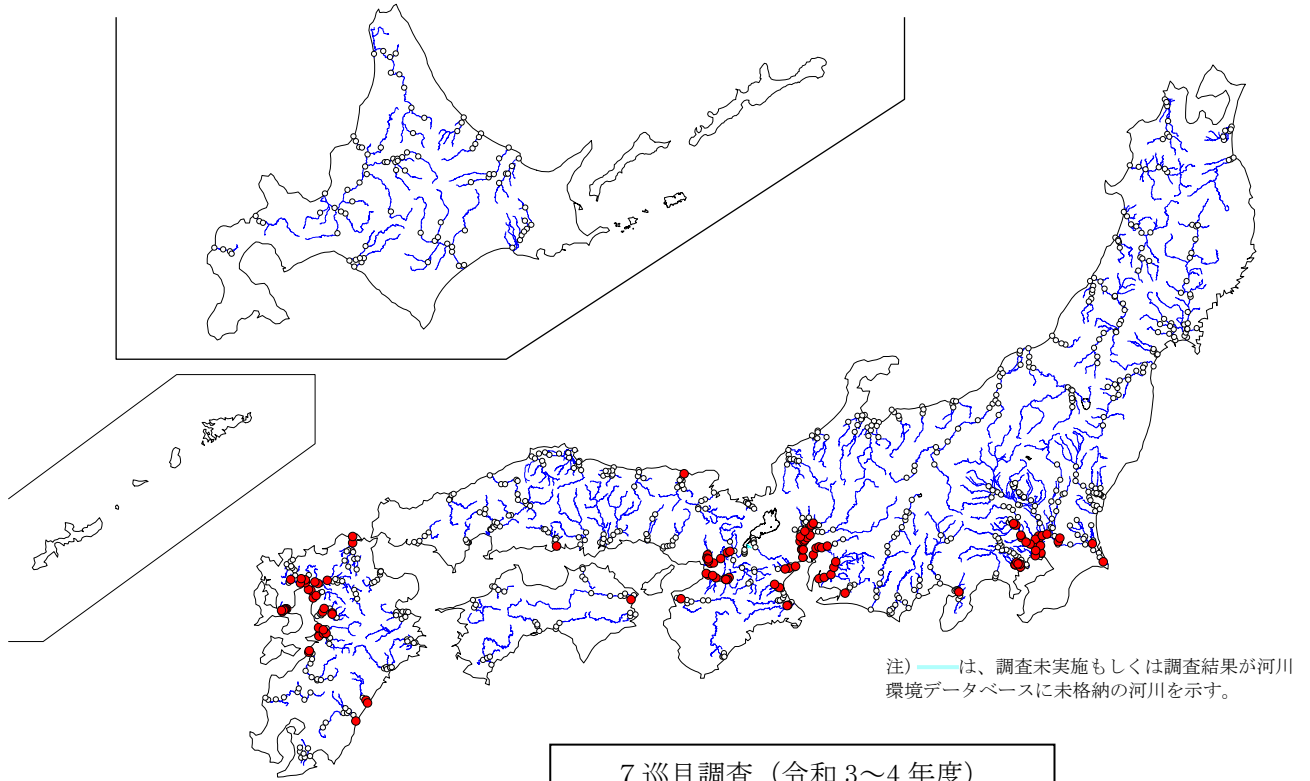


- 凡例
- : 確認調査地区
 - : 未確認調査地区

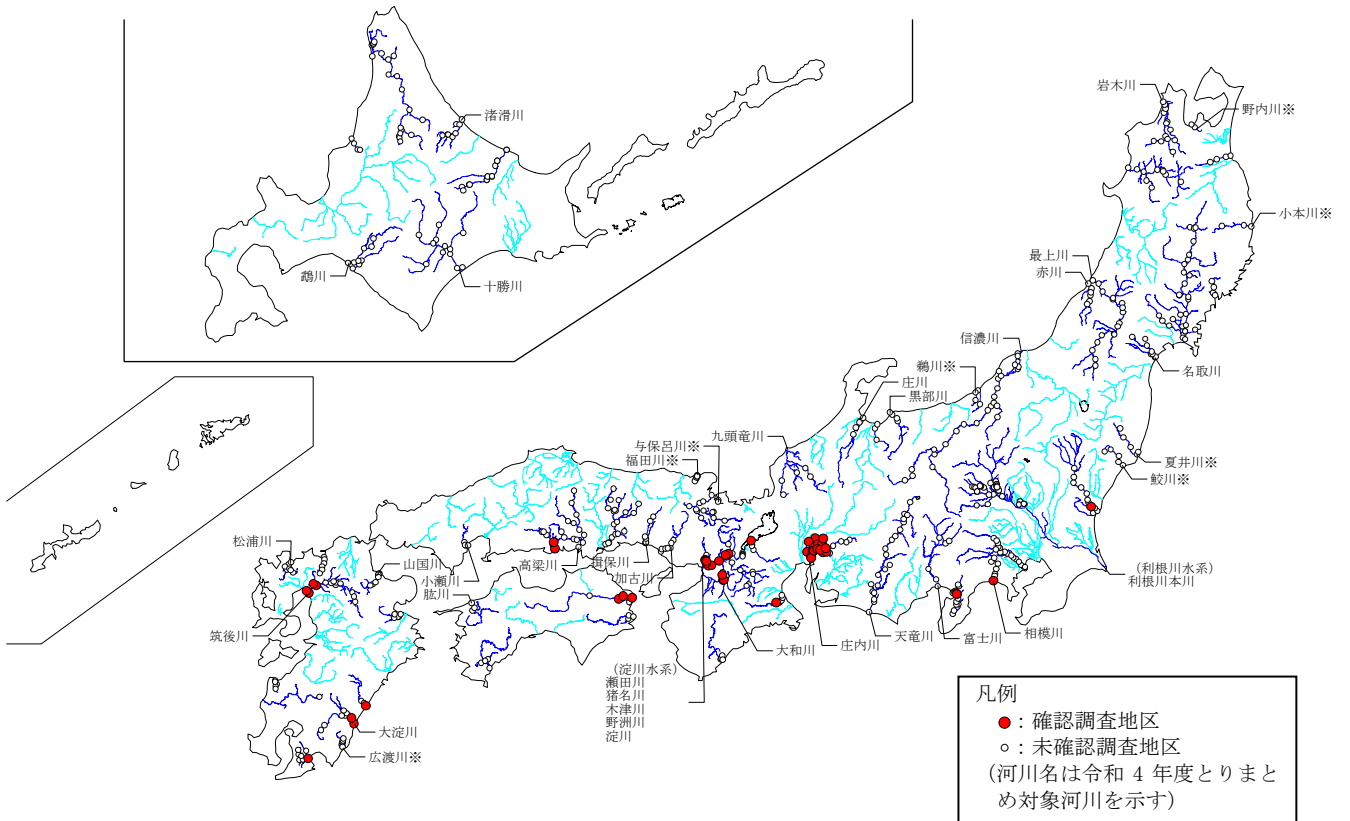
注)  は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

カダヤシの確認された調査地区（4 巡目調査、5 巡目調査）

6 巡目調査 (平成 28～令和 2 年度)



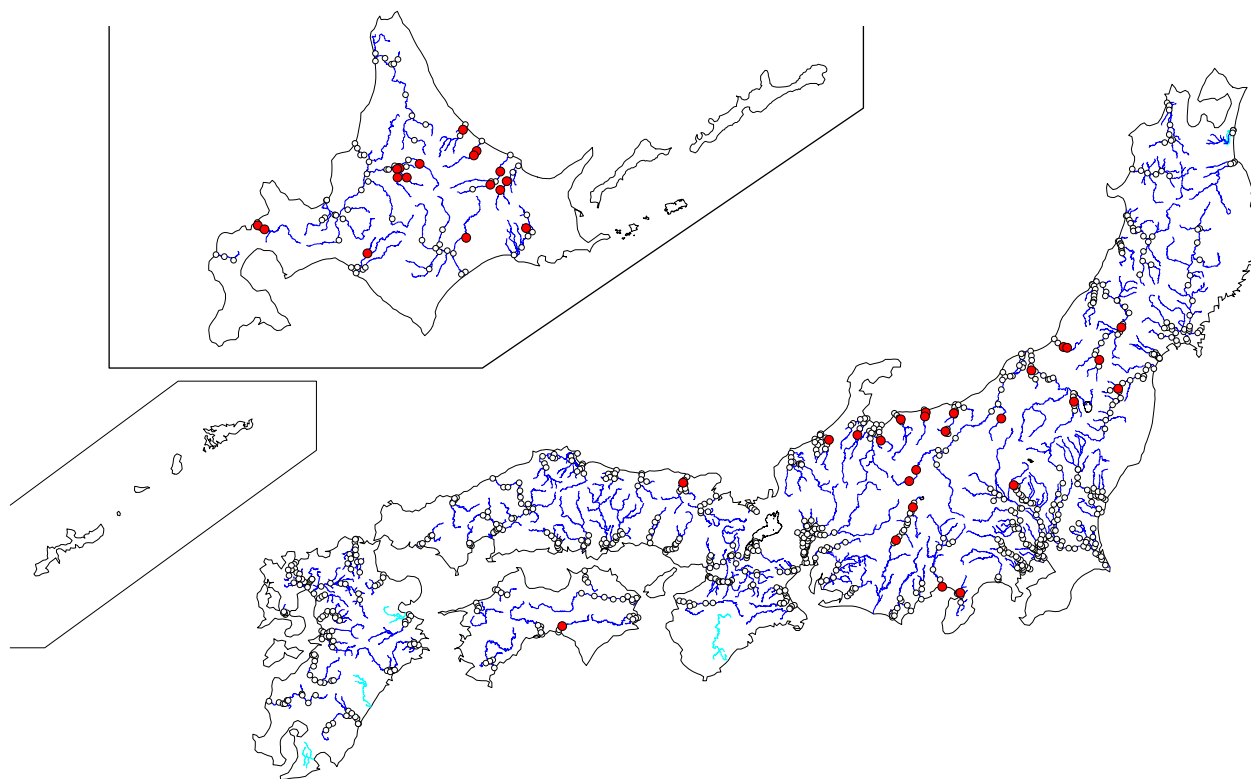
7 巡目調査 (令和 3～4 年度)



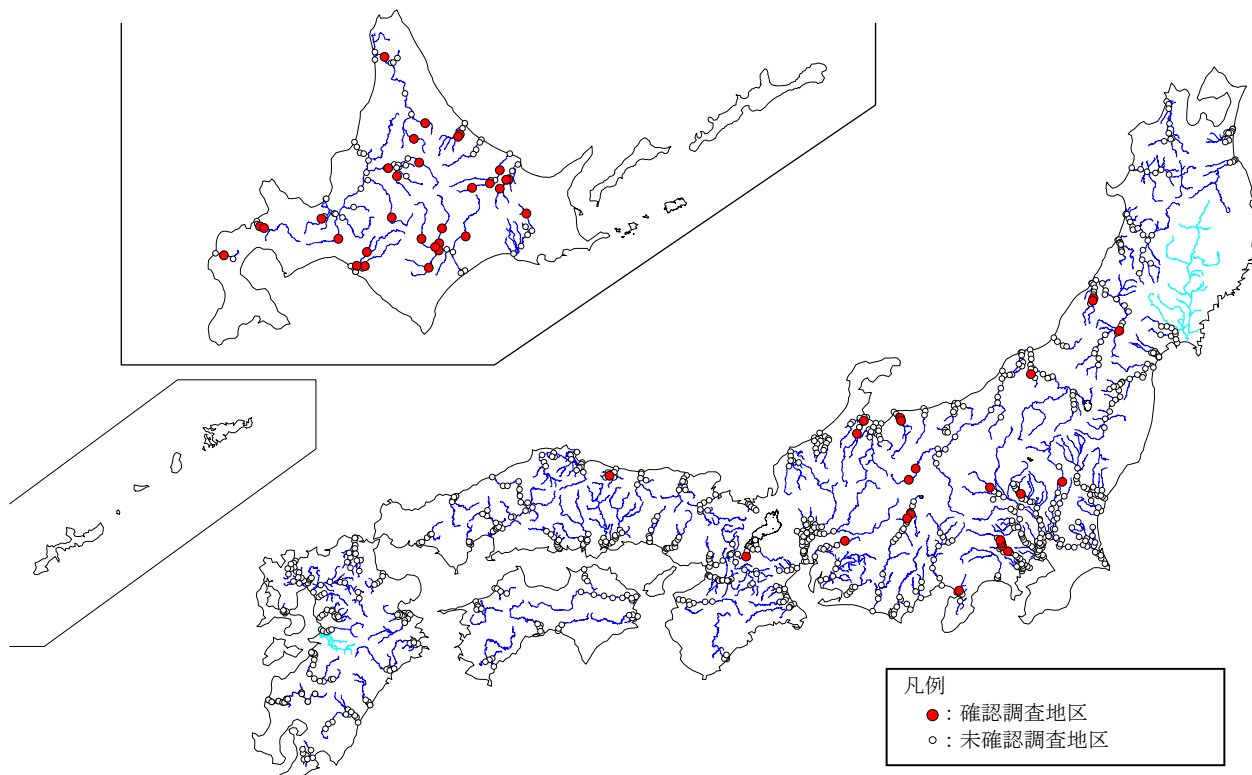
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系 (河川) を示す。

カダヤシの確認された調査地区 (6 巡目調査、7 巡目調査)

2 巡目調査（平成 8～12 年度）



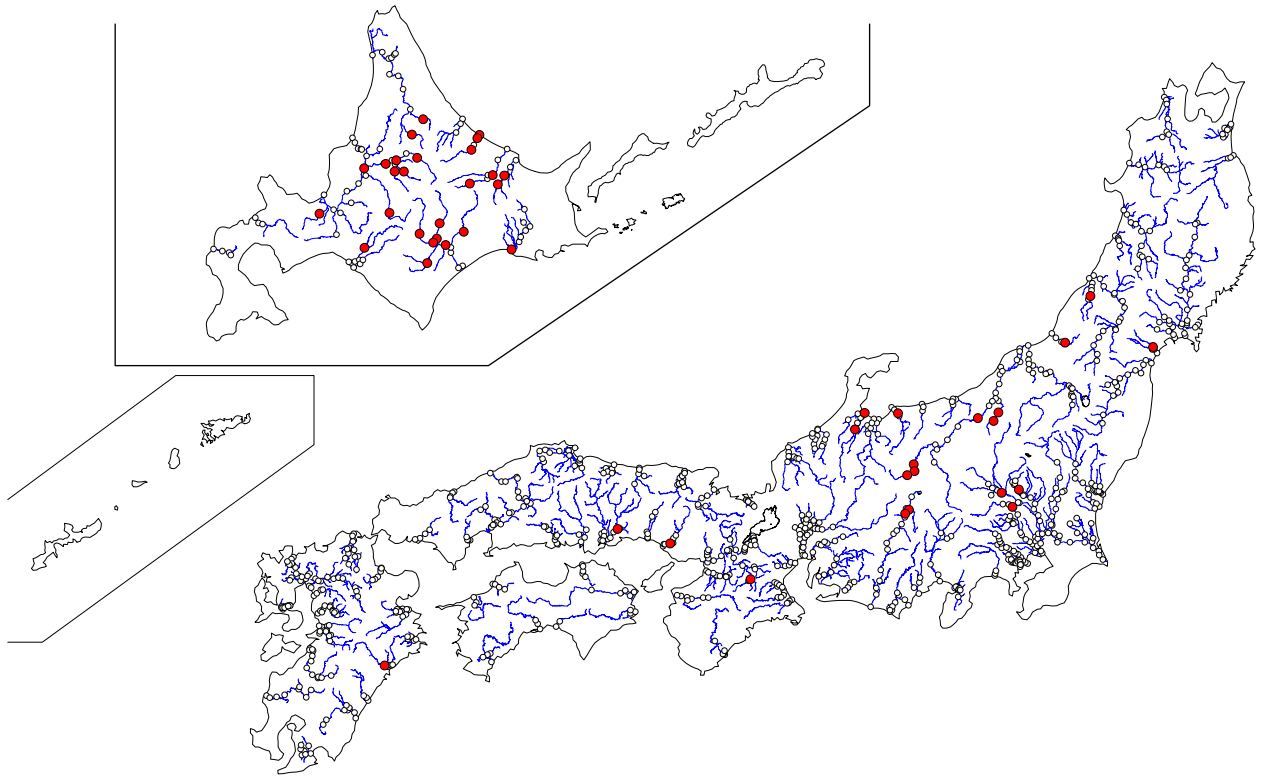
3 巡目調査（平成 13～17 年度）



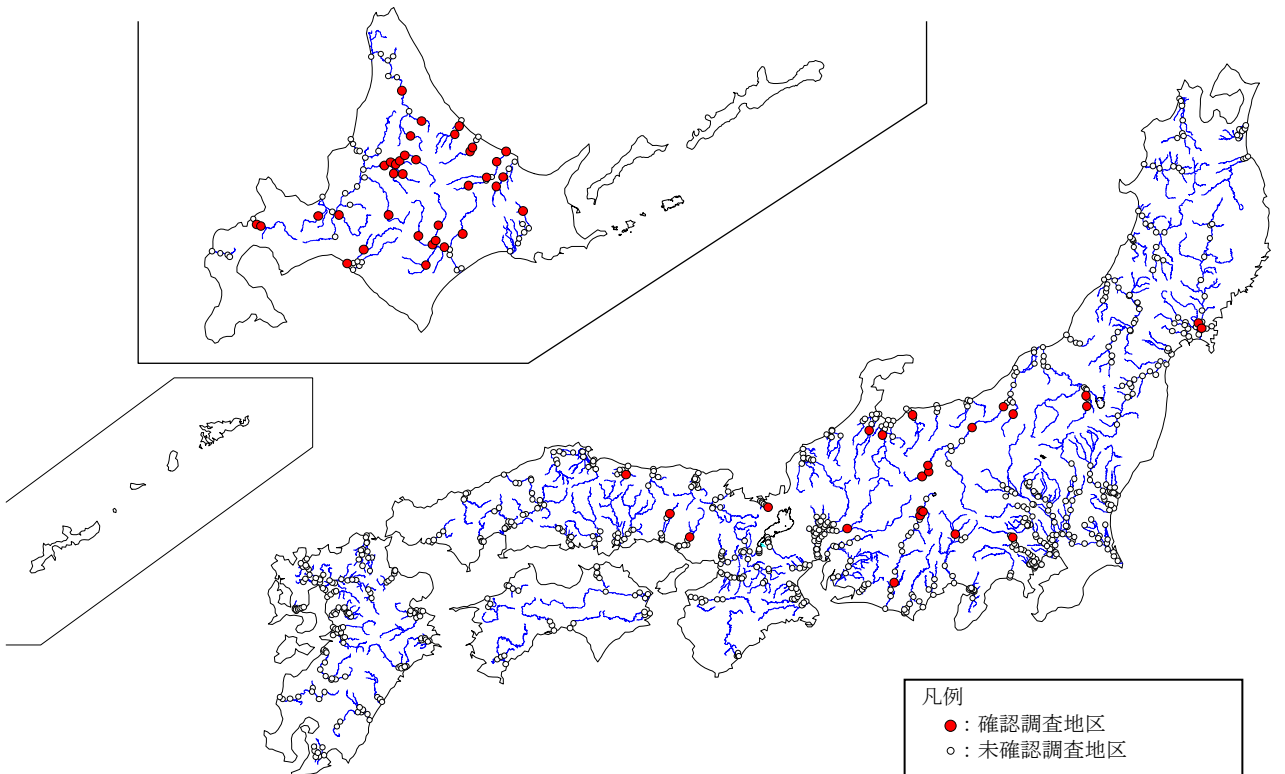
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ニジマスの確認された調査地区（2 巡目調査、3 巡目調査）

4 巡目調査（平成 18～22 年度）



5 巡目調査（平成 23～27 年度）

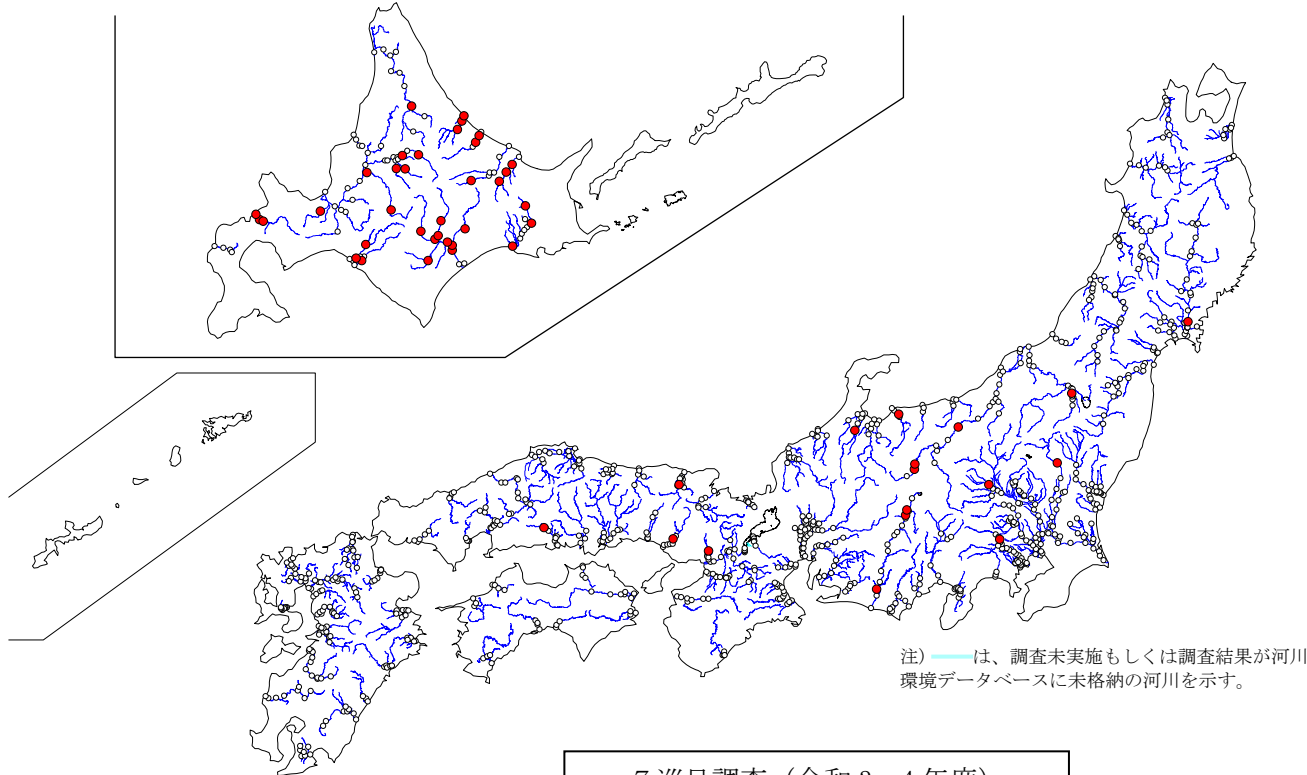


- 凡例
- : 確認調査地区
 - : 未確認調査地区

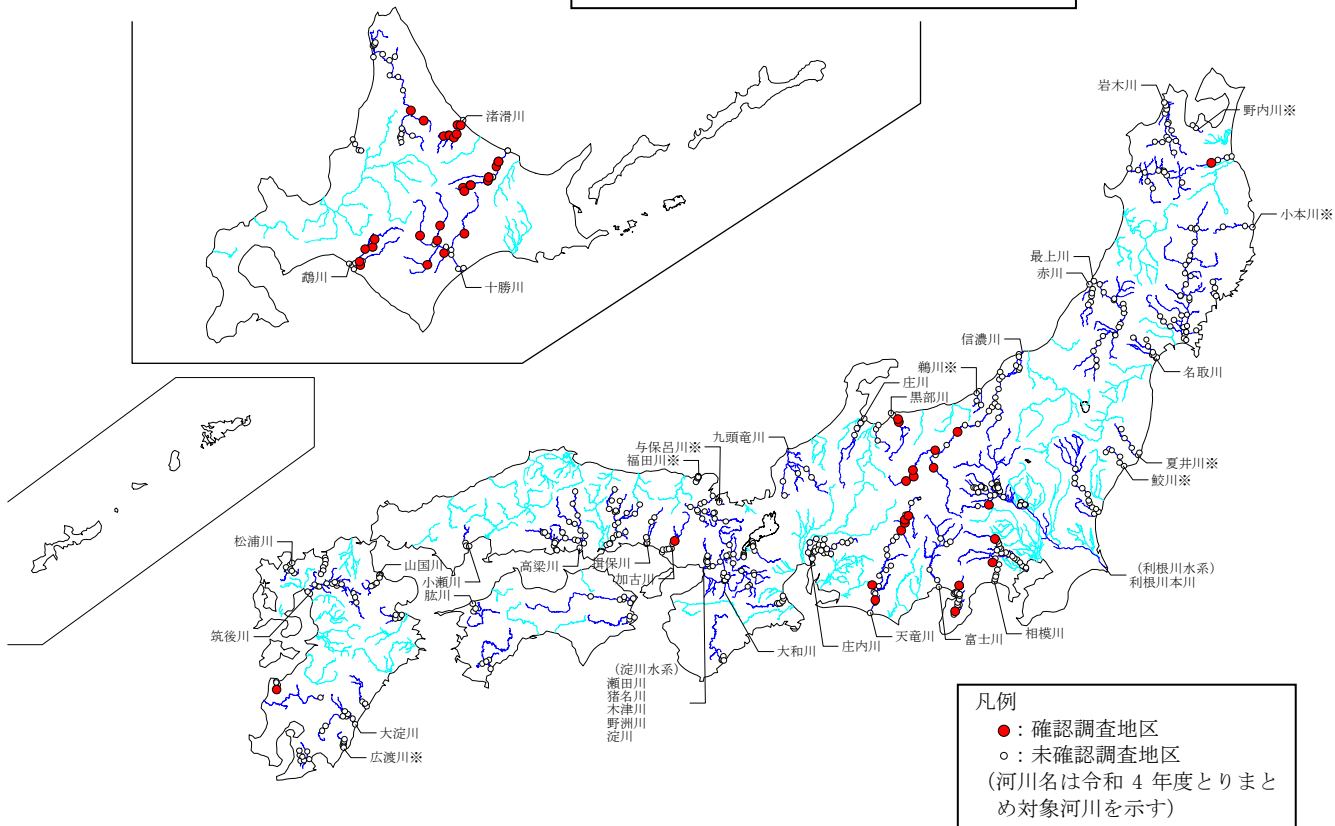
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ニジマスの確認された調査地区（4 巡目調査、5 巡目調査）

6 巡目調査 (平成 28～令和 2 年度)



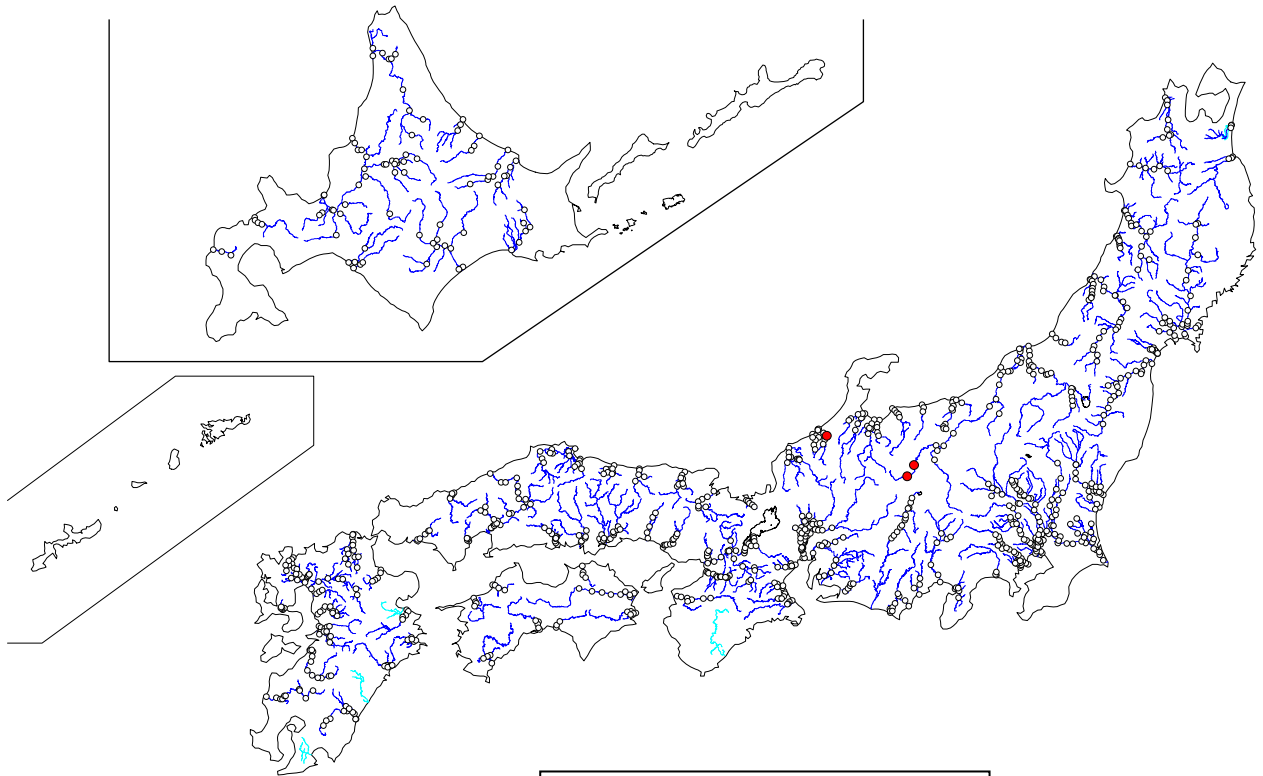
7 巡目調査 (令和 3～4 年度)



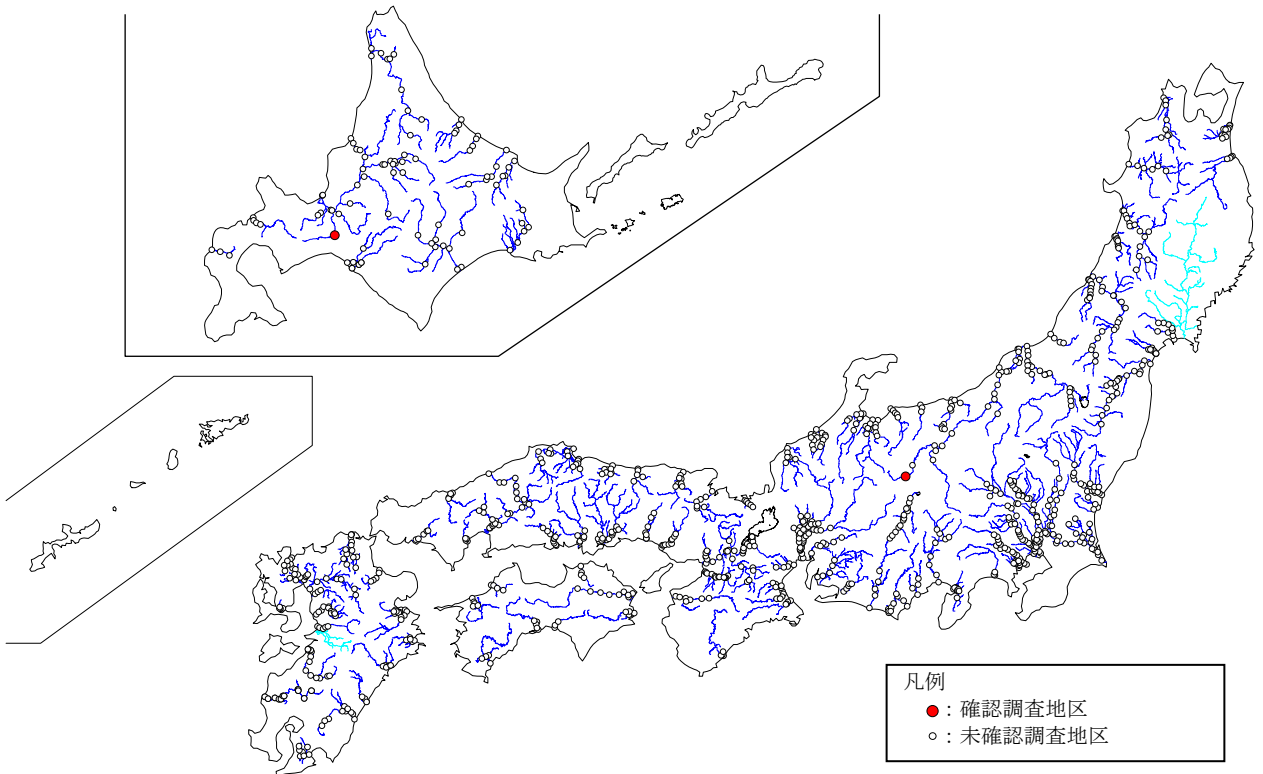
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系 (河川) を示す。

ニジマスの確認された調査地区 (6 巡目調査、7 巡目調査)

2 巡目調査（平成 8～12 年度）



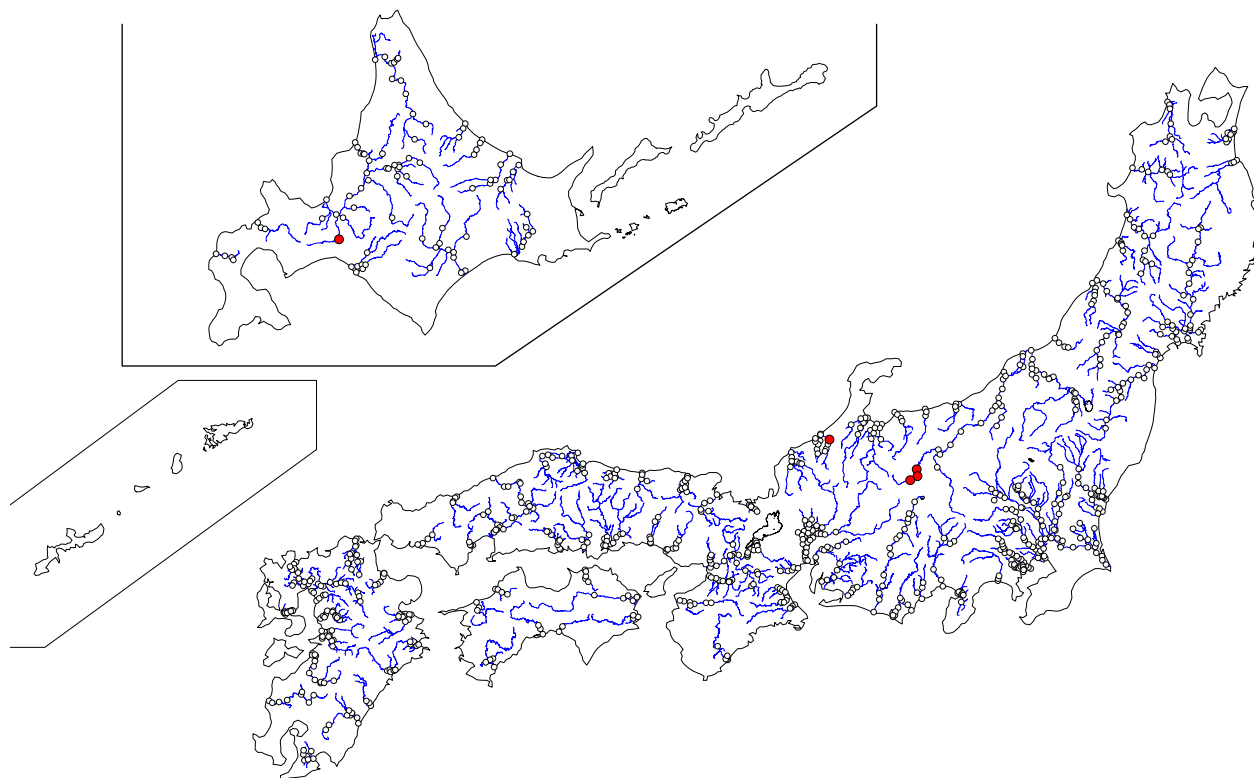
3 巡目調査（平成 13～17 年度）



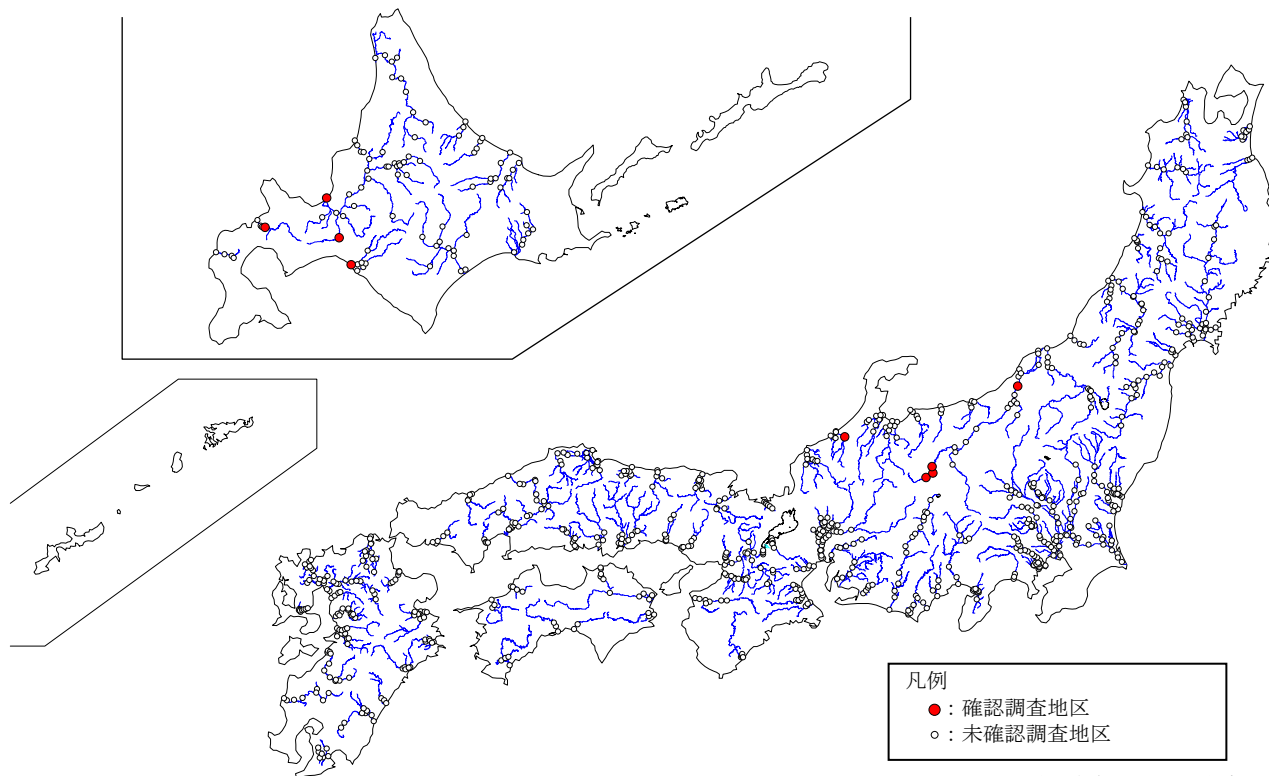
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ブラウトラウトの確認された調査地区（2 巡目調査、3 巡目調査）

4 巡目調査 (平成 18～22 年度)



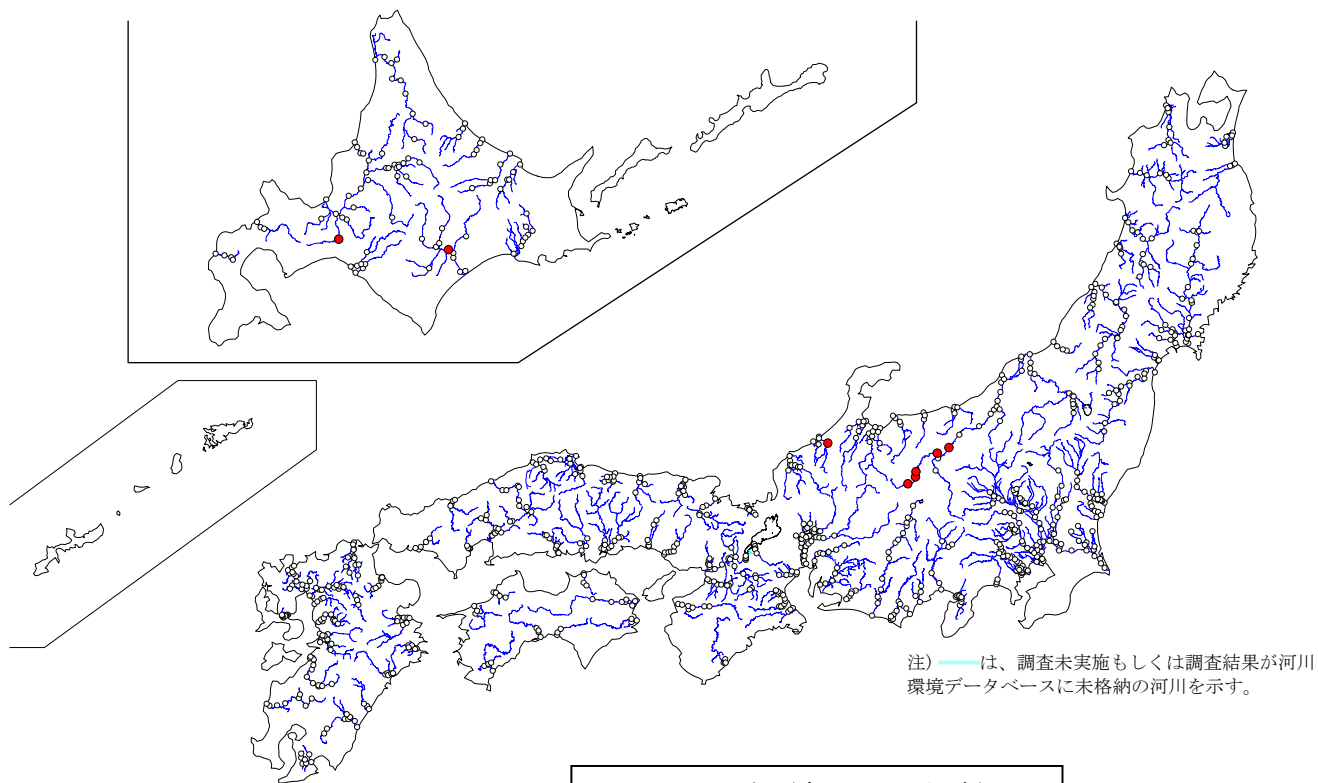
5 巡目調査 (平成 23～27 年度)



注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

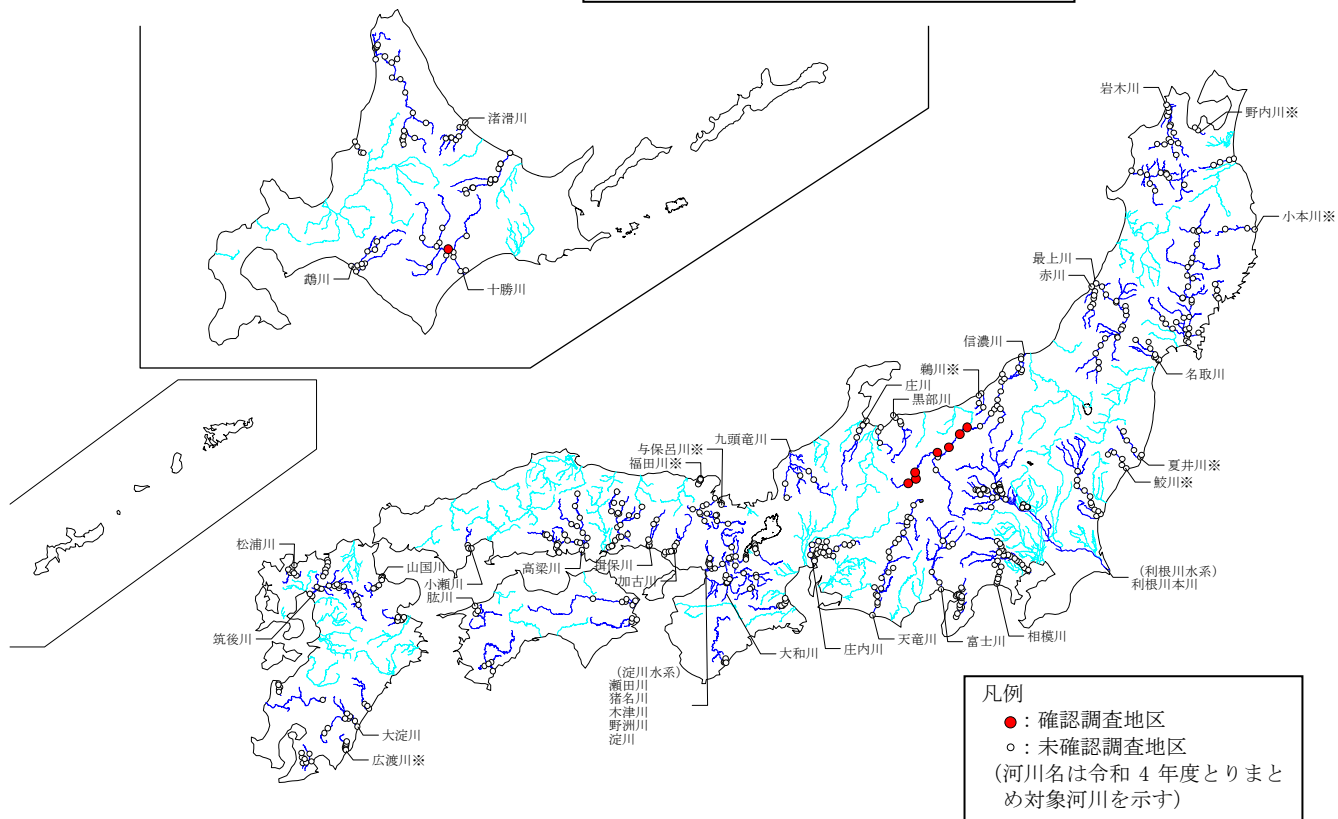
ブラントラウトの確認された調査地区 (4 巡目調査、5 巡目調査)

6巡目調査（平成28～令和2年度）



注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

7巡目調査（令和3～4年度）

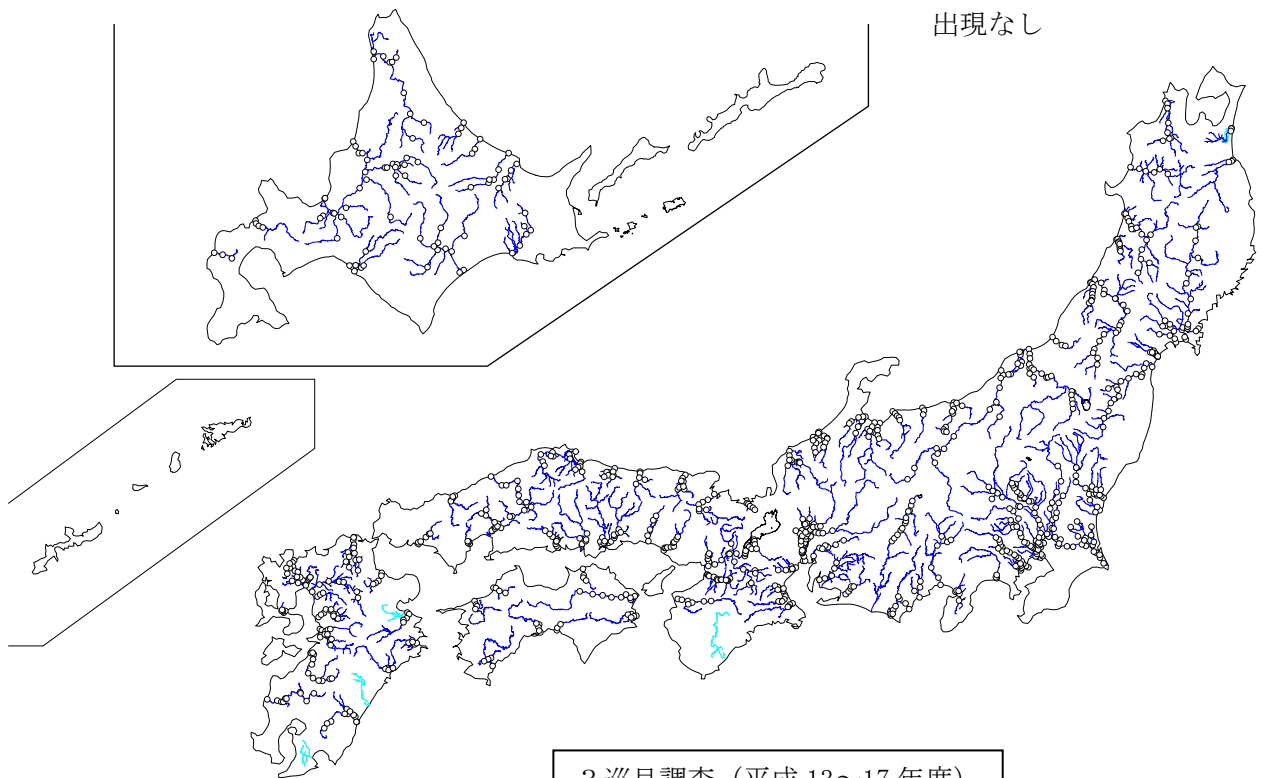


凡例
 ●：確認調査地区
 ○：未確認調査地区
 (河川名は令和4年度とりまとめ対象河川を示す)

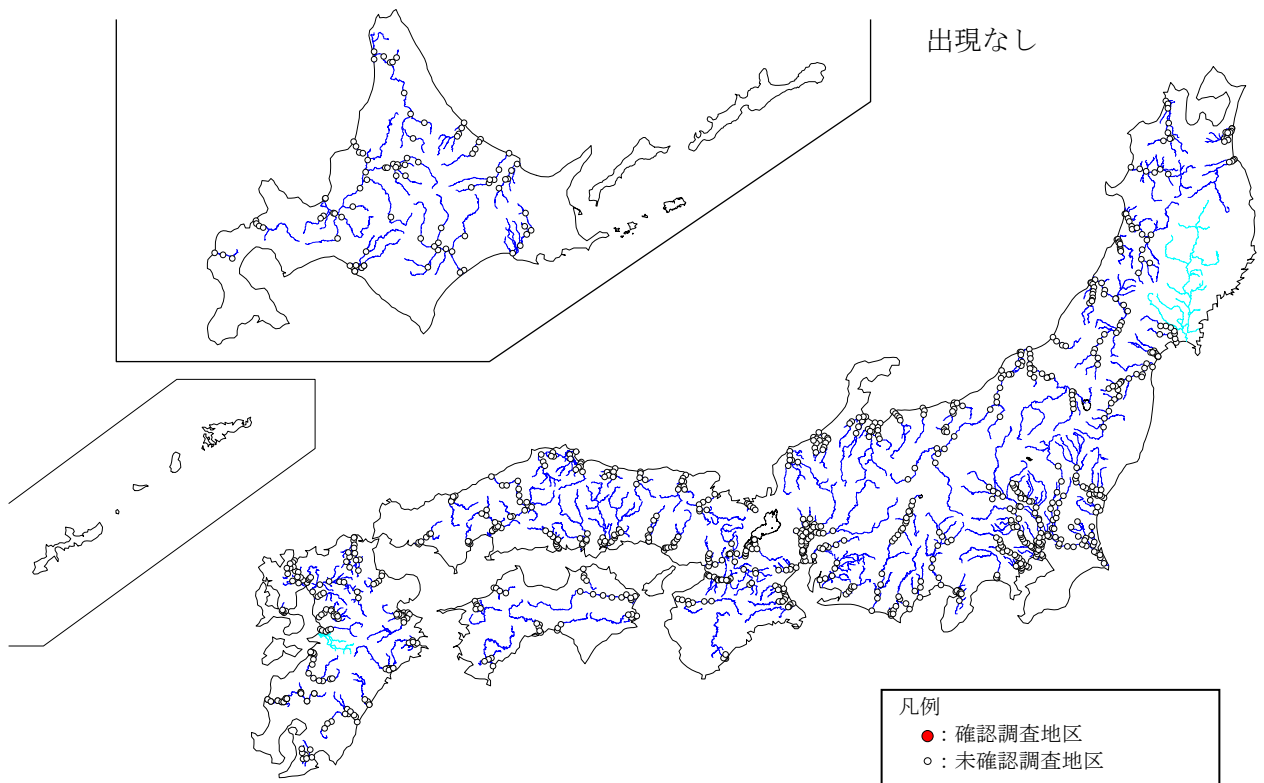
注1) 7巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注2) 7巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注3) ※は、二級水系(河川)を示す。

ブラウントラウトの確認された調査地区（6巡目調査、7巡目調査）

2 巡目調査（平成 8～12 年度）



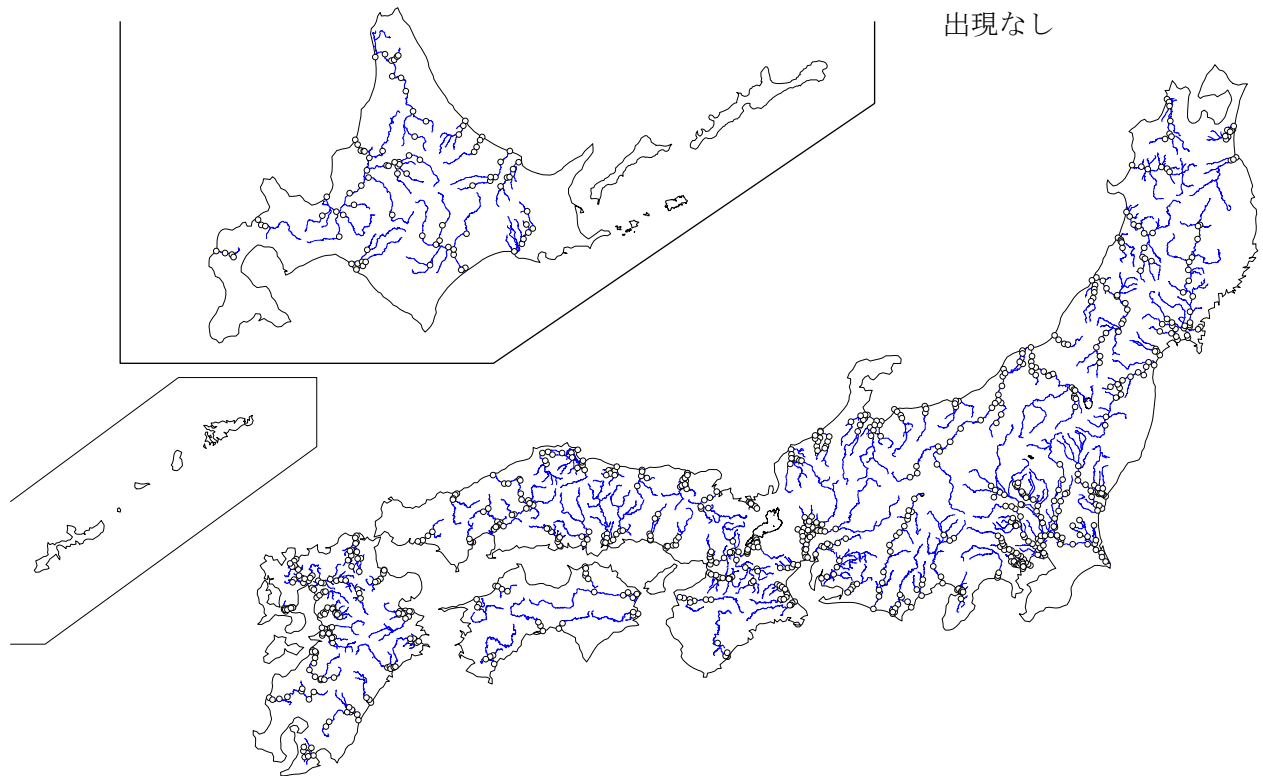
3 巡目調査（平成 13～17 年度）



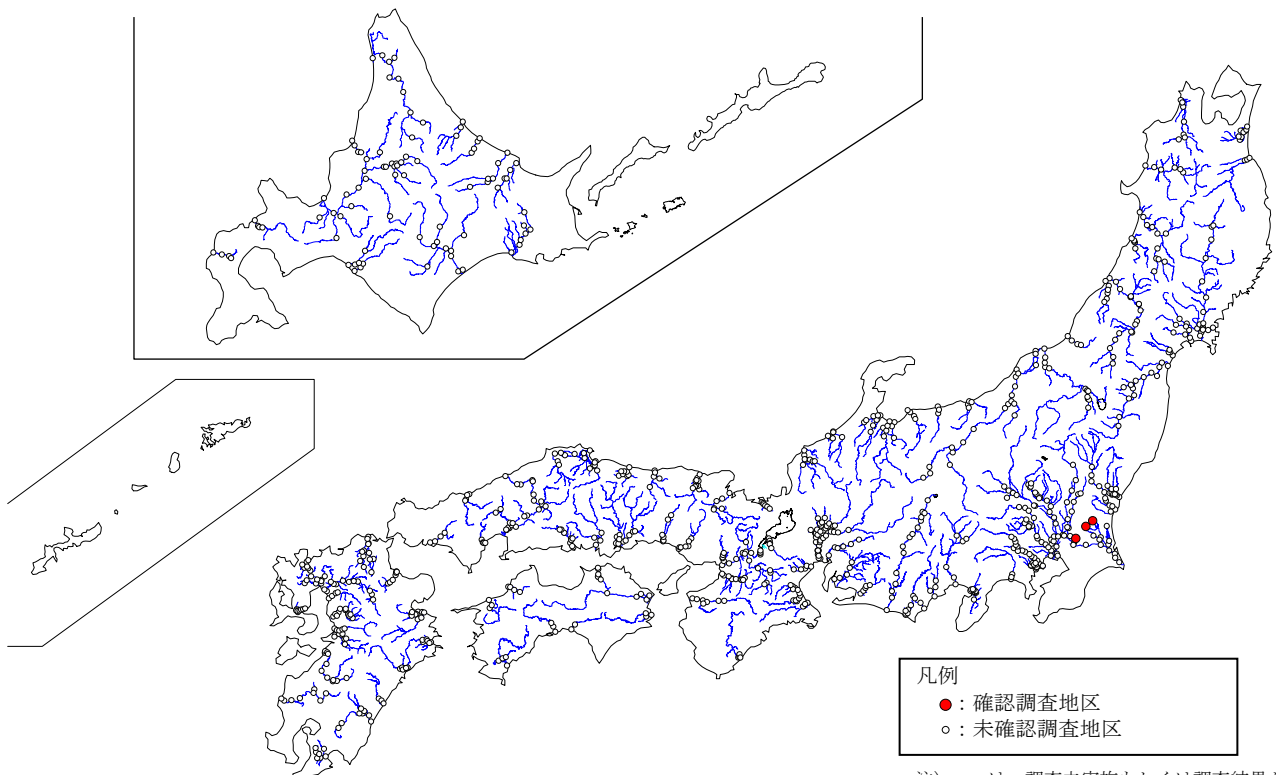
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

コウライギギの確認された調査地区（2 巡目調査、3 巡目調査）

4 巡目調査 (平成 18～22 年度)



5 巡目調査 (平成 23～27 年度)



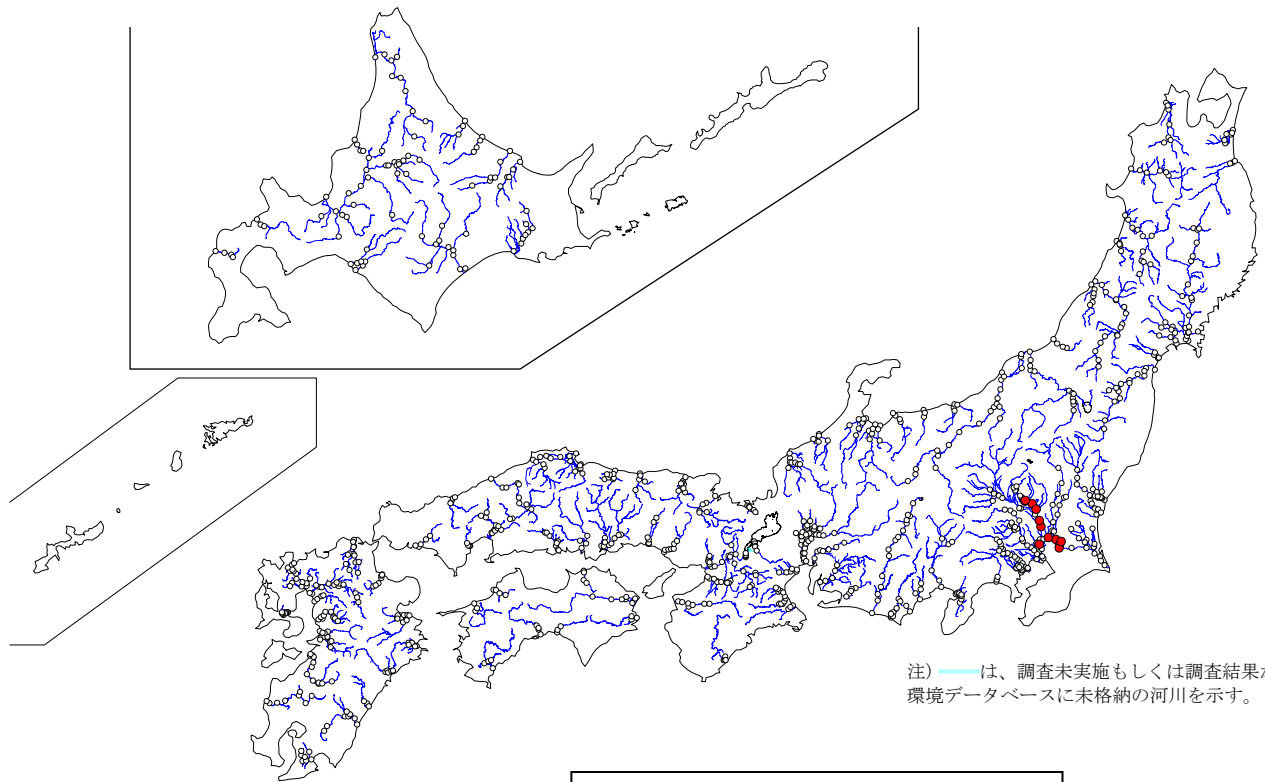
凡例

- : 確認調査地区
- : 未確認調査地区

注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

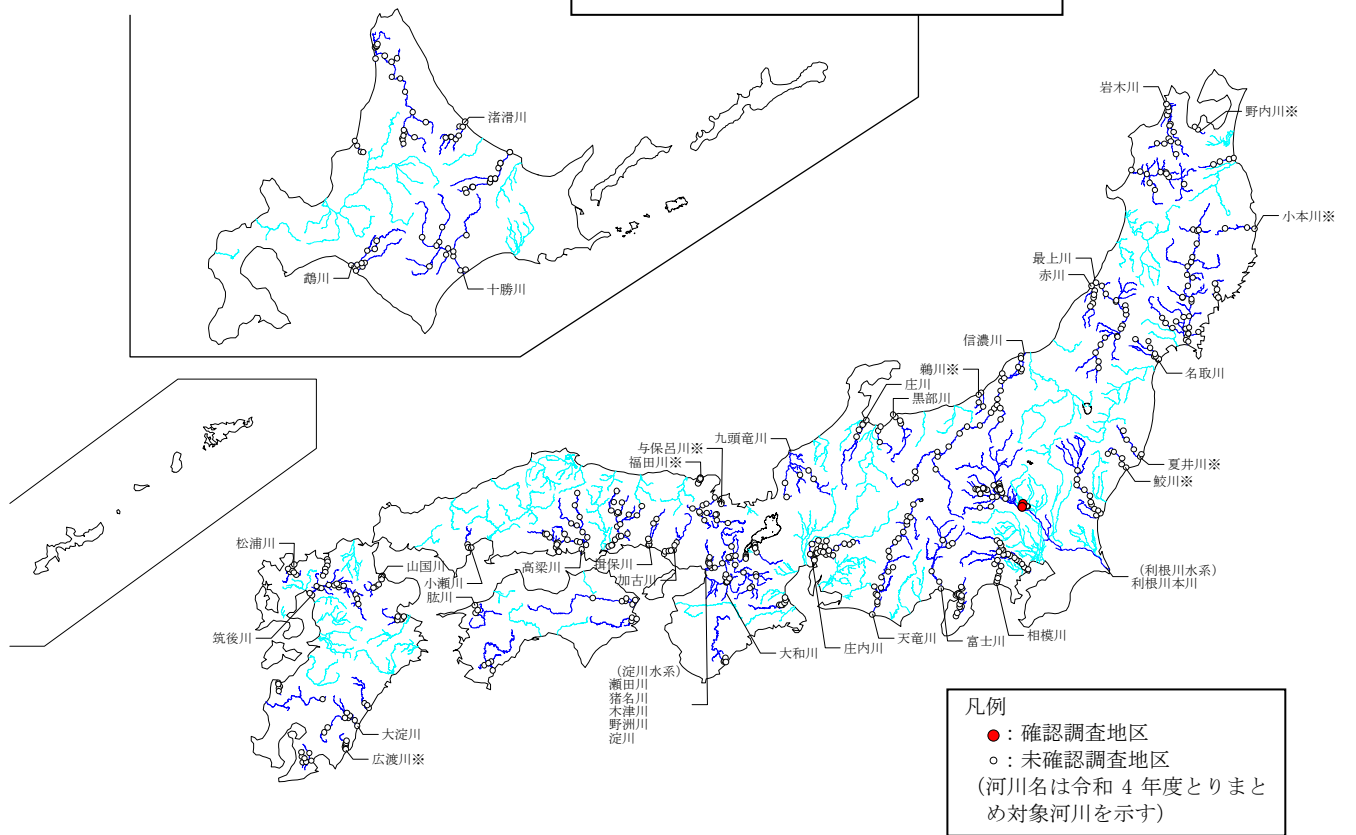
コウライギギの確認された調査地区 (4 巡目調査、5 巡目調査)

6 巡目調査（平成 28～令和 2 年度）



注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

7 巡目調査（令和 3～4 年度）

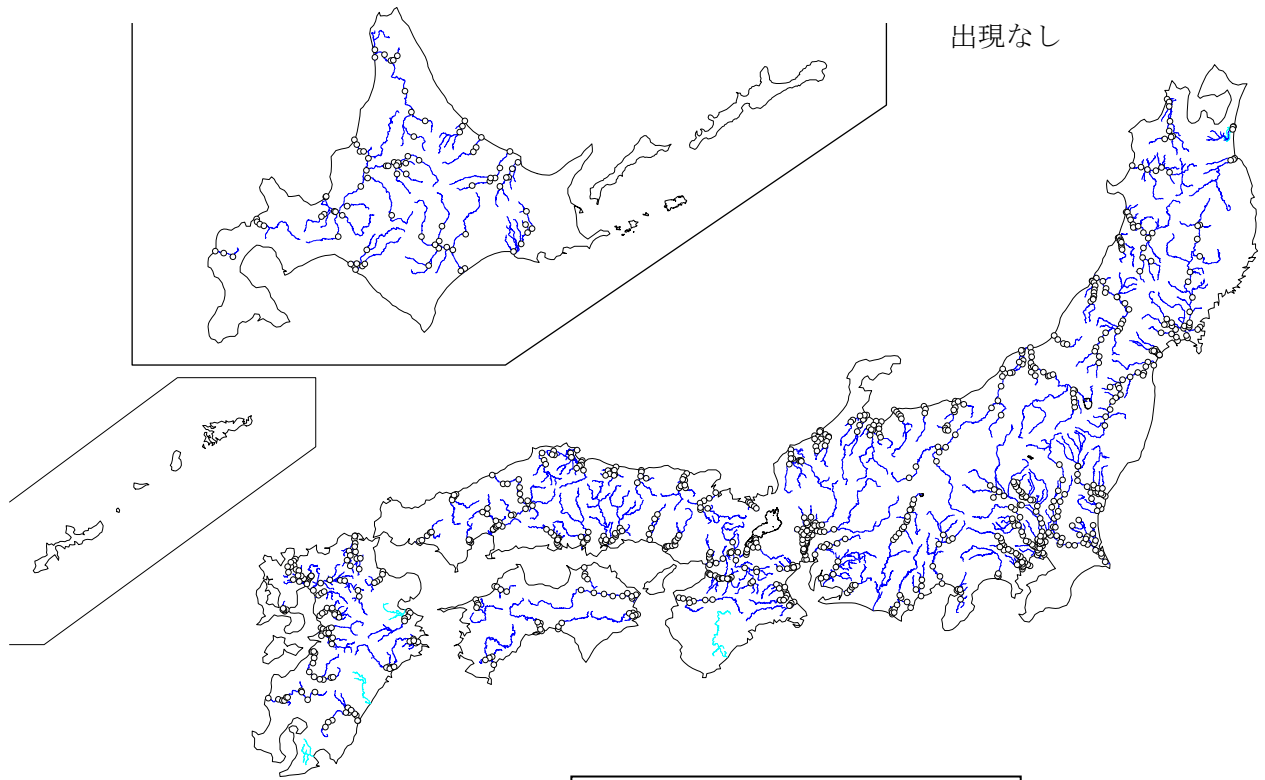


凡例
●: 確認調査地区
○: 未確認調査地区
(河川名は令和 4 年度とりまとめ対象河川を示す)

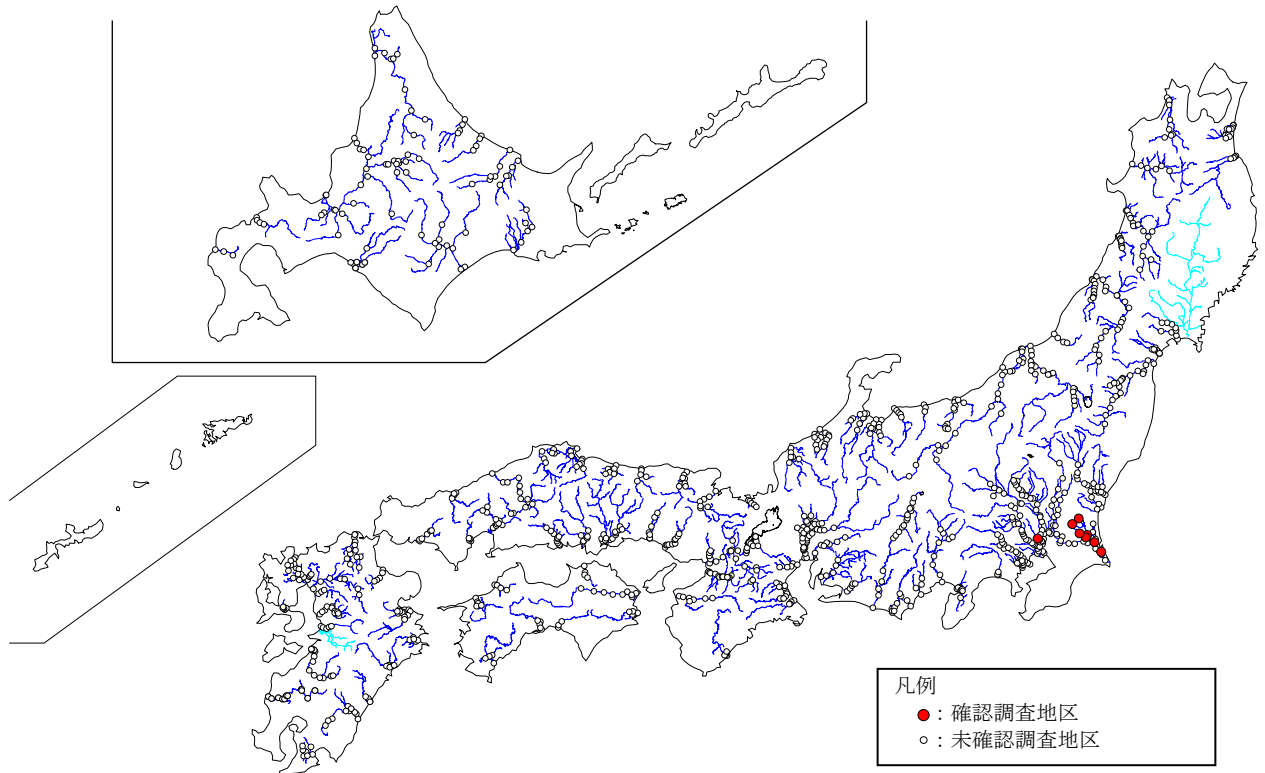
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
注 3) ※は、二級水系（河川）を示す。

コウライギギの確認された調査地区（6 巡目調査、7 巡目調査）

2 巡目調査（平成 8～12 年度）



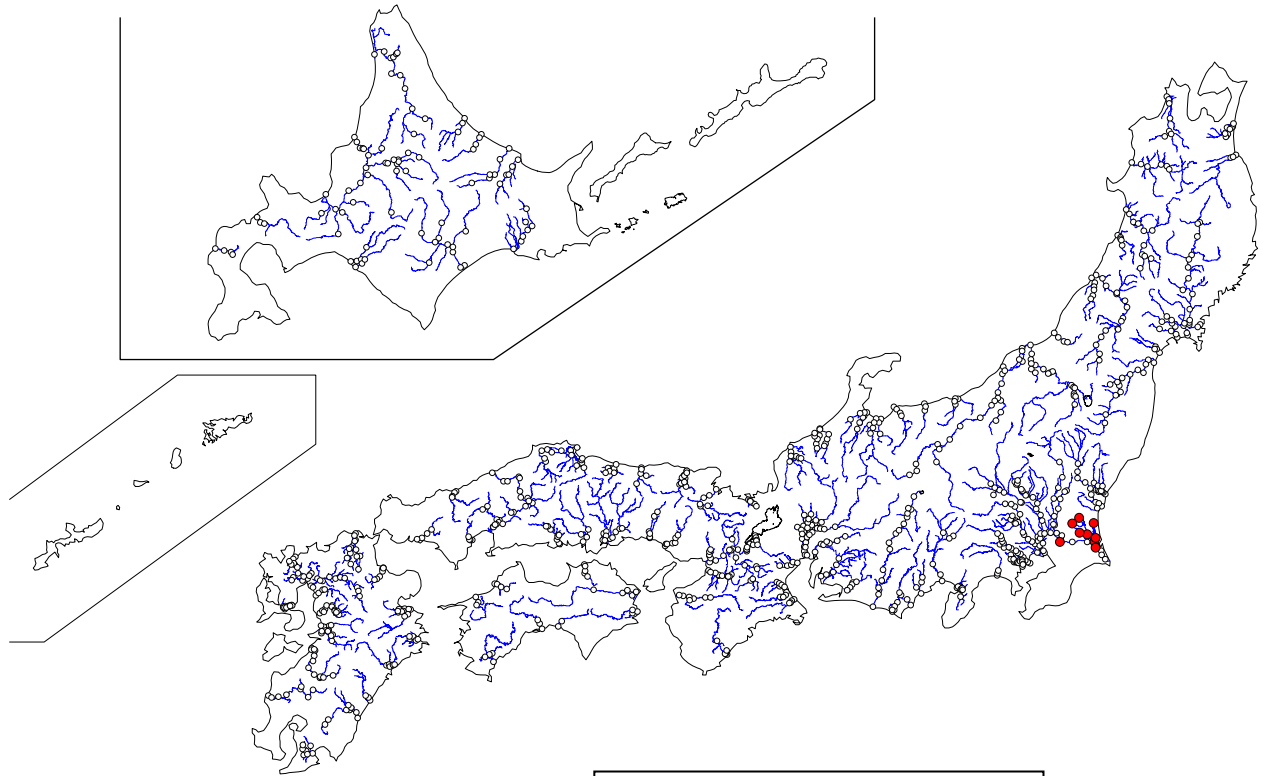
3 巡目調査（平成 13～17 年度）



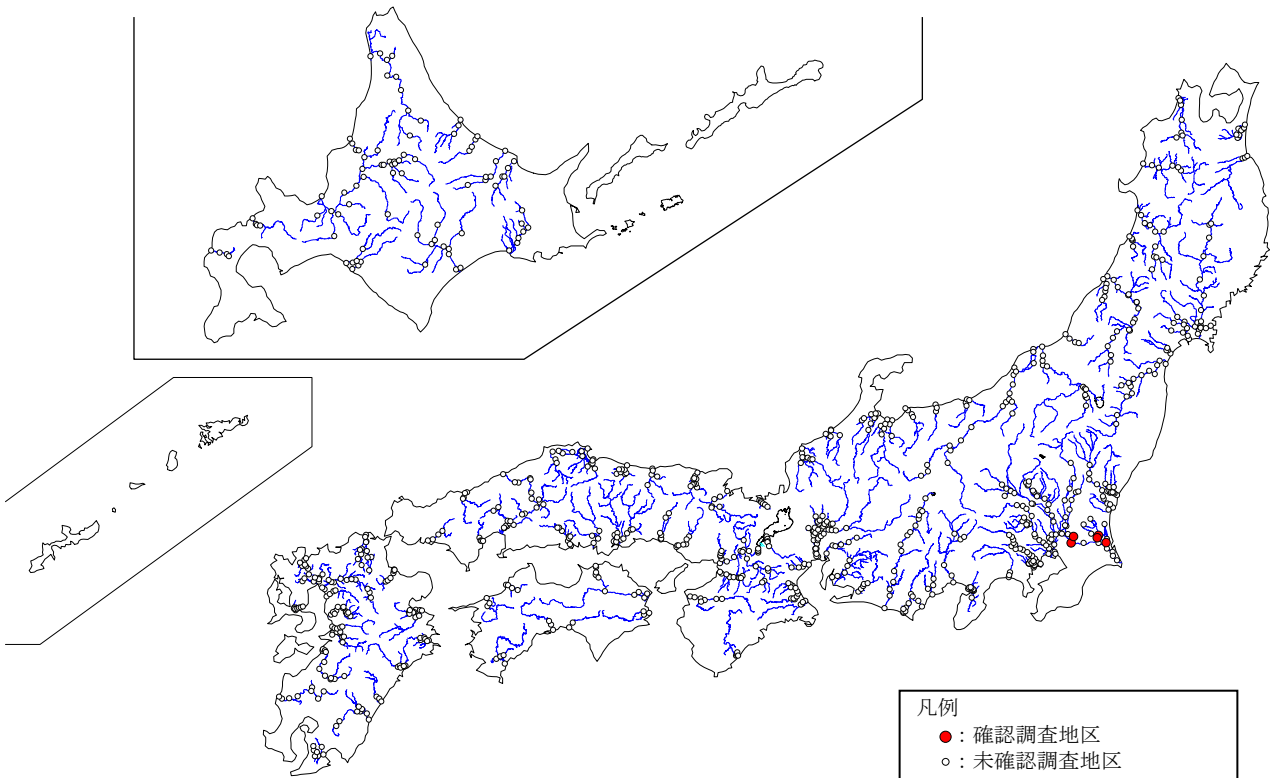
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

オオタナゴの確認された調査地区（2 巡目調査、3 巡目調査）

4 巡目調査 (平成 18～22 年度)



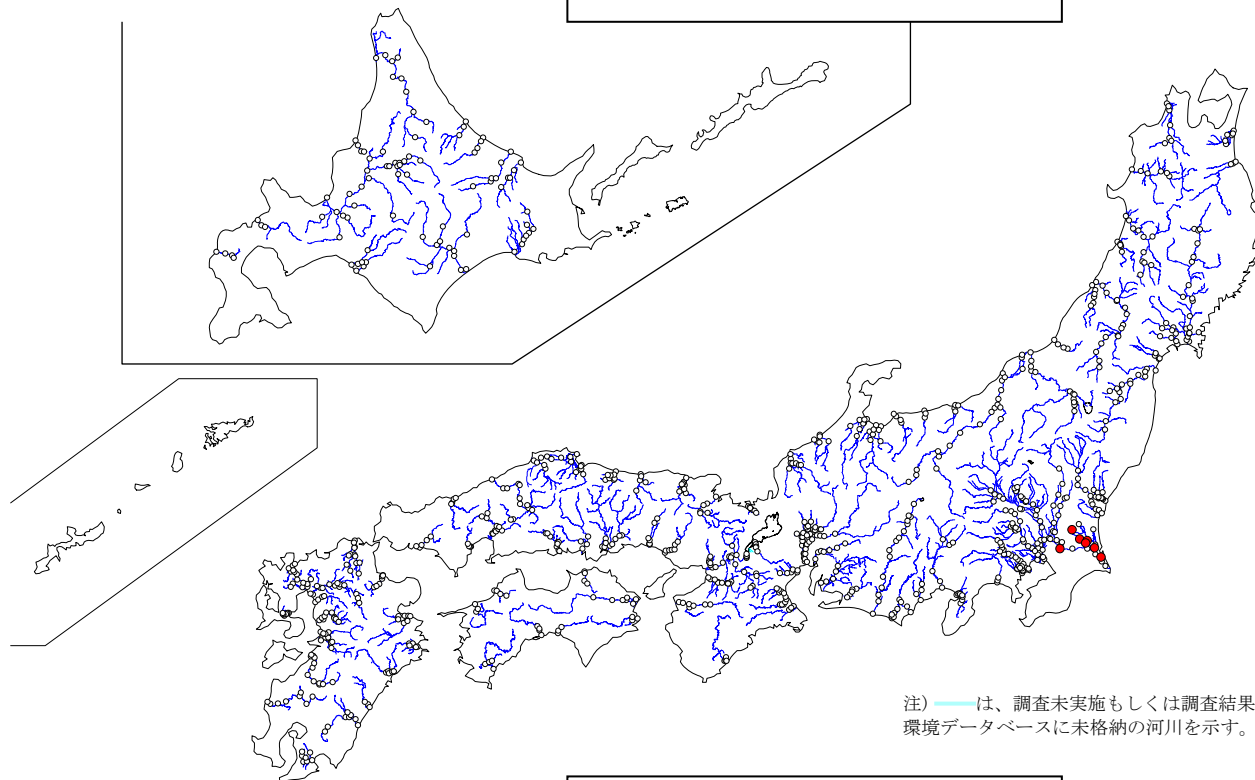
5 巡目調査 (平成 23～27 年度)



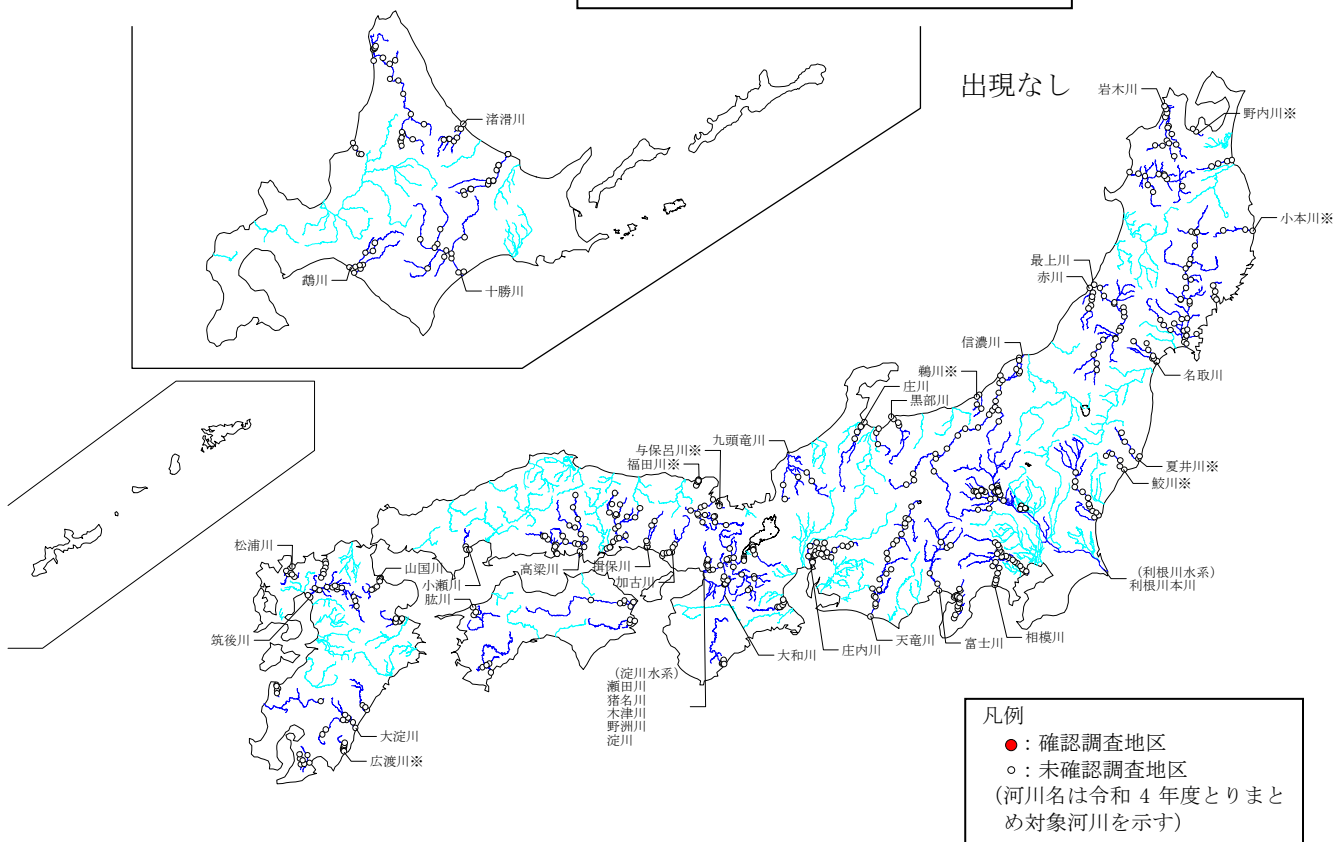
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

オオタナゴの確認された調査地区 (4 巡目調査、5 巡目調査)

6 巡目調査 (平成 28～令和 2 年度)



7 巡目調査 (令和 3～4 年度)



注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系 (河川) を示す。

オオタナゴの確認された調査地区 (6 巡目調査、7 巡目調査)

1.4 気候変動

地球温暖化による気候変動と水温との関連性は、ほとんど明らかになっていませんが、既知の分布域を踏まえて、試行的に魚類の応答を確認しました。具体的には、河川又は河口域の水温の変化により、その分布域が変化する可能性が考えられる種を選定し、これらの確認状況の経年変化について整理しました。

【指標種の選定条件】

①冷水性、温水性ともに温度制限が明瞭

冷水性：カジカ類（カジカ、カジカ中卵型、ウツセミカジカ（淡水性両側回遊型））

温水性：イッセンヨウジ、テングヨウジ、オオクチュゴイ、ユゴイ、カワアナゴ、チチブモドキ、ヒナハゼ、ゴクラクハゼ、ウロハゼ、クロホシマンジュウダイ

②分布の縁辺が日本列島上にある

ウロハゼ

③海域を経由して生活史を完結するため、純淡水魚のような地理的隔離の影響が少なく温度変化による分布域変化の応答がよい（通し回遊魚など）

ウツセミカジカ（淡水性両側回遊型）

【分布域の変化の把握】

（魚類調査）

・一部の種を除き指標種の確認状況の傾向に、顕著な変化はみられない

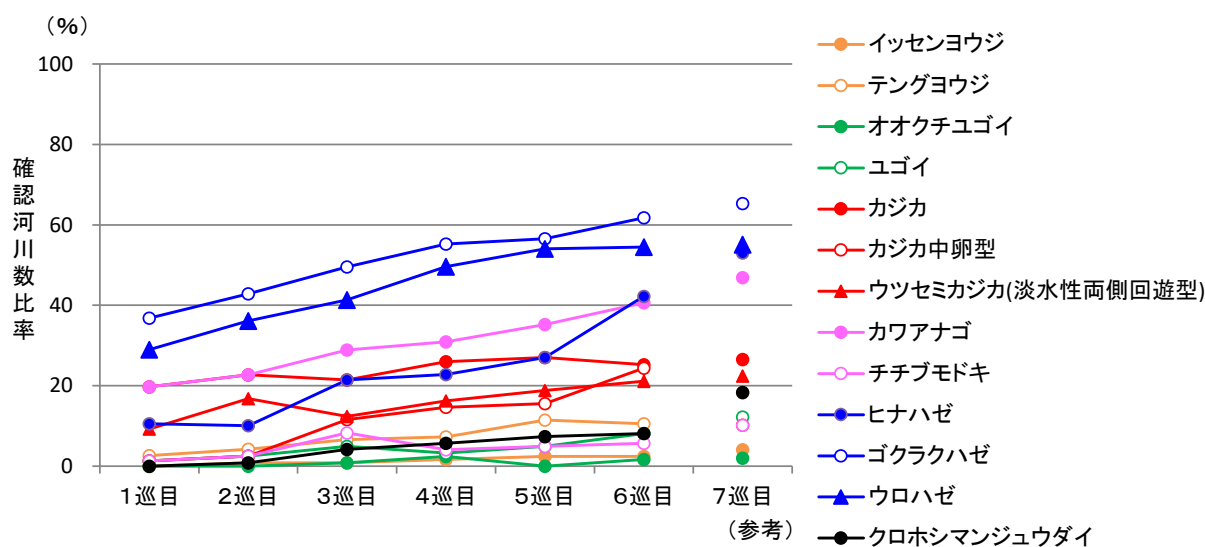
指標種 13 種（イッセンヨウジ、テングヨウジ、オオクチュゴイ、ユゴイ、カジカ、カジカ中卵型、ウツセミカジカ（淡水性両側回遊型）、カワアナゴ、チチブモドキ、ヒナハゼ、ゴクラクハゼ、ウロハゼ、クロホシマンジュウダイ）を設定して、調査巡目別に指標種の確認状況を調べました。

テングヨウジといった一部の温水性種については、確認の北限が北上するなどの変化がみられており、魚類の分布が影響を受けていることが示唆されました。

（資料掲載：1-64～1-102ページ、1-146～1-149ページ）

1～7巡目調査の確認河川数の比較

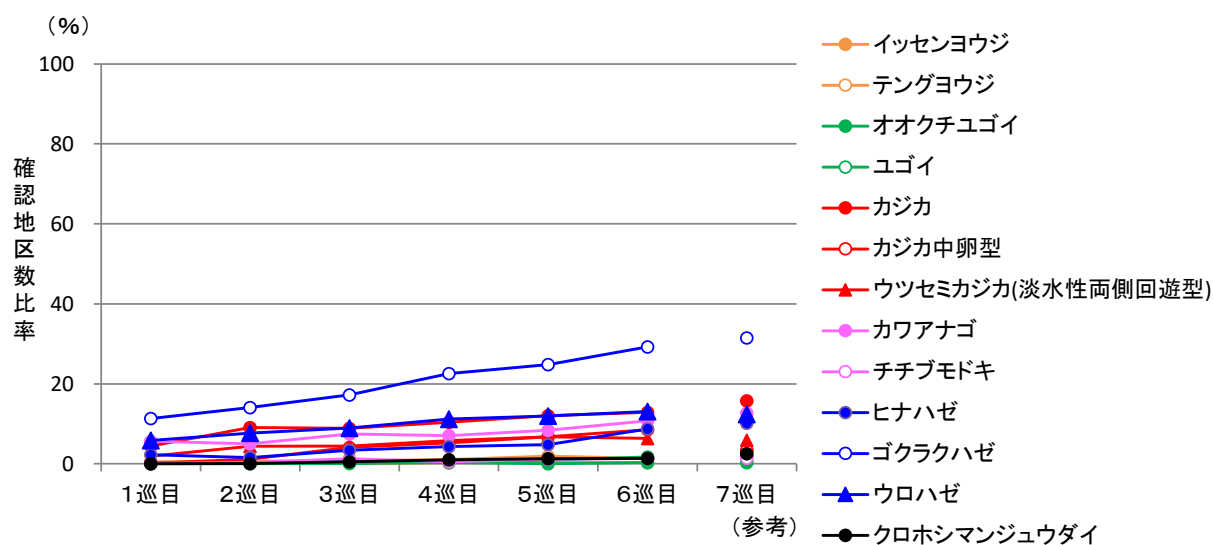
種類	1巡目調査 (76河川)	2巡目調査 (119河川)	3巡目調査 (121河川)	4巡目調査 (123河川)	5巡目調査 (122河川)	6巡目調査 (123河川)	7巡目調査 (49河川)
イッセンヨウジ	0河川 〔0.0〕	1河川 〔0.8〕	1河川 〔0.8〕	2河川 〔1.6〕	3河川 〔2.5〕	3河川 〔2.4〕	2河川 〔4.1〕
テングヨウジ	2河川 〔2.6〕	5河川 〔4.2〕	8河川 〔6.6〕	9河川 〔7.3〕	14河川 〔11.5〕	13河川 〔10.6〕	9河川 〔18.4〕
オオクチュゴイ	0河川 〔0.0〕	0河川 〔0.0〕	1河川 〔0.8〕	3河川 〔2.4〕	0河川 〔0.0〕	2河川 〔1.6〕	1河川 〔2.0〕
ユゴイ	1河川 〔1.3〕	3河川 〔2.5〕	6河川 〔5.0〕	4河川 〔3.3〕	6河川 〔4.9〕	10河川 〔8.1〕	6河川 〔12.2〕
カジカ	15河川 〔19.7〕	27河川 〔22.7〕	26河川 〔21.5〕	32河川 〔26.0〕	33河川 〔27.0〕	31河川 〔25.2〕	13河川 〔26.5〕
カジカ中卵型	1河川 〔1.3〕	3河川 〔2.5〕	14河川 〔11.6〕	18河川 〔14.6〕	19河川 〔15.6〕	30河川 〔24.4〕	5河川 〔10.2〕
ウツセミカジカ (淡水性両側回遊型)	7河川 〔9.2〕	20河川 〔16.8〕	15河川 〔12.4〕	20河川 〔16.3〕	23河川 〔18.9〕	26河川 〔21.1〕	11河川 〔22.4〕
カワアナゴ	15河川 〔19.7〕	27河川 〔22.7〕	35河川 〔28.9〕	38河川 〔30.9〕	43河川 〔35.2〕	50河川 〔40.7〕	23河川 〔46.9〕
チチブモドキ	1河川 〔1.3〕	3河川 〔2.5〕	10河川 〔8.3〕	5河川 〔4.1〕	6河川 〔4.9〕	9河川 〔7.3〕	5河川 〔10.2〕
ヒナハゼ	8河川 〔10.5〕	12河川 〔10.1〕	26河川 〔21.5〕	28河川 〔22.8〕	33河川 〔27.0〕	52河川 〔42.3〕	26河川 〔53.1〕
ゴクラクハゼ	28河川 〔36.8〕	51河川 〔42.9〕	60河川 〔49.6〕	68河川 〔55.3〕	69河川 〔56.6〕	76河川 〔61.8〕	32河川 〔65.3〕
ウロハゼ	22河川 〔28.9〕	43河川 〔36.1〕	50河川 〔41.3〕	61河川 〔49.6〕	66河川 〔54.1〕	67河川 〔54.5〕	27河川 〔55.1〕
クロホシマンジ ユウダイ	0河川 〔0.0〕	1河川 〔0.8〕	5河川 〔4.1〕	7河川 〔5.7〕	9河川 〔7.4〕	10河川 〔8.1〕	9河川 〔18.4〕



- ※ 確認河川数の比較は、調査実施全河川のうち、直轄管理区間のデータを対象とした。
- ※ 1～6巡目調査のデータは、調査実施全河川のうち、種名等についてスクリーニングされ、河川環境データベースに格納されている調査データを対象にした。
- ※ () 内は調査実施河川数を示す。
- ※ [] 内は確認河川数の調査実施河川数に対する割合 (%) を示す。

1～7巡目調査の確認地区数の比較

種類	1巡目調査 (565地区)	2巡目調査 (938地区)	3巡目調査 (981地区)	4巡目調査 (904地区)	5巡目調査 (870地区)	6巡目調査 (879地区)	7巡目調査 (365地区)
イッセンヨウジ	0地区 〔0.0〕	1地区 〔0.1〕	1地区 〔0.1〕	2地区 〔0.2〕	4地区 〔0.5〕	3地区 〔0.3〕	2地区 〔0.6〕
テングヨウジ	3地区 〔0.5〕	6地区 〔0.6〕	8地区 〔0.8〕	10地区 〔1.1〕	17地区 〔2.0〕	12地区 〔1.4〕	11地区 〔3.1〕
オオクチュゴイ	0地区 〔0.0〕	0地区 〔0.0〕	1地区 〔0.1〕	3地区 〔0.3〕	0地区 〔0.0〕	3地区 〔0.3〕	1地区 〔0.3〕
ユゴイ	1地区 〔0.2〕	3地区 〔0.3〕	7地区 〔0.7〕	4地区 〔0.4〕	8地区 〔0.9〕	15地区 〔1.7〕	7地区 〔2.0〕
カジカ	25地区 〔4.4〕	85地区 〔9.1〕	87地区 〔8.9〕	94地区 〔10.4〕	104地区 〔12.0〕	113地区 〔12.9〕	56地区 〔15.7〕
カジカ中卵型	1地区 〔0.2〕	11地区 〔1.2〕	40地区 〔4.1〕	47地区 〔5.2〕	59地区 〔6.8〕	75地区 〔8.5〕	12地区 〔3.4〕
ウツセミカジカ (淡水性両側回遊型)	11地区 〔1.9〕	41地区 〔4.4〕	44地区 〔4.5〕	52地区 〔5.8〕	59地区 〔6.8〕	56地区 〔6.4〕	21地区 〔5.9〕
カワアナゴ	32地区 〔5.7〕	47地区 〔5.0〕	73地区 〔7.4〕	64地区 〔7.1〕	73地区 〔8.4〕	95地区 〔10.8〕	45地区 〔12.6〕
チチブモドキ	1地区 〔0.2〕	3地区 〔0.3〕	13地区 〔1.3〕	5地区 〔0.6〕	10地区 〔1.1〕	14地区 〔1.6〕	5地区 〔1.4〕
ヒナハゼ	13地区 〔2.3〕	15地区 〔1.6〕	33地区 〔3.4〕	39地区 〔4.3〕	42地区 〔4.8〕	77地区 〔8.8〕	36地区 〔10.1〕
ゴクラクハゼ	64地区 〔11.3〕	132地区 〔14.1〕	169地区 〔17.2〕	204地区 〔22.6〕	216地区 〔24.8〕	257地区 〔29.2〕	112地区 〔31.5〕
ウロハゼ	33地区 〔5.8〕	72地区 〔7.7〕	88地区 〔9.0〕	101地区 〔11.2〕	104地区 〔12.0〕	115地区 〔13.1〕	44地区 〔12.4〕
クロホシマン ジュウダイ	0地区 〔0.0〕	1地区 〔0.1〕	5地区 〔0.5〕	9地区 〔1.0〕	11地区 〔1.3〕	12地区 〔1.4〕	9地区 〔2.5〕



- ※ 確認地区数の比較は調査実施全地区のうち、直轄管理区間のデータを対象とした。
- ※ 1～6巡目調査のデータは、調査実施全地区のうち、種名等についてスクリーニングされ、河川環境管理システムに格納されている調査データを対象にした。
- ※ () 内は調査実施地区数を示す。
- ※ [] 内は確認地区数の調査実施地区数に対する割合 (%) を示す。

【冷水性種】

カジカは、本州及び、九州地方が分布範囲とされています^{注1)}。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち 8 河川で確認されました。確認の北限及び南限は、北限については若干北上がみられたものの顕著な変化は認められていません。

カジカ中卵型は、北海道、本州、九州、四国が分布範囲とされています^{注1)}。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち 3 河川で確認されました。確認の北限及び南限について顕著な変化は認められていません。

ウツセミカジカ（淡水性両側回遊型）は、本州太平洋側から四国が分布範囲とされています^{注1)}。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち 5 河川で確認されました。6 巡目以降中国地方での確認河川数、地区数ともに減少しています。

【温水性種】

イッセンヨウジは、黒潮の影響をうける千葉県以南が分布範囲とされています^{注1)}。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）では確認されませんでした。確認の北限は関東地方の久慈川で 5 巡目から確認され、分布の北上傾向がみられています。

テングヨウジは、宮城県以南が分布範囲とされています^{注2)}。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち、5 河川で確認されました。確認の北限は東北地方の名取川で 7 巡目から確認され、今回、東北地方の名取川で河川水辺の国勢調査として初めて確認され、分布の北上傾向がみられています。

オオクチュゴイは、宮城県以南が分布範囲とされています^{注2)}。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）では確認されませんでした。確認の北限は関東地方の鶴見川で 6 巡目から確認され、分布の北上傾向がみられています。

ユゴイは、茨城県以南が分布範囲とされています^{注3)}。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち、1 河川で確認されました。確認の北限は関東地方の那珂川、久慈川で 5 巡目から確認され、分布の北上傾向がみられています。

カワアナゴは、栃木県・茨城県から屋久島までが分布範囲とされています^{注1)}。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち 12 河川で確認されました。分布域について全体的に拡大傾向がみられ、特に、日本海西部沿岸域でも経年的に、確認河川数、地区数ともに増加がみられています。

チチブモドキは、茨城県以南が分布範囲とされています^{注3)}。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち 1 河川で確認され、確認の北限は関東地方の相模川で 6 巡目から確認され、分布の北上傾向がみられています。

ヒナハゼは、茨城県、福井県以南が分布範囲とされています^{注1,3)}。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち 12 河川で確認され、確認の連続的な北上が続いており、7 巡目から、関東地方の那珂川で確認されています。

ゴクラクハゼは、秋田県以南、茨城県以南が分布範囲とされています^{注1)}。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち 17 河川で確認され、確認の北限は関東地方の那珂川で 7 巡目から確認され、分布の北上傾向がみられています。

ウロハゼは、太平洋側の福島県以南、日本海側の新潟県以南から種子島までが分布範囲とされています^{注1)}。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち 14 河川で確認されました。確認の連続的な北上が続いており 7 巡目から、関東地方の那珂川で確認されています。

クロホシマンジュウダイは、秋田県以南、宮城県以南が分布範囲とされています^{注1,2)}。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち 5 河川で確認され、確認の北限は関東地方の相模川でした。確認数が少なく、明確な傾向はみられませんでした。本種も他の種と同様に分布が北上傾向であると考えられます。

【まとめ】

以上の結果から、地球温暖化に伴う水温の連動に影響すると仮定し、魚類の分布について、経年的にみたところ、特に一部の温水性種については、確認の北限が北上するなどの変化がみられており、魚類の分布が影響を受けていることが示唆されました。

注1) 出典：細谷和海(2019)山溪ハンディ図鑑 15 日本の淡水魚、山と溪谷社。

注2) 出典：旗(2020)伊豆沼内沼研究報告 14:69-80

注3) 出典：外山ら(2021)茨城県自然博物館研究報告 24:77-84、外山ら(2023) Ichthy 33: 21-26



イッセンヨウジ

広渡川【2級】(R4. 11. 8)



テングヨウジ

天竜川 (R4. 10. 14)



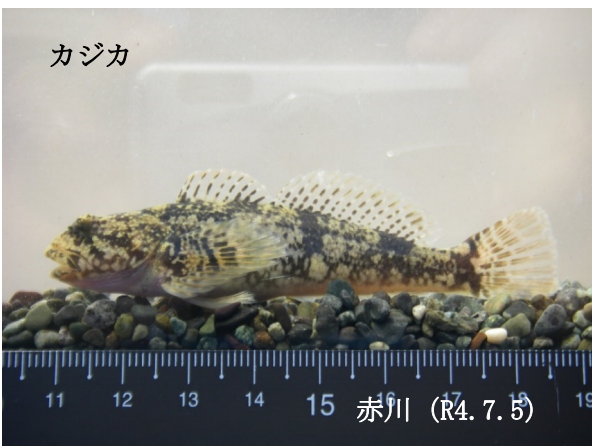
オオクチユゴイ

広渡川【2級】(R4. 11. 8)



ユゴイ

大淀川 (R4. 11. 1)



カジカ

赤川 (R4. 7. 5)



カワアナゴ

庄内川 (R4. 10. 5)



チチブモドキ

大淀川 (R4. 7. 14)



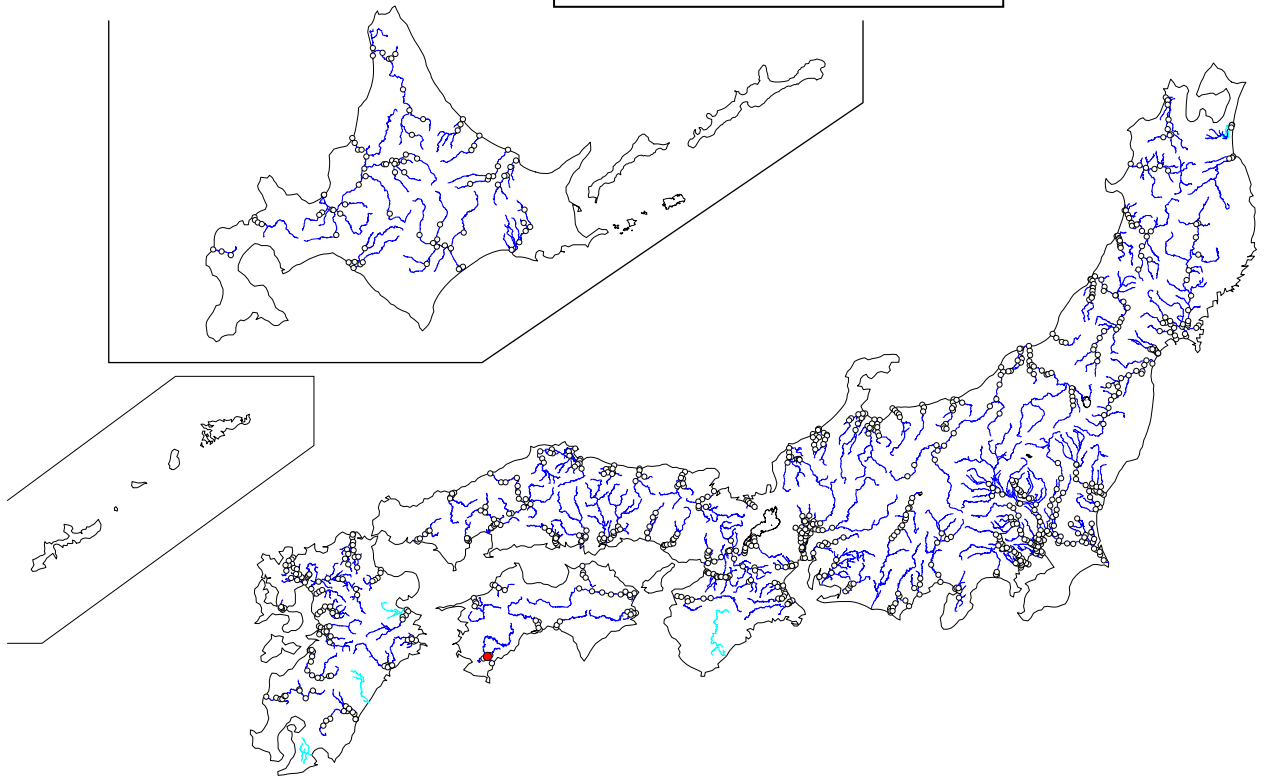
ヒナハゼ

大淀川 (R4. 7. 14)

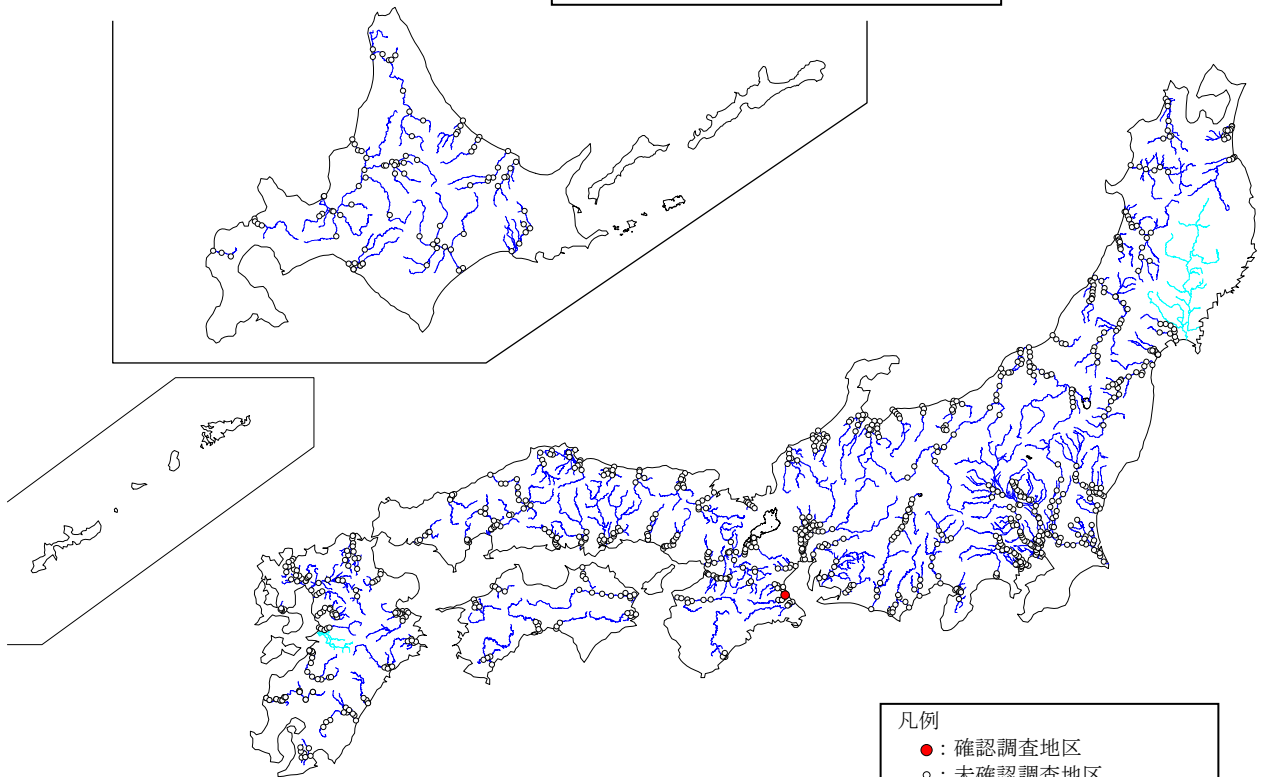


※イッセンヨウジ、オオクチユゴイについては、今回調査では2級河川のみで確認された。

2 巡目調査 (平成 8～12 年度)



3 巡目調査 (平成 13～17 年度)



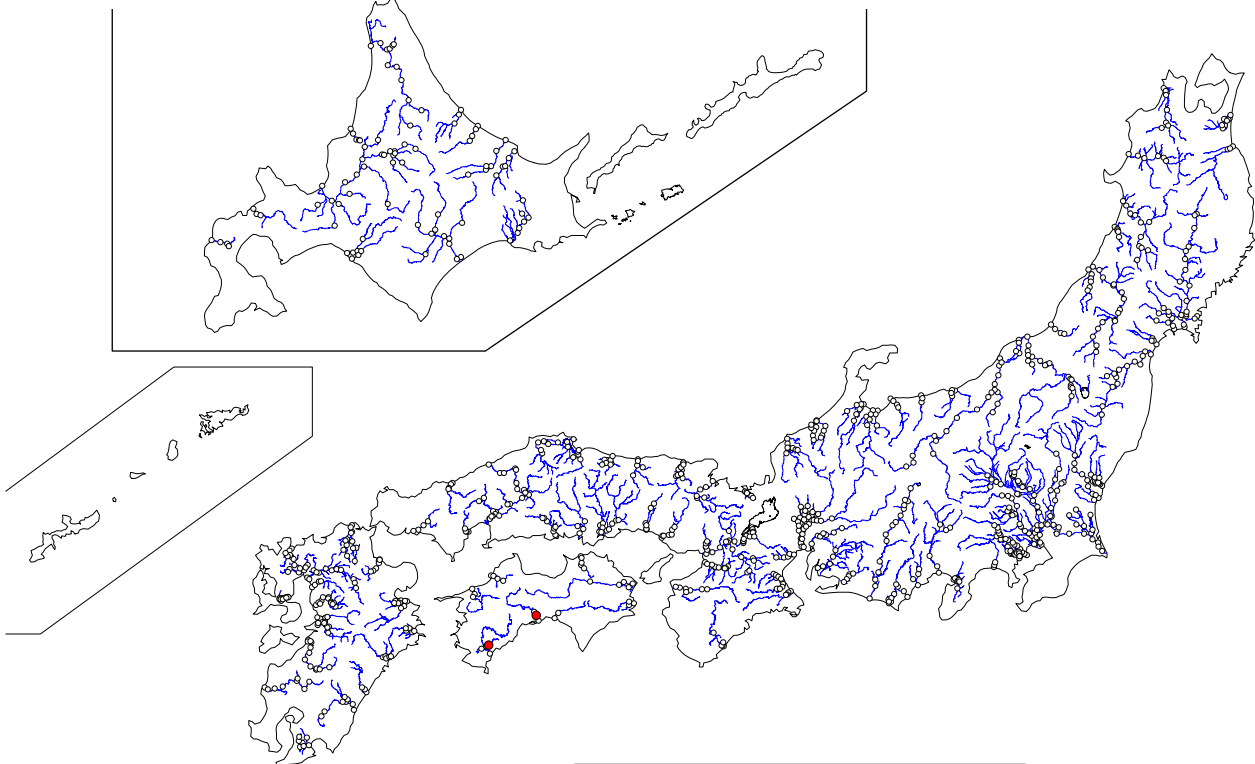
凡例

- : 確認調査地区
- : 未確認調査地区

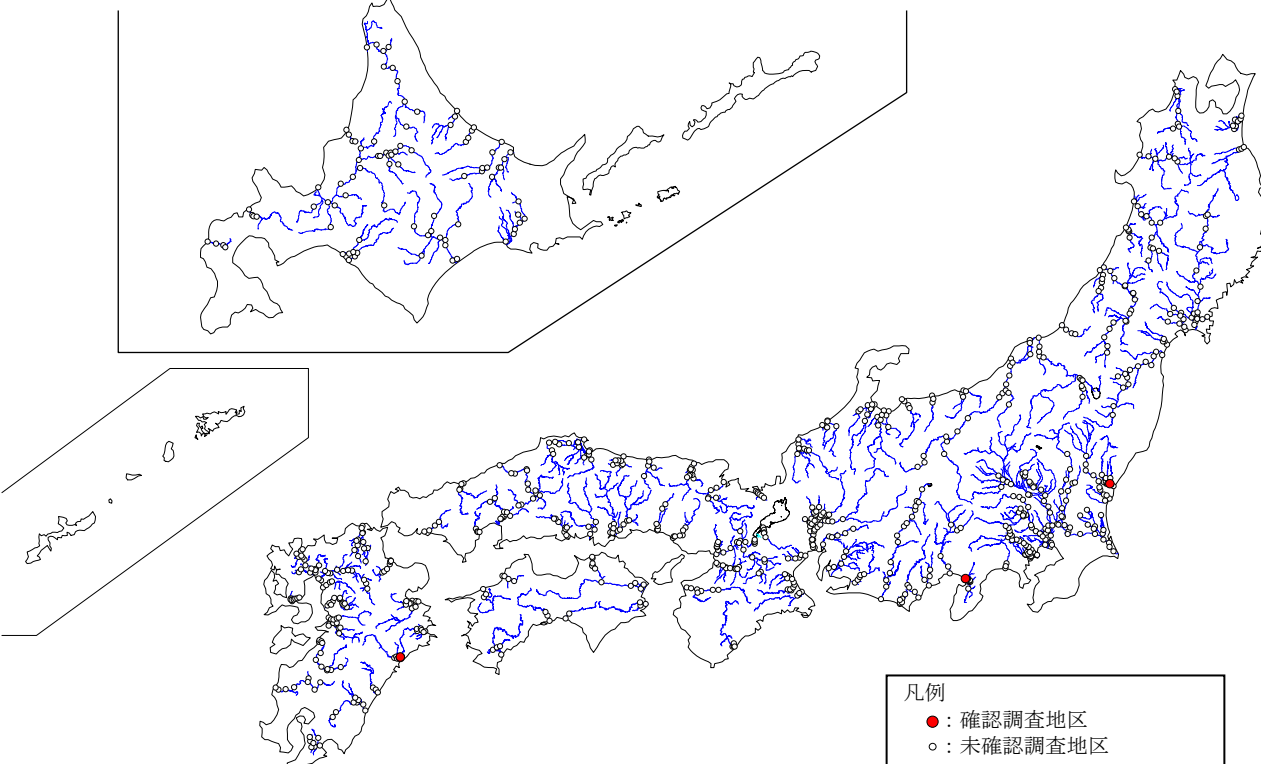
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

イッセンヨウジの確認された調査地区 (2 巡目調査、3 巡目調査)

4巡目調査（平成18～22年度）



5巡目調査（平成23～27年度）

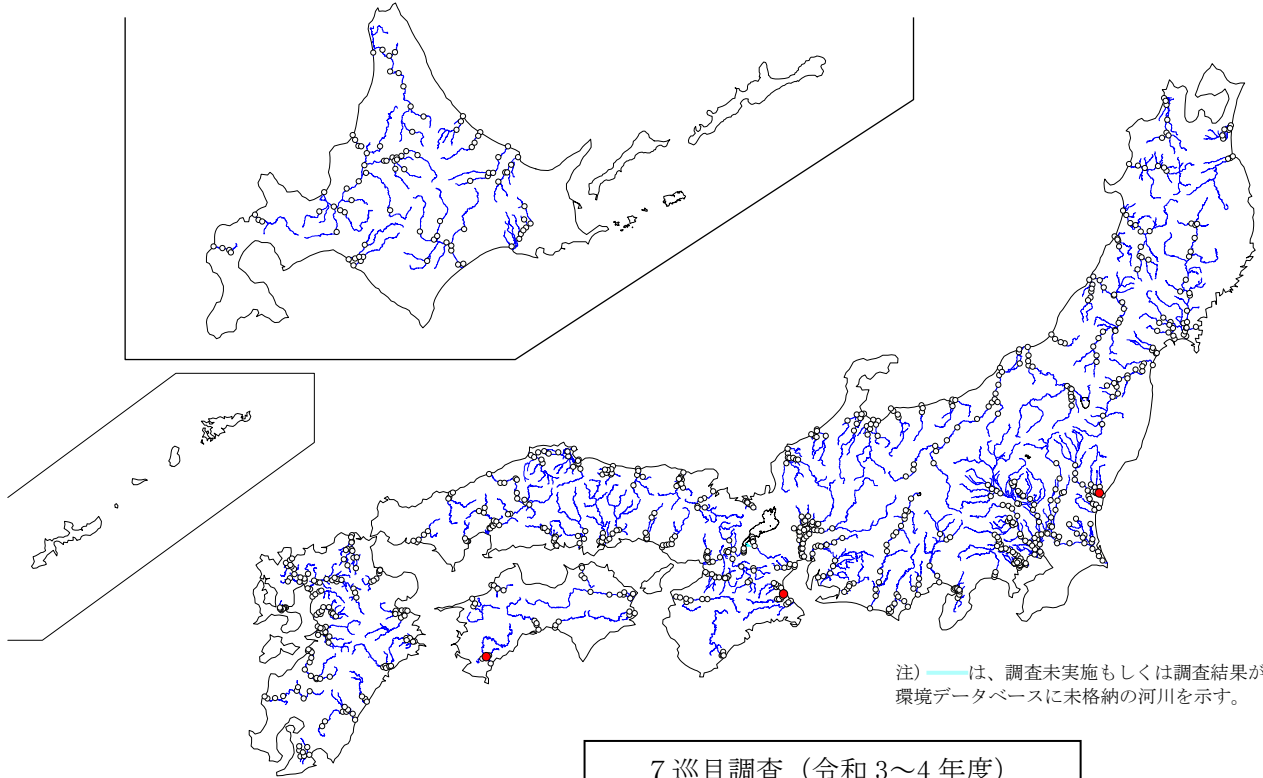


凡例
●：確認調査地区
○：未確認調査地区

注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

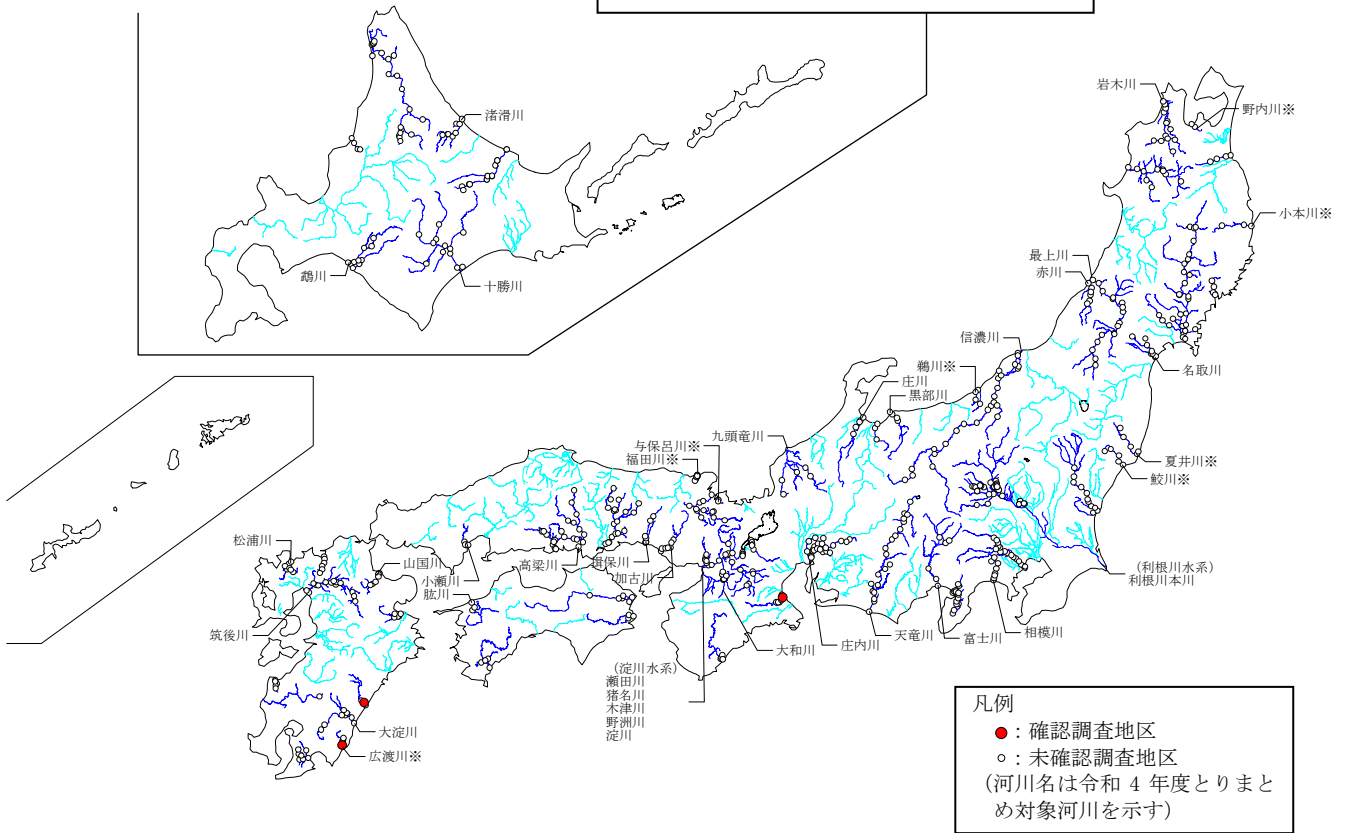
イッセンヨウジの確認された調査地区（4巡目調査、5巡目調査）

6 巡目調査（平成 28～令和 2 年度）



注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

7 巡目調査（令和 3～4 年度）

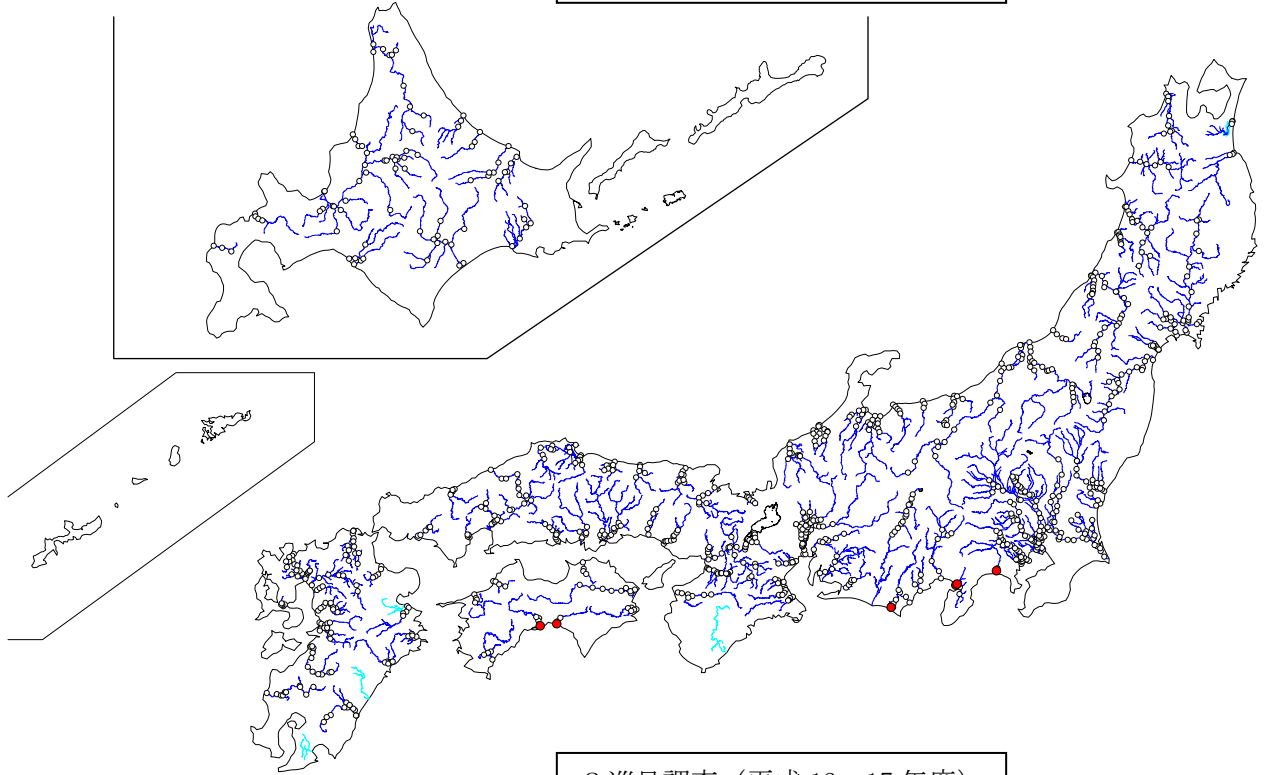


凡例
 ●：確認調査地区
 ○：未確認調査地区
 (河川名は令和 4 年度とりまとめ対象河川を示す)

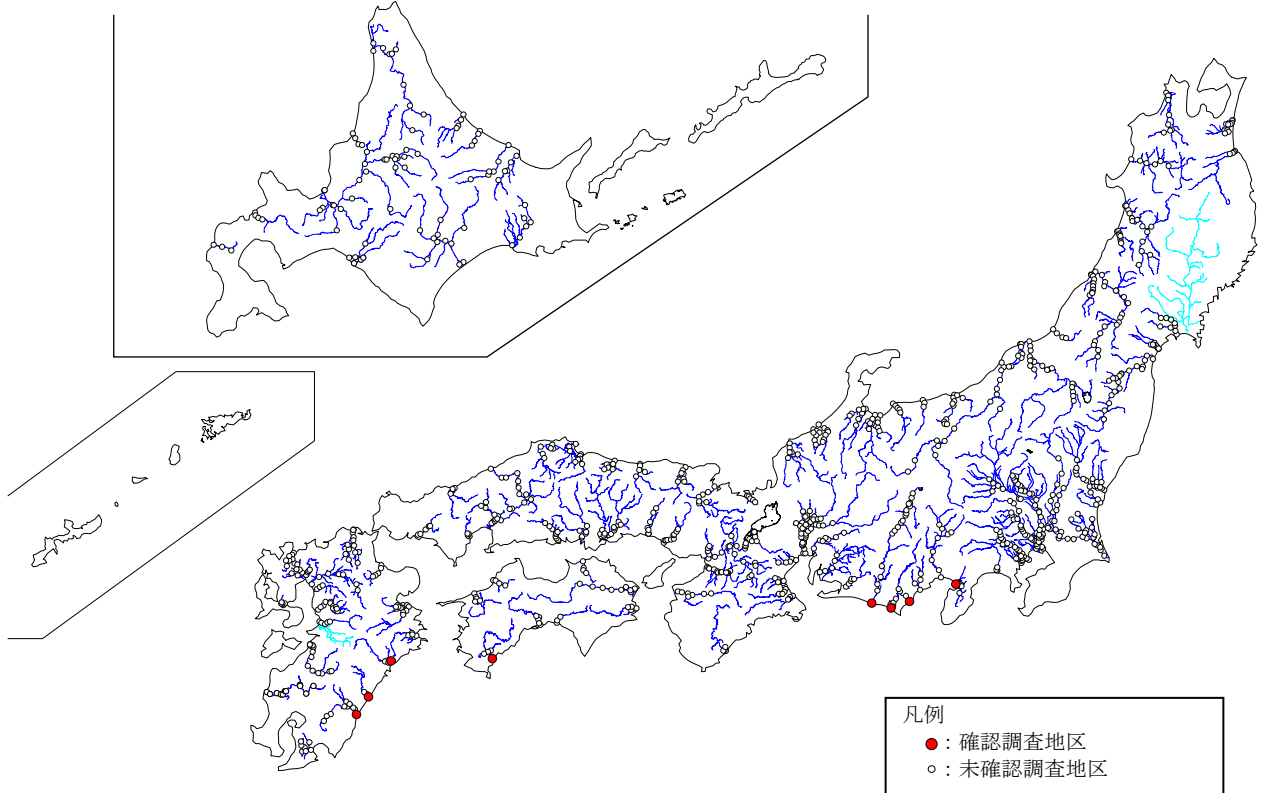
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系（河川）を示す。

イッセンヨウジの確認された調査地区（6 巡目調査、7 巡目調査）

2巡目調査（平成8～12年度）



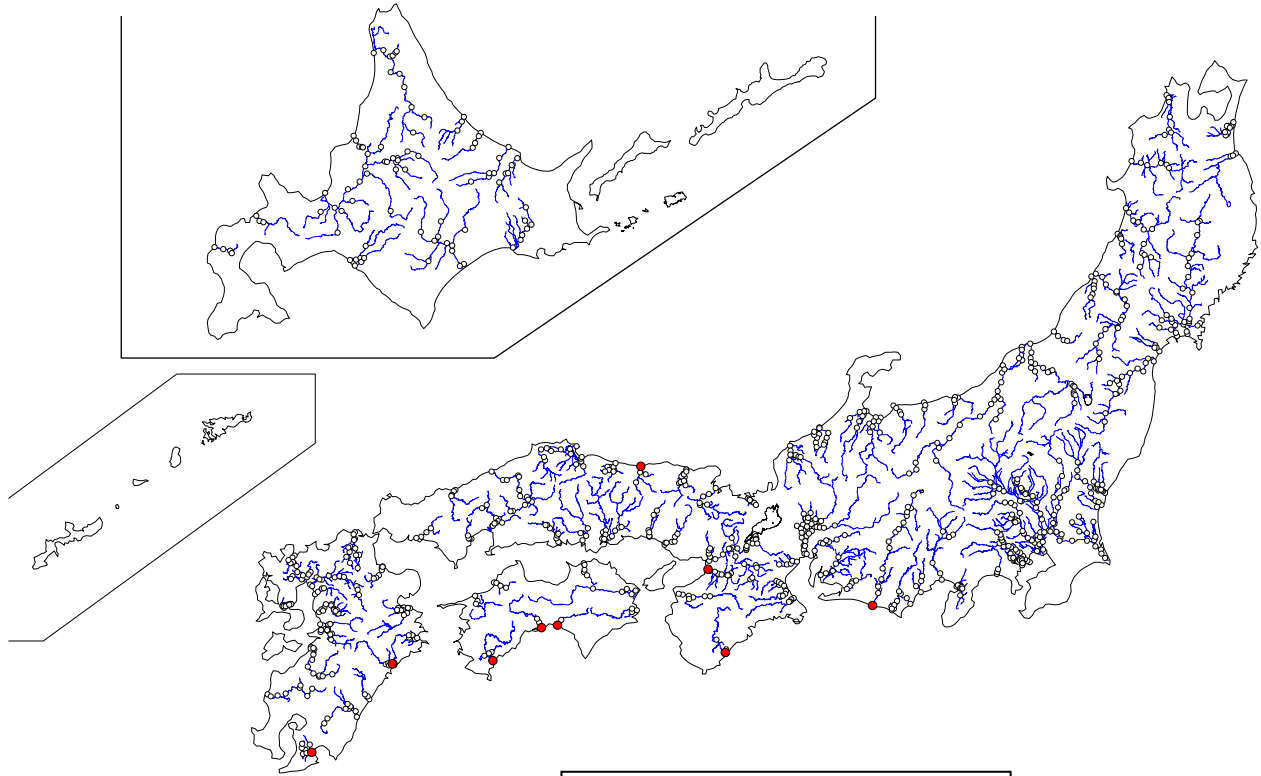
3巡目調査（平成13～17年度）



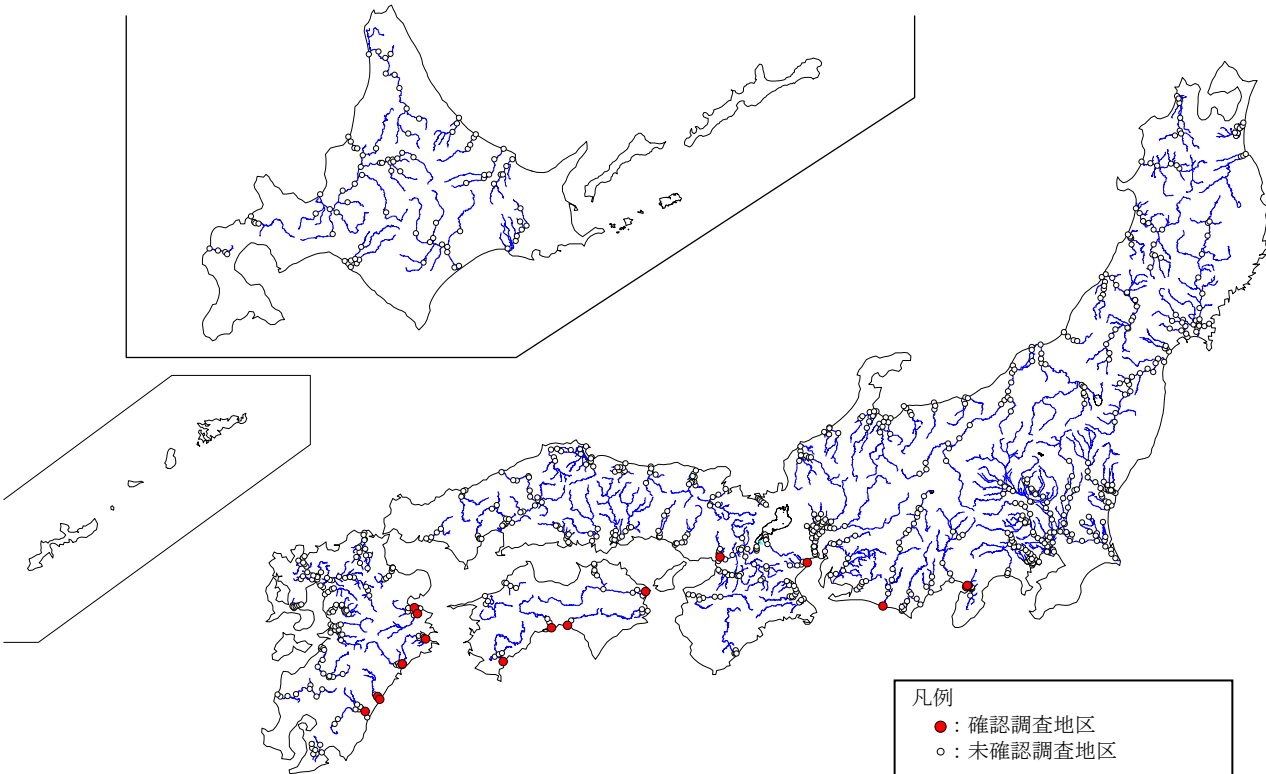
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

テングヨウジの確認された調査地区（2巡目調査、3巡目調査）

4巡目調査（平成18～22年度）



5巡目調査（平成23～27年度）

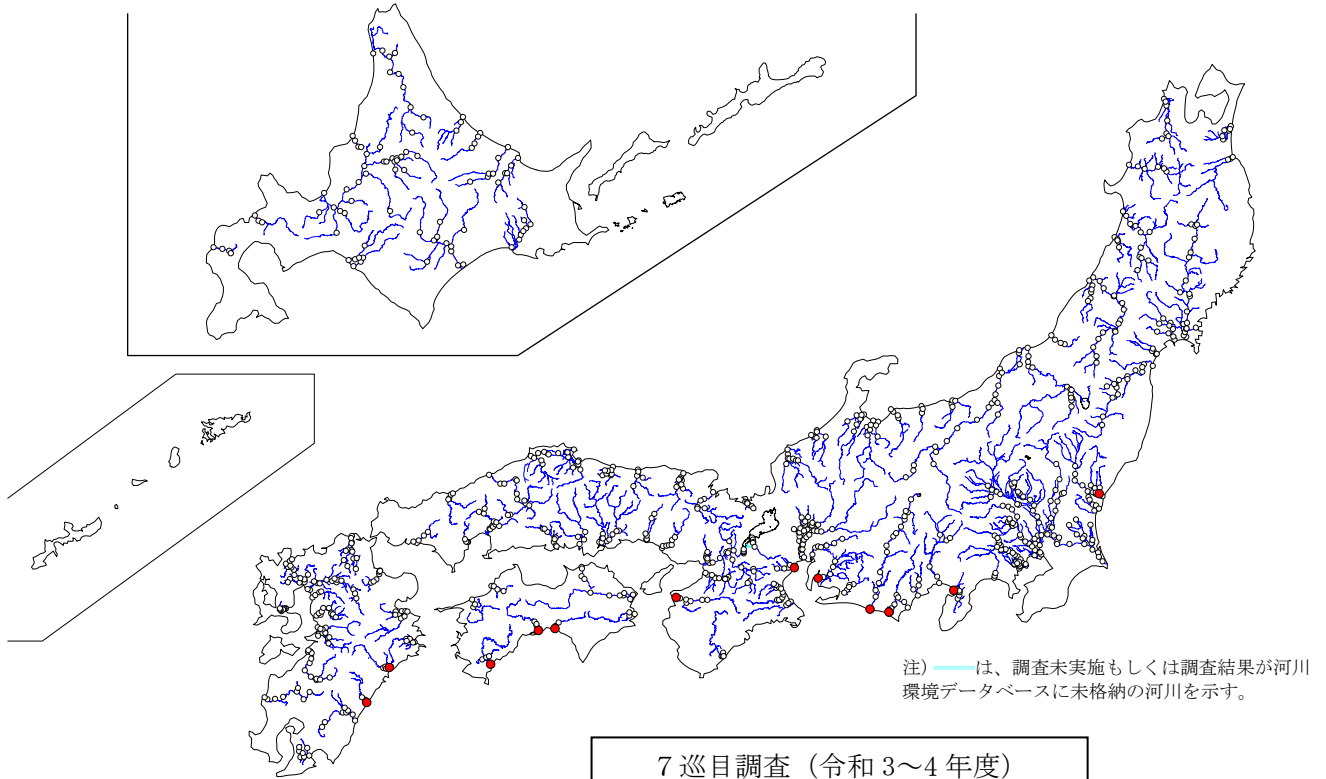


- 凡例
- ：確認調査地区
 - ：未確認調査地区

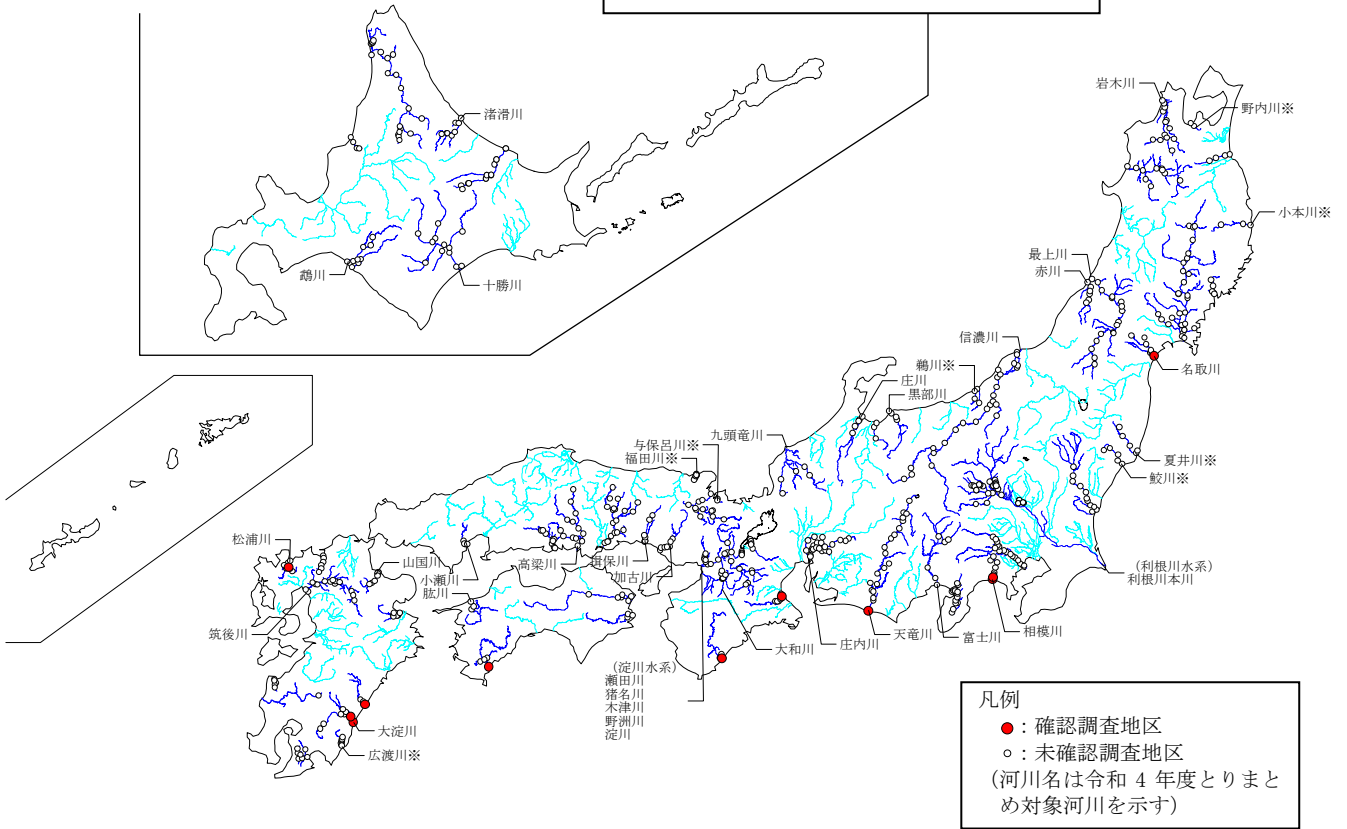
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

テングヨウジの確認された調査地区（4巡目調査、5巡目調査）

6 巡目調査（平成 28～令和 2 年度）



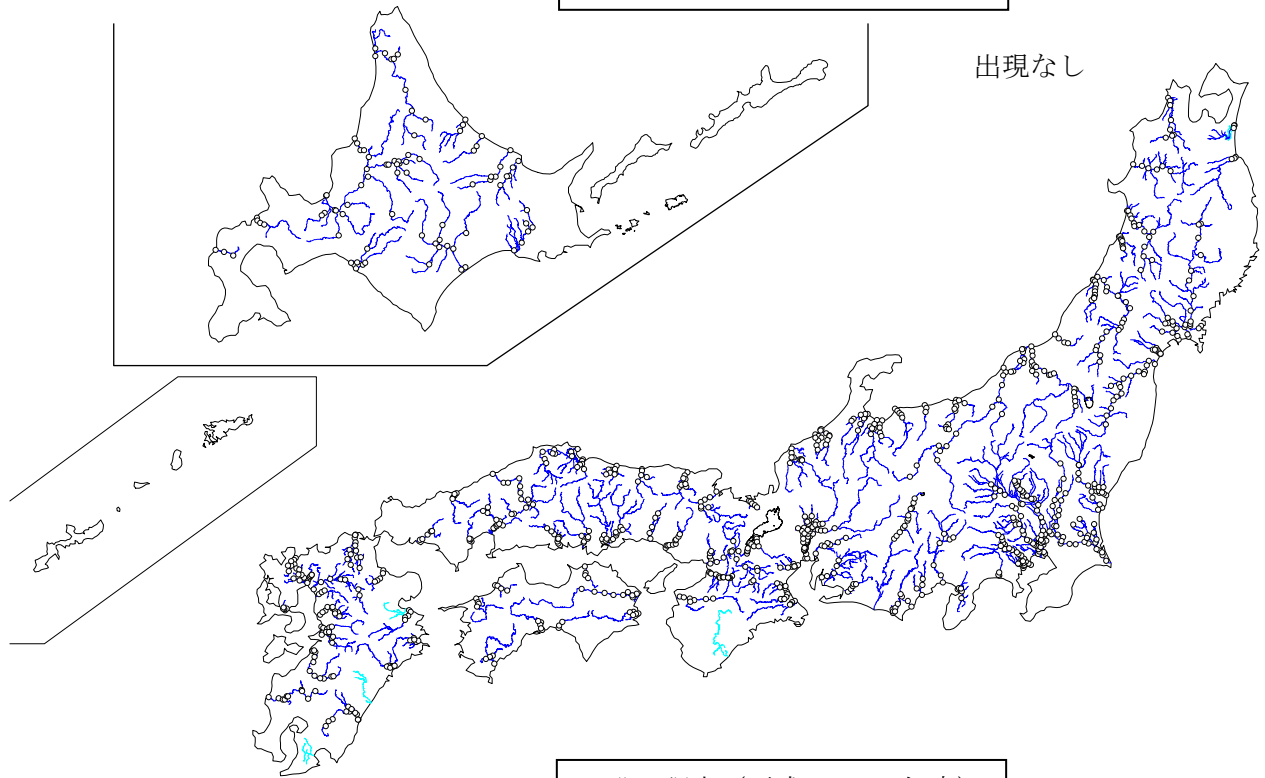
7 巡目調査（令和 3～4 年度）



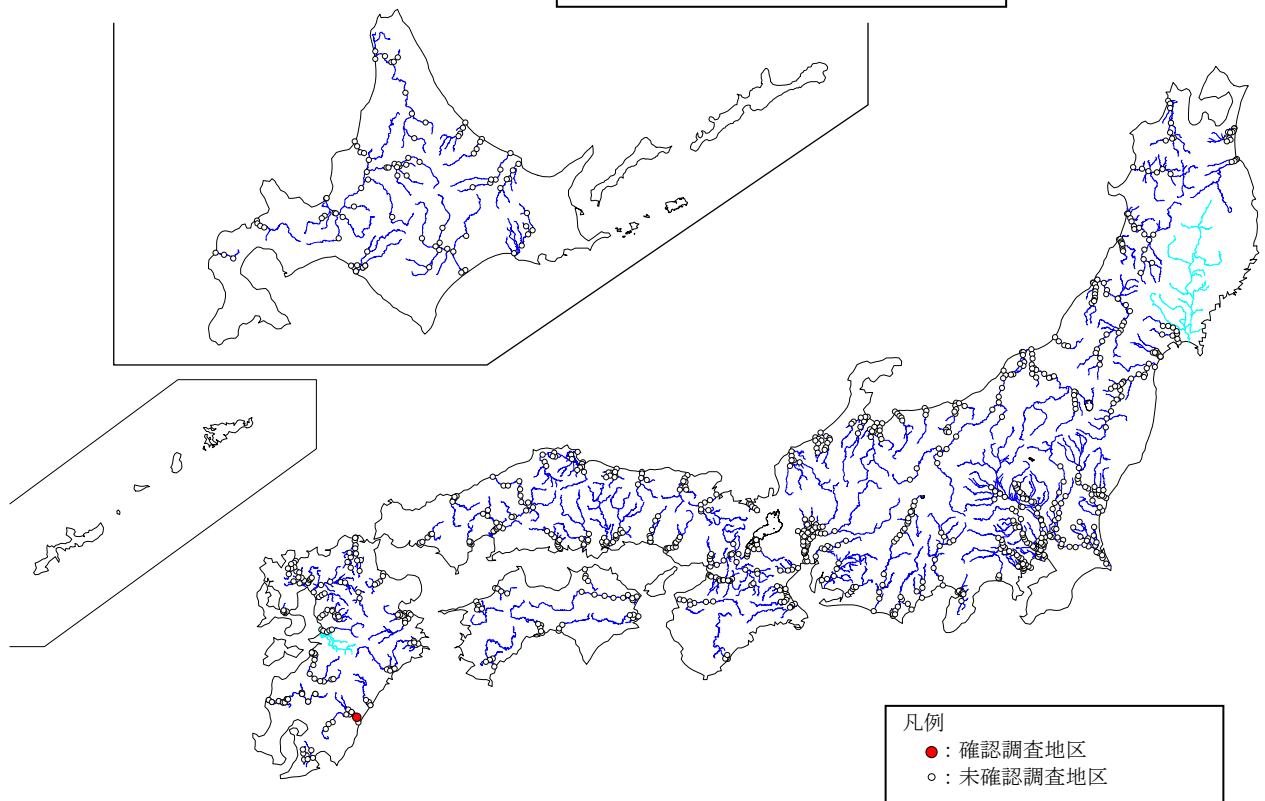
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、— は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系（河川）を示す。

テングヨウジの確認された調査地区（6 巡目調査、7 巡目調査）

2 巡目調査 (平成 8～12 年度)



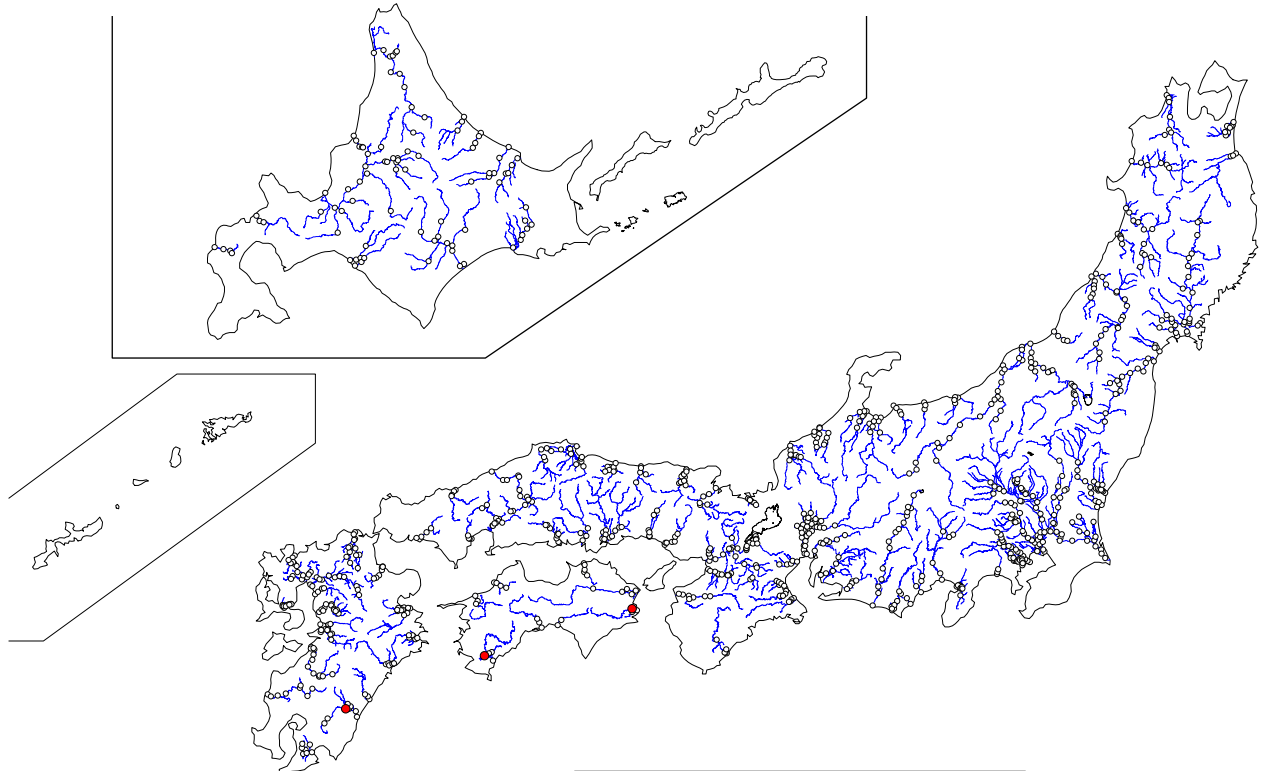
3 巡目調査 (平成 13～17 年度)



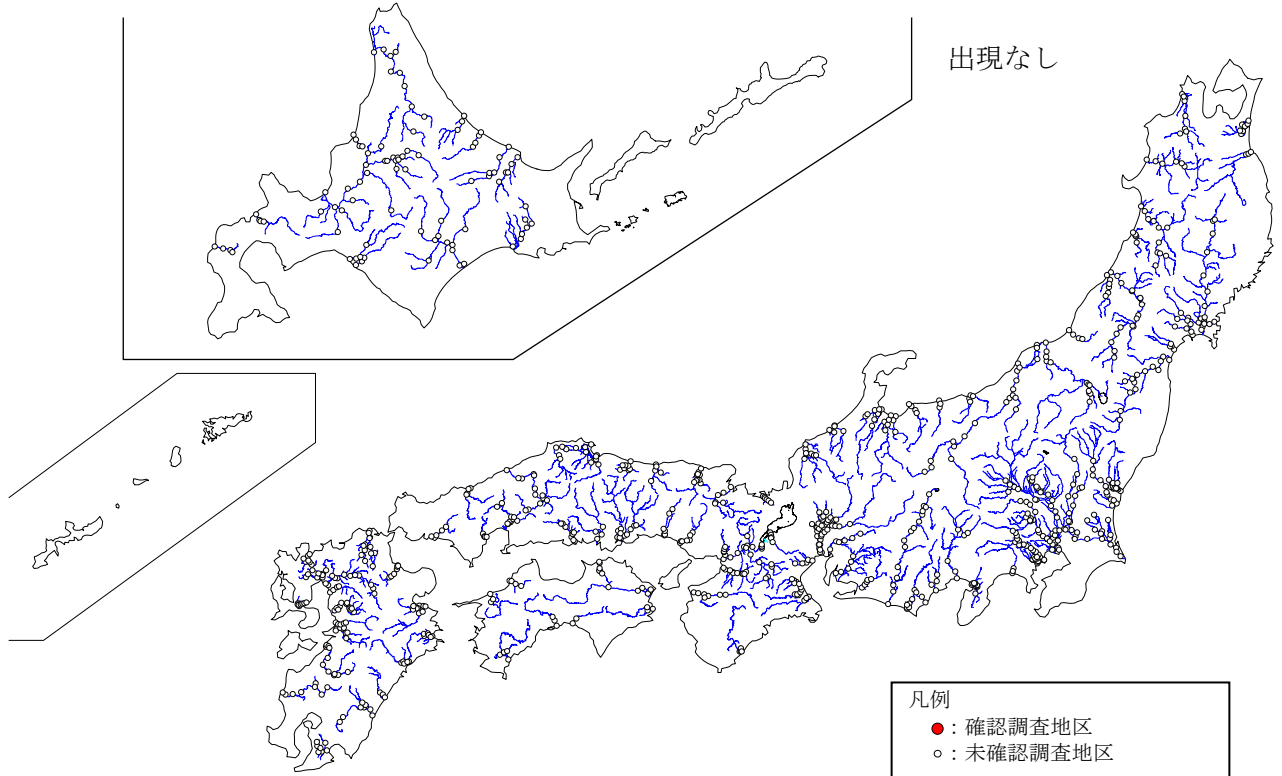
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

オオクチュゴイの確認された調査地区 (2 巡目調査、3 巡目調査)

4巡目調査（平成18～22年度）



5巡目調査（平成23～27年度）

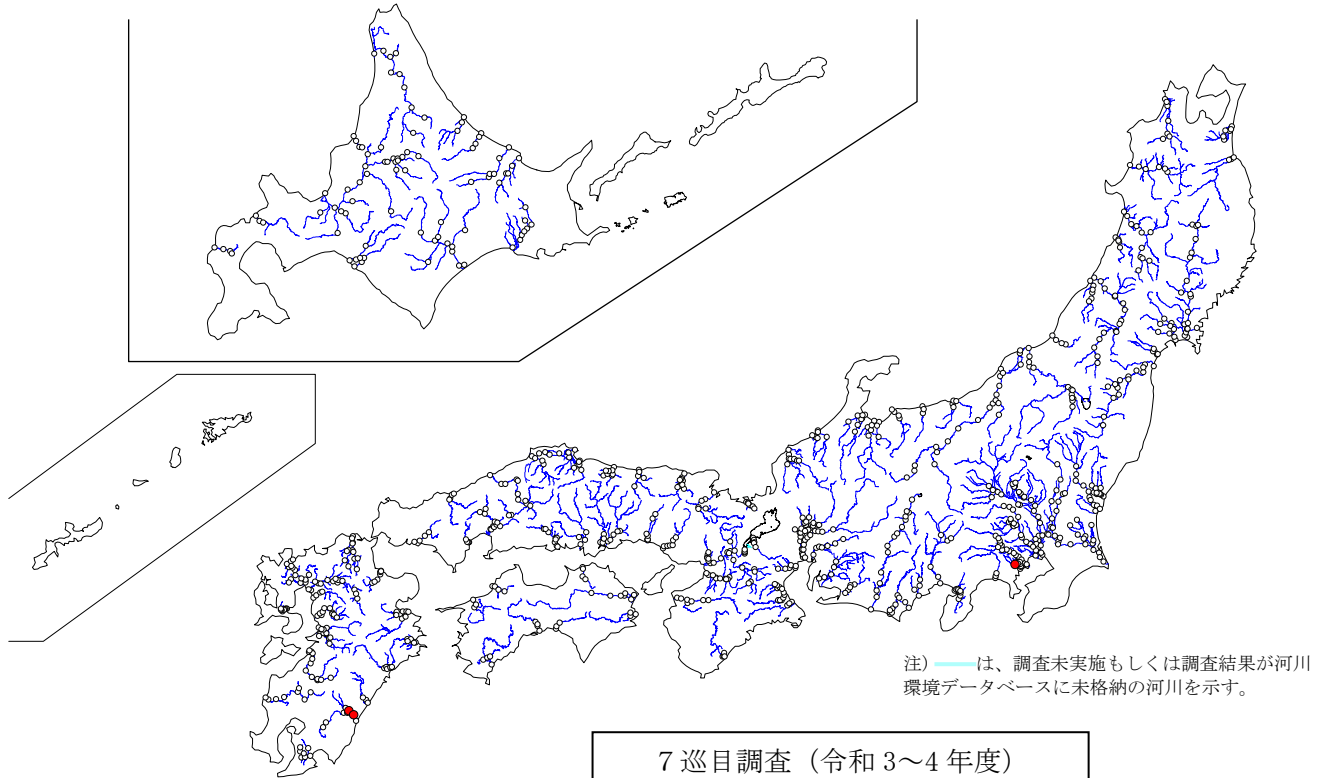


凡例
 ●：確認調査地区
 ○：未確認調査地区

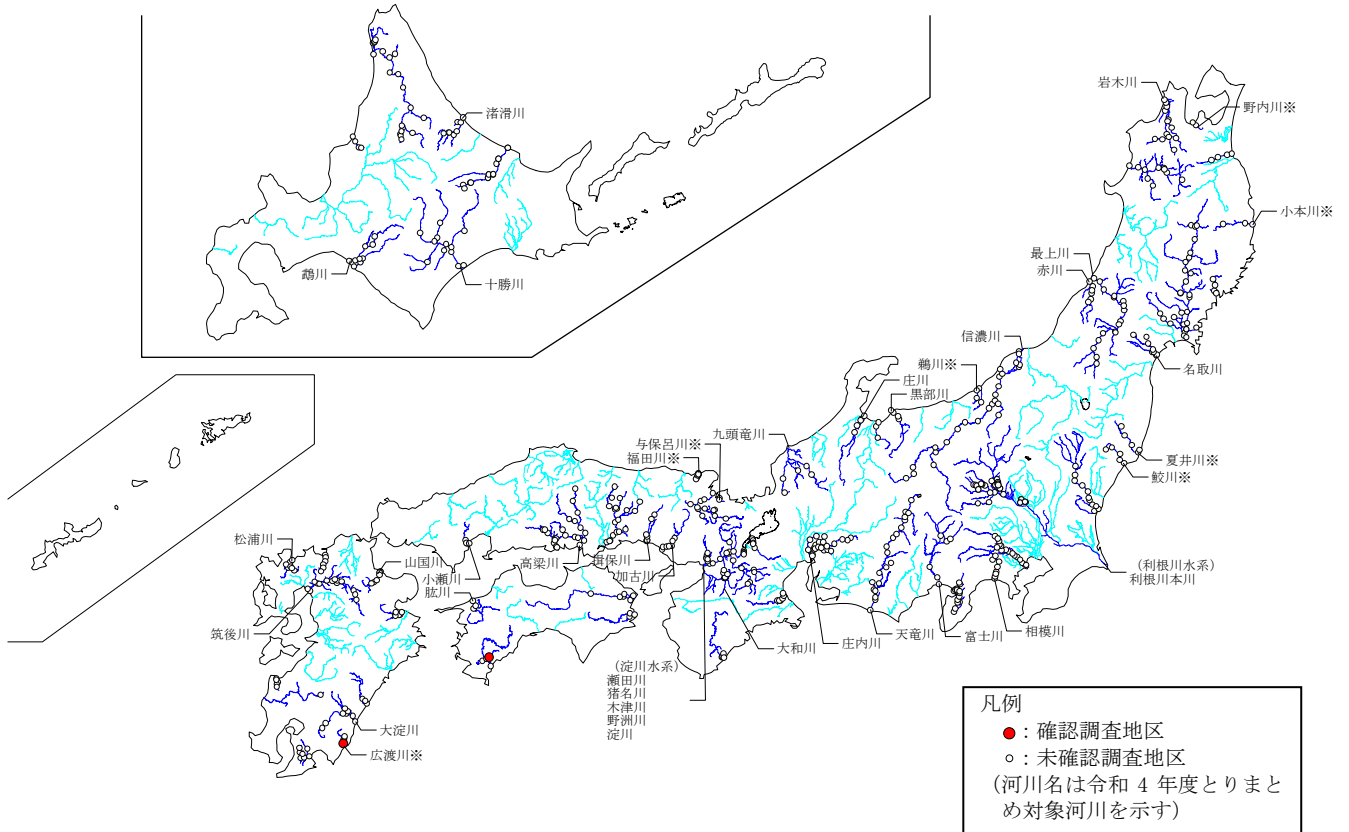
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

オオクチュゴイの確認された調査地区（4巡目調査、5巡目調査）

6 巡目調査 (平成 28～令和 2 年度)



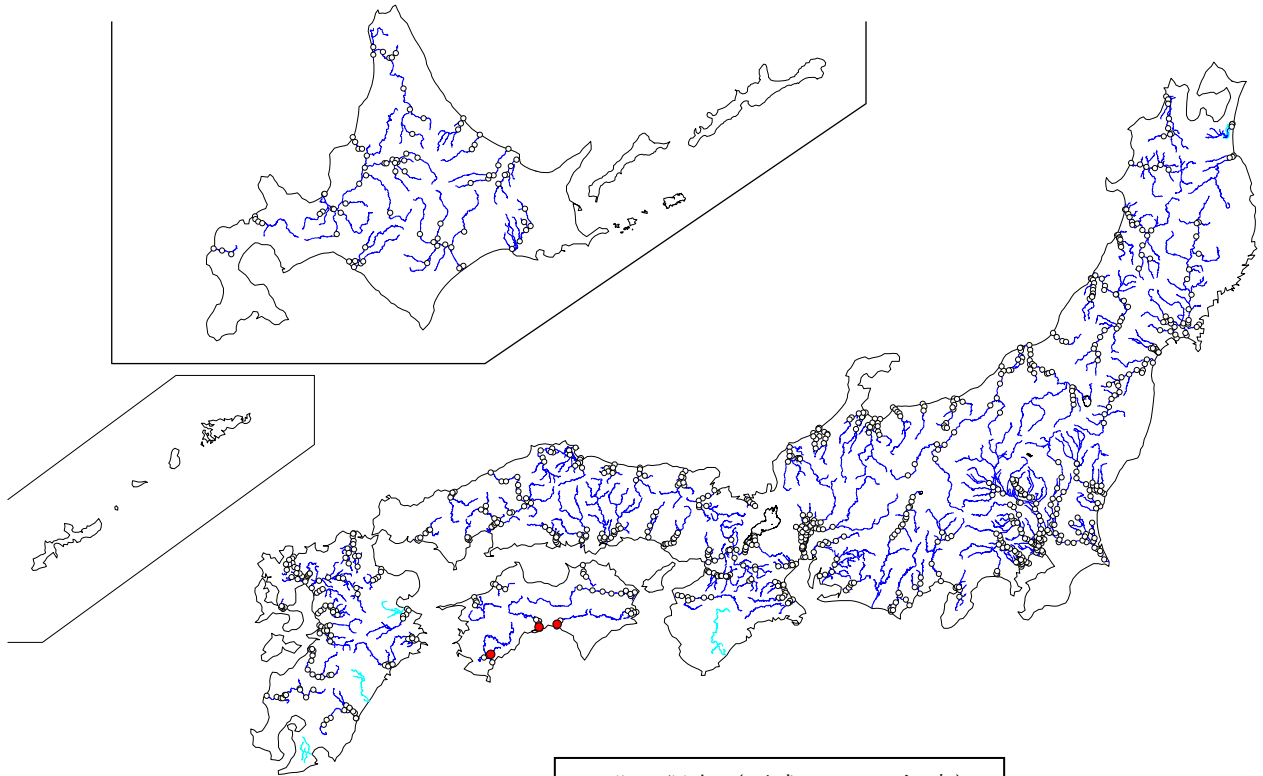
7 巡目調査 (令和 3～4 年度)



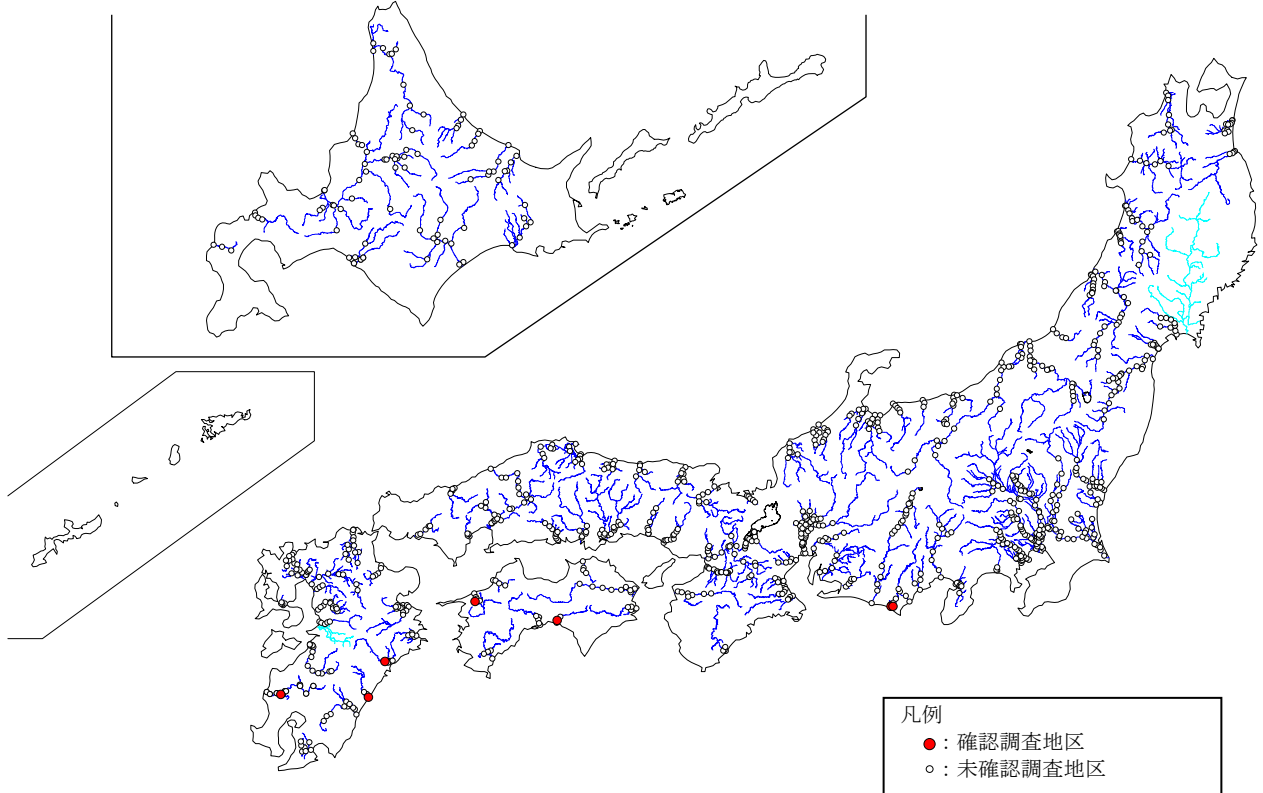
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系 (河川) を示す。

オオクチュゴイの確認された調査地区 (6 巡目調査、7 巡目調査)

2巡目調査（平成8～12年度）



3巡目調査（平成13～17年度）



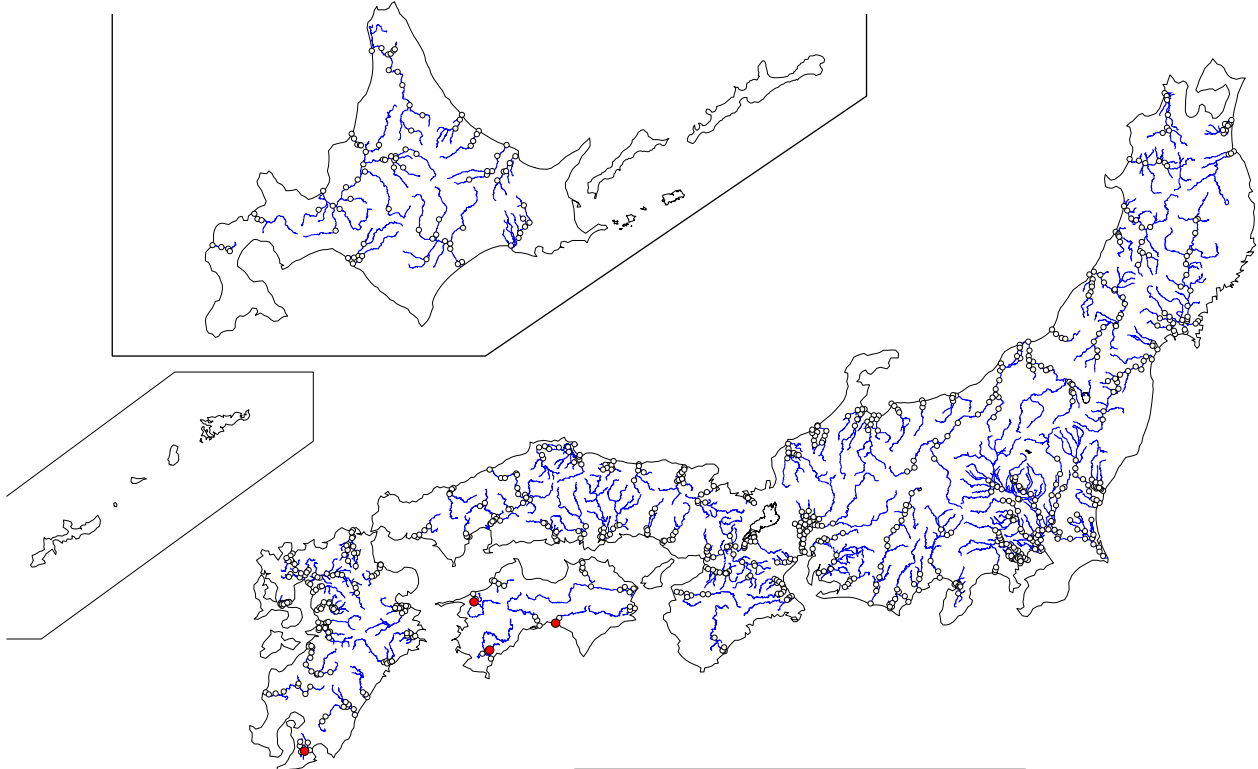
凡例

- ：確認調査地区
- ：未確認調査地区

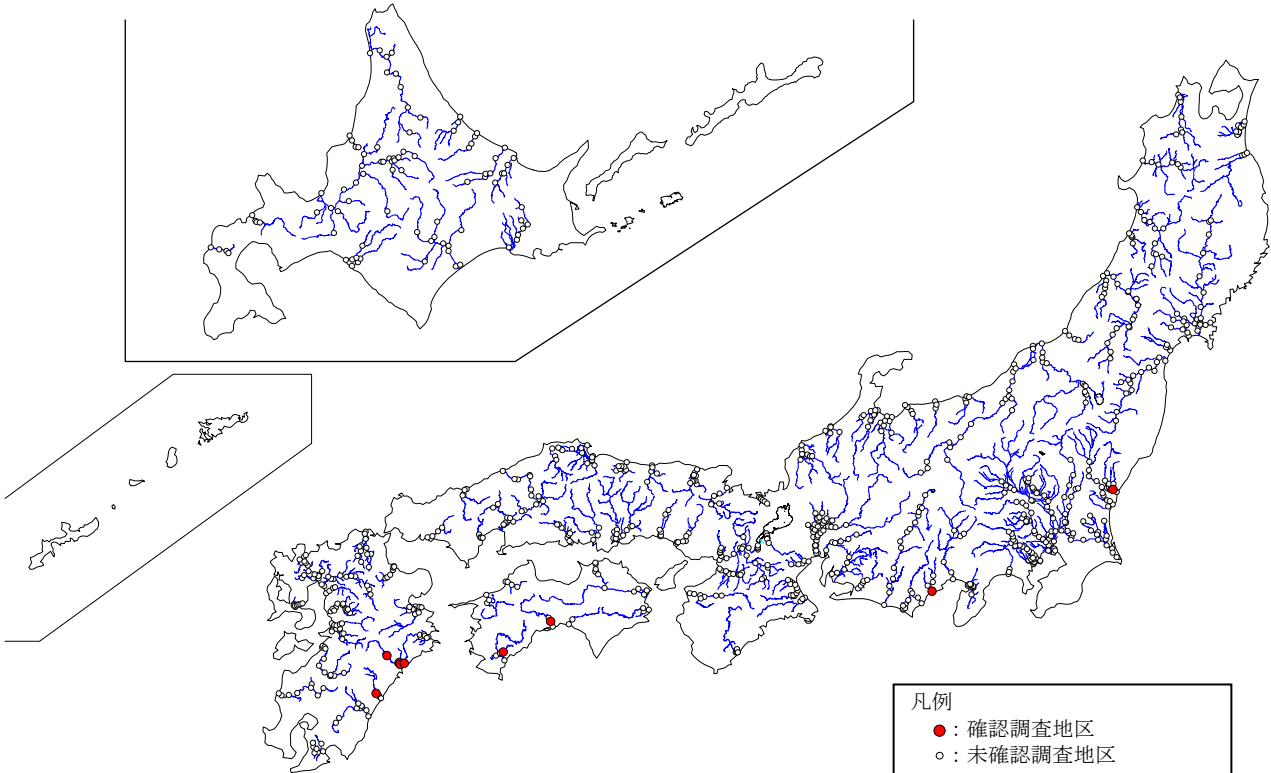
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ユゴイの確認された調査地区（2巡目調査、3巡目調査）

4巡目調査（平成18～22年度）



5巡目調査（平成23～27年度）

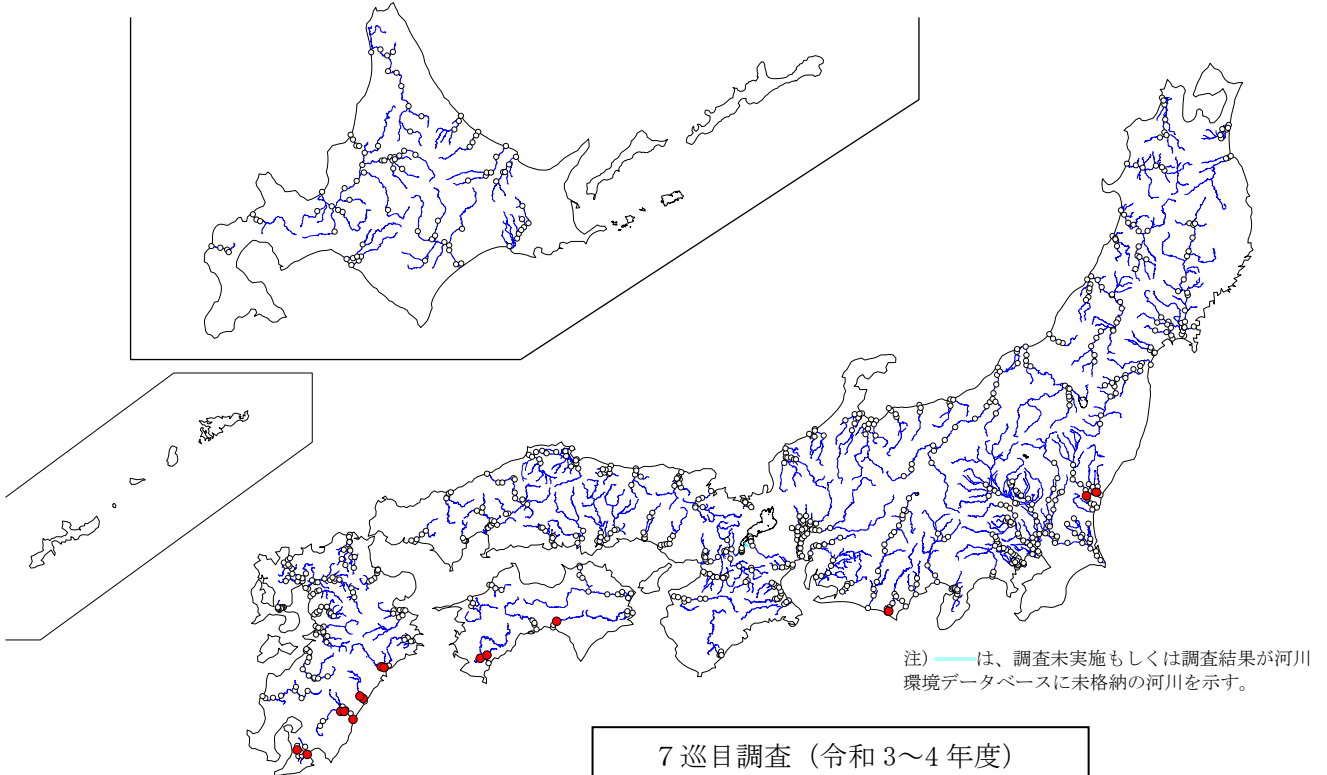


凡例
 ●：確認調査地区
 ○：未確認調査地区

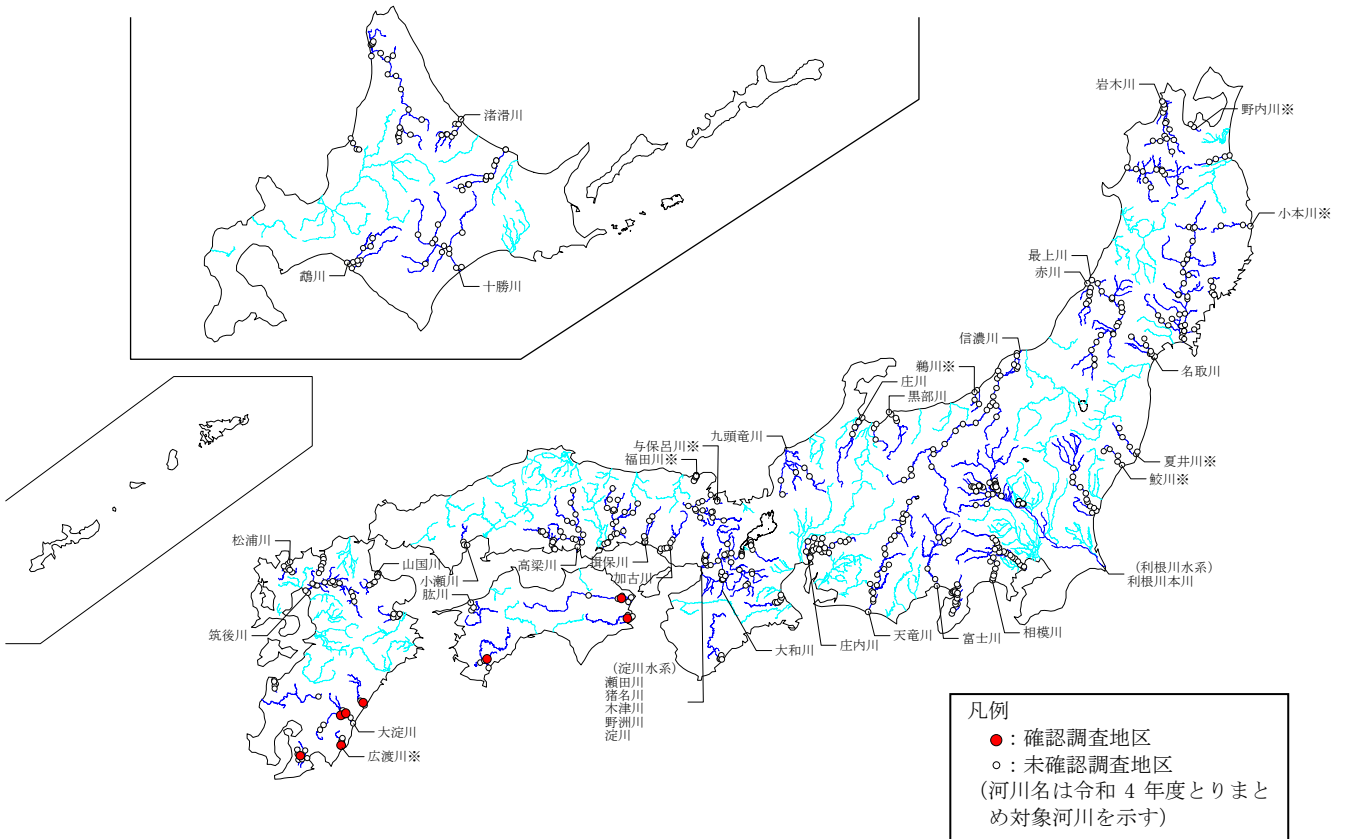
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ユゴイの確認された調査地区（4巡目調査、5巡目調査）

6 巡目調査（平成 28～令和 2 年度）



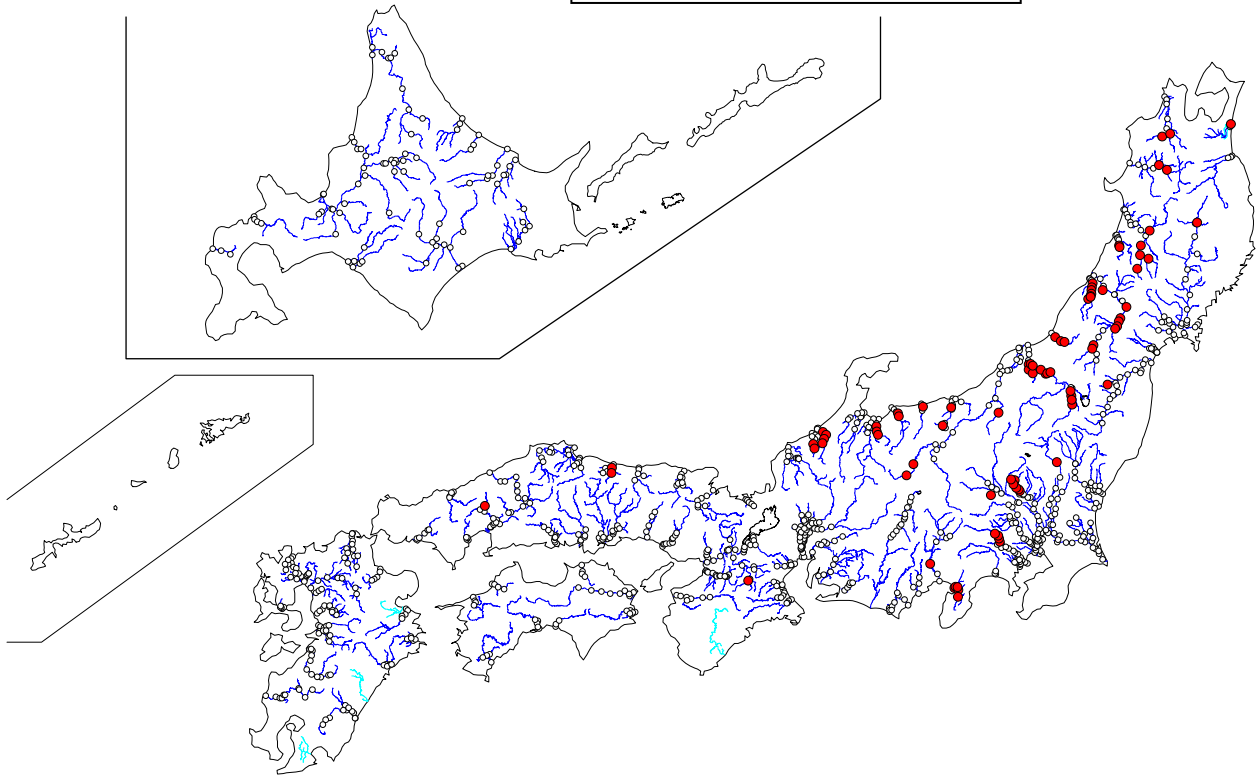
7 巡目調査（令和 3～4 年度）



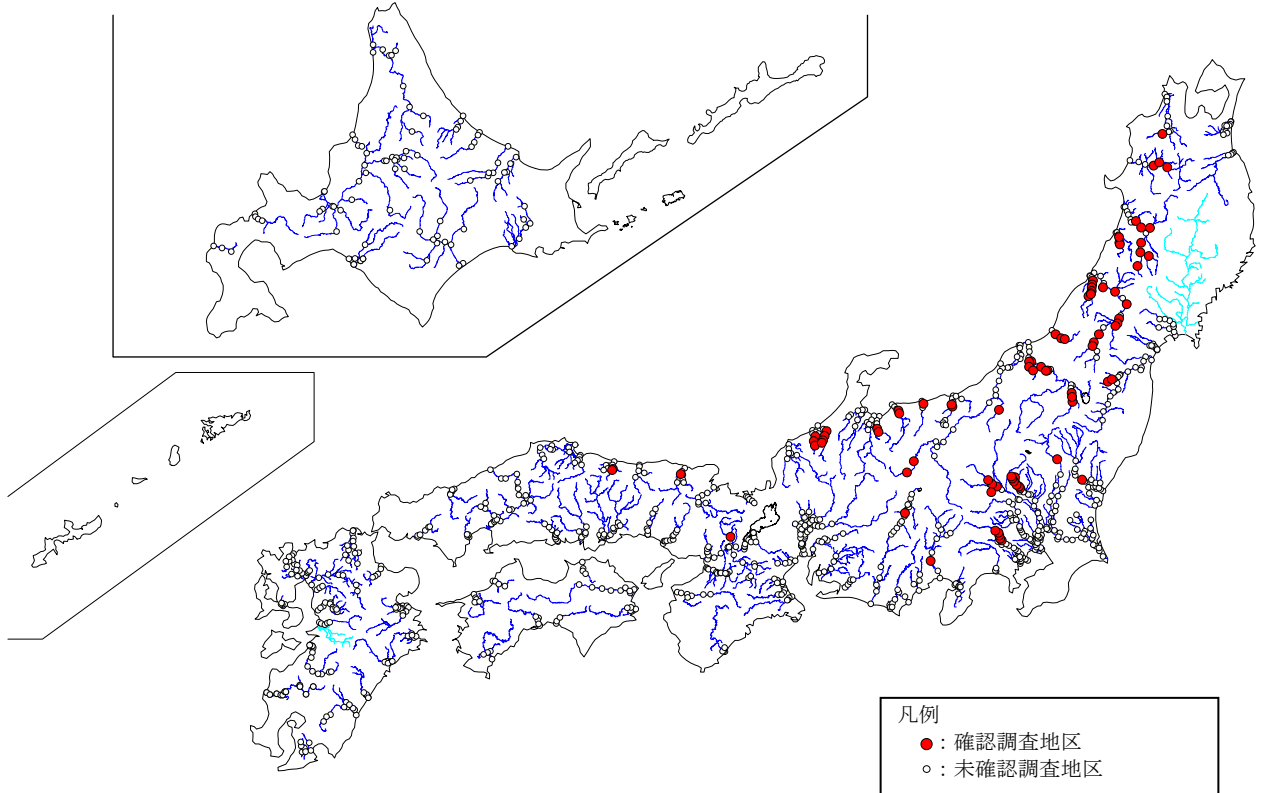
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系（河川）を示す。

ユゴイの確認された調査地区（6 巡目調査、7 巡目調査）

2 巡目調査（平成 8～12 年度）

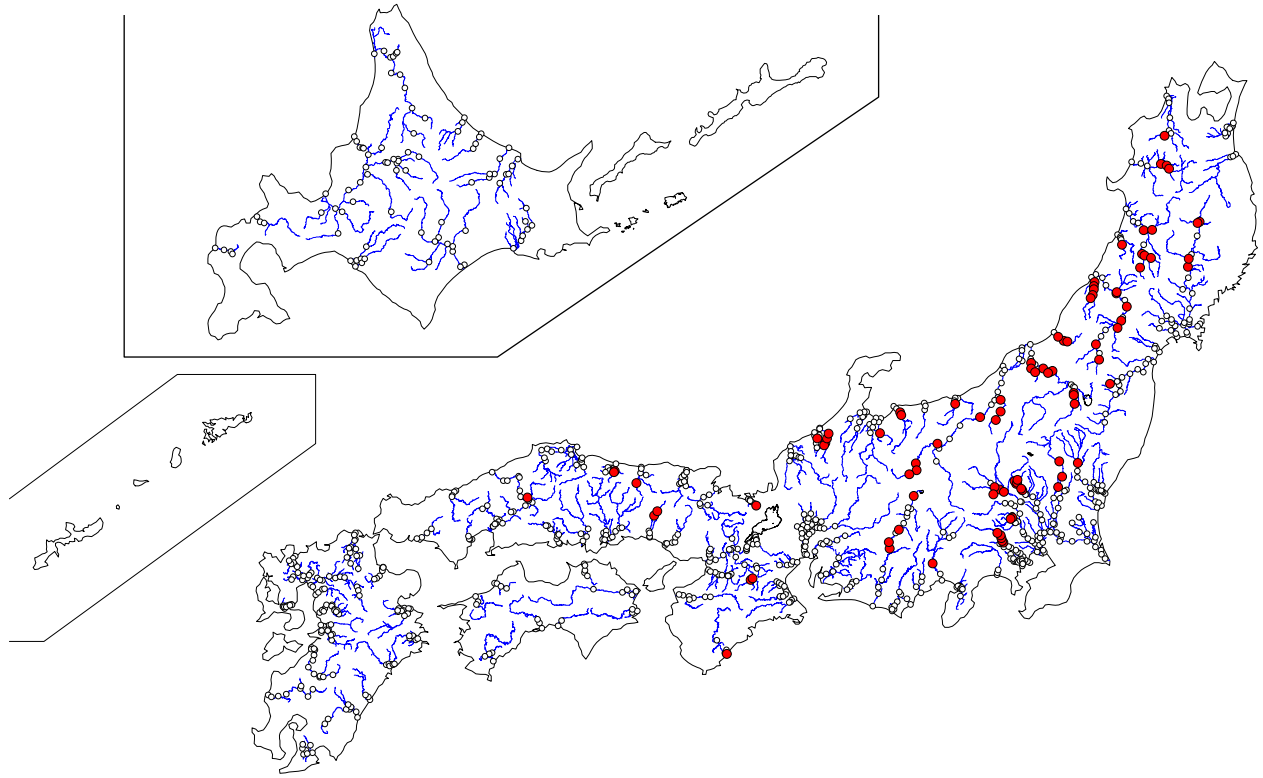


3 巡目調査（平成 13～17 年度）

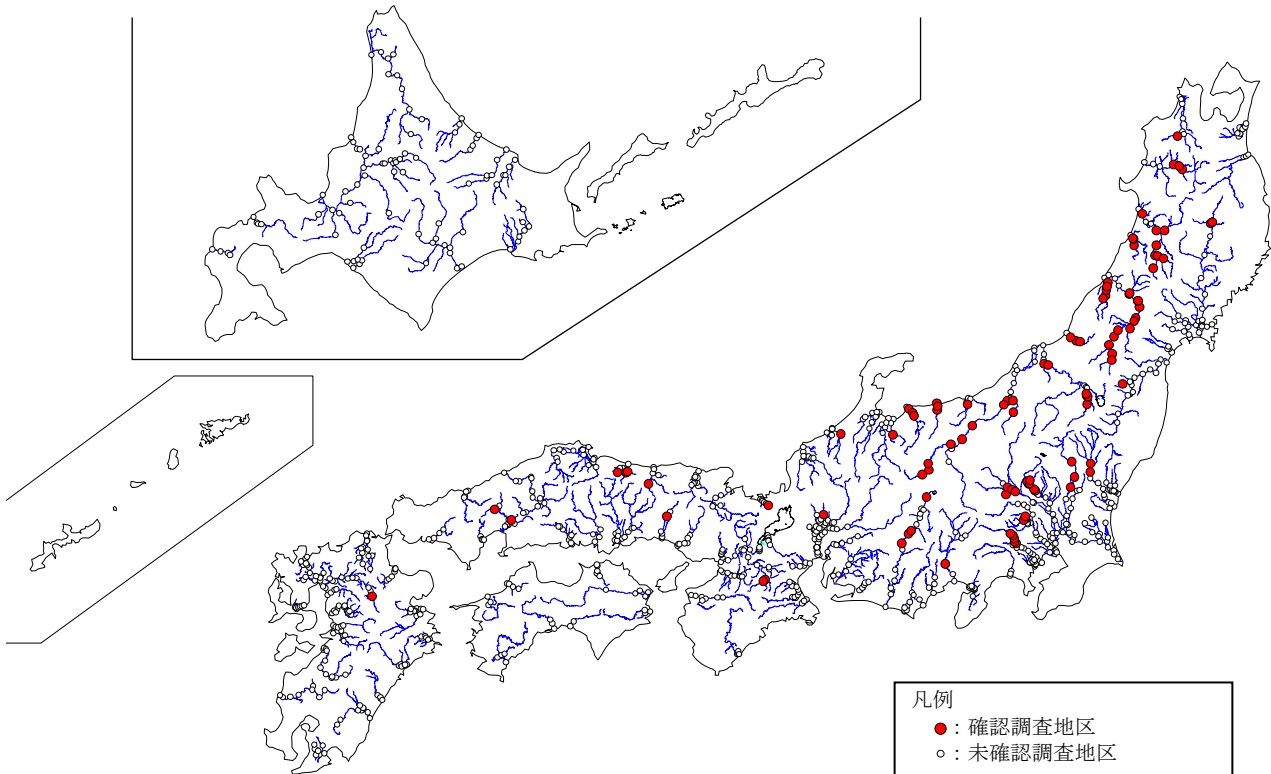


カジカの確認された調査地区（2 巡目調査、3 巡目調査）

4 巡目調査（平成 18～22 年度）



5 巡目調査（平成 23～27 年度）



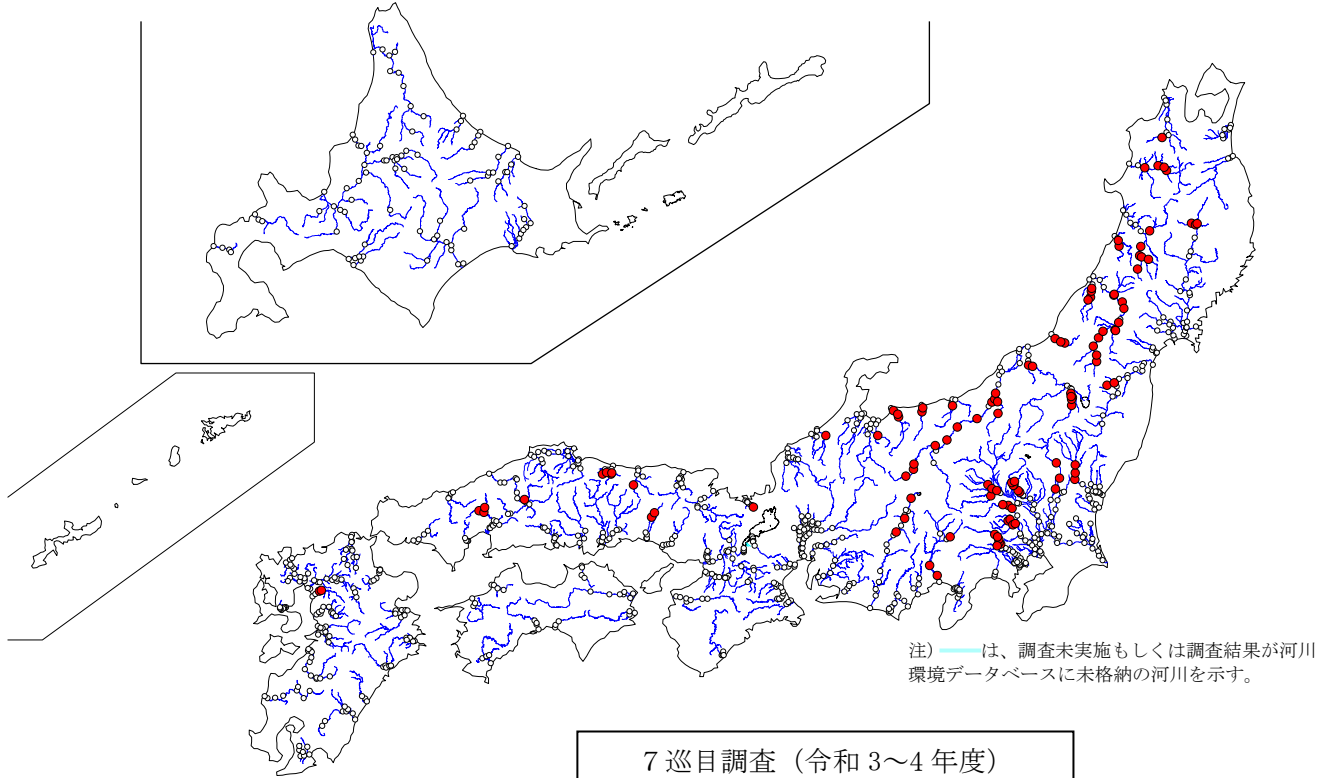
凡例

- : 確認調査地区
- : 未確認調査地区

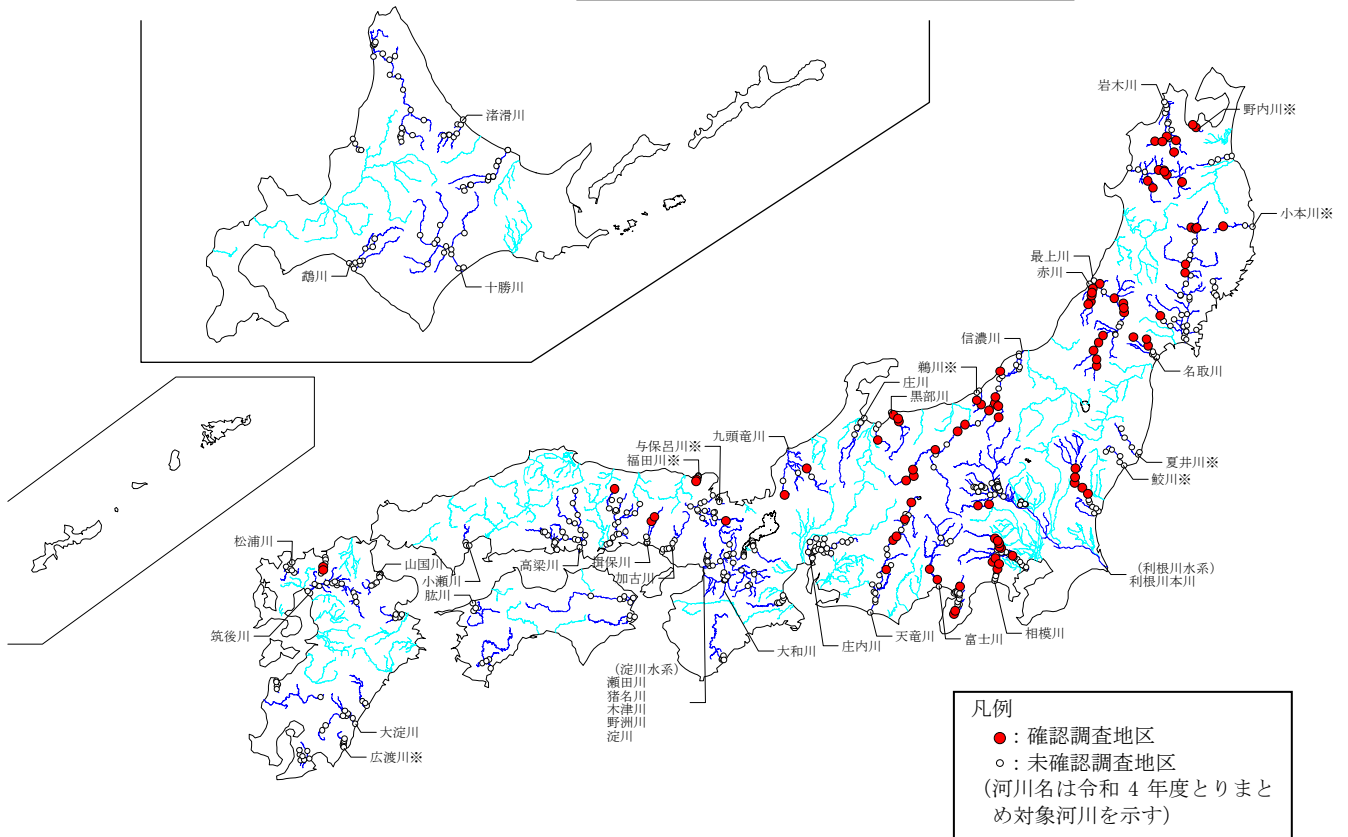
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

カジカの確認された調査地区（4 巡目調査、5 巡目調査）

6 巡目調査 (平成 28～令和 2 年度)

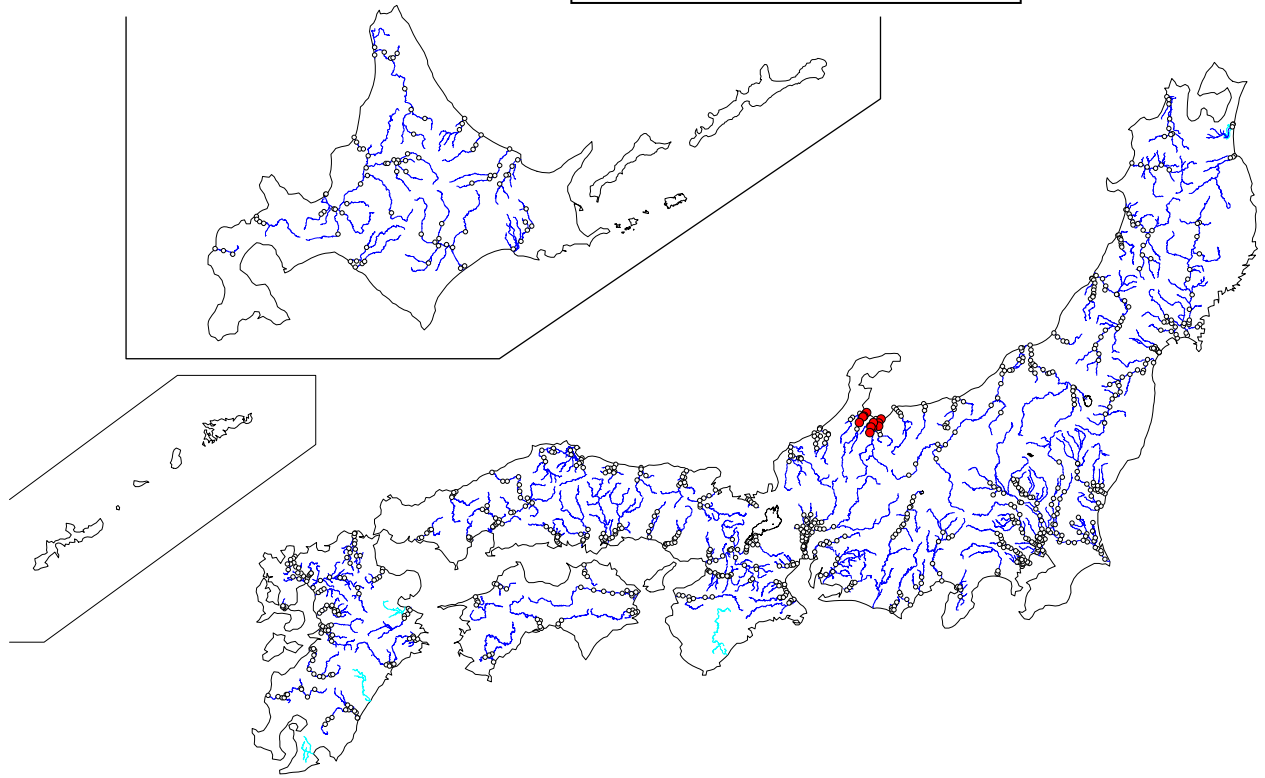


7 巡目調査 (令和 3～4 年度)

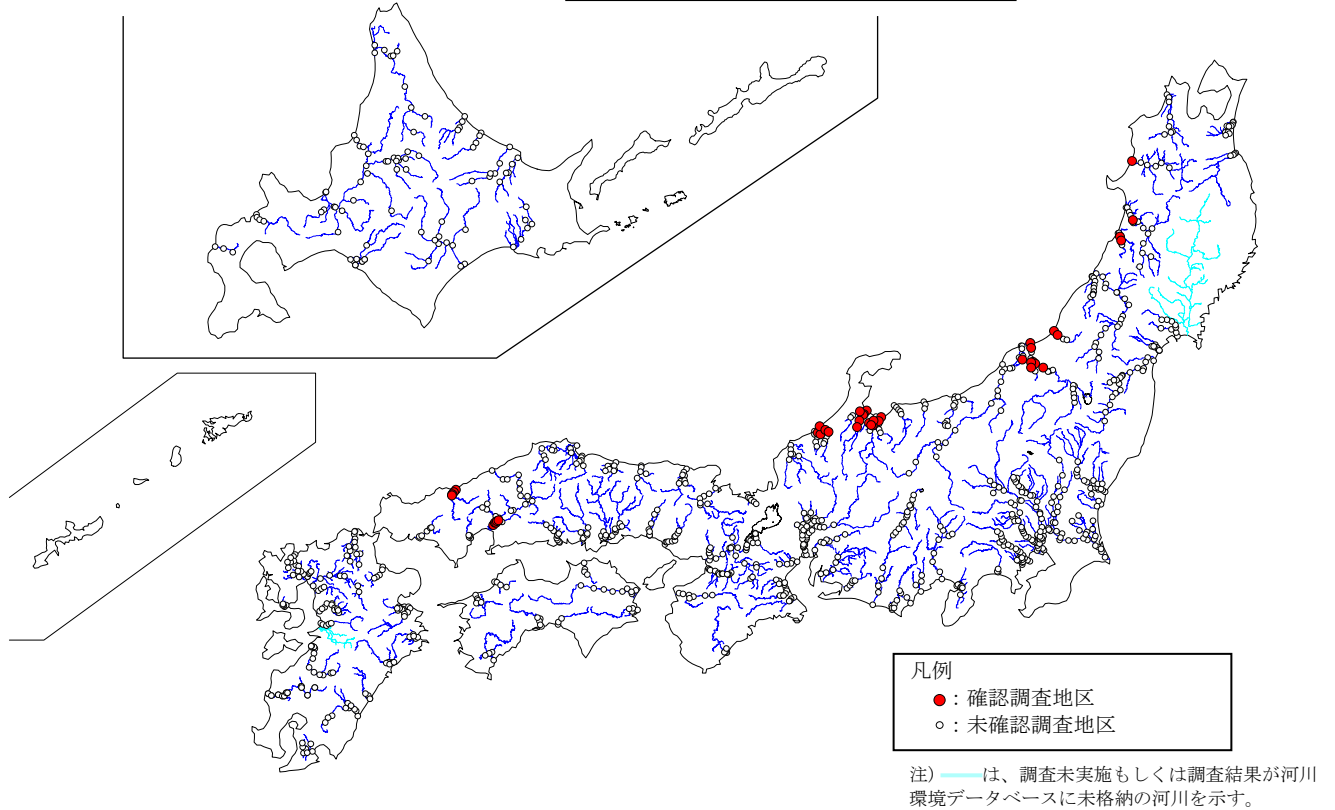


カジカの確認された調査地区 (6 巡目調査、7 巡目調査)

2 巡目調査 (平成 8～12 年度)

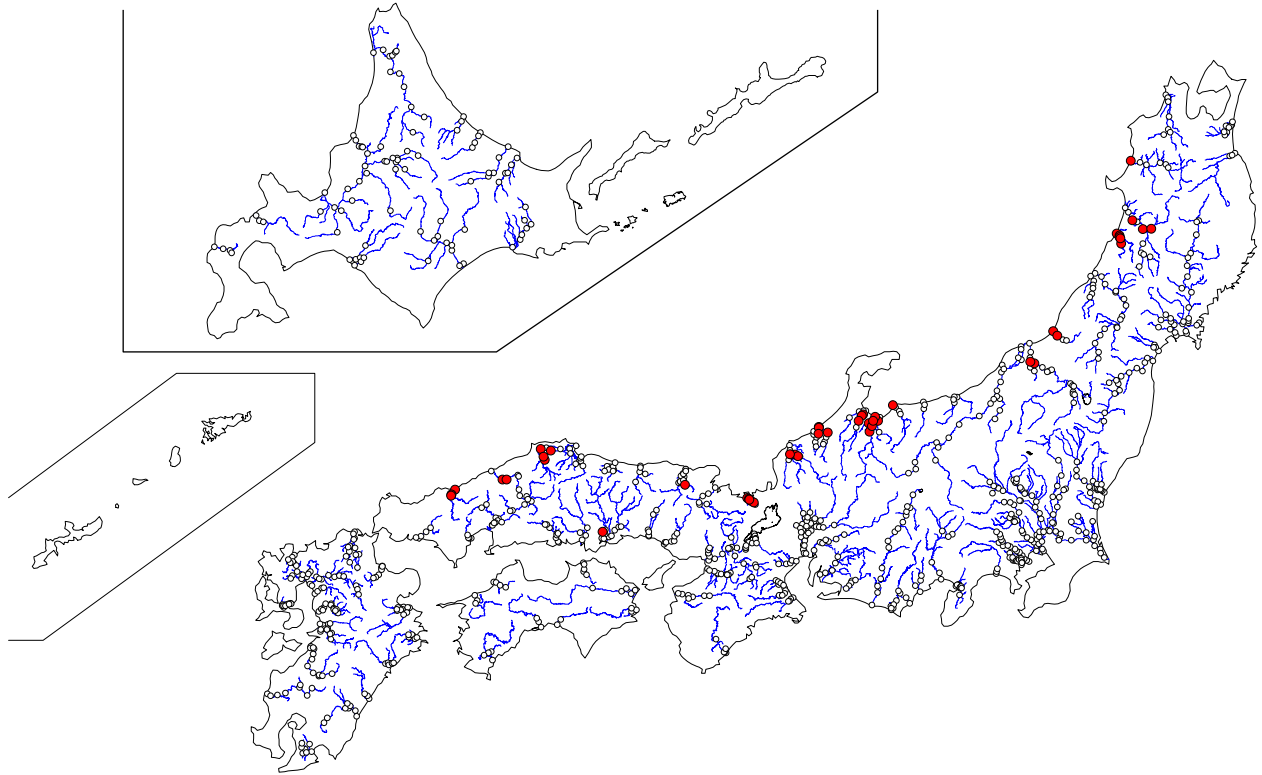


3 巡目調査 (平成 13～17 年度)

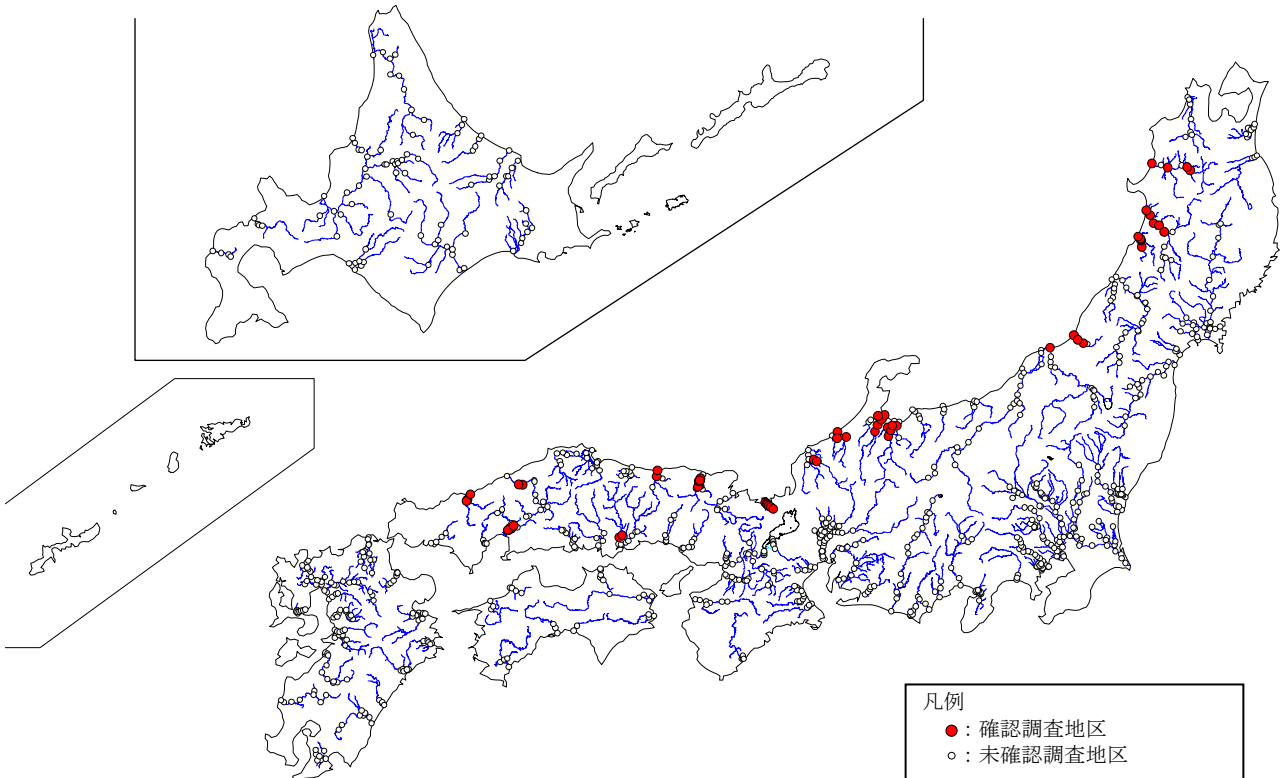


カジカ中卵型の確認された調査地区 (2 巡目調査、3 巡目調査)

4 巡目調査（平成 18～22 年度）



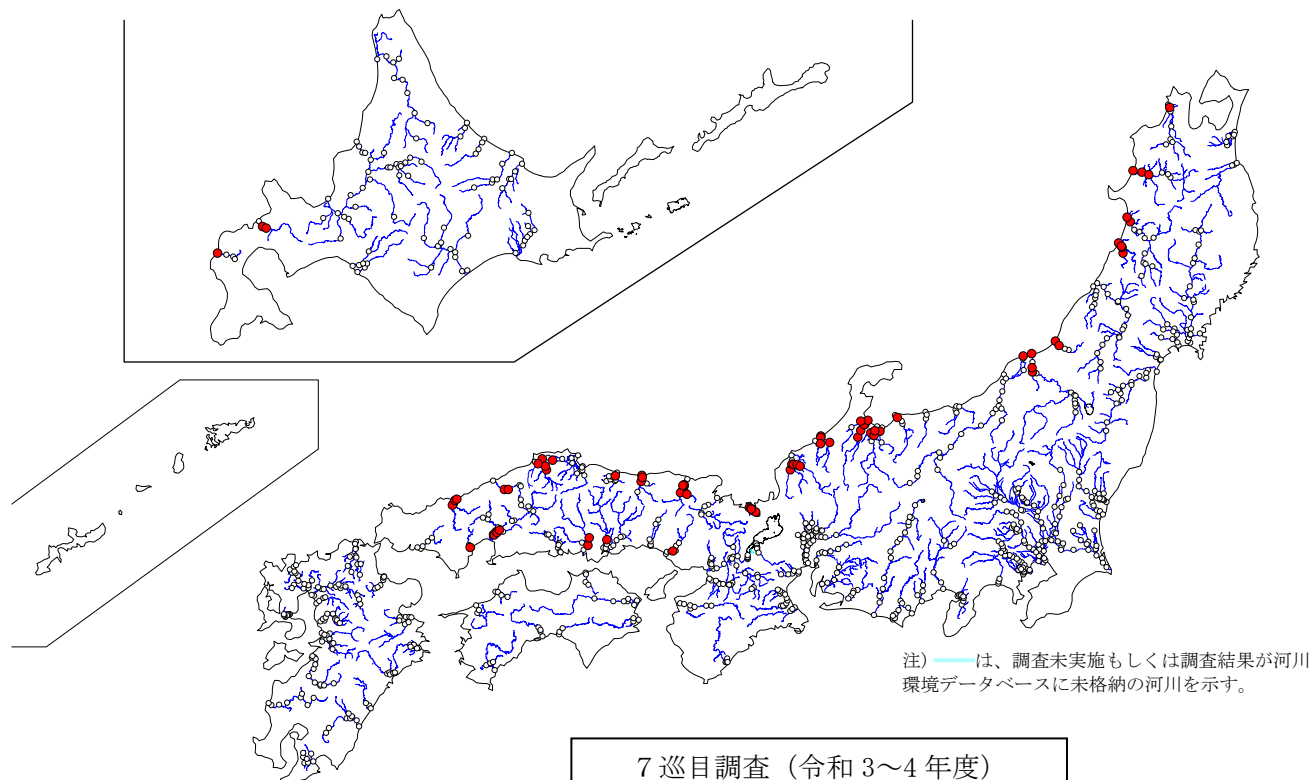
5 巡目調査（平成 23～27 年度）



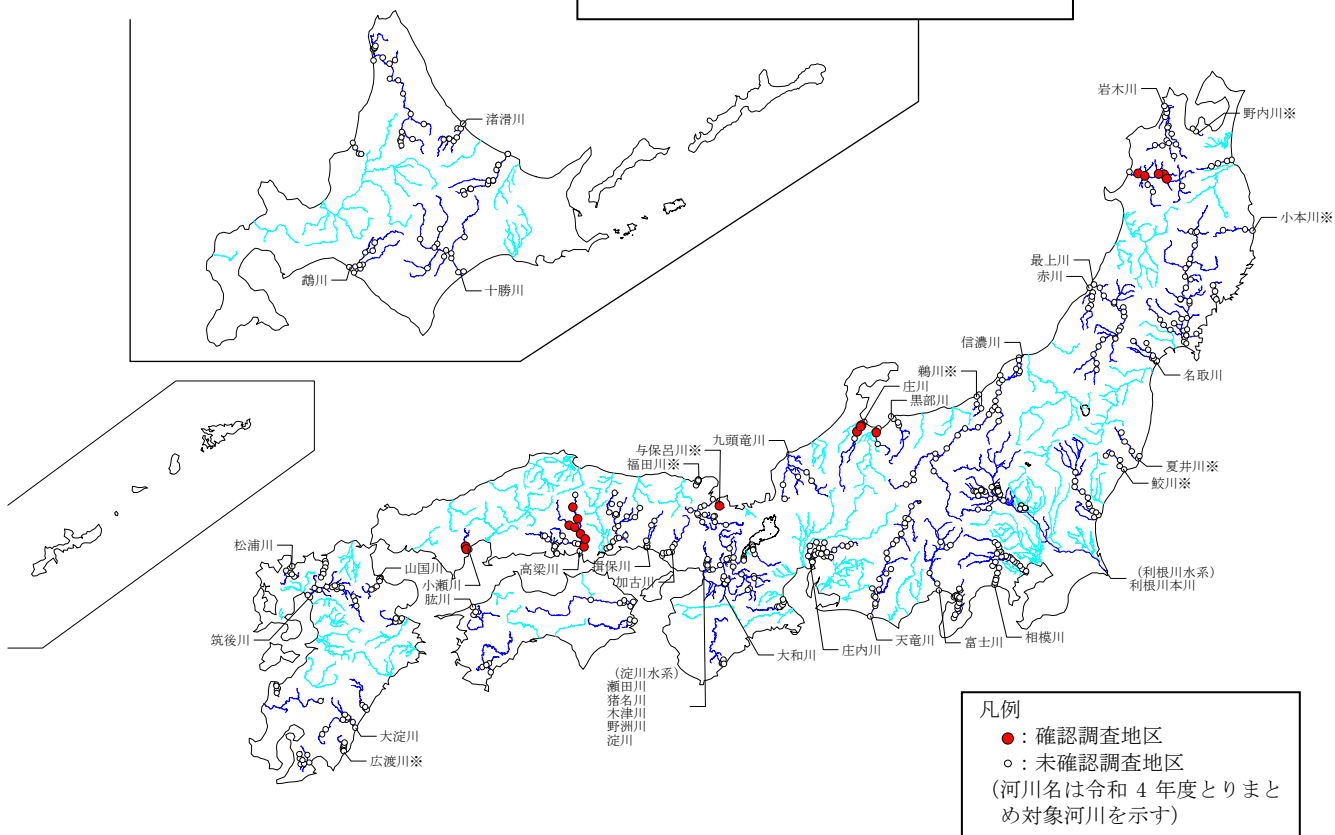
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

カジカ中卵型の確認された調査地区（4 巡目調査、5 巡目調査）

6 巡目調査（平成 28～令和 2 年度）



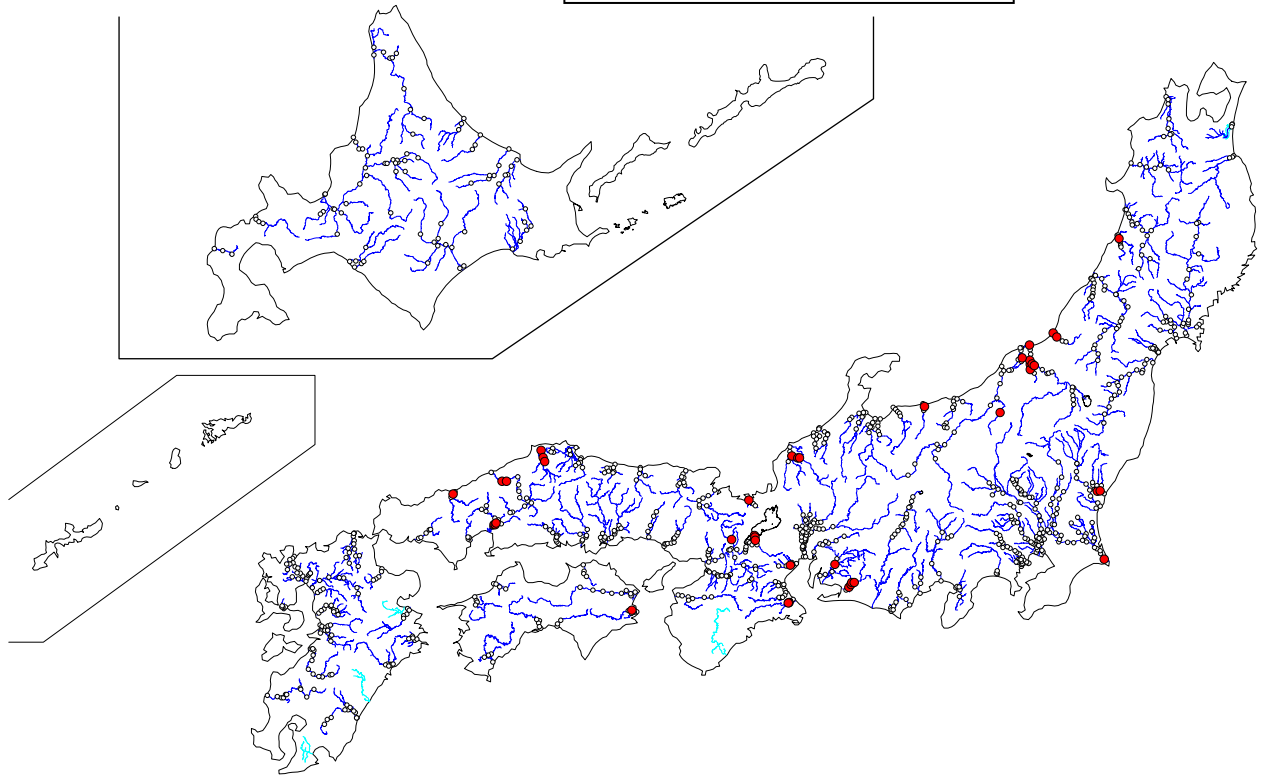
7 巡目調査（令和 3～4 年度）



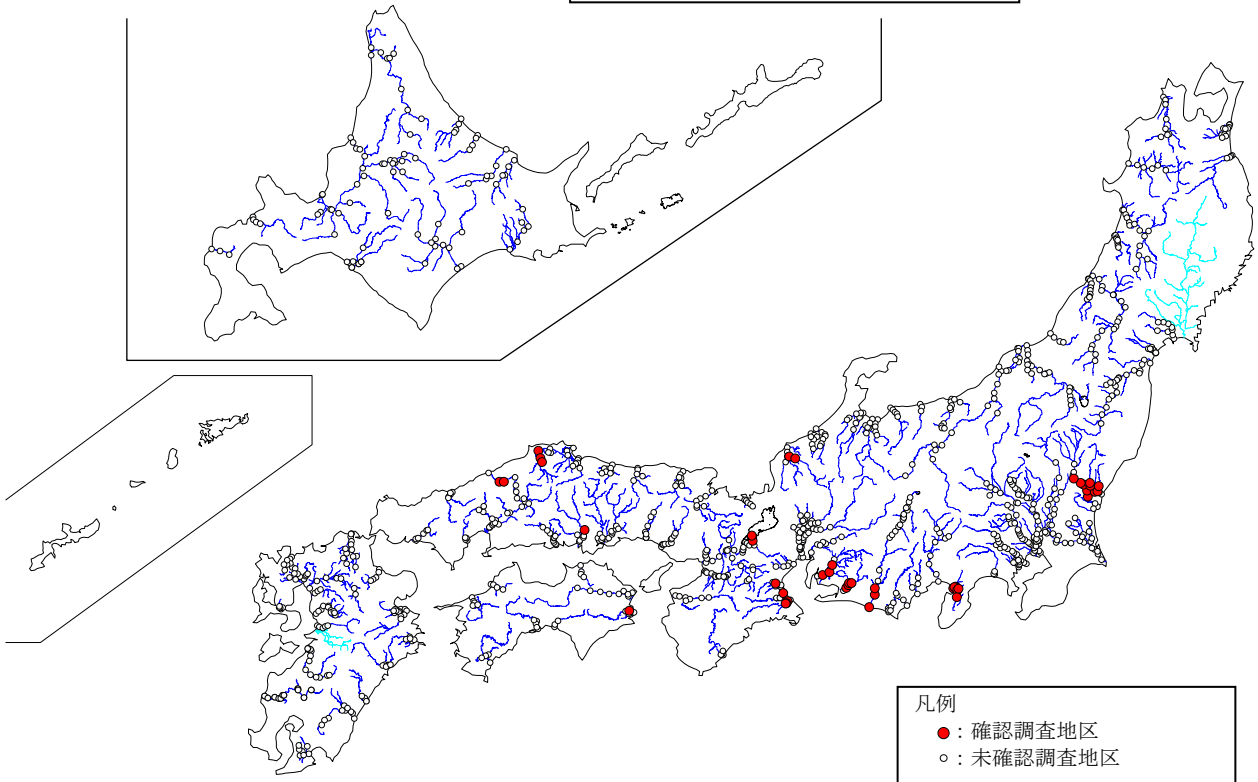
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系（河川）を示す。

カジカ中卵型の確認された調査地区（6 巡目調査、7 巡目調査）

2 巡目調査 (平成 8～12 年度)



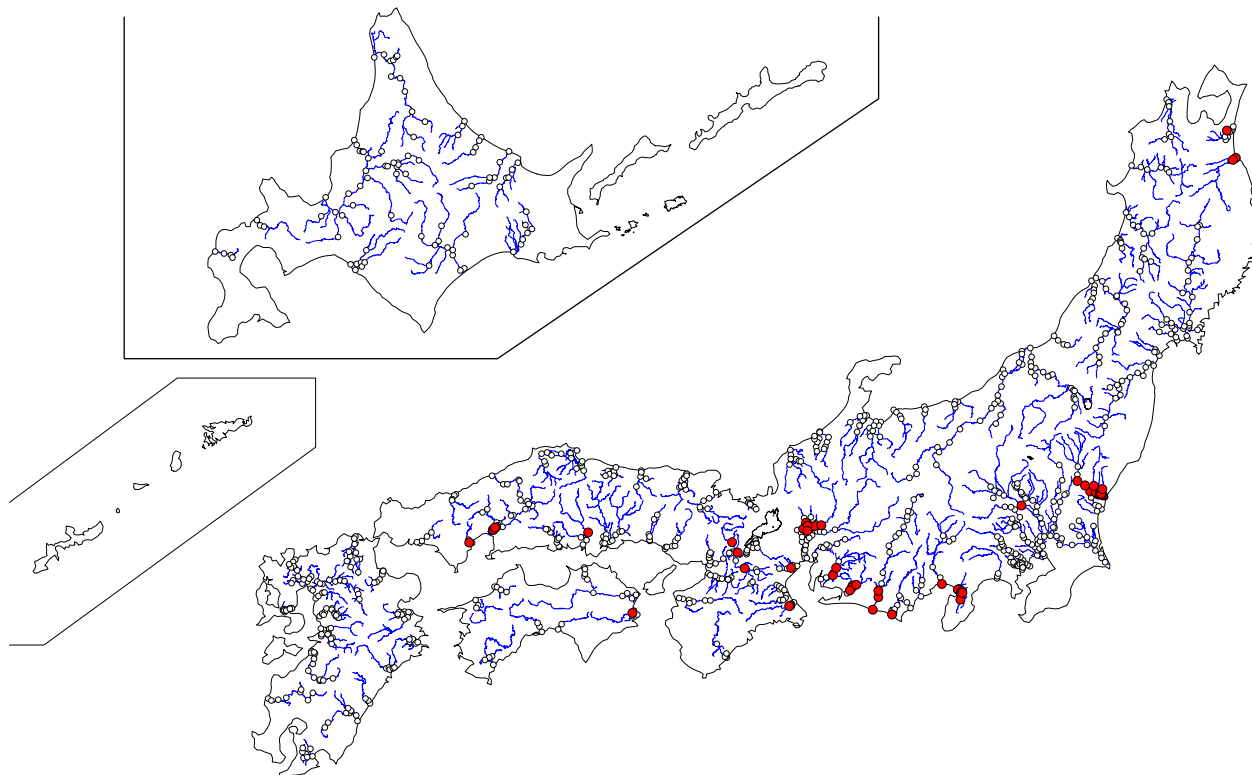
3 巡目調査 (平成 13～17 年度)



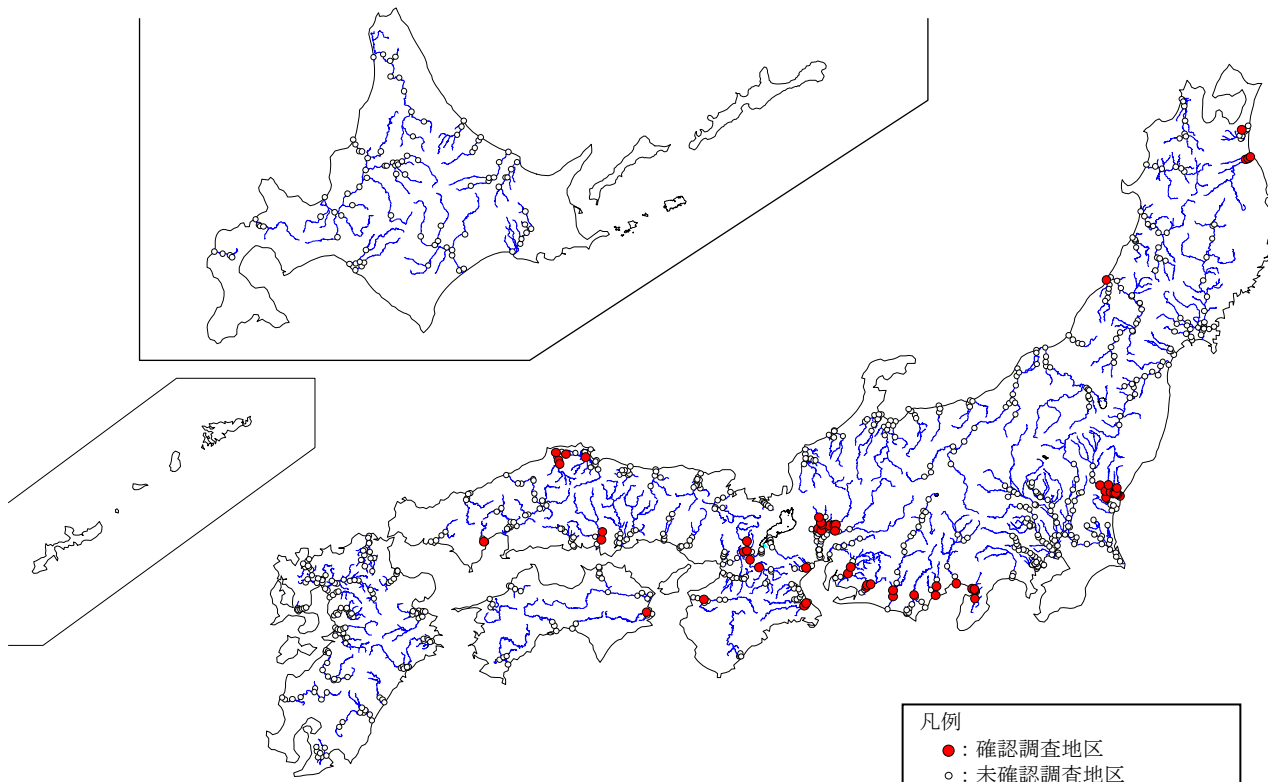
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ウツセミカジカ (淡水性両側回遊型) の確認された調査地区 (2 巡目調査、3 巡目調査)

4 巡目調査 (平成 18～22 年度)



5 巡目調査 (平成 23～27 年度)



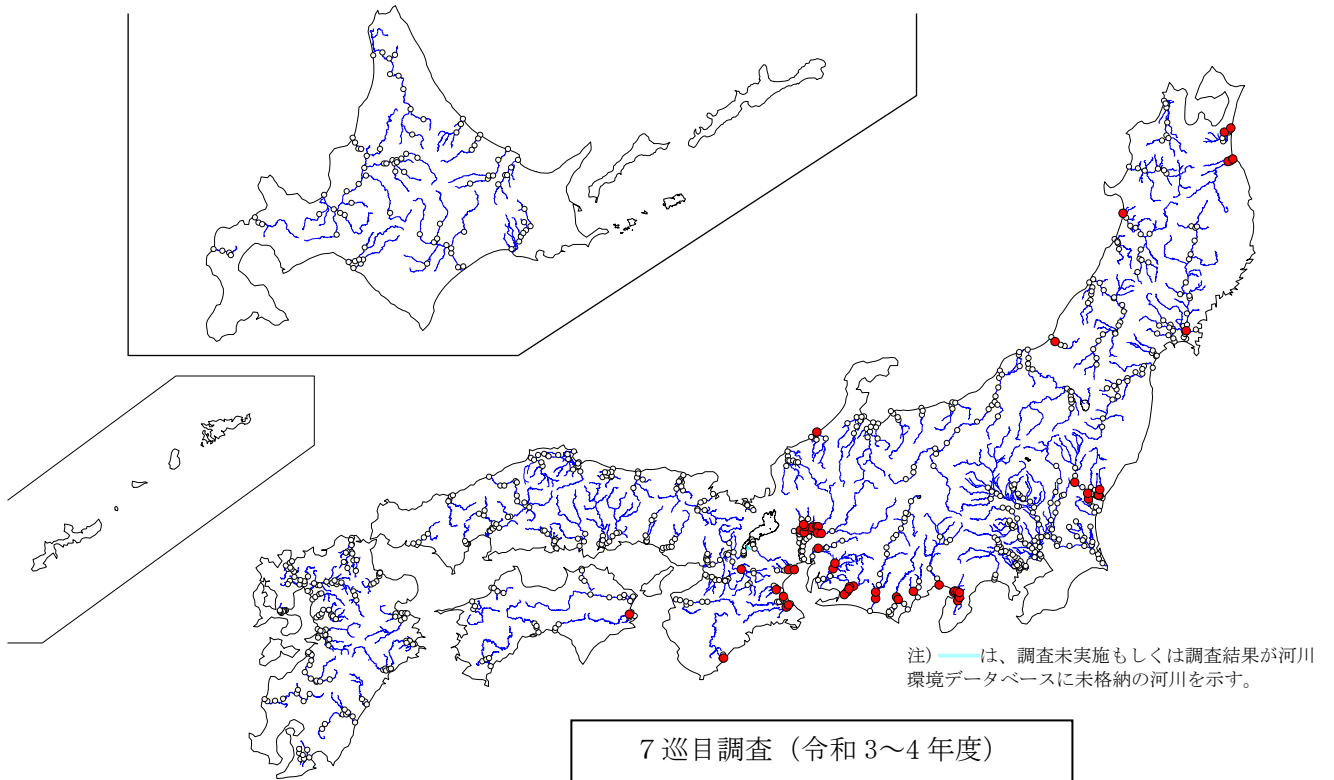
凡例

- : 確認調査地区
- : 未確認調査地区

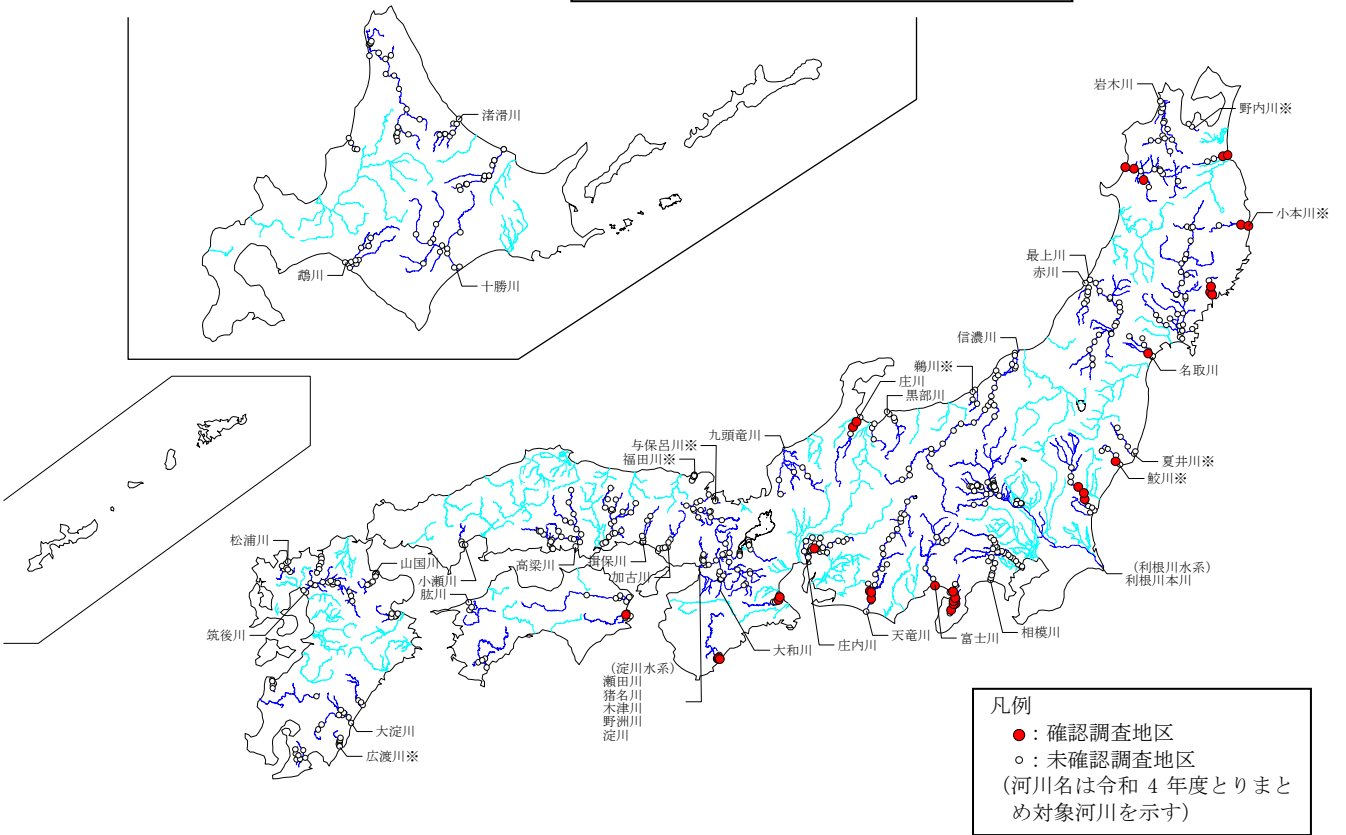
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ウツセミカジカ (淡水性両側回遊型) の確認された調査地区 (4 巡目調査、5 巡目調査)

6 巡目調査（平成 28～令和 2 年度）



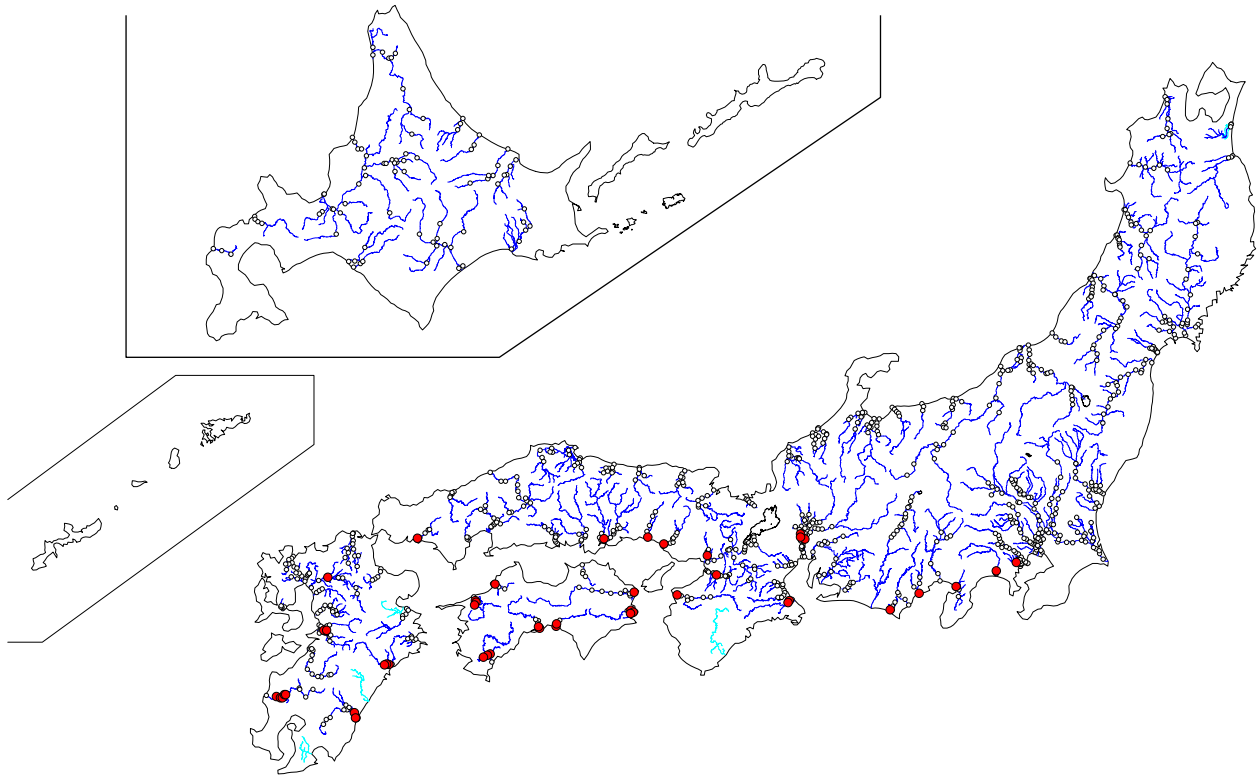
7 巡目調査（令和 3～4 年度）



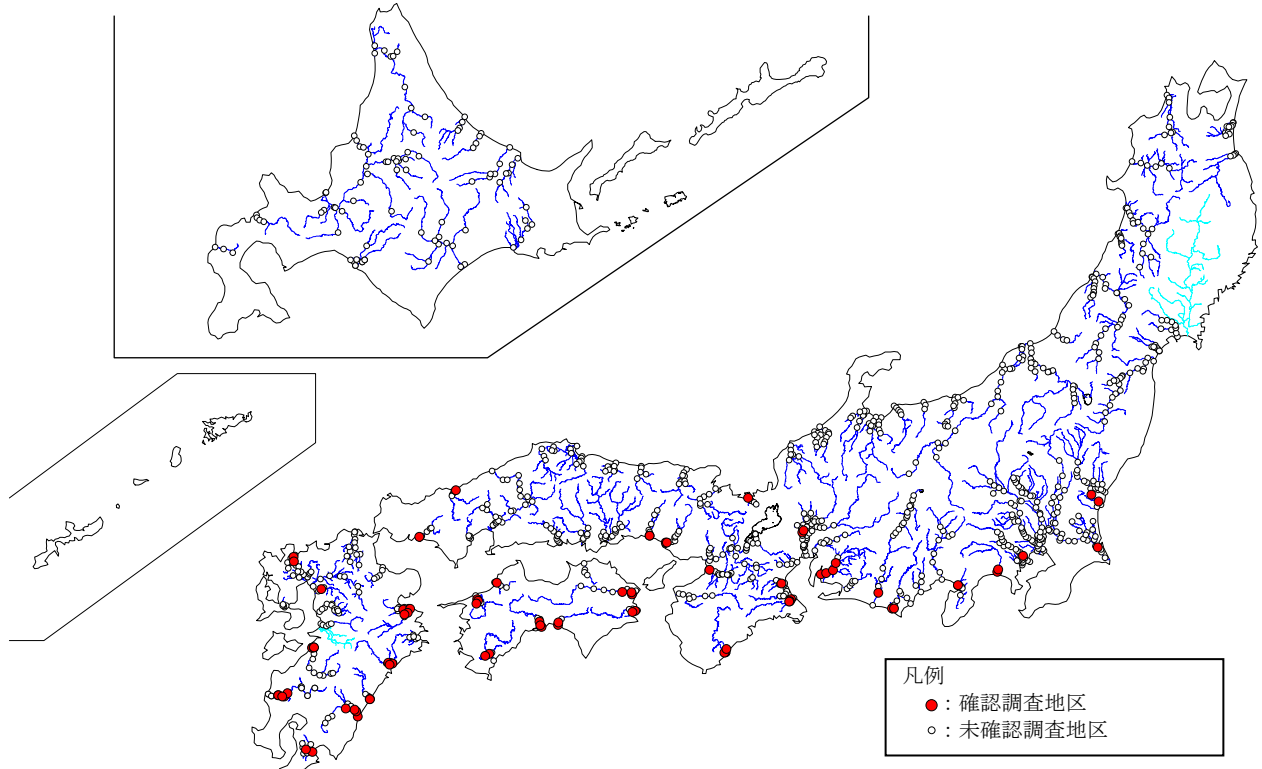
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系（河川）を示す。

ウツセミカジカ（淡水性両側回遊型）の確認された調査地区（6 巡目調査、7 巡目調査）

2巡目調査（平成8～12年度）



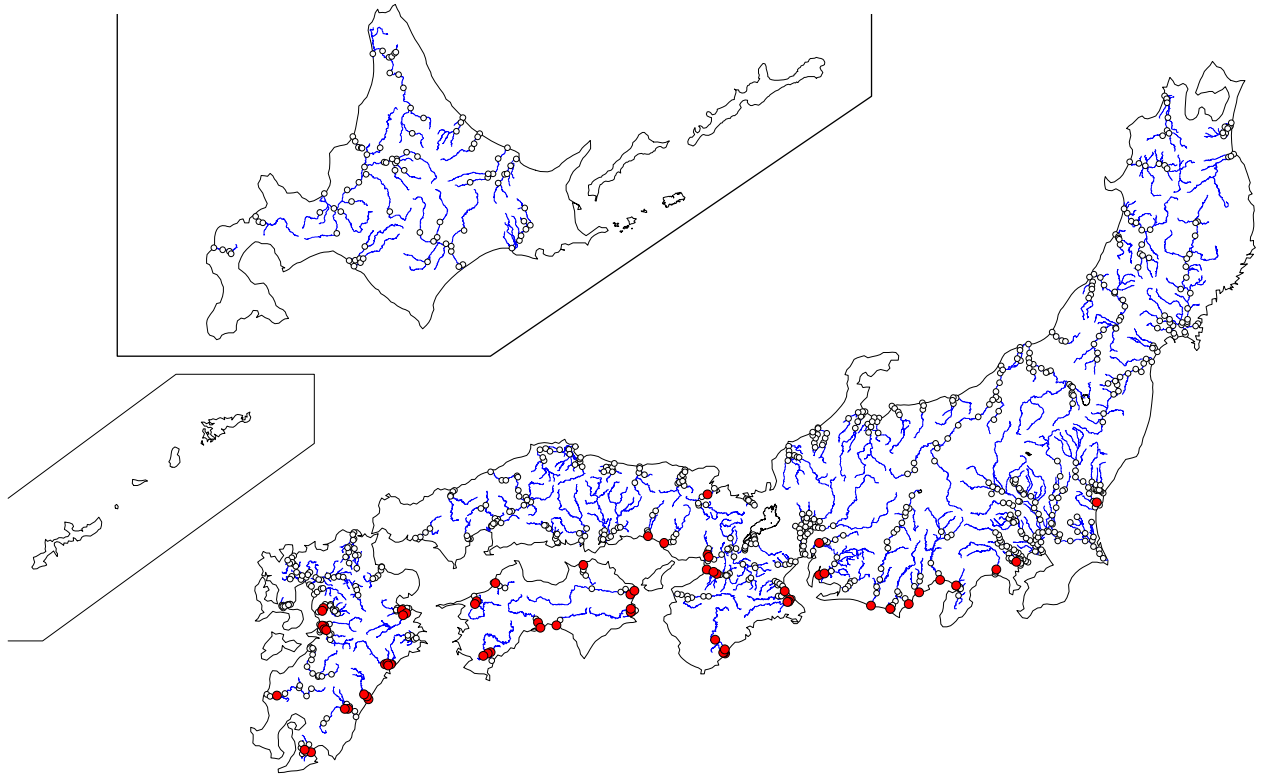
3巡目調査（平成13～17年度）



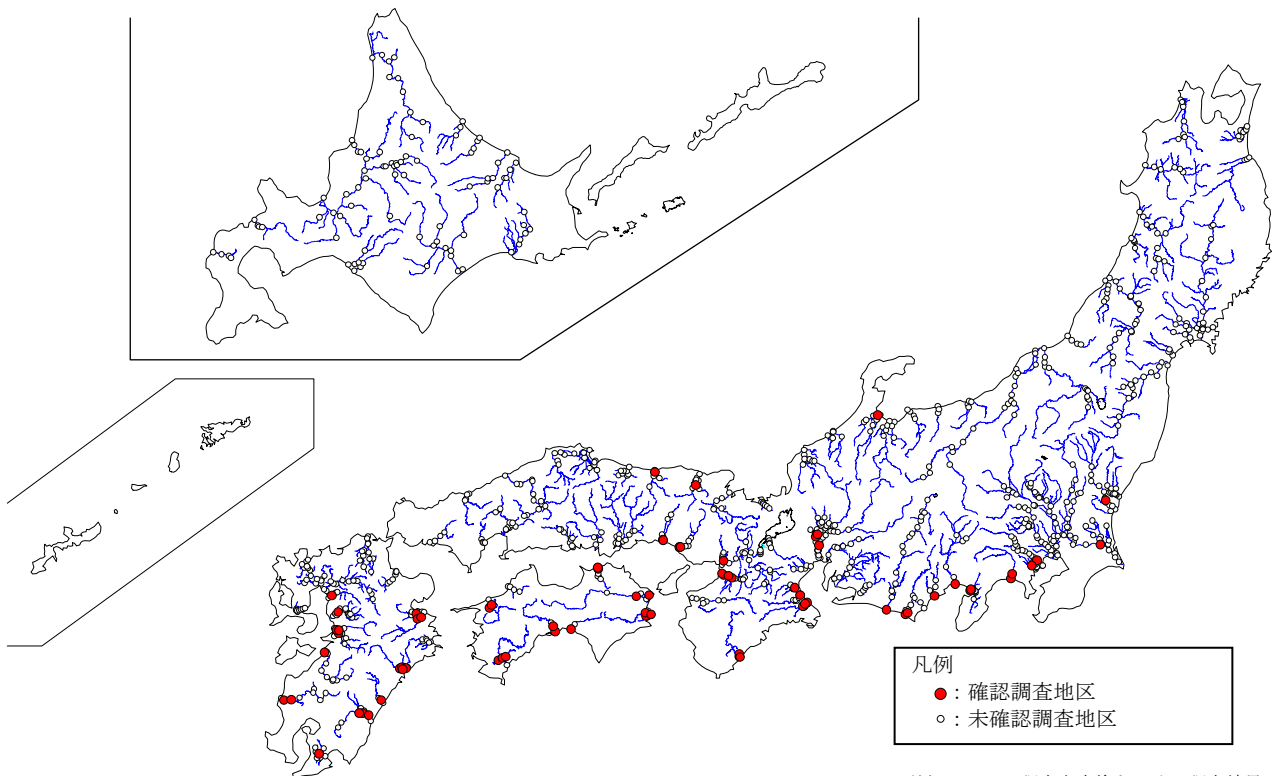
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

カワアナゴの確認された調査地区（2巡目調査、3巡目調査）

4 巡目調査（平成 18～22 年度）



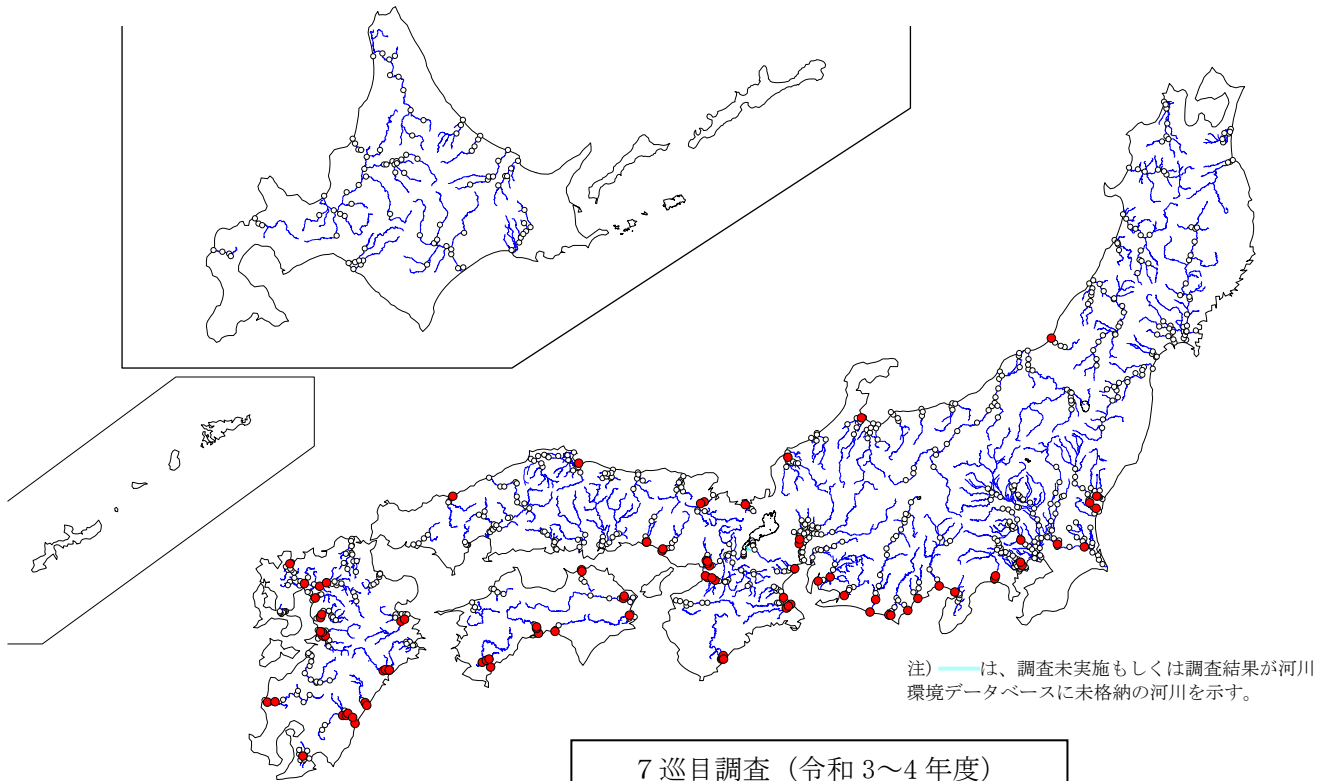
5 巡目調査（平成 23～27 年度）



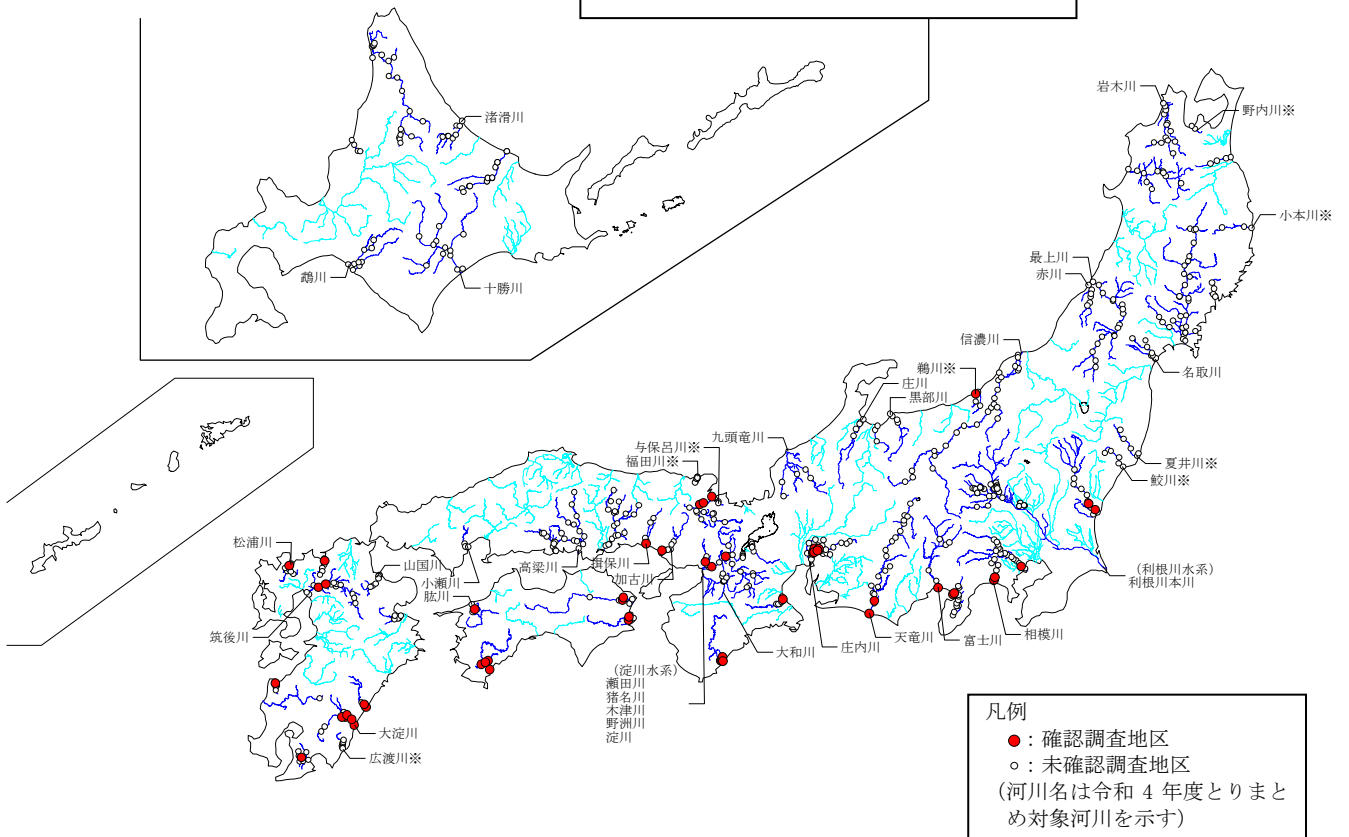
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

カワアナゴの確認された調査地区（4 巡目調査、5 巡目調査）

6 巡目調査（平成 28～令和 2 年度）



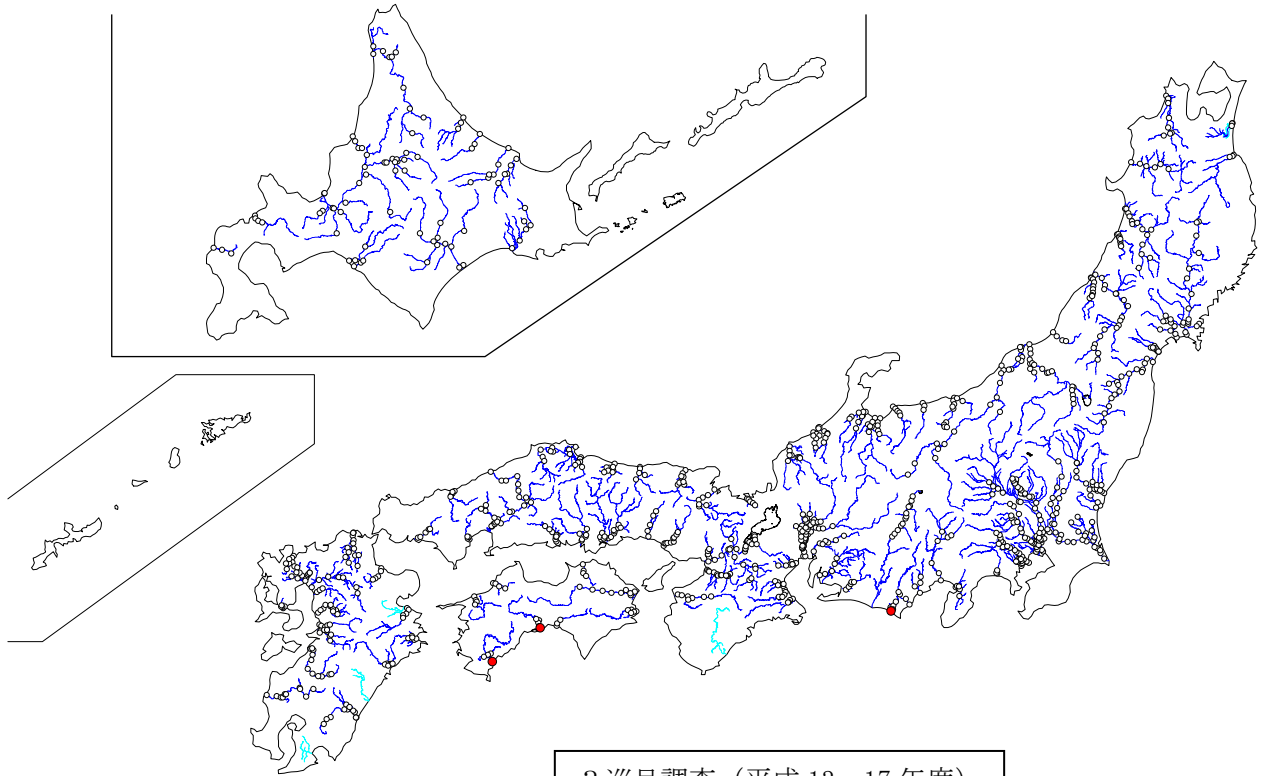
7 巡目調査（令和 3～4 年度）



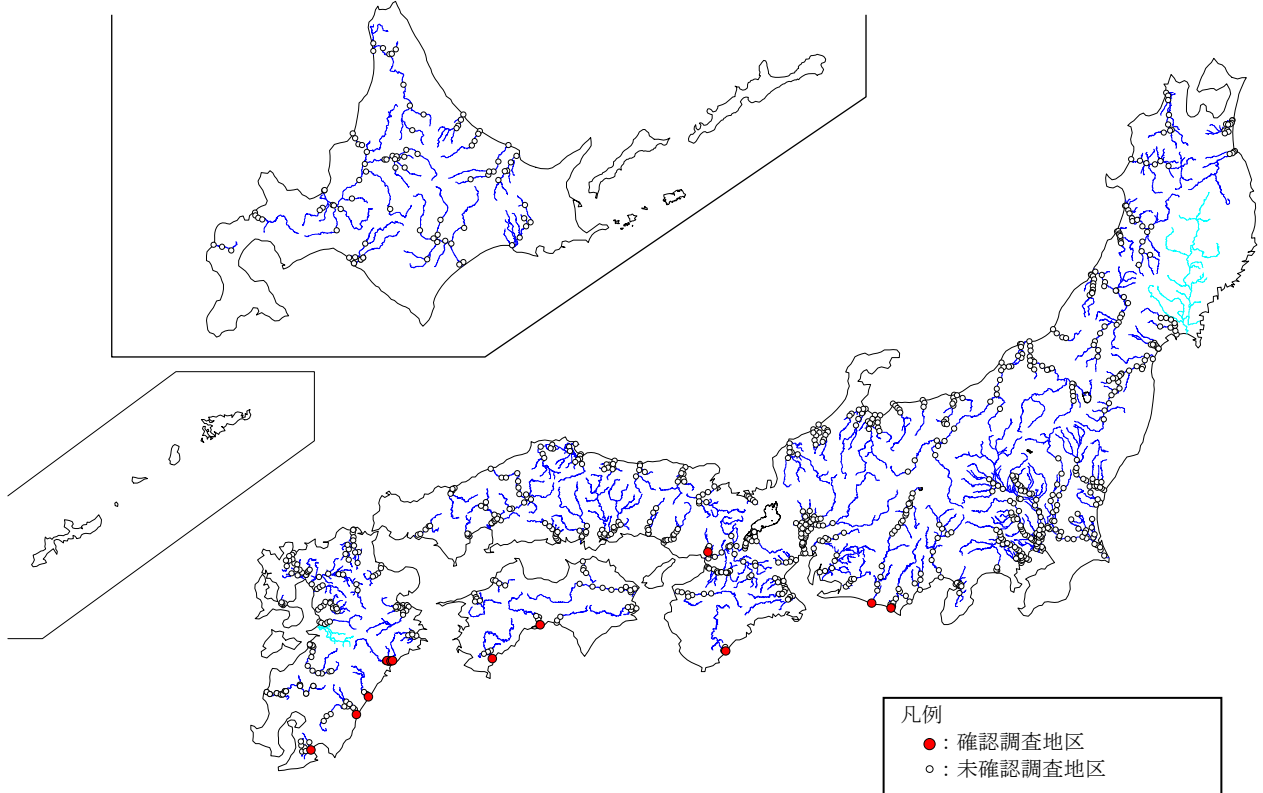
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
注 3) ※は、二級水系（河川）を示す。

カワアナゴの確認された調査地区（6 巡目調査、7 巡目調査）

2巡目調査（平成8～12年度）



3巡目調査（平成13～17年度）



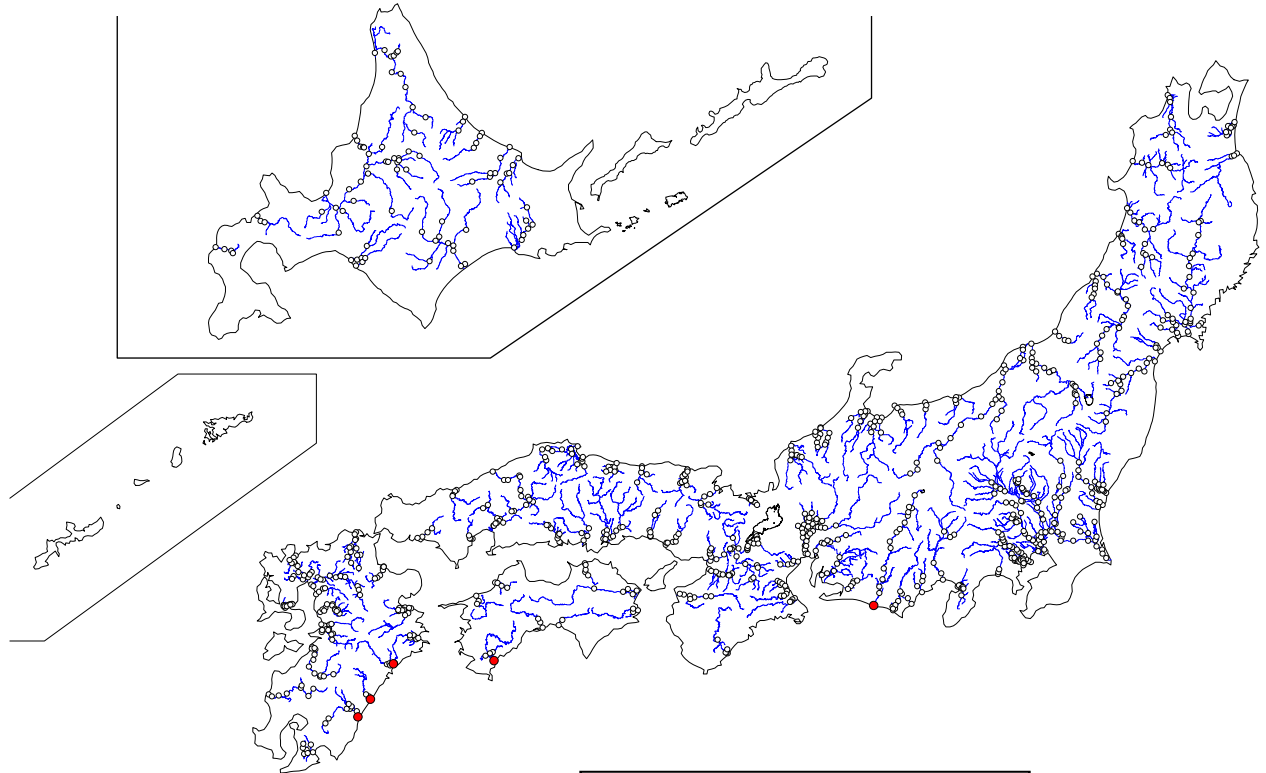
凡例

- : 確認調査地区
- : 未確認調査地区

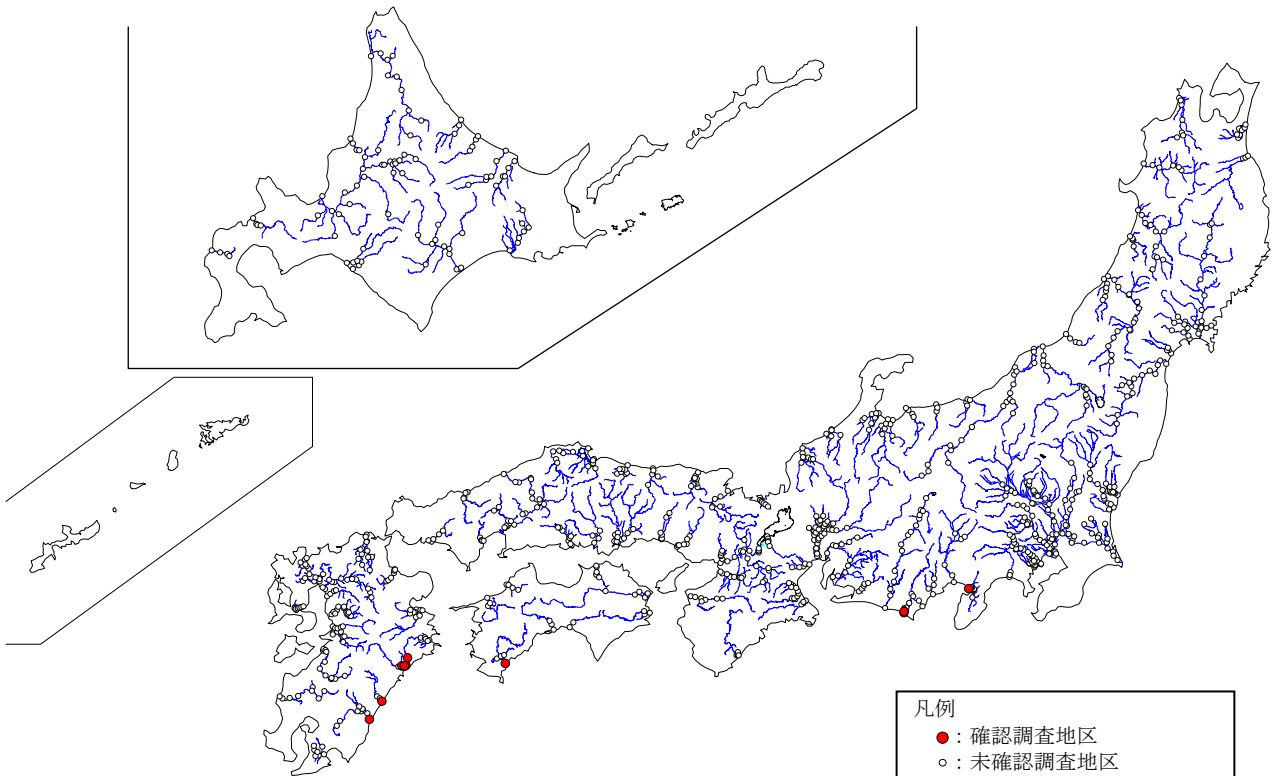
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

チチブモドキの確認された調査地区（2巡目調査、3巡目調査）

4巡目調査（平成18～22年度）



5巡目調査（平成23～27年度）



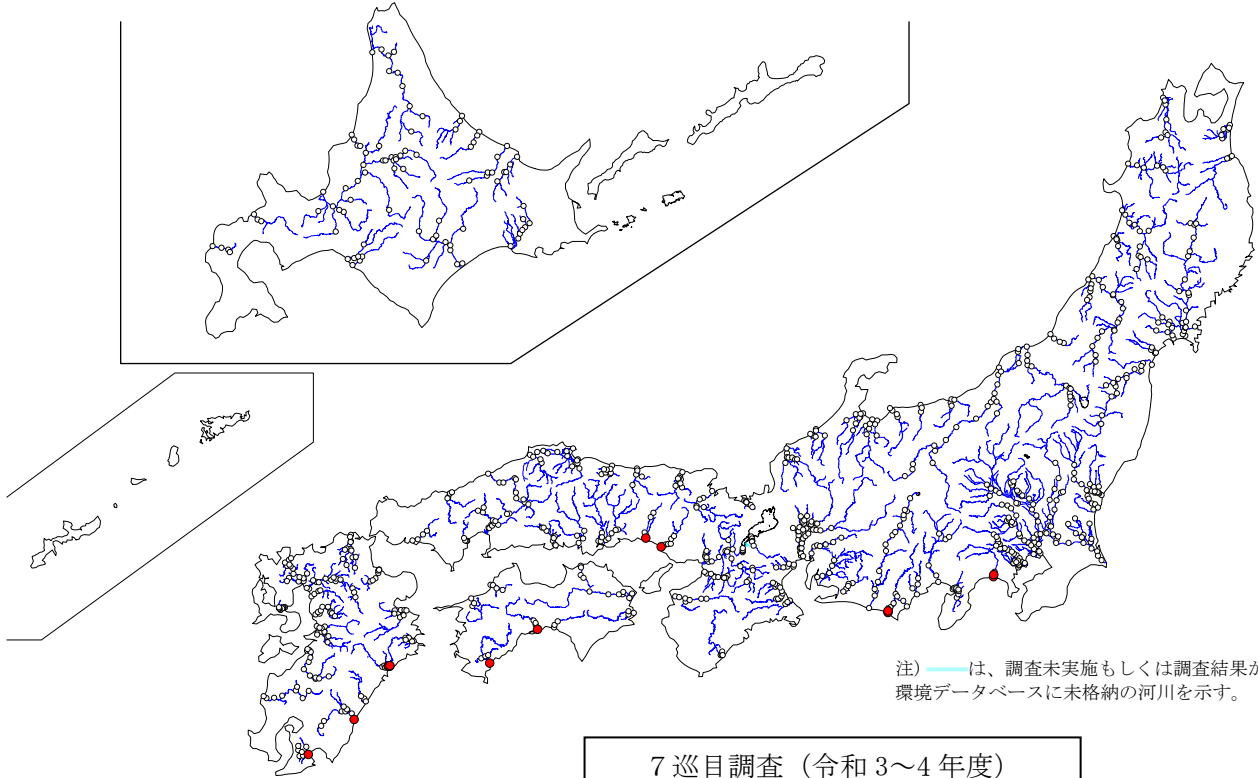
凡例

- ：確認調査地区
- ：未確認調査地区

注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

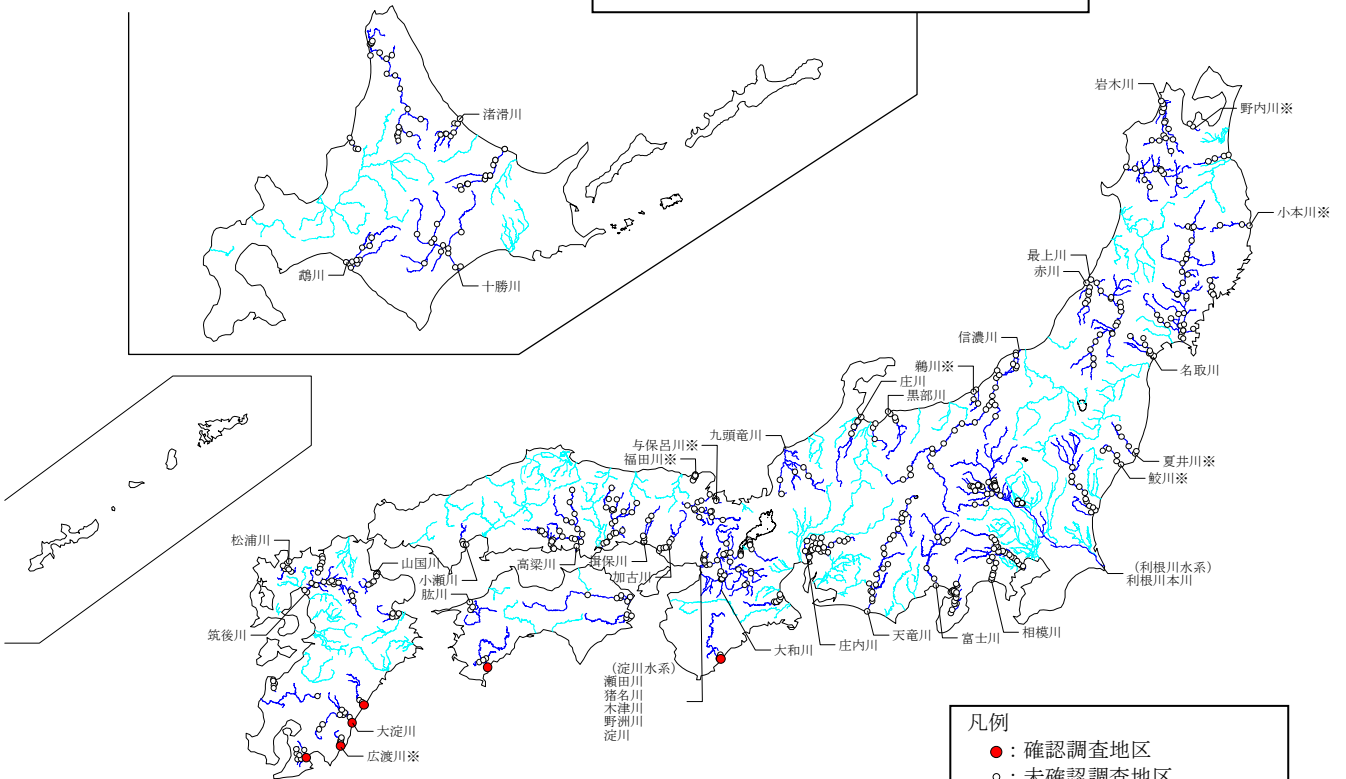
チチブモドキの確認された調査地区（4巡目調査、5巡目調査）

6 巡目調査（平成 28～令和 2 年度）



注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

7 巡目調査（令和 3～4 年度）

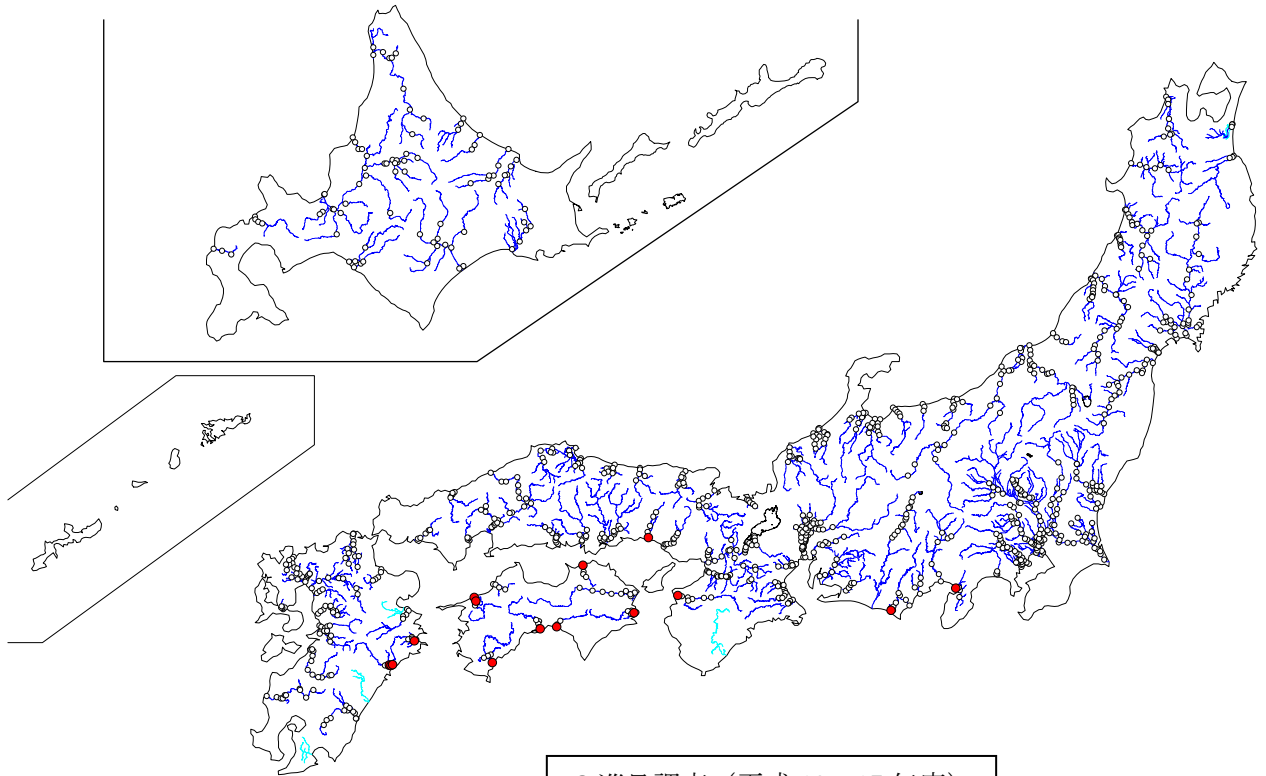


凡例
 ●：確認調査地区
 ○：未確認調査地区
 (河川名は令和 4 年度とりまとめ対象河川を示す)

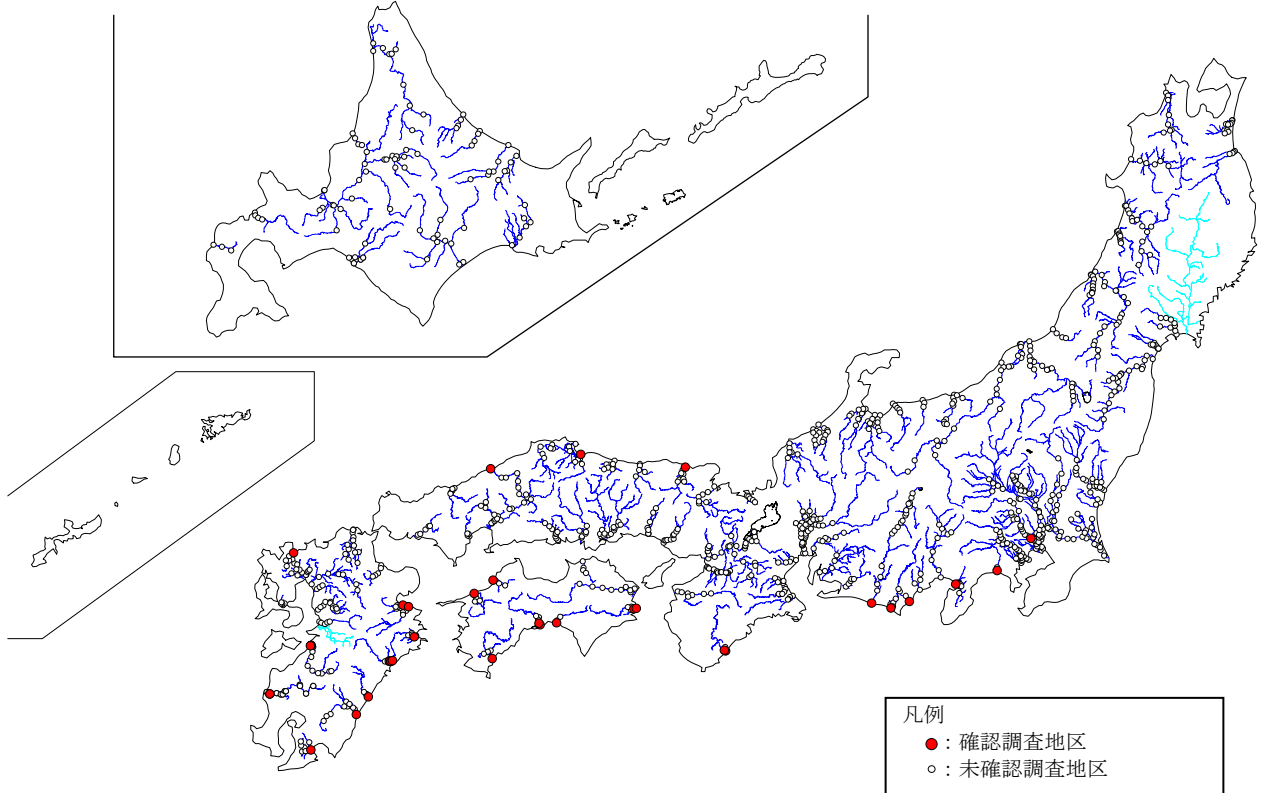
- 注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系（河川）を示す。

チチブモドキの確認された調査地区（6 巡目調査、7 巡目調査）

2巡目調査（平成8～12年度）



3巡目調査（平成13～17年度）



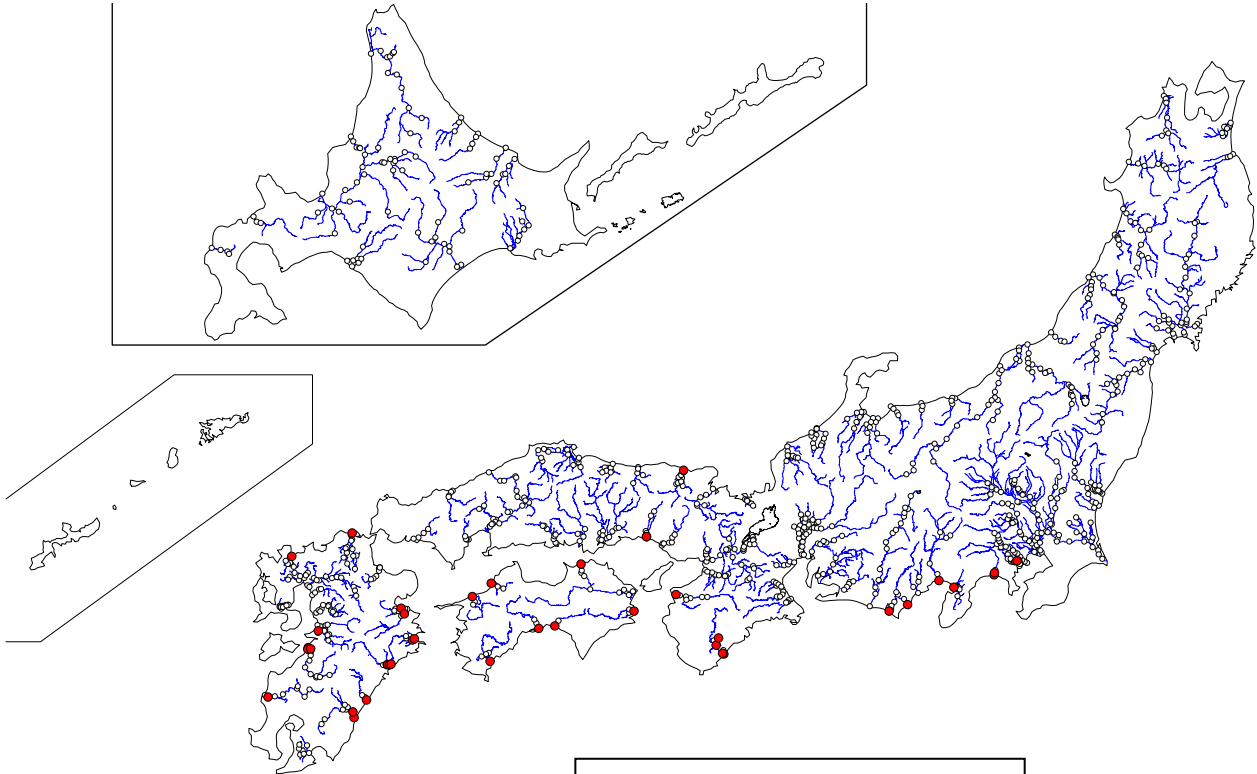
凡例

- : 確認調査地区
- : 未確認調査地区

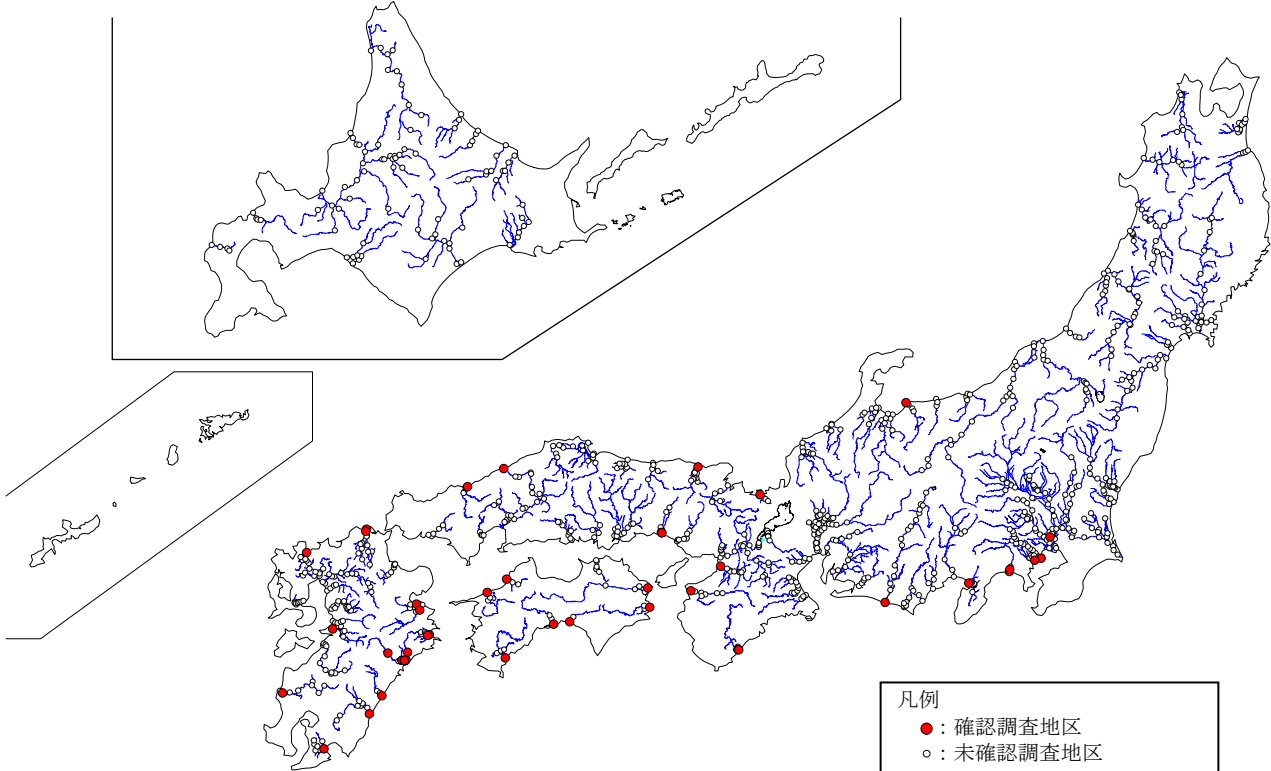
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ヒナハゼの確認された調査地区（2巡目調査、3巡目調査）

4巡目調査（平成18～22年度）



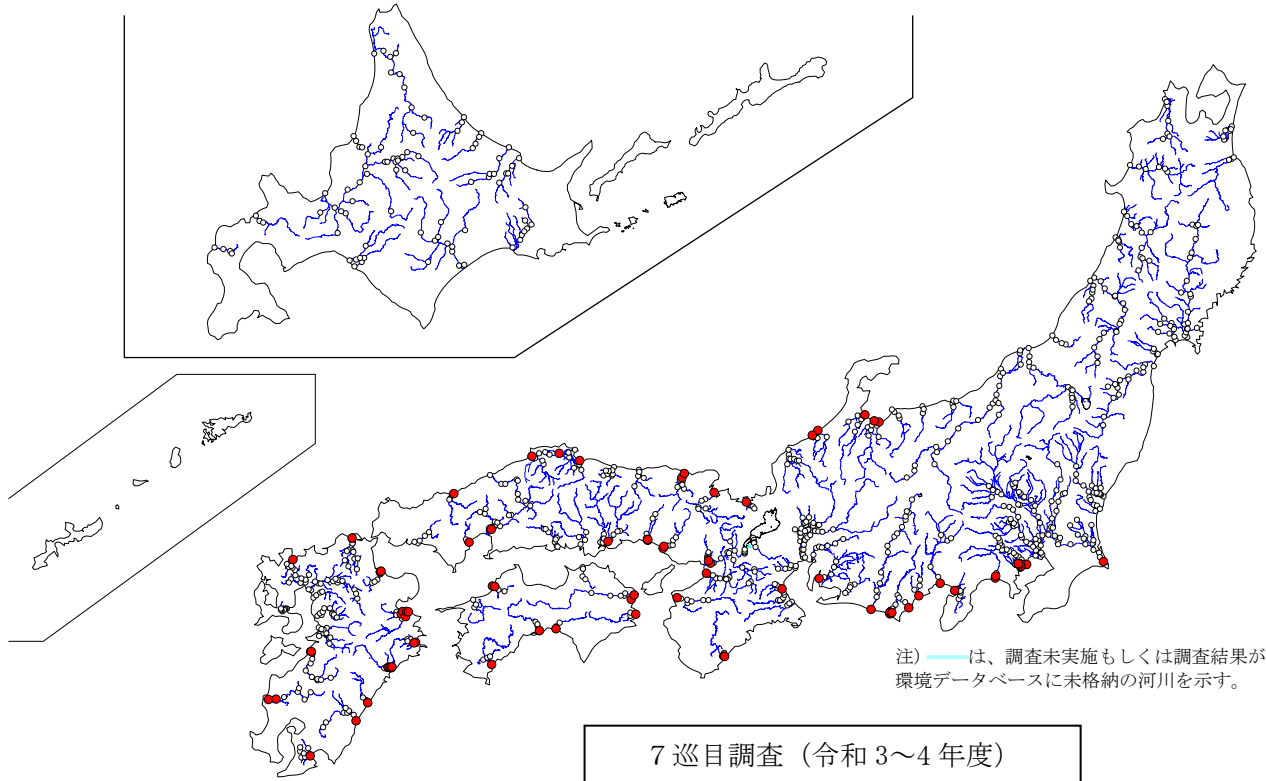
5巡目調査（平成23～27年度）



注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

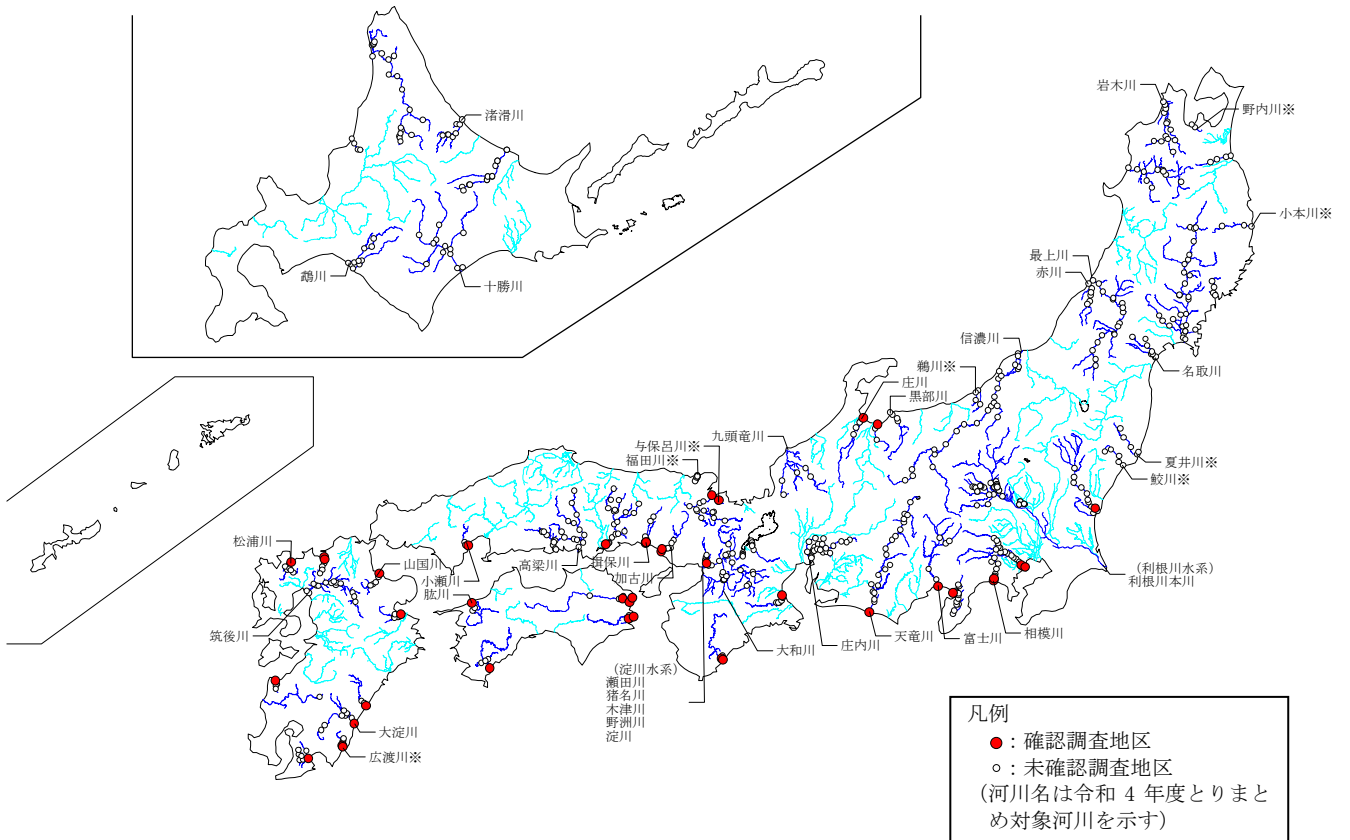
ヒナハゼの確認された調査地区（4巡目調査、5巡目調査）

6 巡目調査 (平成 28～令和 2 年度)



注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

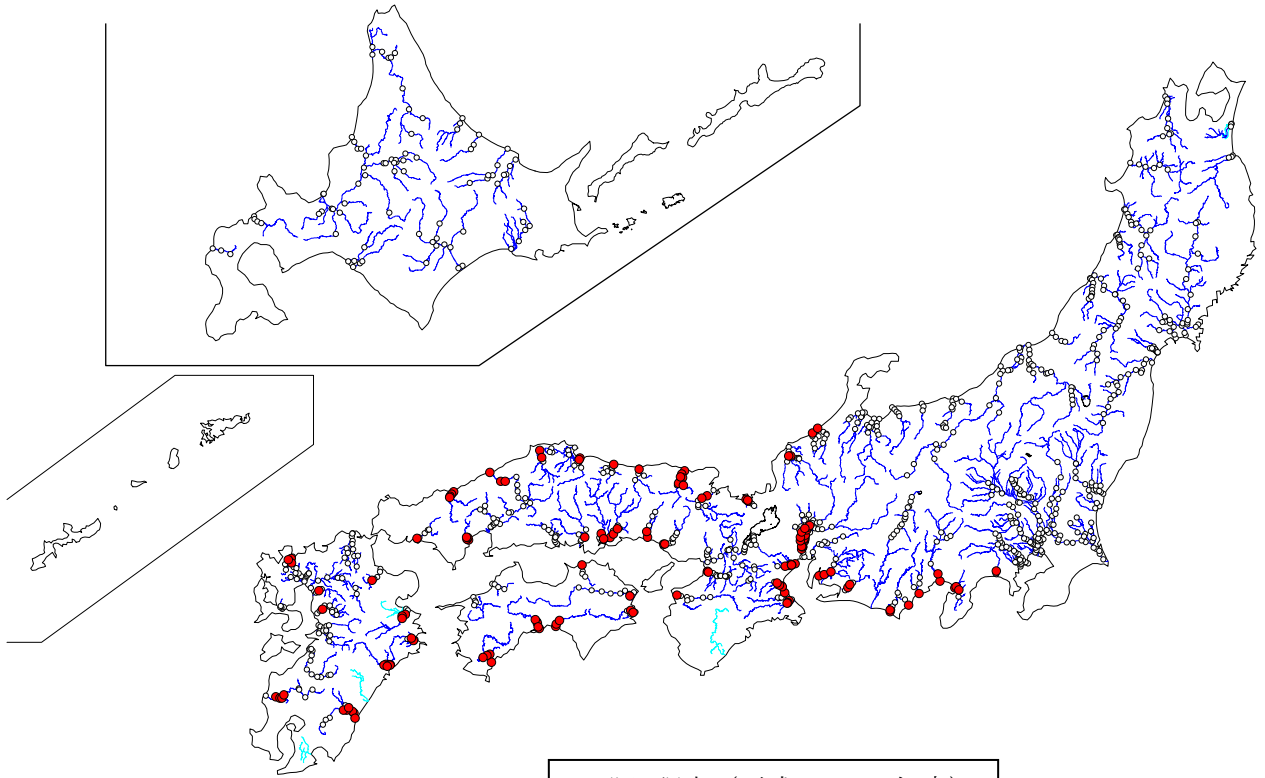
7 巡目調査 (令和 3～4 年度)



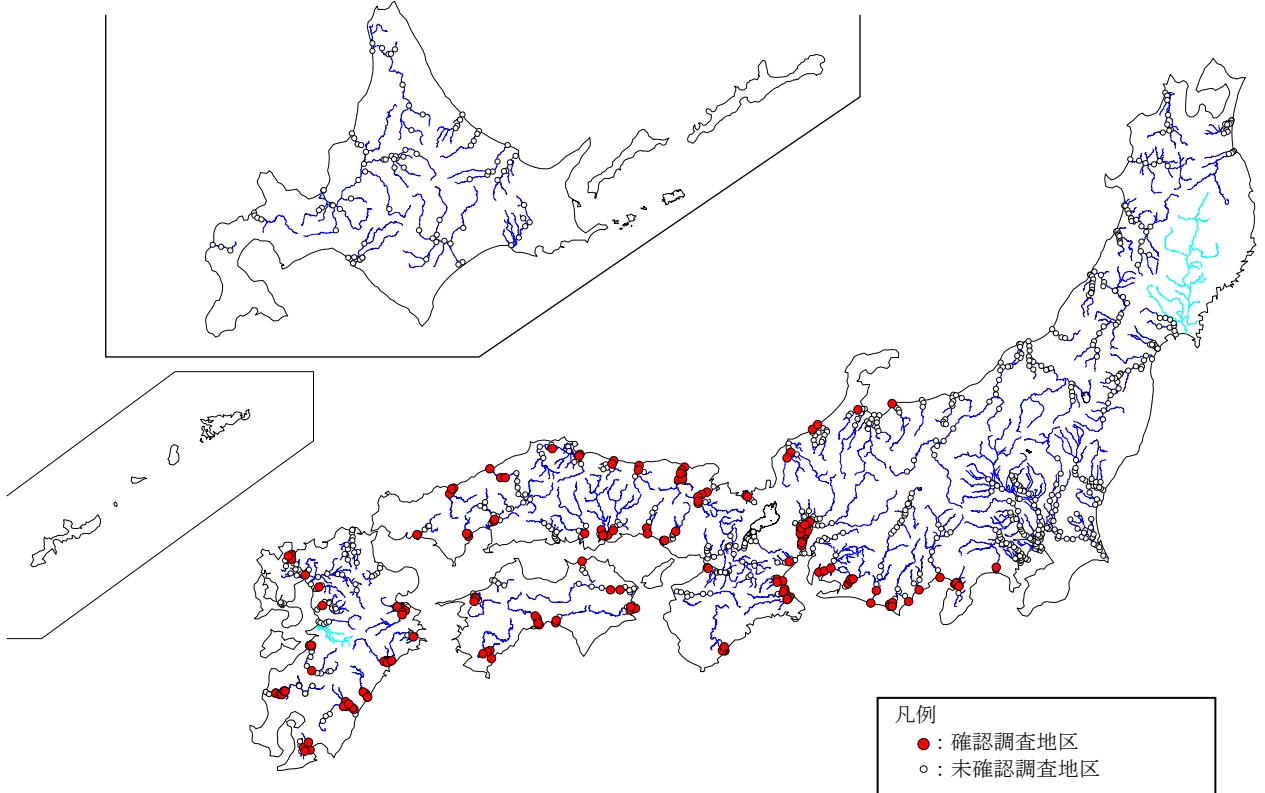
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系 (河川) を示す。

ヒナハゼの確認された調査地区 (6 巡目調査、7 巡目調査)

2巡目調査（平成8～12年度）



3巡目調査（平成13～17年度）



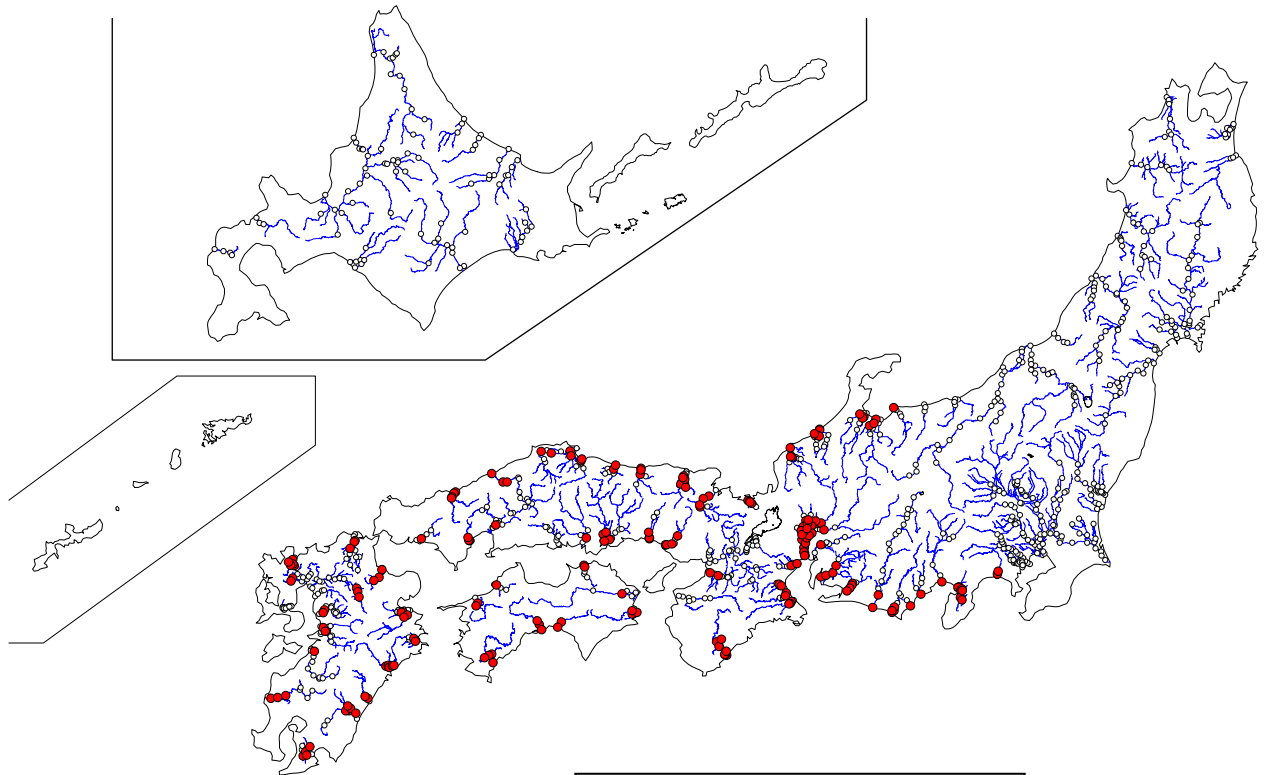
凡例

- ：確認調査地区
- ：未確認調査地区

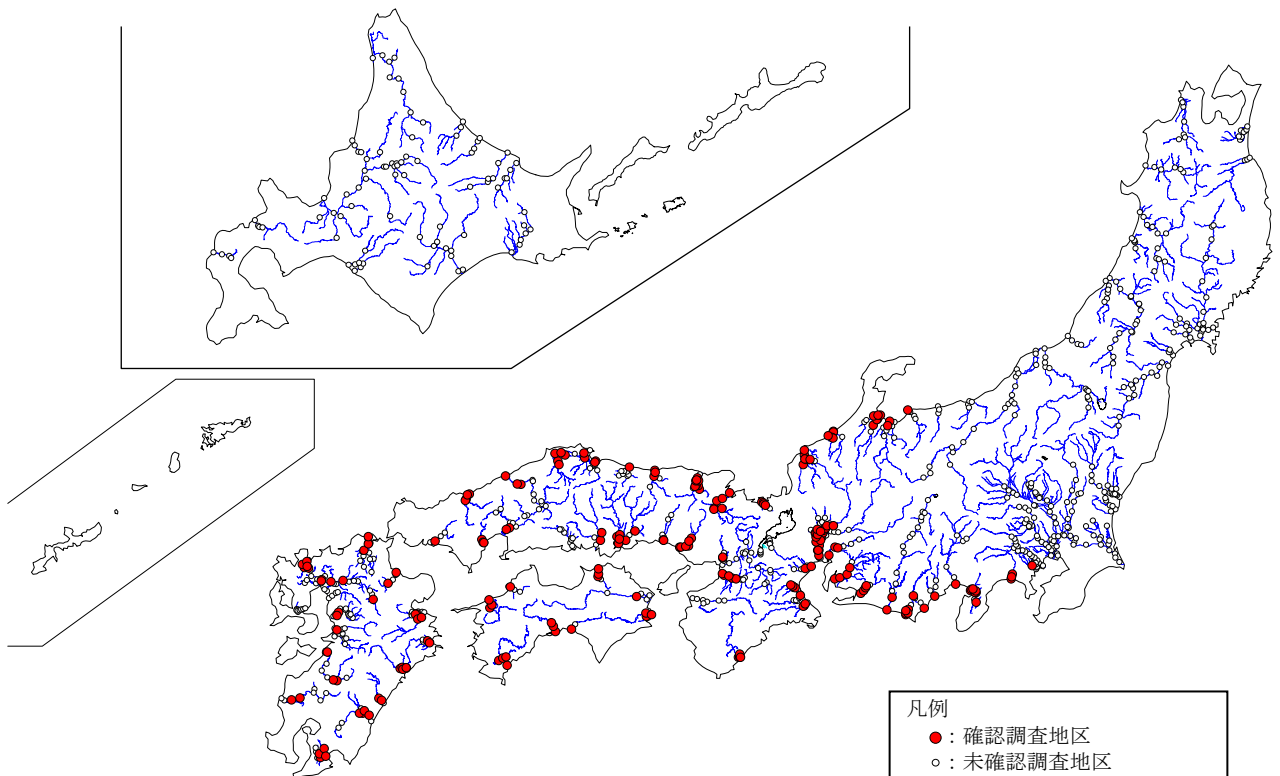
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ゴクラクハゼの確認された調査地区（2巡目調査、3巡目調査）

4巡目調査（平成18～22年度）



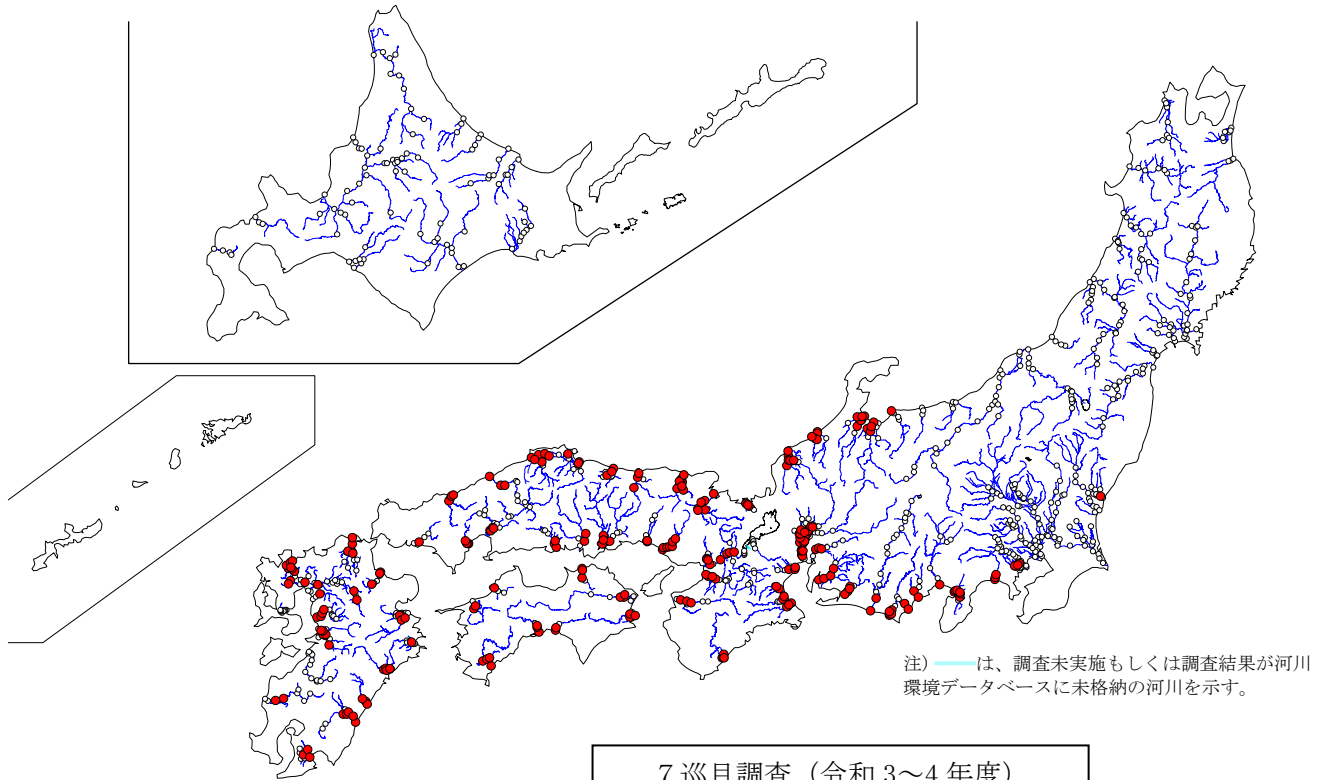
5巡目調査（平成23～27年度）



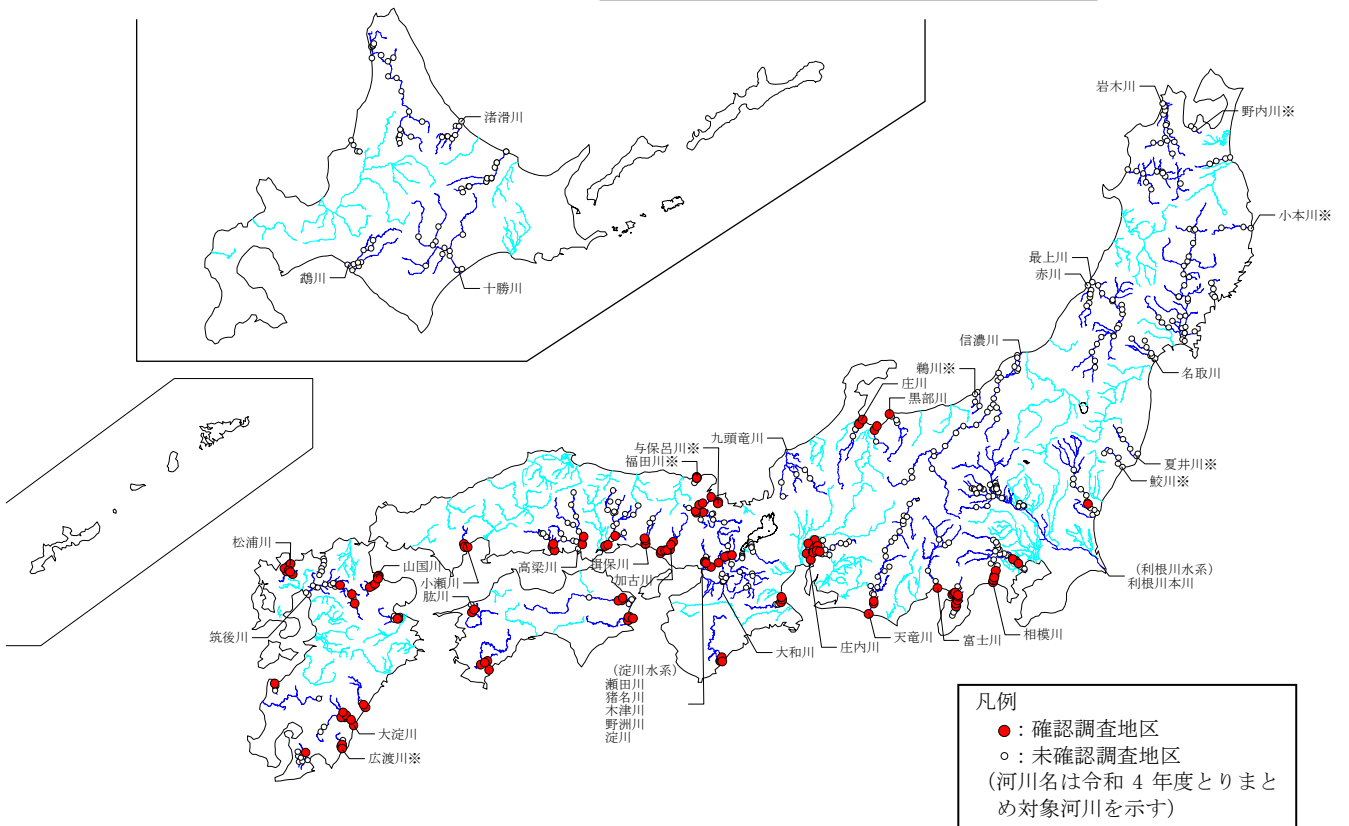
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ゴクラクハゼの確認された調査地区（4巡目調査、5巡目調査）

6 巡目調査（平成 28～令和 2 年度）



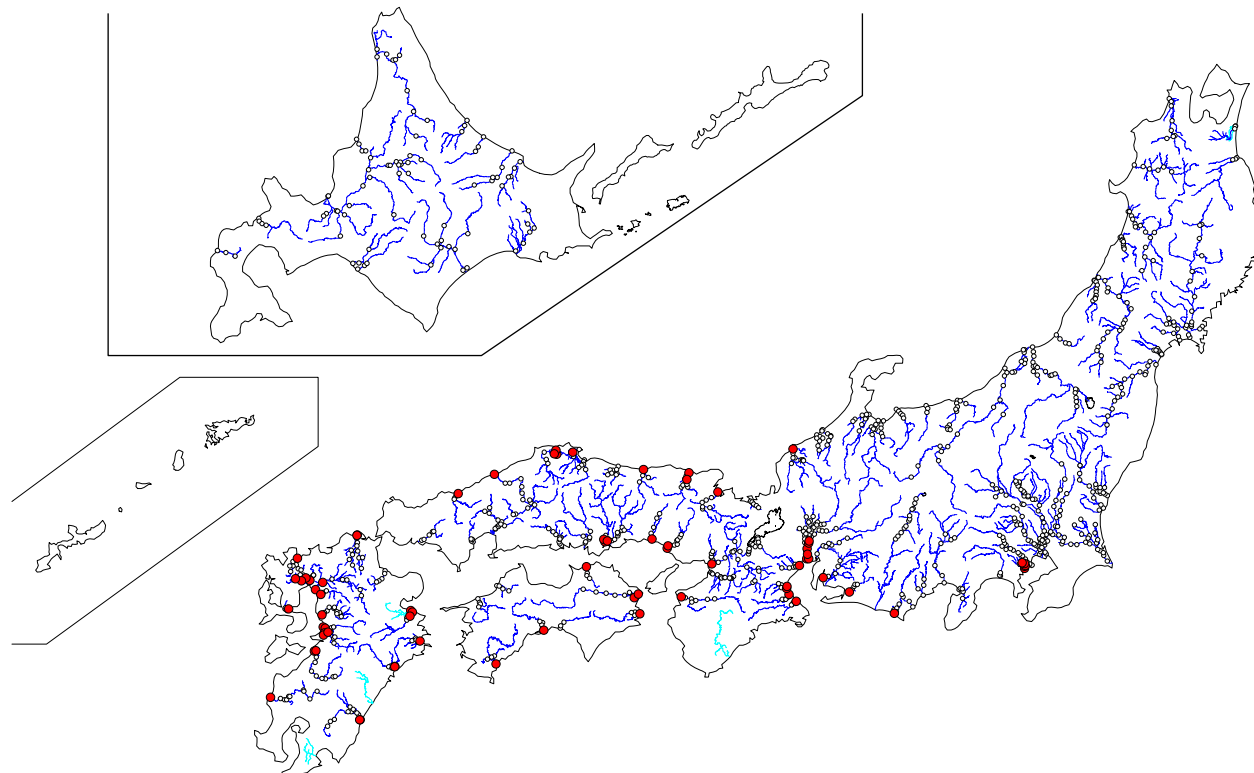
7 巡目調査（令和 3～4 年度）



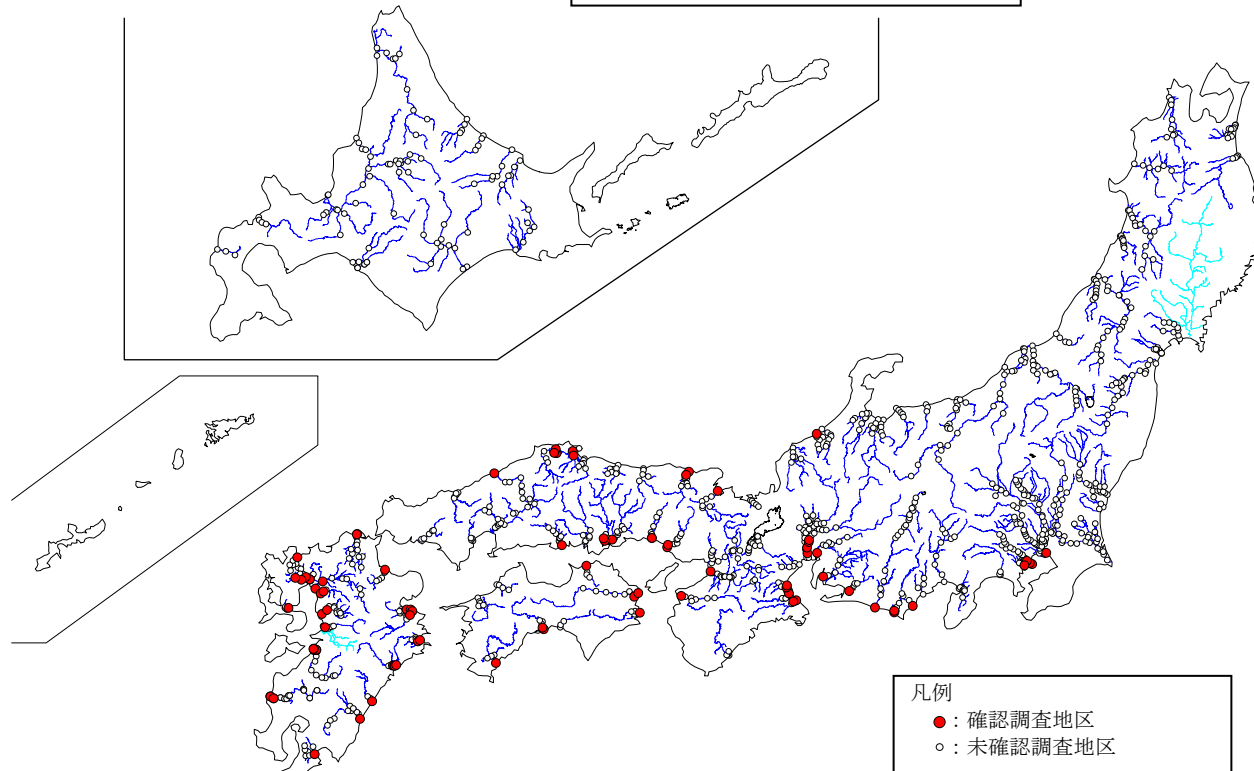
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系（河川）を示す。

ゴクラクハゼの確認された調査地区（6 巡目調査、7 巡目調査）

2 巡目調査 (平成 8～12 年度)



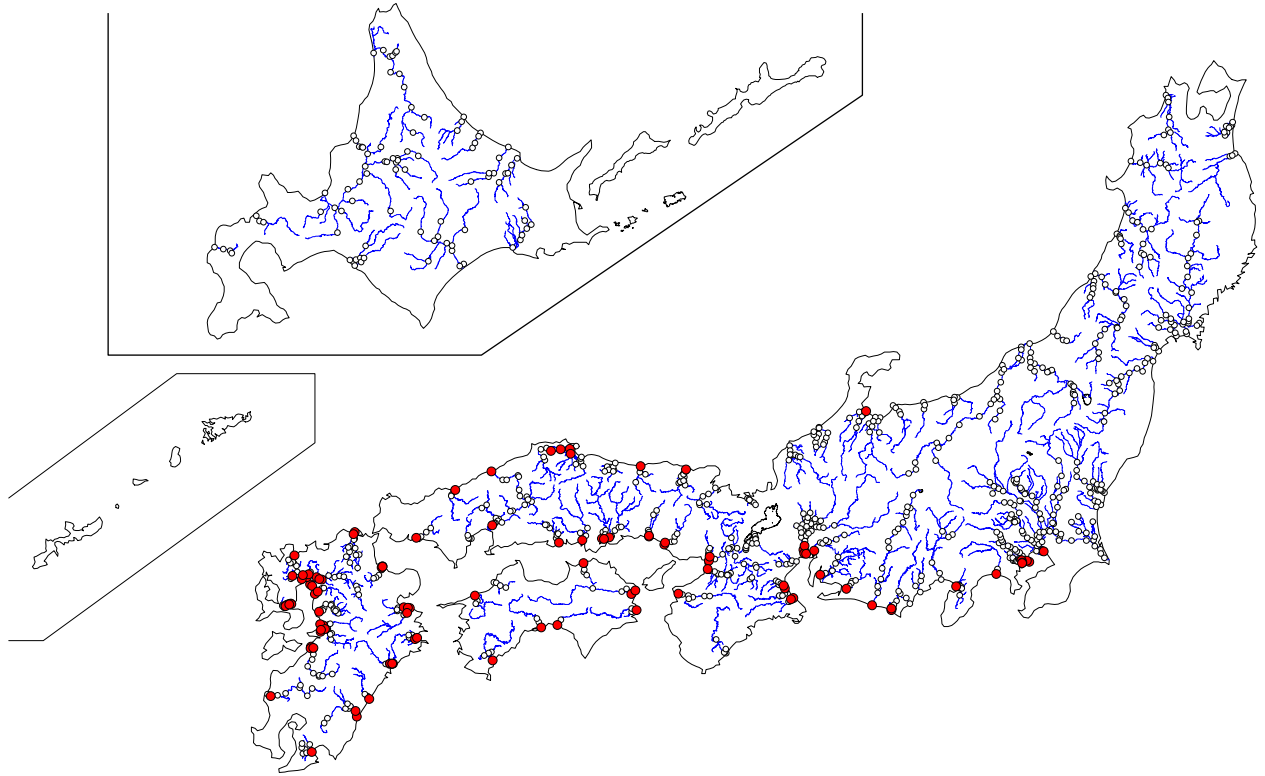
3 巡目調査 (平成 13～17 年度)



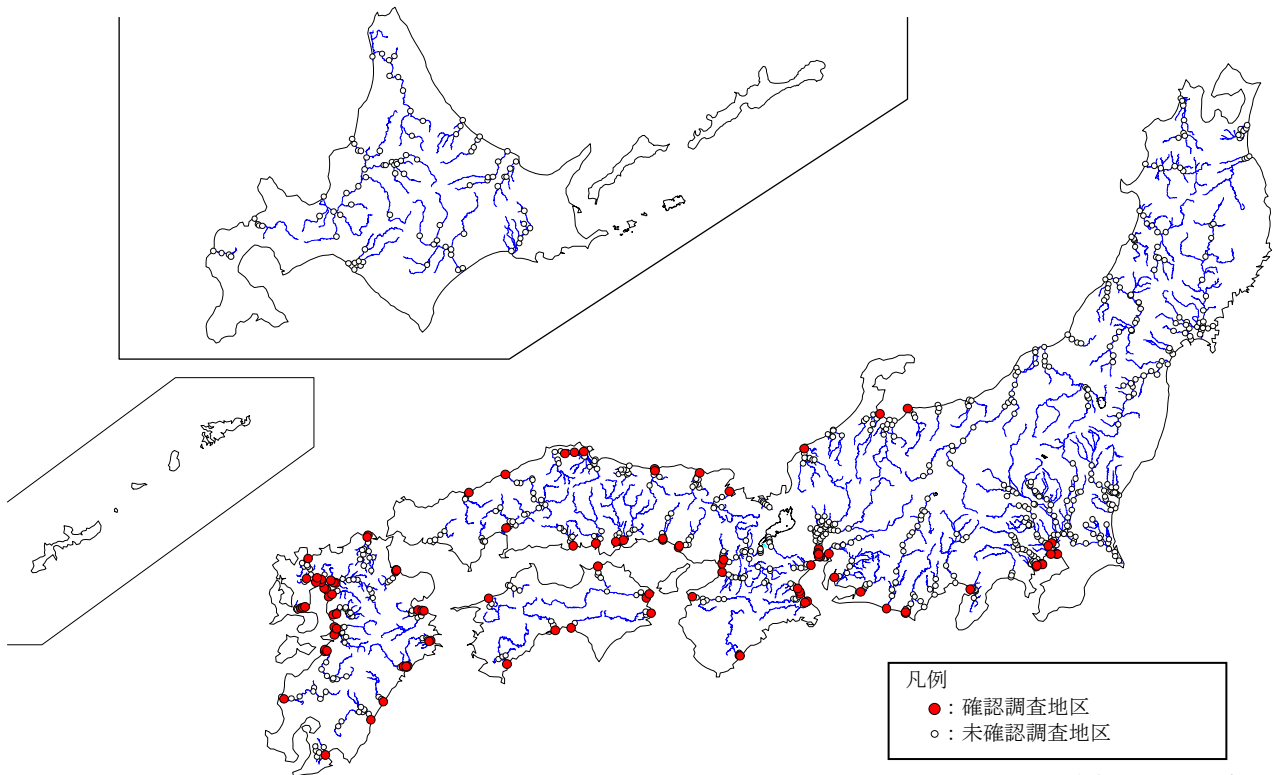
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ウロハゼの確認された調査地区 (2 巡目調査、3 巡目調査)

4 巡目調査（平成 18～22 年度）



5 巡目調査（平成 23～27 年度）

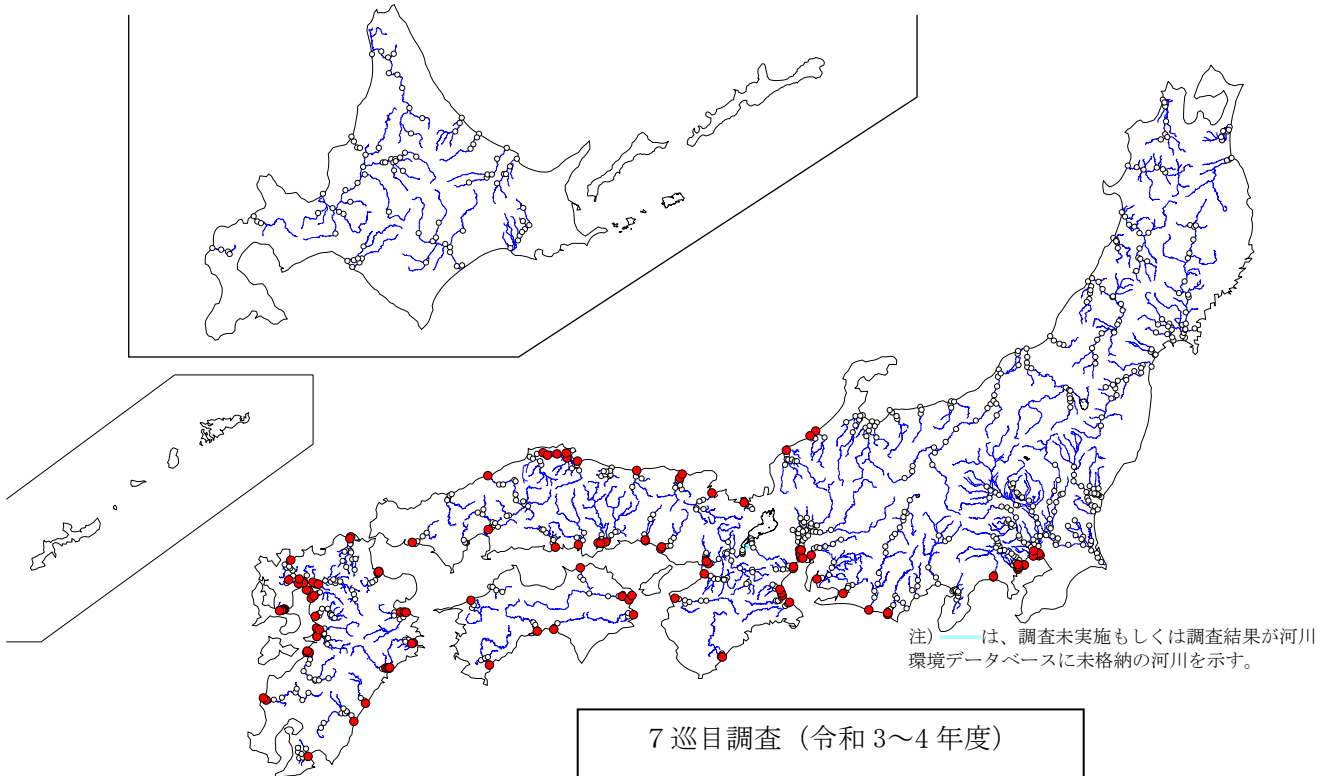


- 凡例
- : 確認調査地区
 - : 未確認調査地区

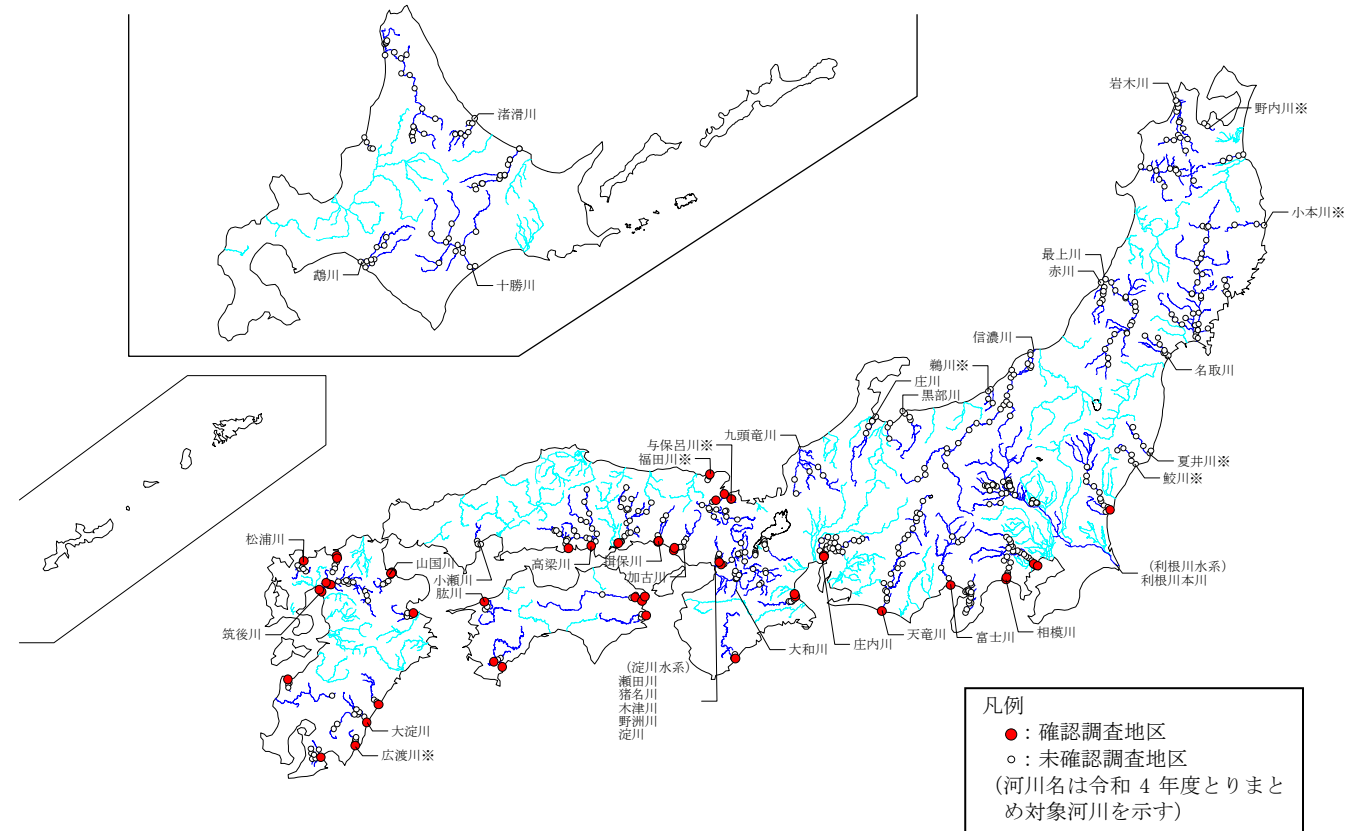
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ウロハゼの確認された地域（4 巡目調査、5 巡目調査）

6 巡目調査 (平成 28～令和 2 年度)



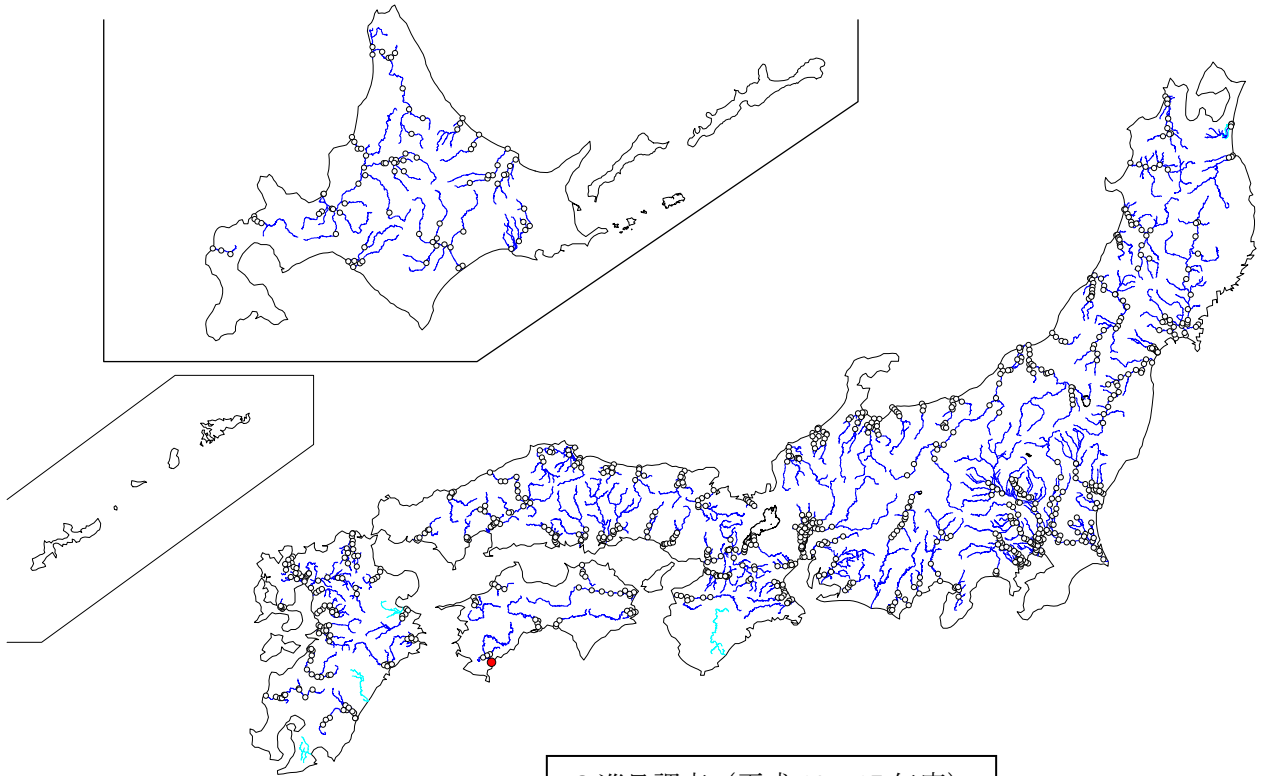
7 巡目調査 (令和 3～4 年度)



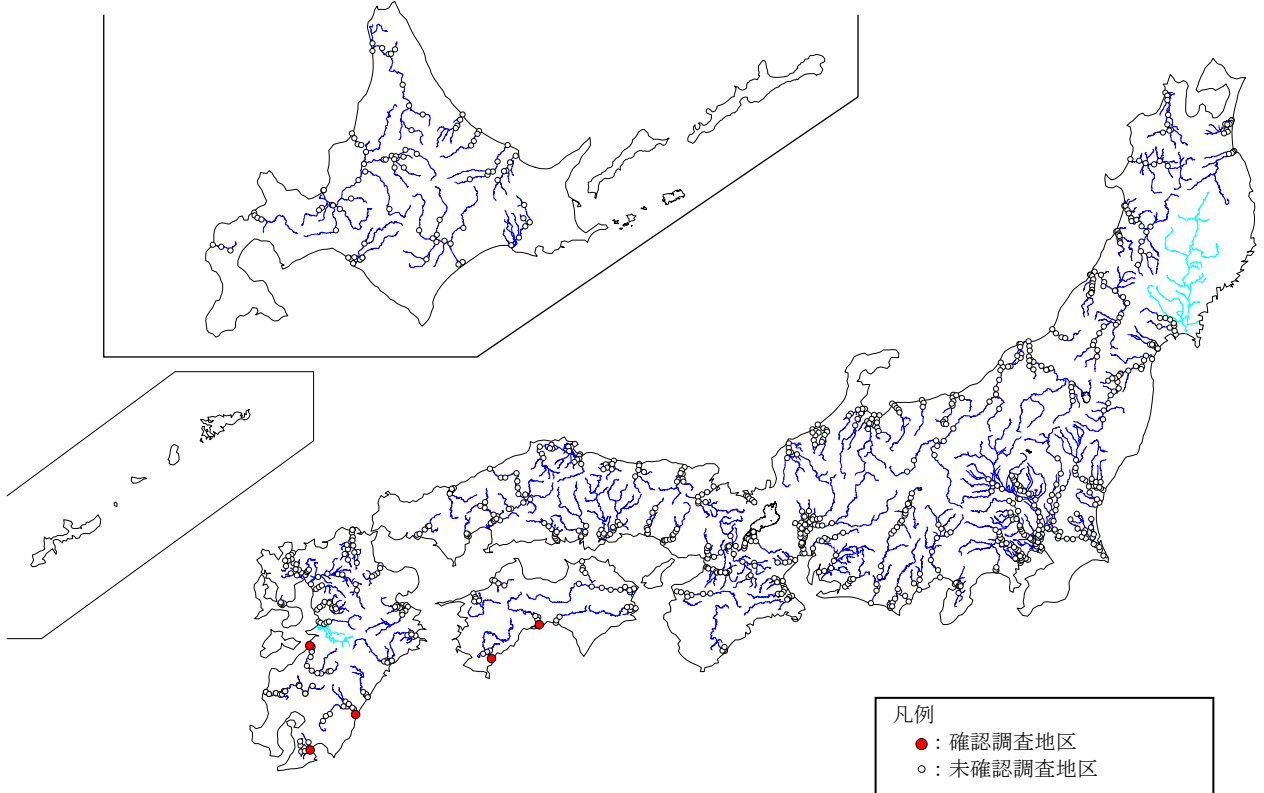
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系 (河川) を示す。

ウロハゼの確認された調査地区 (6 巡目調査、7 巡目調査)

2巡目調査（平成8～12年度）



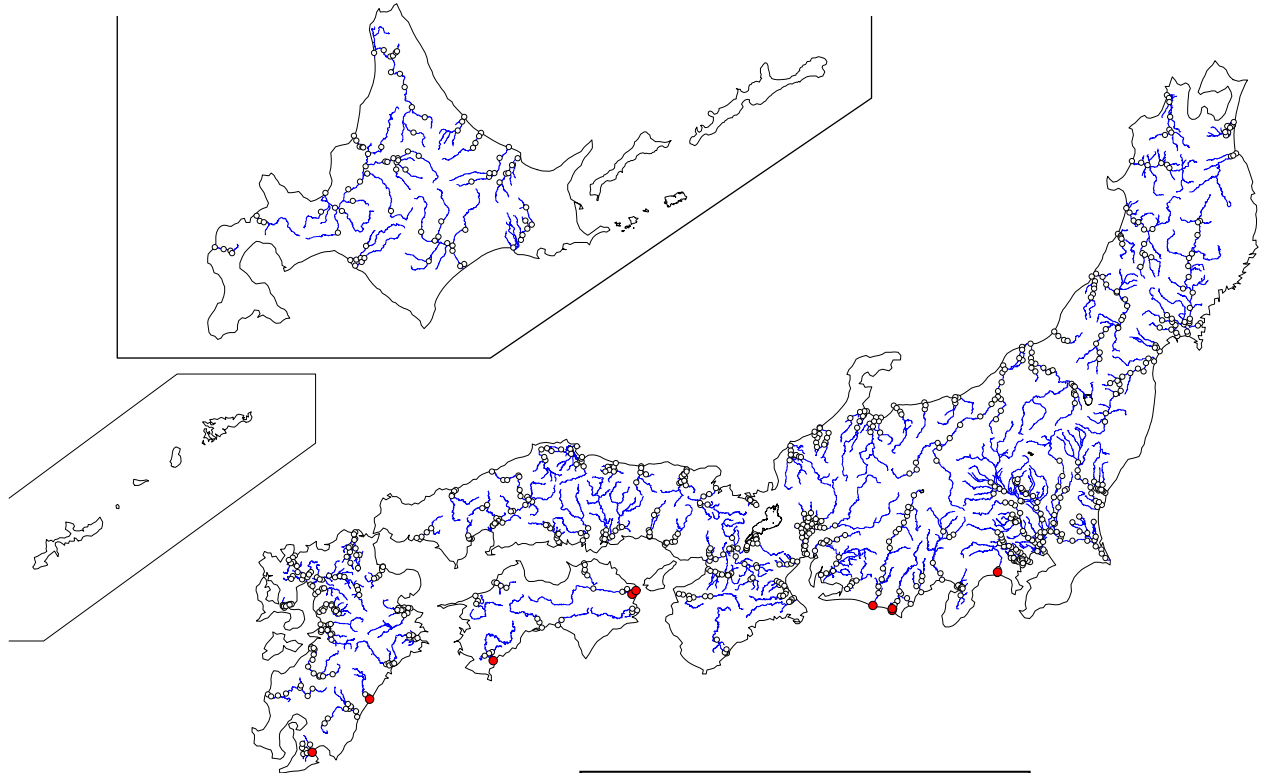
3巡目調査（平成13～17年度）



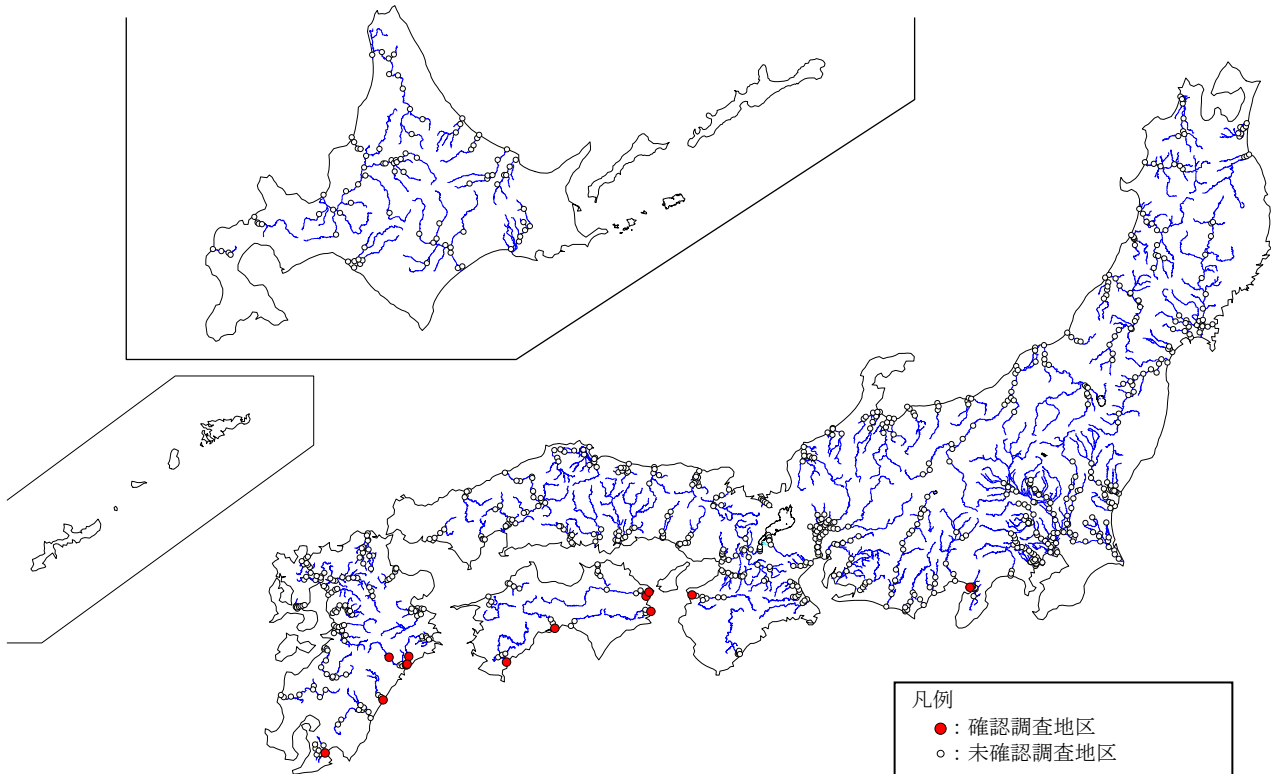
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

クロホシマンジュウダイの確認された調査地区（2巡目調査、3巡目調査）

4巡目調査（平成18～22年度）



5巡目調査（平成23～27年度）

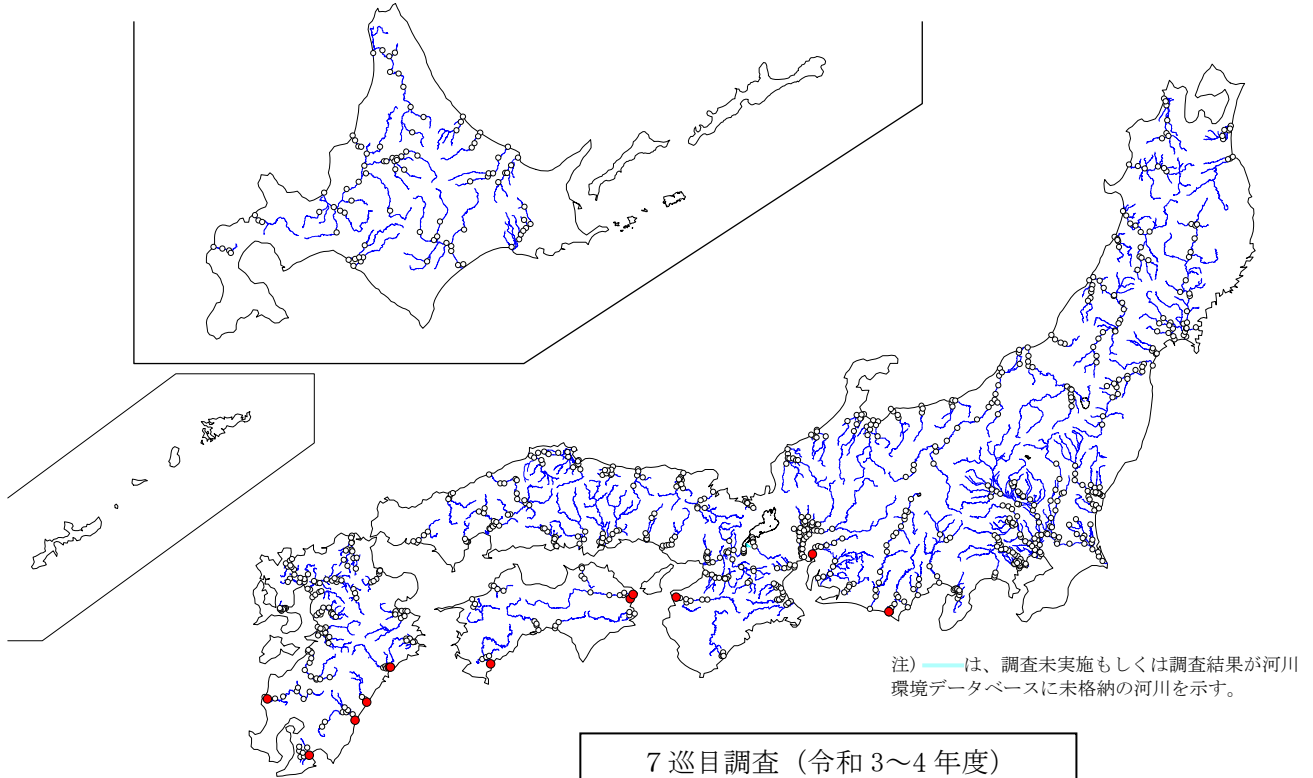


- 凡例
- : 確認調査地区
 - : 未確認調査地区

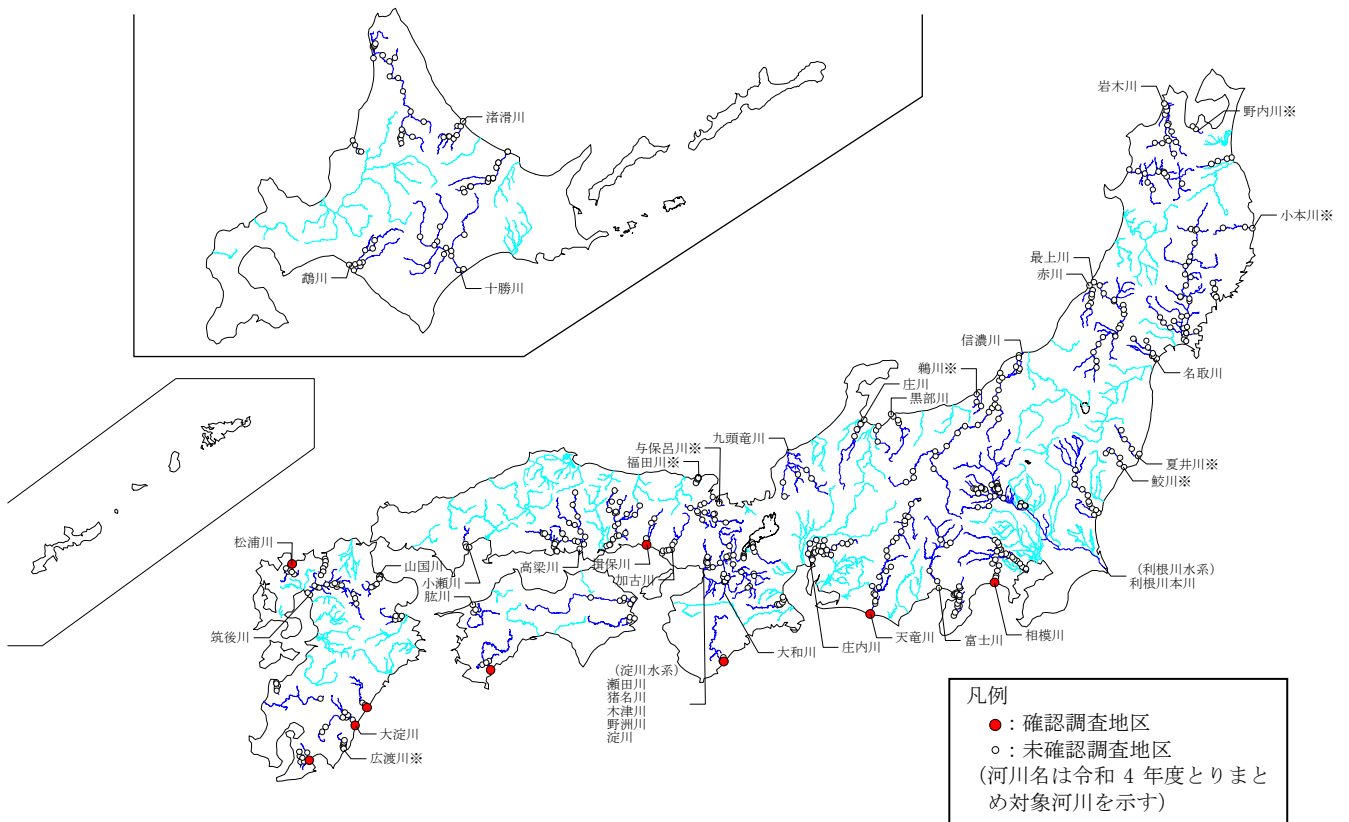
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

クロホシマンジュウダイの確認された調査地区（4巡目調査、5巡目調査）

6 巡目調査（平成 28～令和 2 年度）



7 巡目調査（令和 3～4 年度）



- 注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系（河川）を示す。

クロホシマンジュウダイの確認された調査地区（6 巡目調査、7 巡目調査）

1.5 注目すべき種の分布状況

国外外来種は、過去に内水面放流事業などの影響により、意図せずに野外の水域に侵入しています。近年では、観賞魚として流通している国外外来種が、飼育下から逃げ出した個体や、遺棄された個体などが定着し、そこに生息する在来種との競合や、生態系全体に深刻な影響を与えるケースなどが確認されています。

一方、新たにガー科が特定外来生物に指定されており、このため観賞魚としての流通が止まっている例もみられます。

ここでは、主に観賞魚などとして飼育されている国外外来種の確認状況について整理しています。なお、近年は、野外に放出されたコイ、キンギョ、メダカなどの人工改良品種を、国外外来種、国内外来種に次ぐ、「第3の外來種」として認識する例もみられております。

【注目すべき国外外来種】

(魚類調査)

・コイ（改良品種型）、タイリクバラタナゴ、キンギョを確認

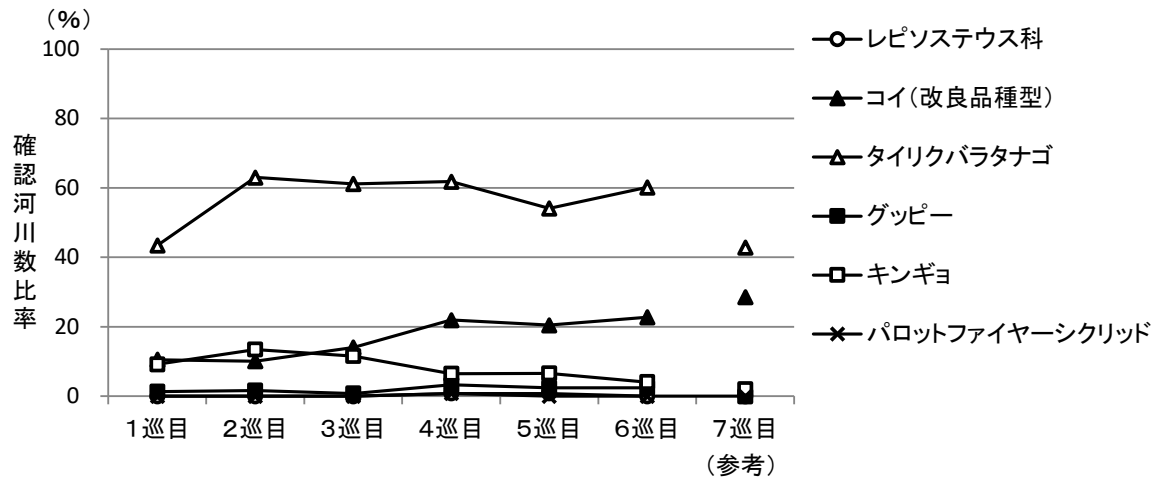
特定外来生物以外の飼育由来と考えられる国外外来種について整理しました。また、参考として古くから観賞魚として親しまれてきたキンギョについても確認状況を整理しました。

今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち、コイ（改良品種型）は 8 河川で、タイリクバラタナゴは 11 河川で、キンギョは 1 河川で確認されていますが、グッピーなどは確認されませんでした。なお、コイ（改良品種型）は、1～6 巡目に掛けて確認河川数の比率がわずかに増加しています。

(資料掲載: 1-107～1-118ページ、1-148～1-151ページ)

1～7巡目調査の確認河川数の比較

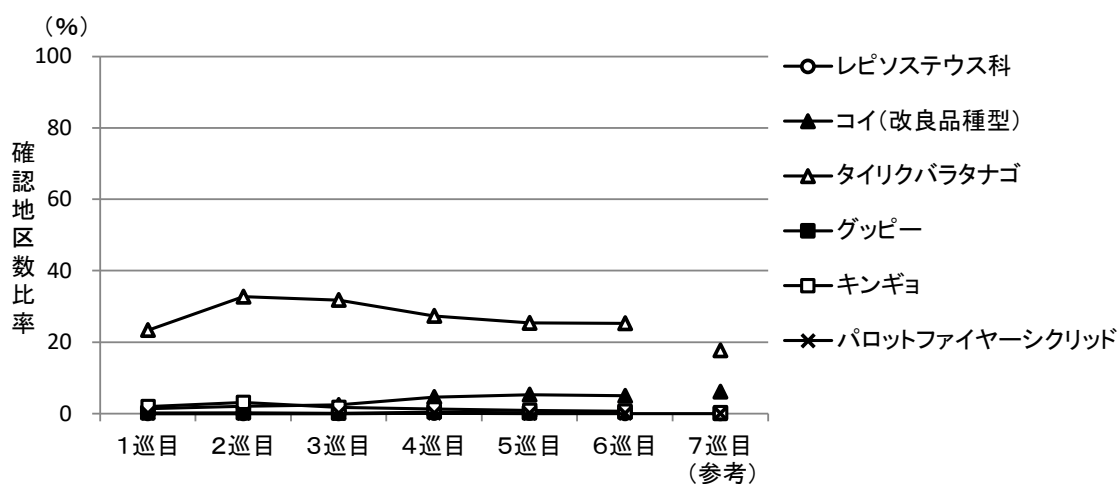
種類	1巡目調査 (76河川)	2巡目調査 (119河川)	3巡目調査 (121河川)	4巡目調査 (123河川)	5巡目調査 (122河川)	6巡目調査 (123河川)	7巡目調査 (49河川)
レピステウス科 (ガー科)	0河川 〔0.0〕	0河川 〔0.0〕	0河川 〔0.0〕	1河川 〔0.8〕	1河川 〔0.8〕	0河川 〔0.0〕	0河川 〔0.0〕
コイ (改良品種型)	8河川 〔10.5〕	12河川 〔10.1〕	17河川 〔14.0〕	27河川 〔22.0〕	25河川 〔20.5〕	28河川 〔22.8〕	14河川 〔28.6〕
タイリクバラタナゴ	33河川 〔43.4〕	75河川 〔63.0〕	74河川 〔61.2〕	76河川 〔61.8〕	66河川 〔54.1〕	74河川 〔60.2〕	21河川 〔42.9〕
グッピー	1河川 〔1.3〕	2河川 〔1.7〕	1河川 〔0.8〕	4河川 〔3.3〕	3河川 〔2.5〕	3河川 〔2.4〕	0河川 〔0.0〕
キンギョ	7河川 〔9.2〕	16河川 〔13.4〕	14河川 〔11.6〕	8河川 〔6.5〕	8河川 〔6.6〕	5河川 〔4.1〕	1河川 〔2.0〕
パロットファイヤーシクリッド	0河川 〔0.0〕	0河川 〔0.0〕	0河川 〔0.0〕	1河川 〔0.8〕	0河川 〔0.0〕	0河川 〔0.0〕	0河川 〔0.0〕



- ※ 確認河川数の比較は、調査実施全河川のうち、直轄管理区間のデータを対象とした。
- ※ 1～6巡目調査のデータは、調査実施全河川のうち、種名等についてスクリーニングされ、河川環境データベースに格納されている調査データを対象にした。
- ※ () 内は調査実施河川数を示す。
- ※ [] 内は確認河川数の調査実施河川数に対する割合 (%) を示す。

1～7巡目調査の確認地区数の比較

種類	1巡目調査 (565地区)	2巡目調査 (938地区)	3巡目調査 (981地区)	4巡目調査 (904地区)	5巡目調査 (870地区)	6巡目調査 (879地区)	7巡目調査 (356地区)
レピステウス科 (ガー科)	0地区 [0.0]	0地区 [0.0]	0地区 [0.0]	1地区 [0.1]	1地区 [0.1]	0地区 [0.0]	0地区 [0.0]
コイ (改良品種型)	8地区 [1.4]	19地区 [2.0]	24地区 [2.4]	42地区 [4.6]	46地区 [5.3]	44地区 [5.0]	22地区 [6.2]
タイリクバラタナゴ	132地区 [23.4]	307地区 [32.7]	312地区 [31.8]	247地区 [27.3]	221地区 [25.4]	222地区 [25.3]	63地区 [17.7]
グッピー	1地区 [0.2]	2地区 [0.2]	1地区 [0.1]	4地区 [0.4]	2地区 [0.2]	3地区 [0.3]	0地区 [0.0]
キンギョ	11地区 [1.9]	29地区 [3.1]	17地区 [1.7]	12地区 [1.3]	8地区 [0.9]	6地区 [0.7]	1地区 [0.3]
パロットファイヤーシクリッド	0地区 [0.0]	0地区 [0.0]	0地区 [0.0]	1地区 [0.1]	0地区 [0.0]	0地区 [0.0]	0地区 [0.0]



- ※ 確認地区数の比較は調査実施全地区のうち、直轄管理区間のデータを対象とした。
- ※ 1～6巡目調査のデータは、調査実施全地区のうち、種名等についてスクリーニングされ、河川環境管理システムに格納されている調査データを対象にした。
- ※ () 内は調査実施地区数を示す。
- ※ [] 内は確認地区数の調査実施地区数に対する割合 (%) を示す。

レピステウス科 (ガー科) は北米原産^{注1)}で、近年特定外来生物に指定されたため、現在は許可なく飼育することはできませんが、かつて、観賞魚として輸入されていました。今回取りまとめを行った 28 河川 (一級河川の直轄管理区間) では確認されませんでした。4 巡目調査と 5 巡目調査で、それぞれ 1 河川、1 地区で確認されました。

コイ (改良品種型) は、カガミゴイ、カワゴイなどを含みます。今回取りまとめを行った 28 河川 (一級河川の直轄管理区間) のうち、8 河川、10 地区で確認されました。確認河川数の割合は 2 巡目調査 10.1%、3 巡目調査 14.0%、4 巡目調査 22.0%、5 巡目調査 20.5%、6 巡目調査 22.8% で、4 巡目以降は安定している傾向がみられました。なお、現在河川に生息するコイの多くは、改良品種や外来のコイとの交雑であることが知られていますが、ここでのコイ (改良品種型) は、体色等で明確に改良品種とわかる個体としました。

タイリクバラタナゴは中国、朝鮮などが原産^{注2)}で、内水面放流事業をきっかけに定着した個体群が、灌漑期の導水、台風に伴う平野部の冠水など水平分散によって分布を拡大したと考えられます。こうした経緯から 1942 年前後に中国からの種苗に混入して定着したとされています。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち、11 河川で確認されました。確認河川数の割合は 2 巡目調査以降 50~60%台で推移し、他の種と比較して広い範囲で生息が確認されました。タイリクバラタナゴに代表される外来のタナゴ類は、本来広域に分布していたヤリタナゴ等の在来タナゴ類から置き換わる形で広く分布するようになってきています。また、タイリクバラタナゴは、国内で確認されるタナゴ類の中で最も分布範囲、確認数が多くっており今後の動向が危惧されます。

グッピーは、南米原産^{注2)}で観賞魚として輸入されています。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）では確認されませんでした。確認河川数は低位で安定しています。

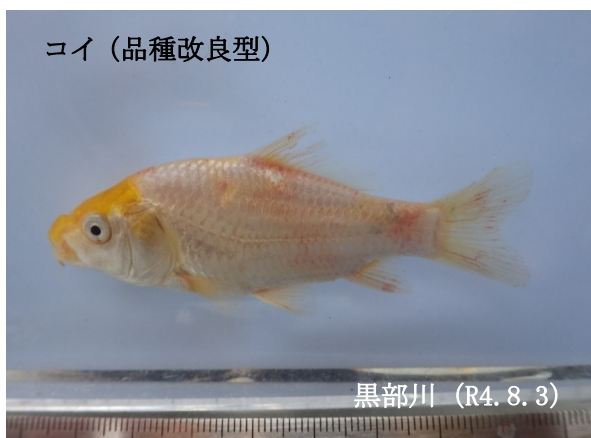
キンギョは、今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち、1 河川で確認されました。なお、キンギョは体色や体形で明確にキンギョとわかる個体を対象としました。

パロットファイヤーシクリッドは、カワスズメ科の外来魚の交雑品種で、観賞魚として流通しています。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）では確認されませんでした。

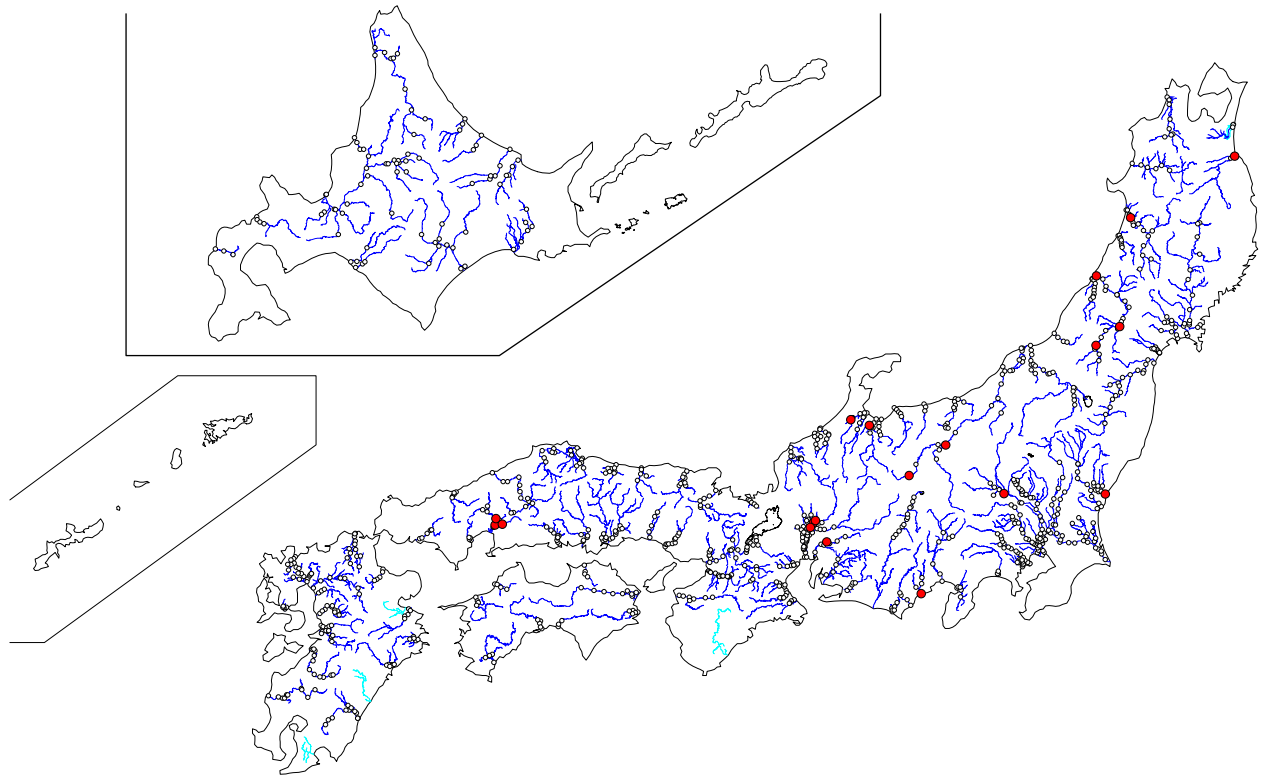
注 1) 出典：増補 カラー熱帯魚淡水魚百科。(1999)平凡社。

注 2) 出典：日本の外来魚ガイド。(2008)文一総合出版。

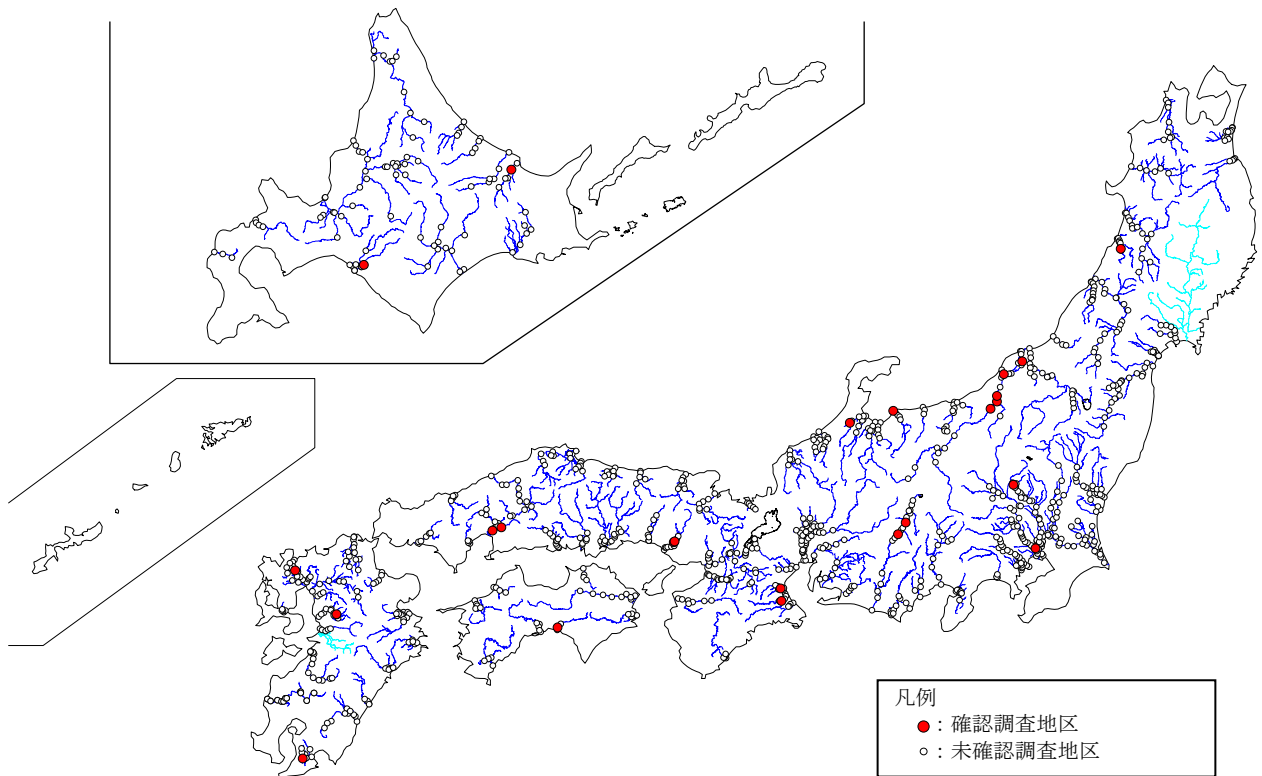
注 3) 出典：日本の外来生物。(2019)自然環境研究センター



2 巡目調査（平成 8～12 年度）



3 巡目調査（平成 13～17 年度）



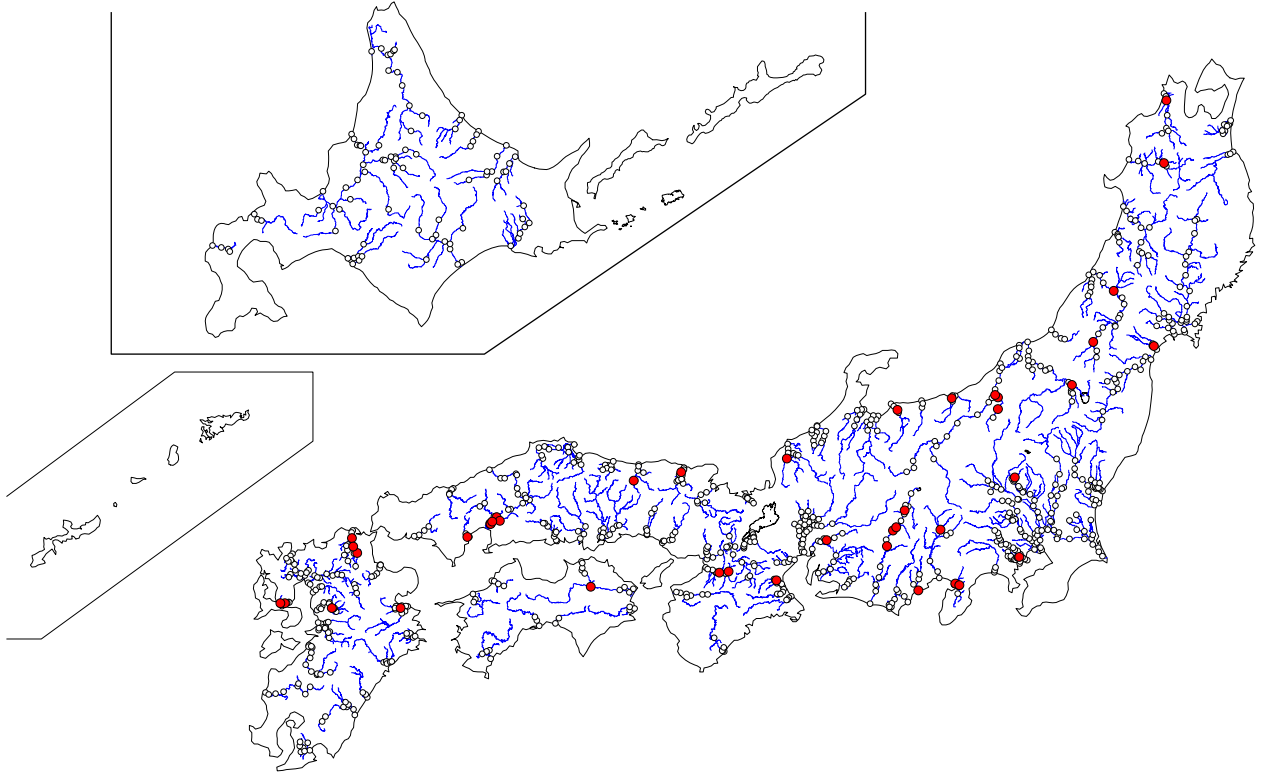
凡例

- : 確認調査地区
- : 未確認調査地区

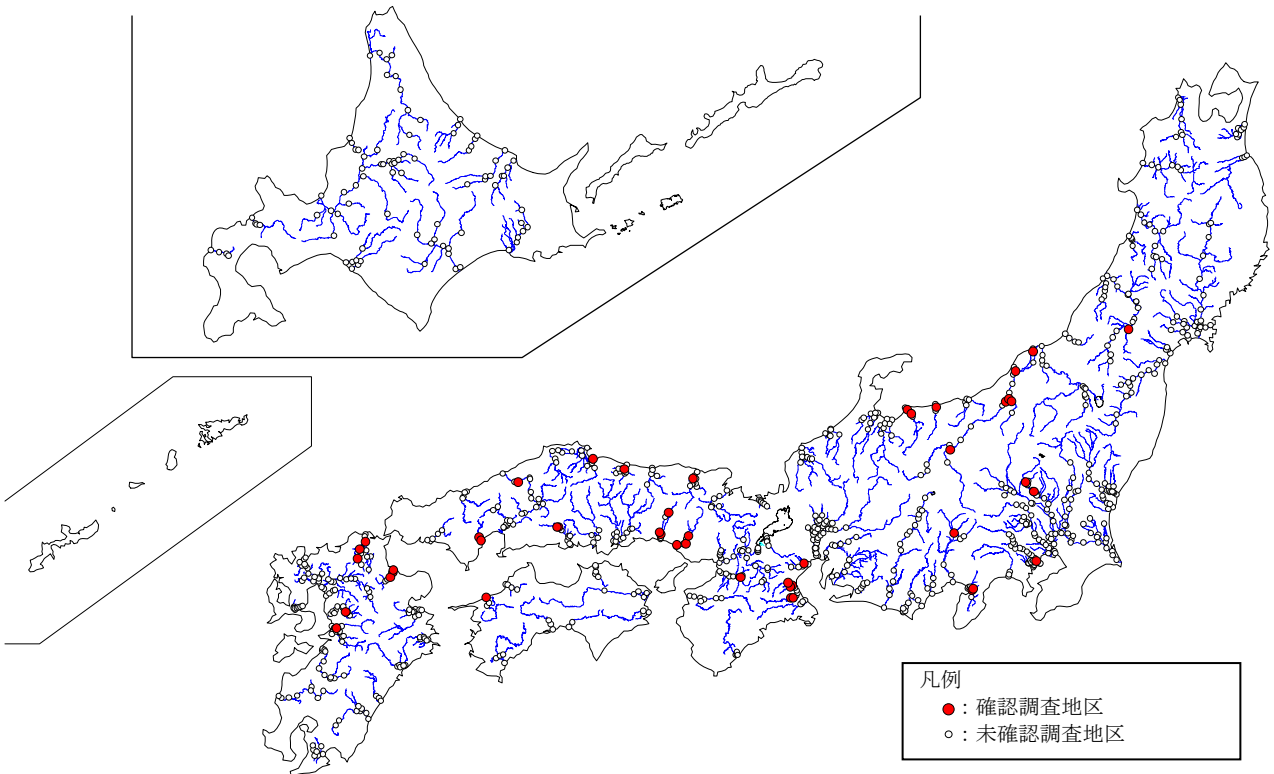
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

コイ（改良品種型）の確認された調査地区（2 巡目調査、3 巡目調査）

4 巡目調査（平成 18～22 年度）



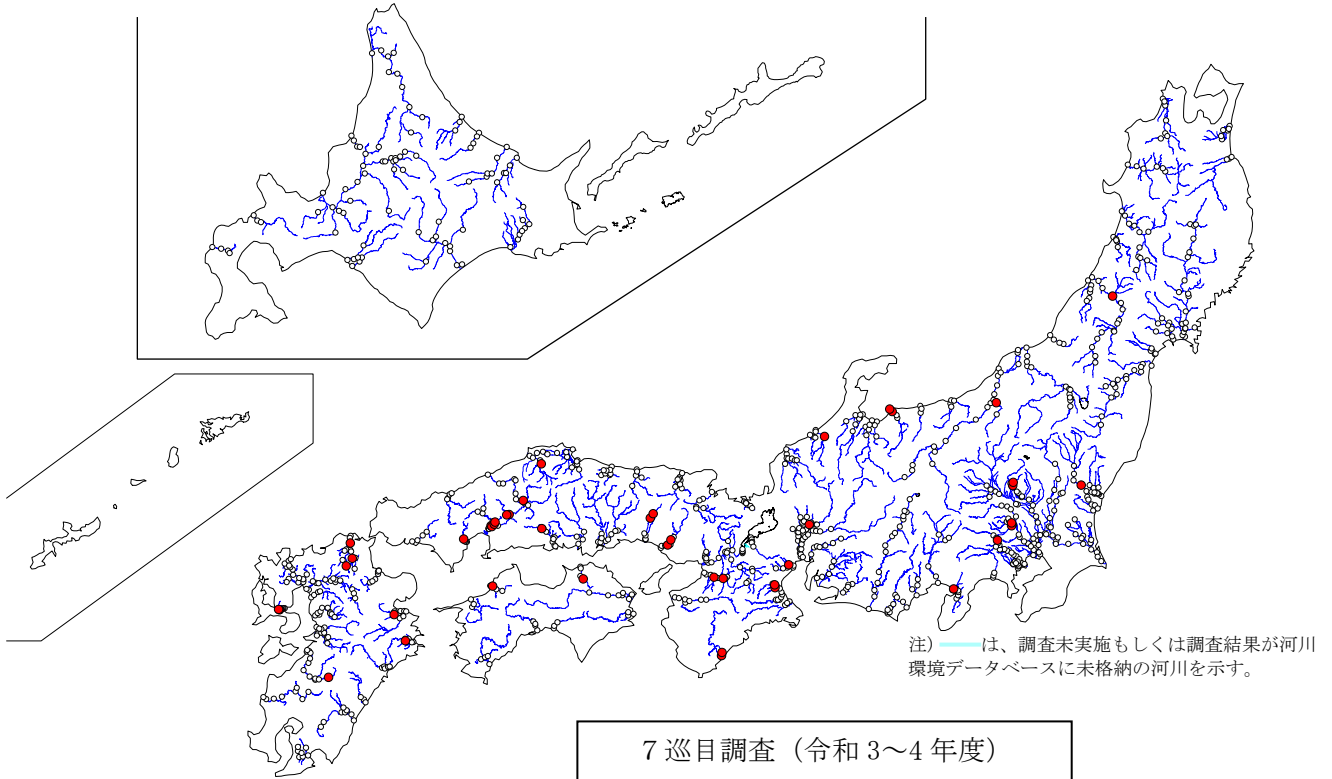
5 巡目調査（平成 23～27 年度）



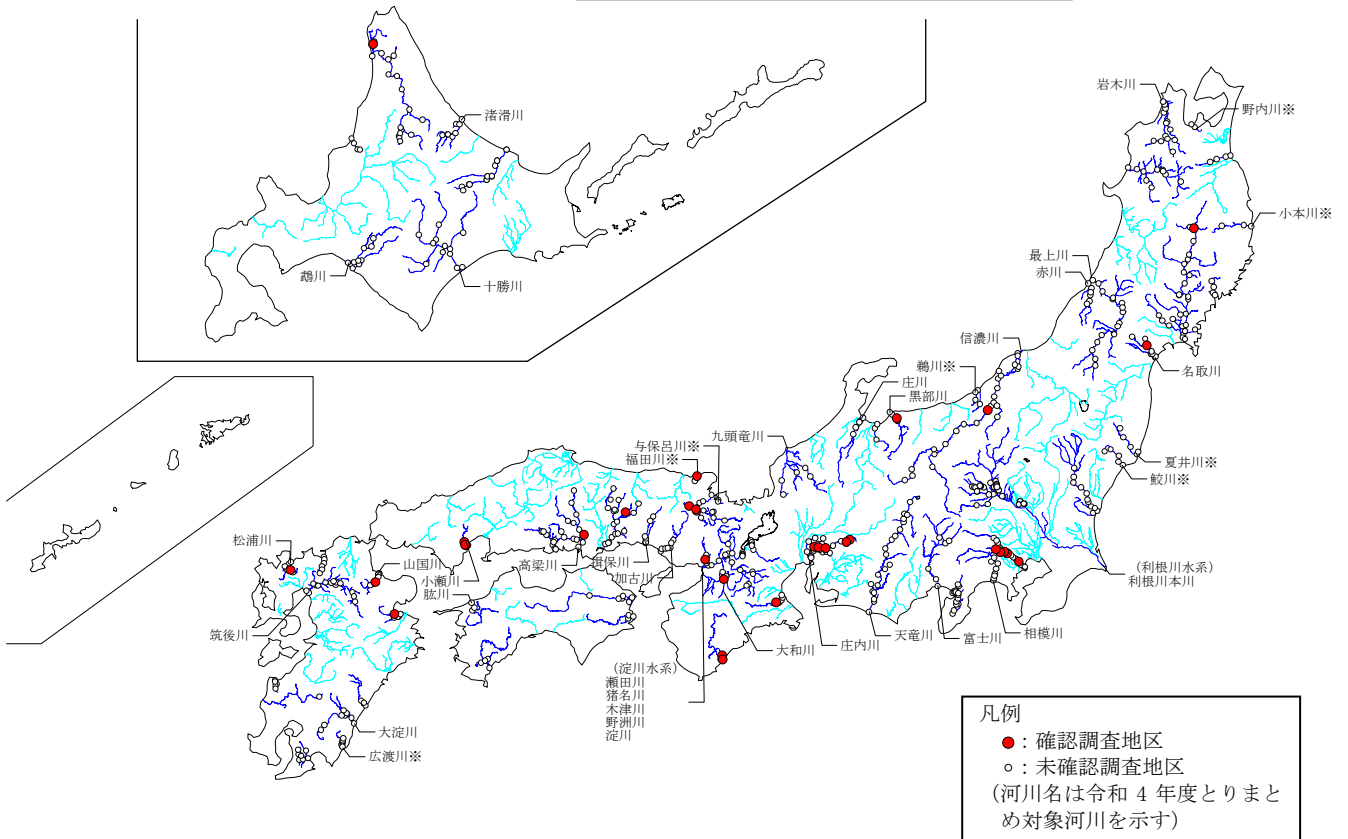
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

コイ（改良品種型）の確認された調査地区（4 巡目調査、5 巡目調査）

6 巡目調査（平成 28～令和 2 年度）

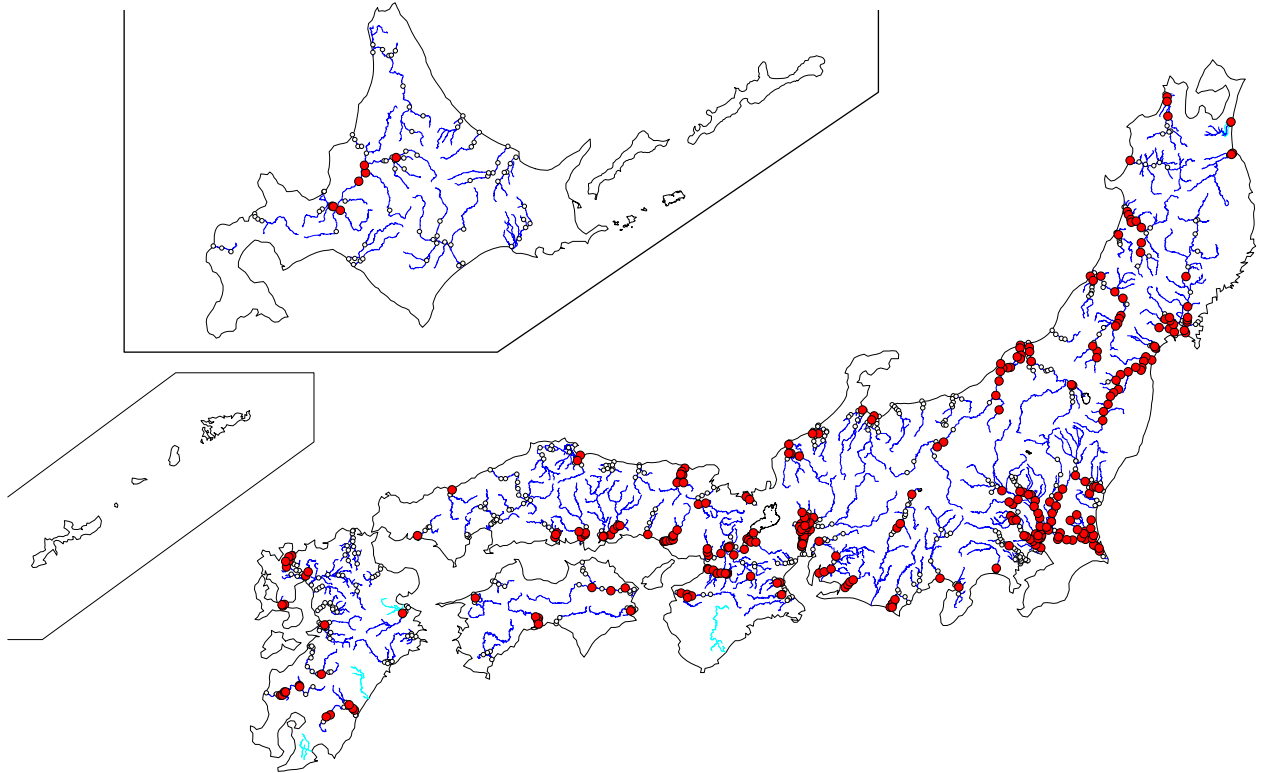


7 巡目調査（令和 3～4 年度）

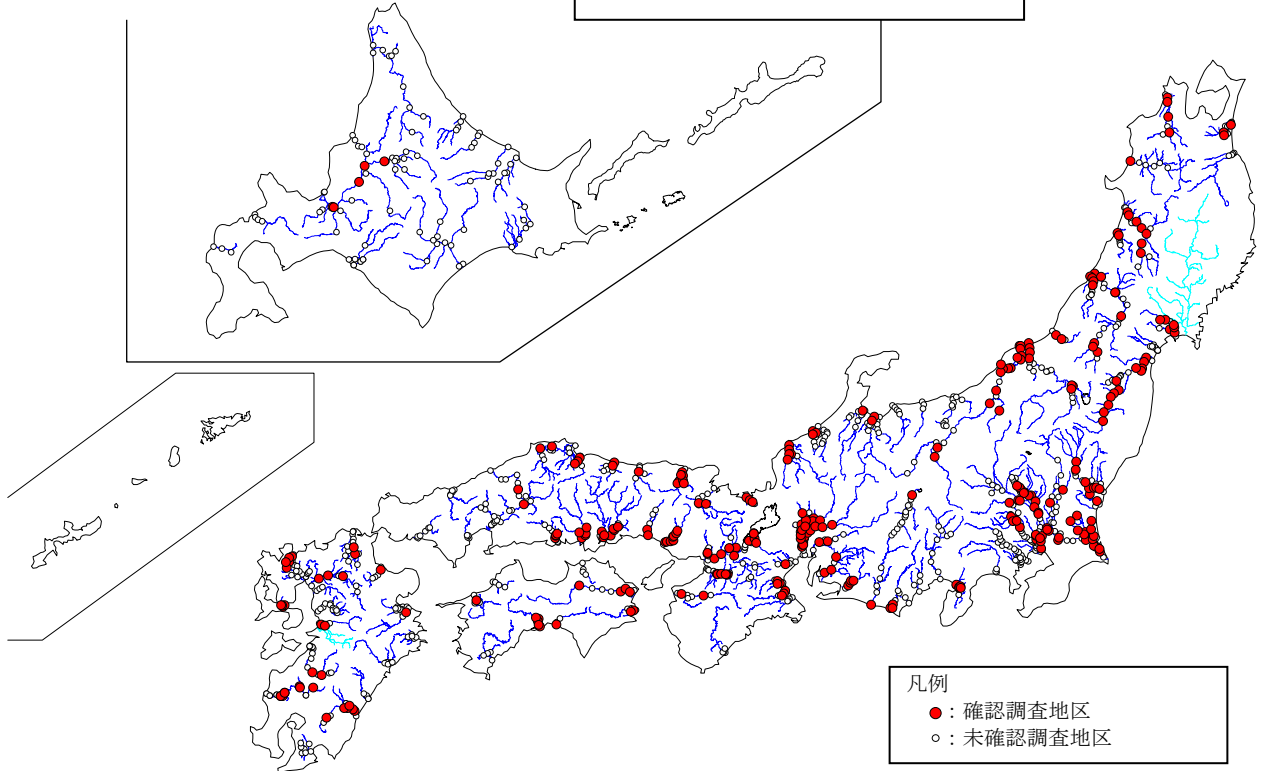


コイ（改良品種型）の確認された調査地区（6 巡目調査、7 巡目調査）

2 巡目調査 (平成 8～12 年度)



3 巡目調査 (平成 13～17 年度)



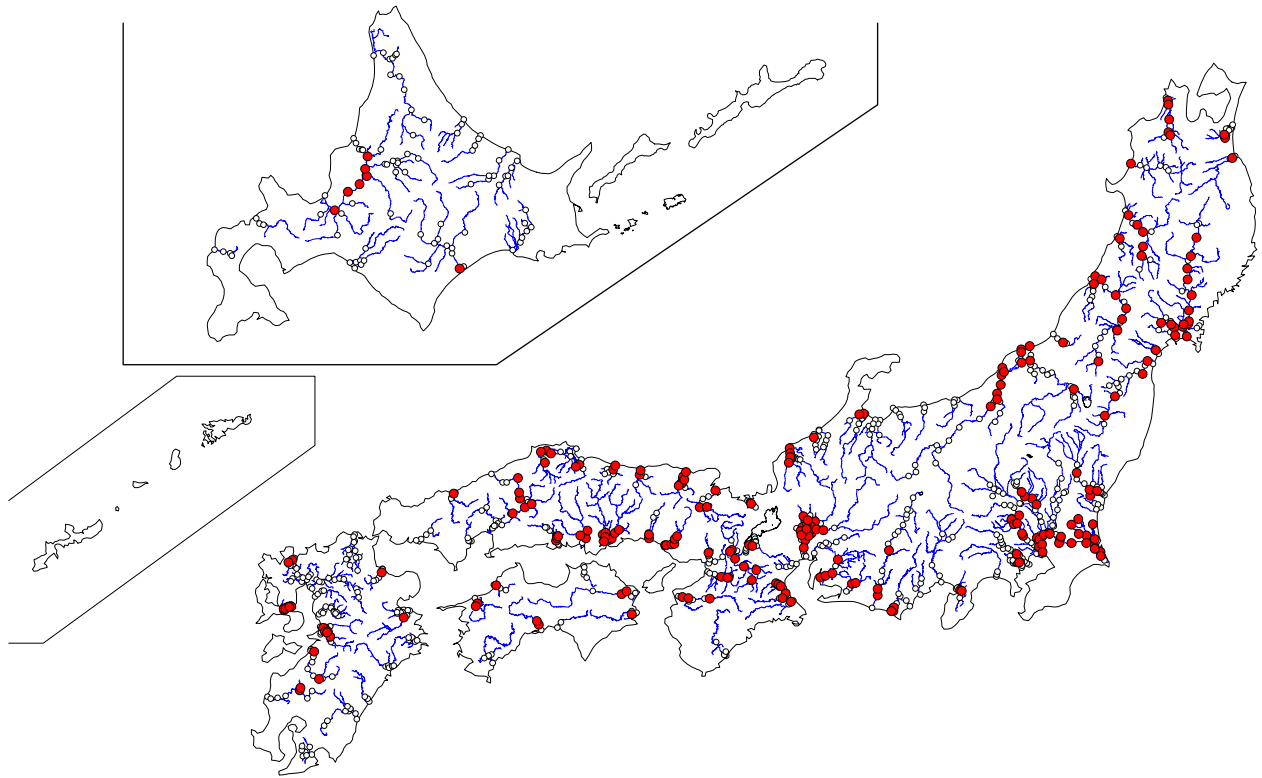
凡例

- : 確認調査地区
- : 未確認調査地区

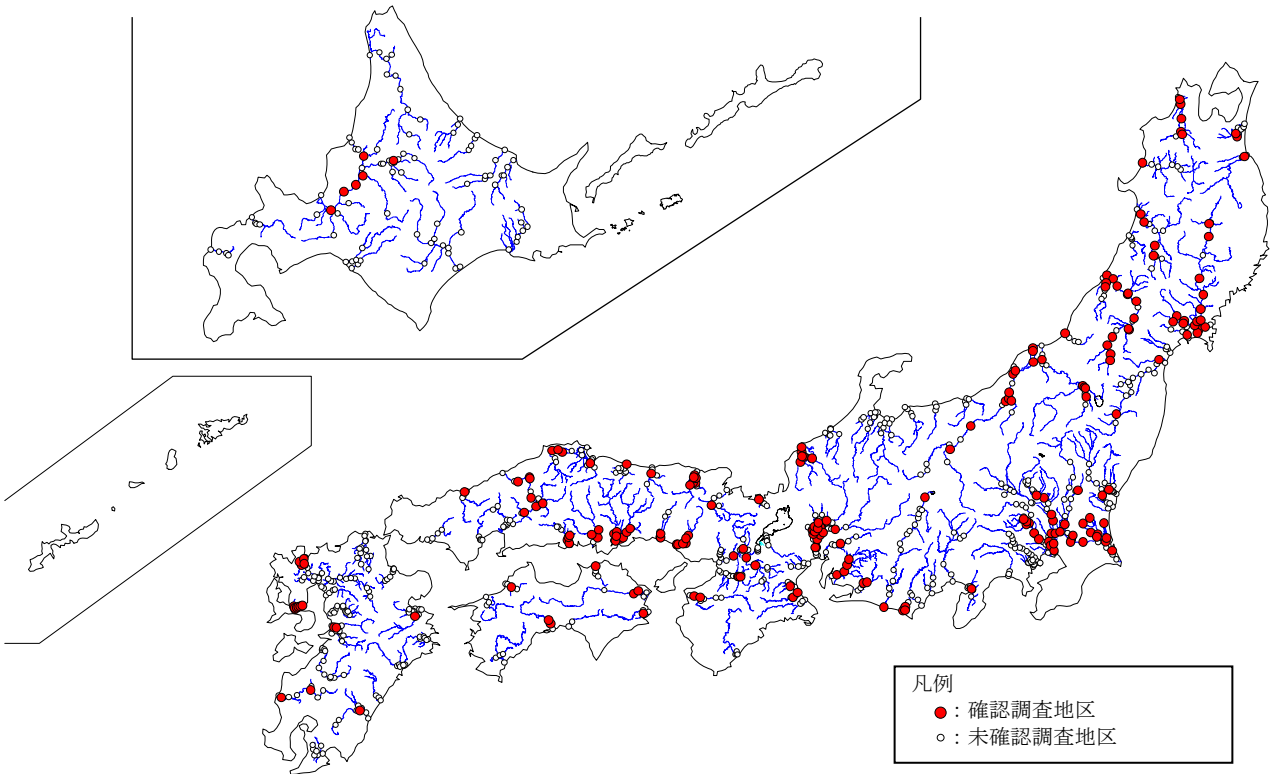
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

タイリクバラタナゴの確認された調査地区 (2 巡目調査、3 巡目調査)

4 巡目調査 (平成 18～22 年度)



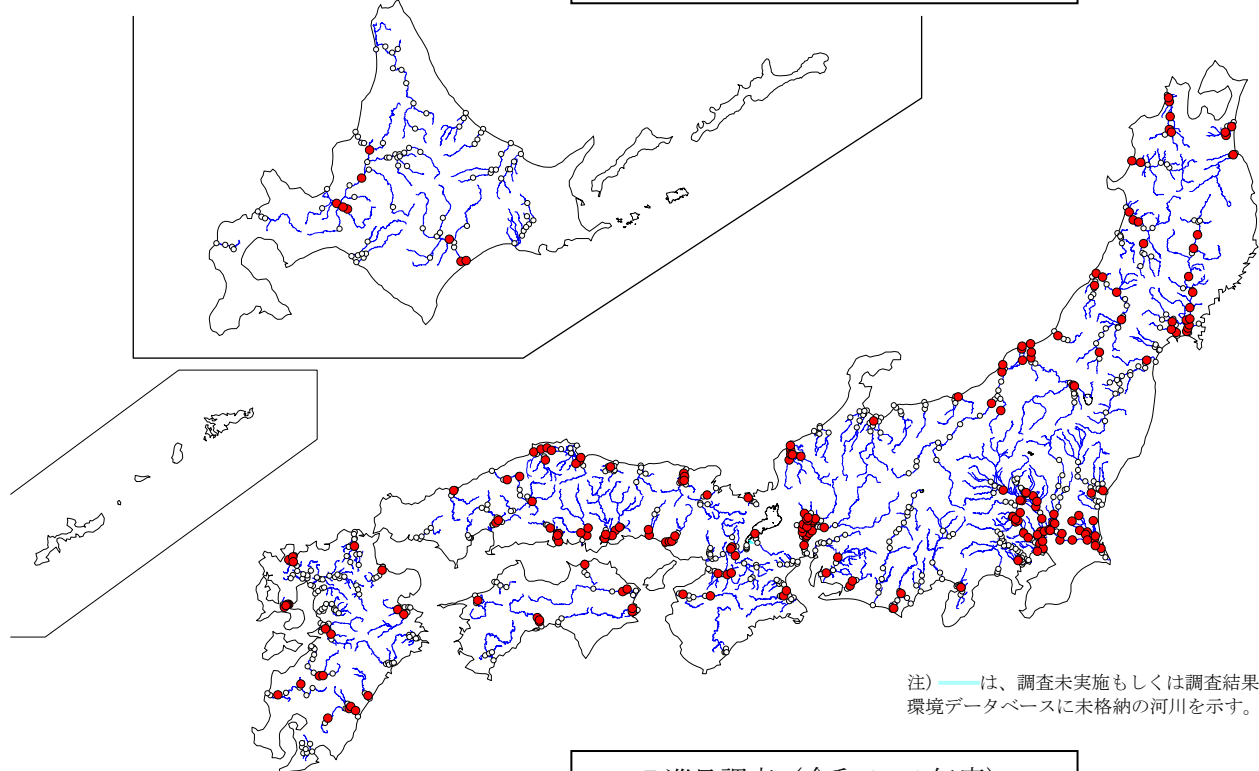
5 巡目調査 (平成 23～27 年度)



注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

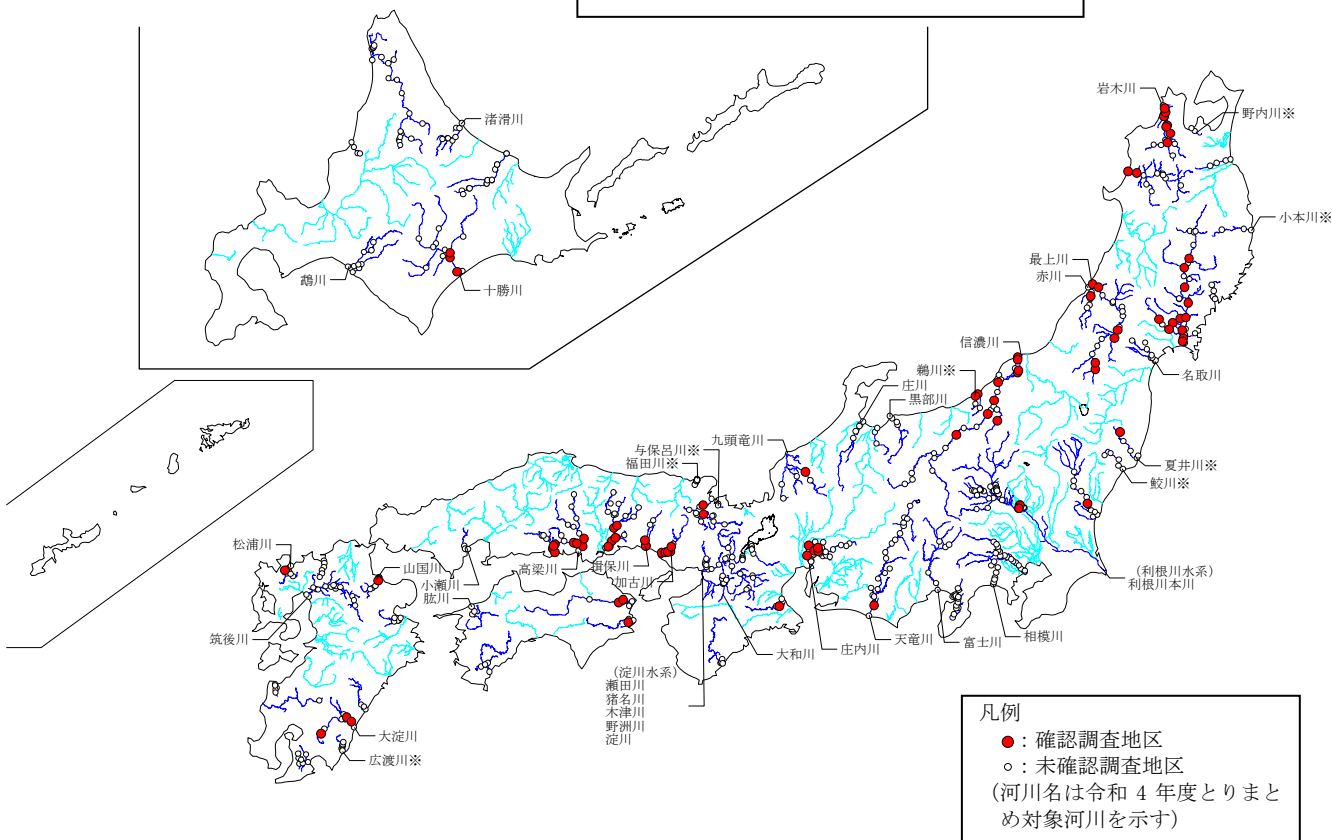
タイリクバラタナゴの確認された調査地区 (4 巡目調査、5 巡目調査)

6 巡目調査 (平成 28～令和 2 年度)



注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

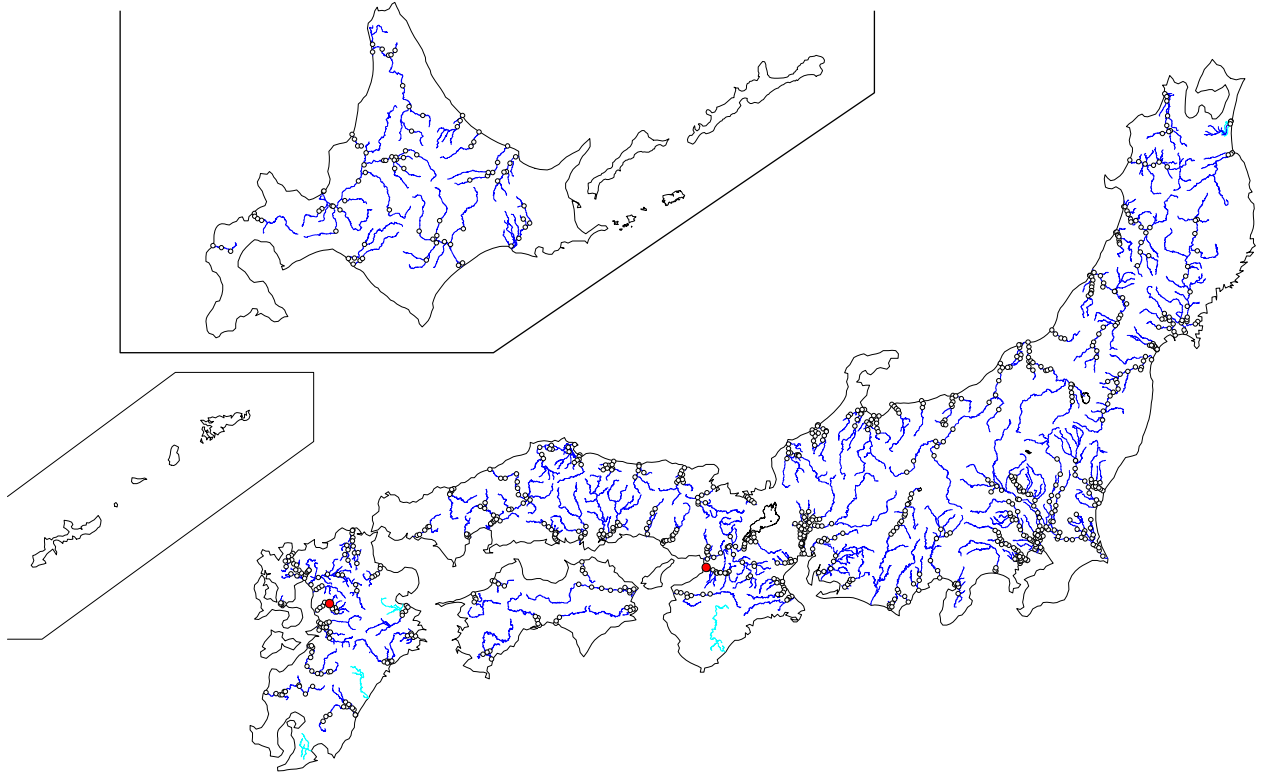
7 巡目調査 (令和 3～4 年度)



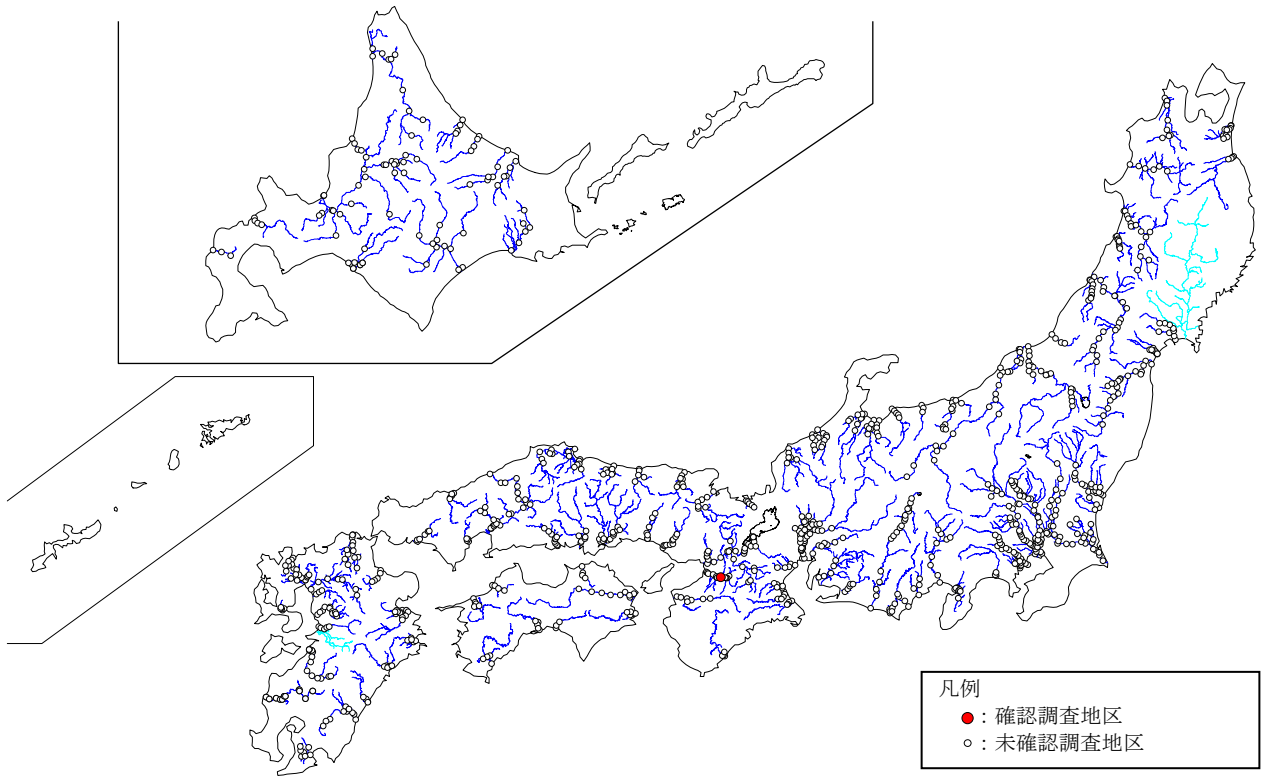
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系 (河川) を示す。

タイリクバラタナゴの確認された調査地区 (6 巡目調査、7 巡目調査)

2巡目調査（平成8～12年度）



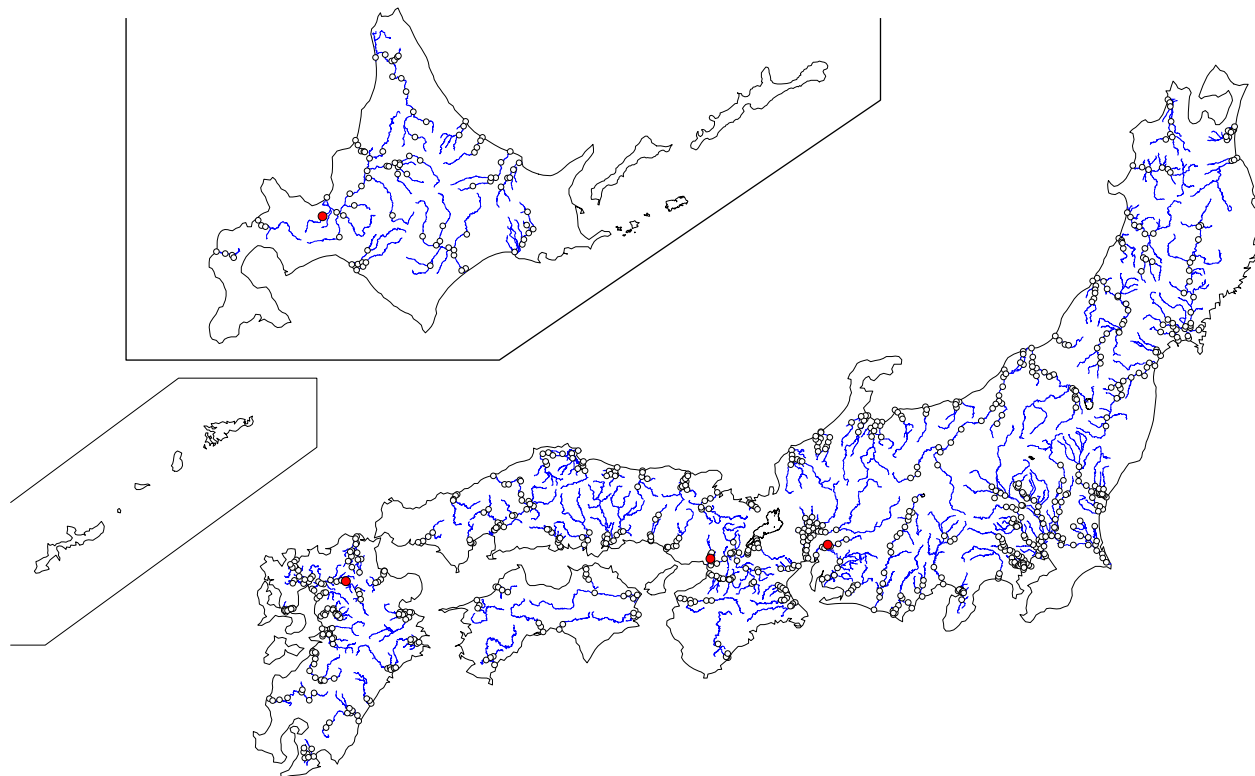
3巡目調査（平成13～17年度）



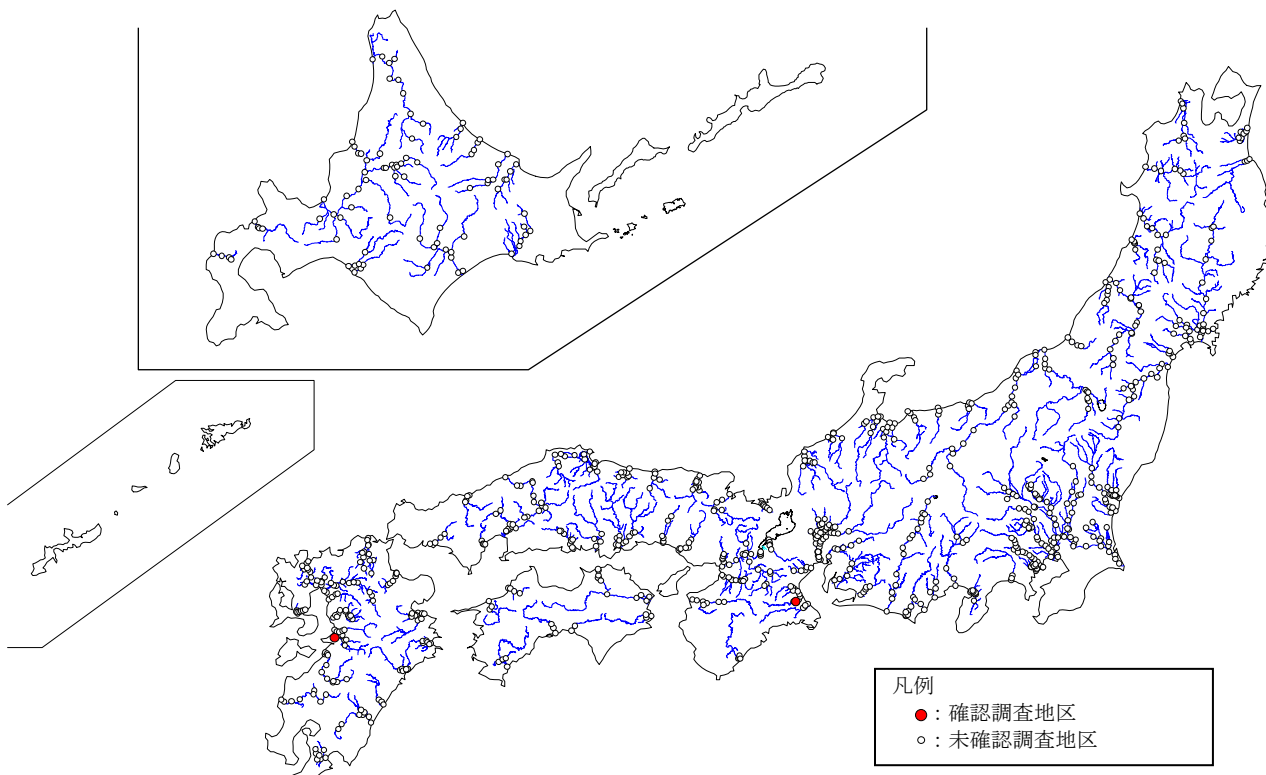
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

グッピーの確認された調査地区（2巡目調査、3巡目調査）

4 巡目調査 (平成 18～22 年度)



5 巡目調査 (平成 23～27 年度)

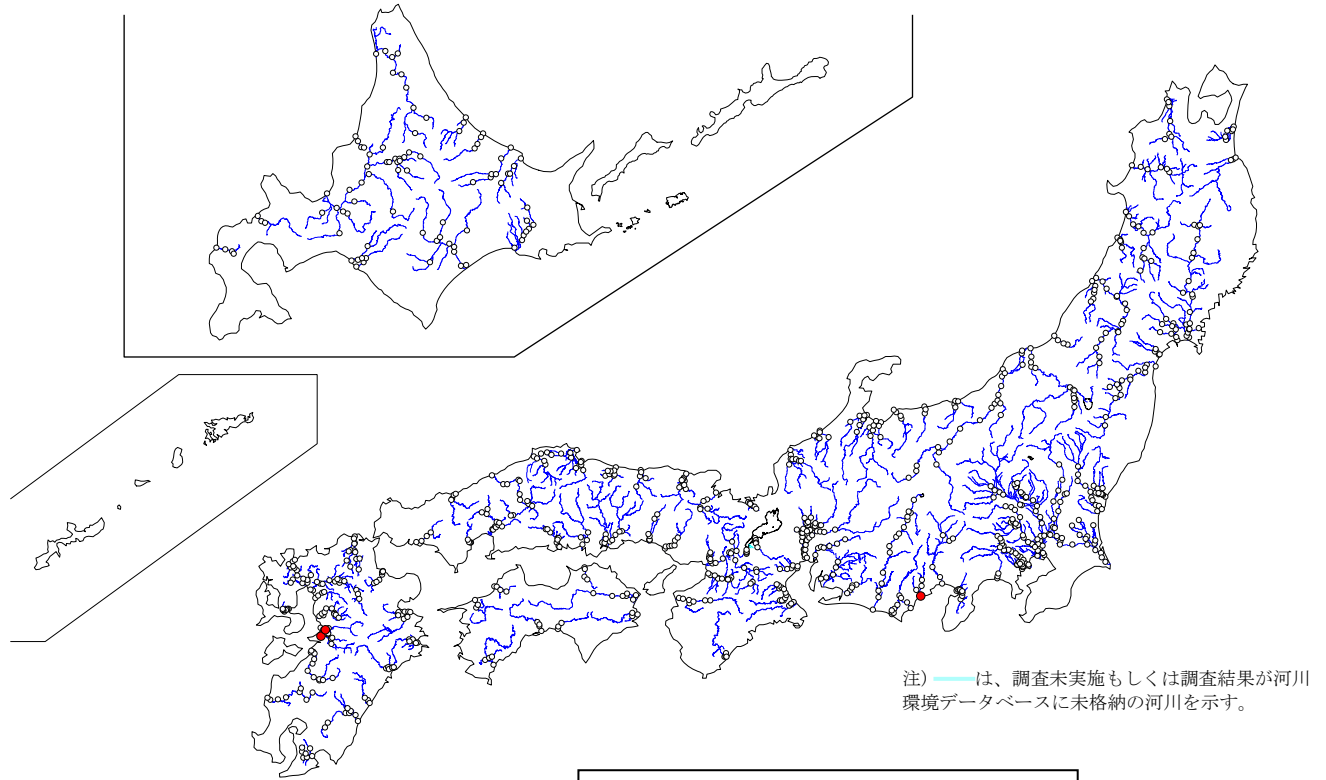


- 凡例
- : 確認調査地区
 - : 未確認調査地区

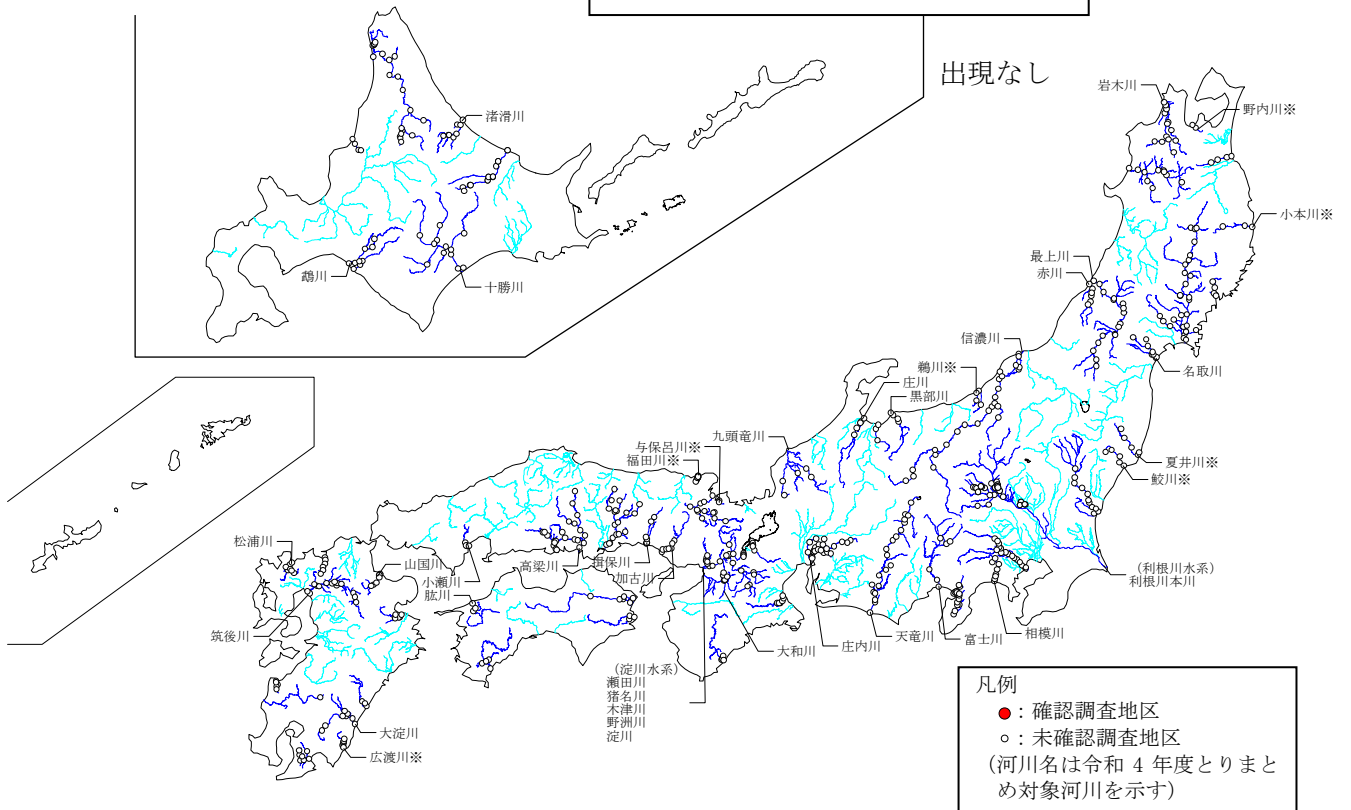
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

グッピーの確認された調査地区 (4 巡目調査、5 巡目調査)

6 巡目調査（平成 28～令和 2 年度）



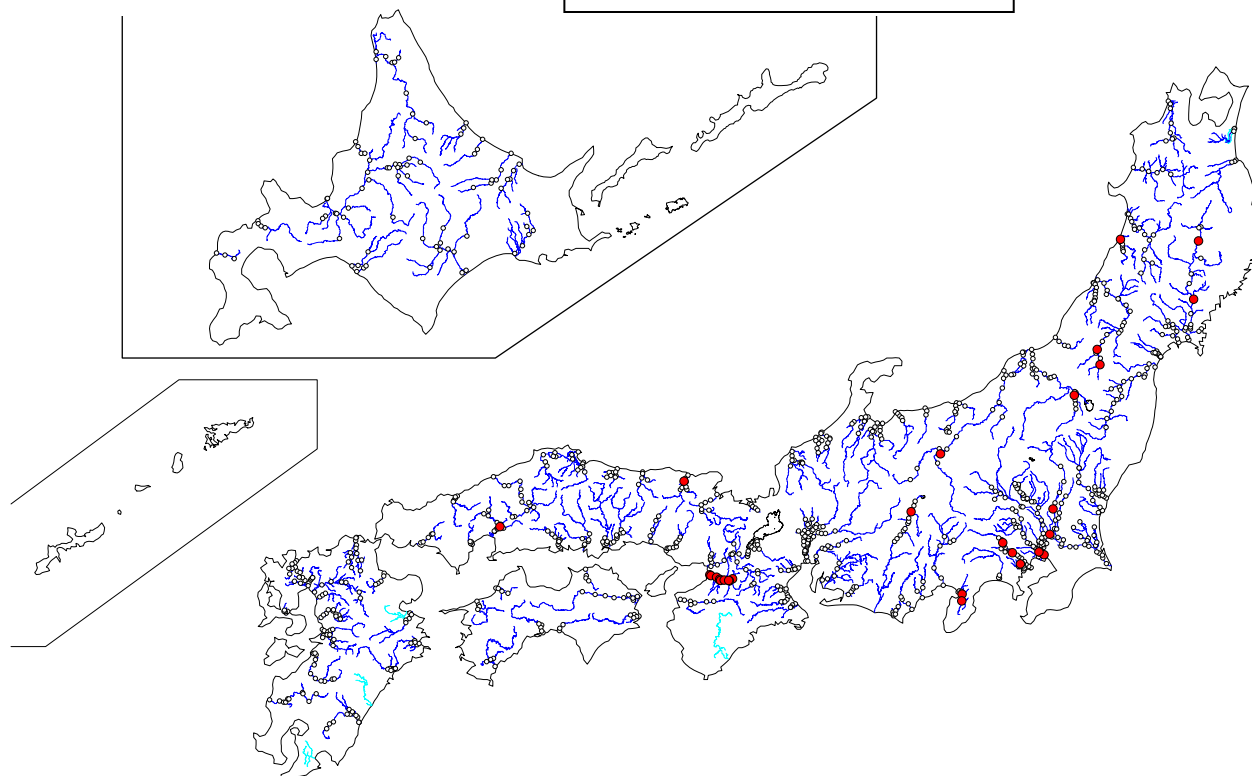
7 巡目調査（令和 3～4 年度）



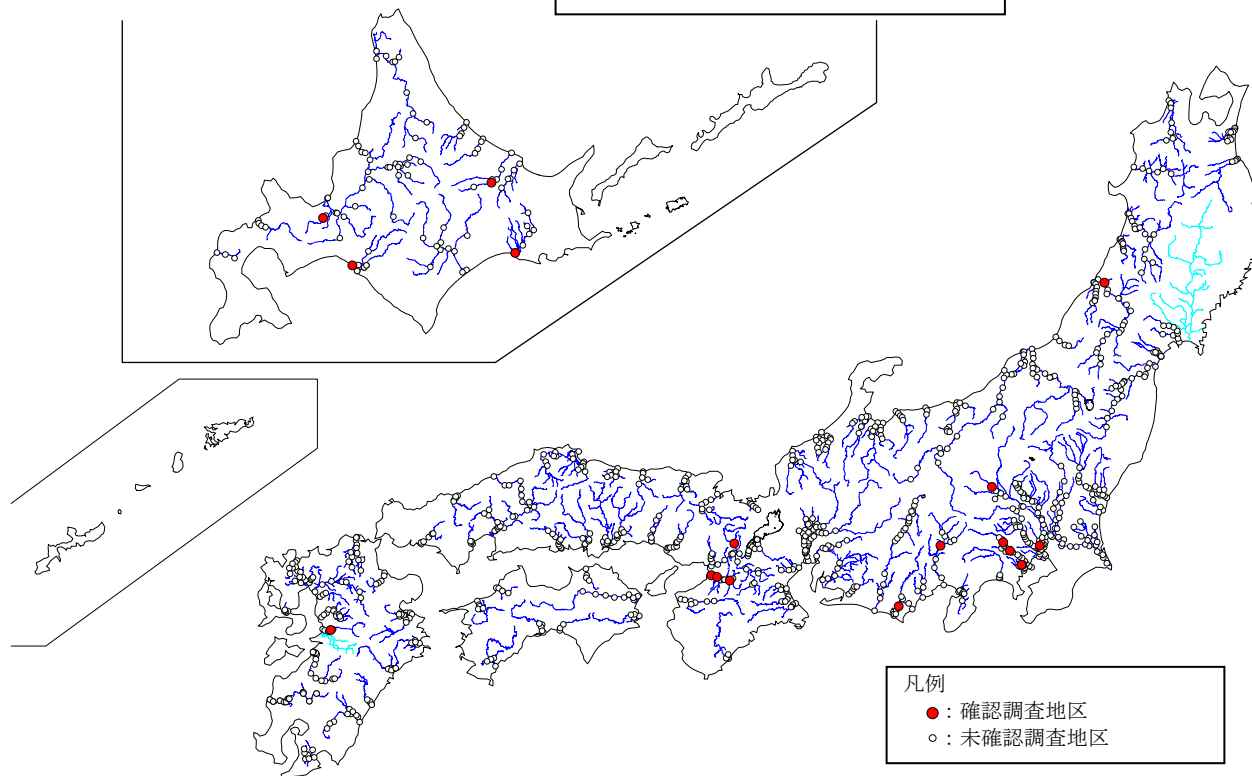
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系（河川）を示す。

グッピーの確認された調査地区（6 巡目調査、7 巡目調査）

2巡目調査（平成8～12年度）

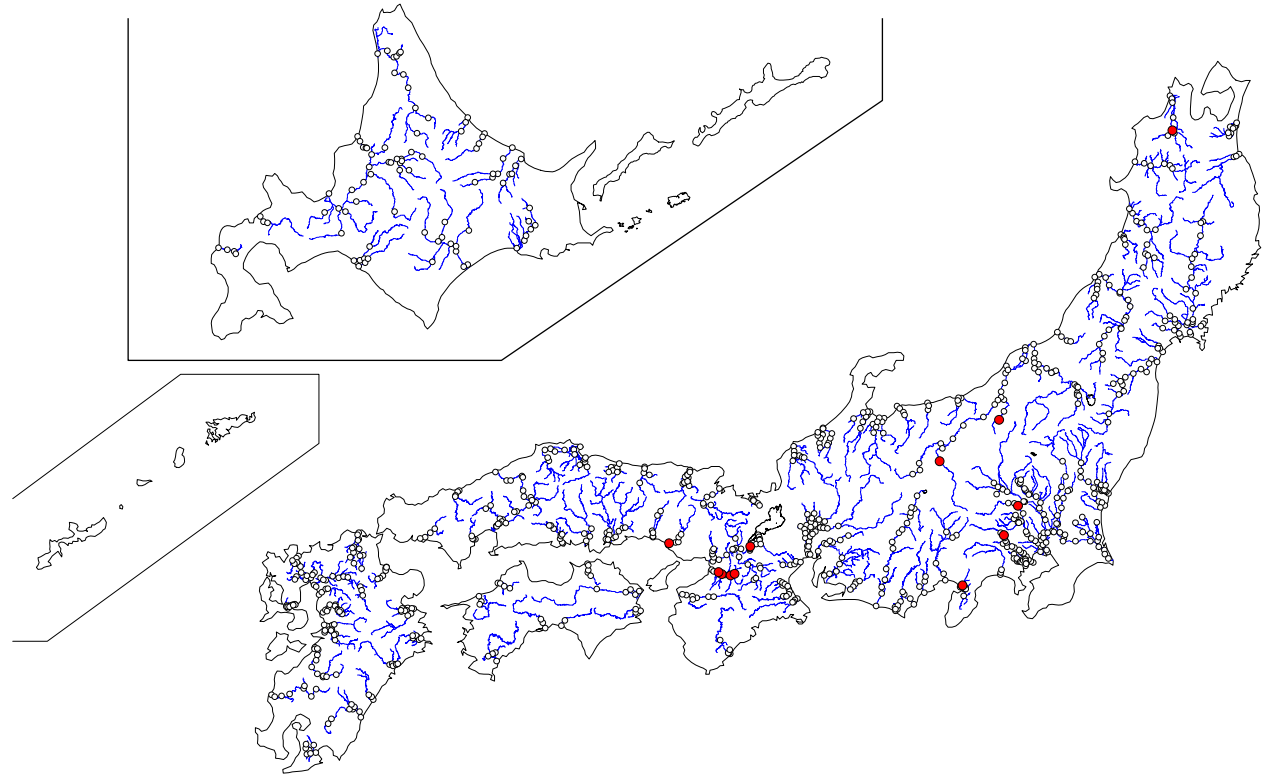


3巡目調査（平成13～17年度）

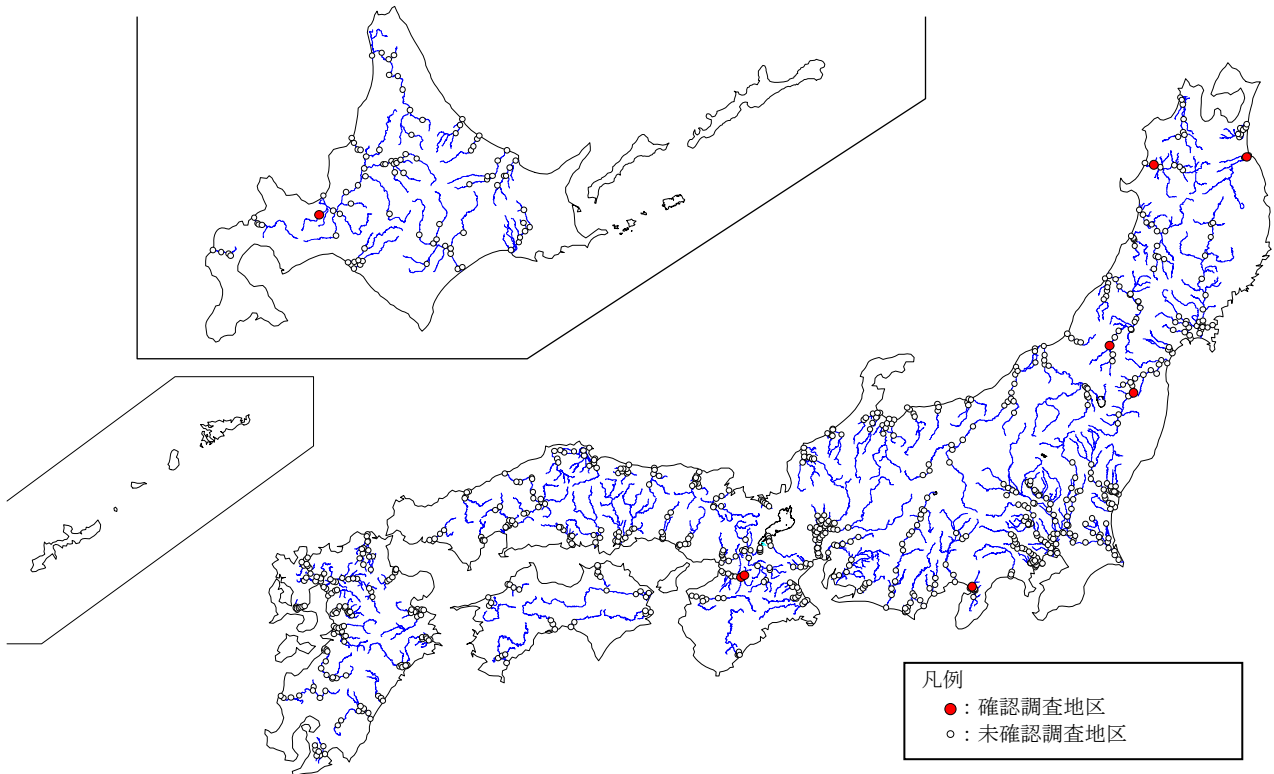


キングヨの確認された調査地区（2巡目調査、3巡目調査）

4巡目調査（平成18～22年度）



5巡目調査（平成23～27年度）



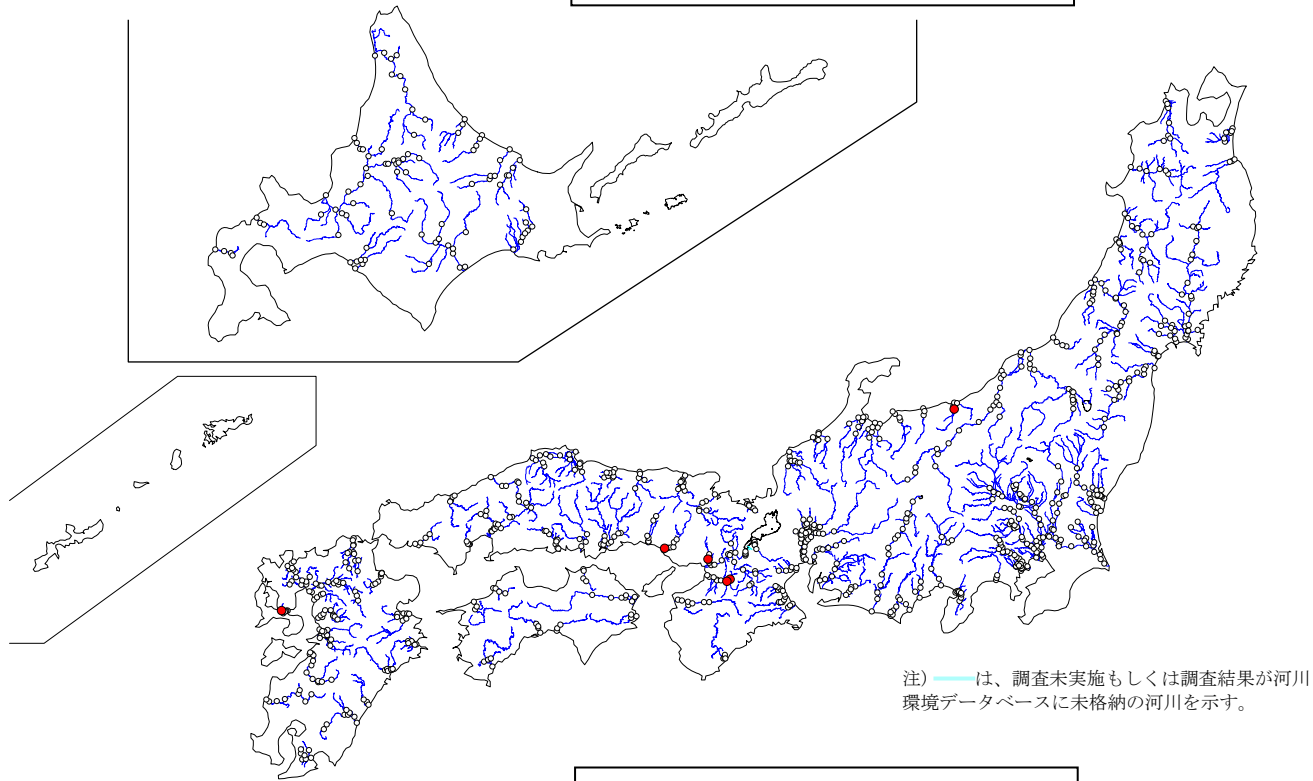
凡例

- : 確認調査地区
- : 未確認調査地区

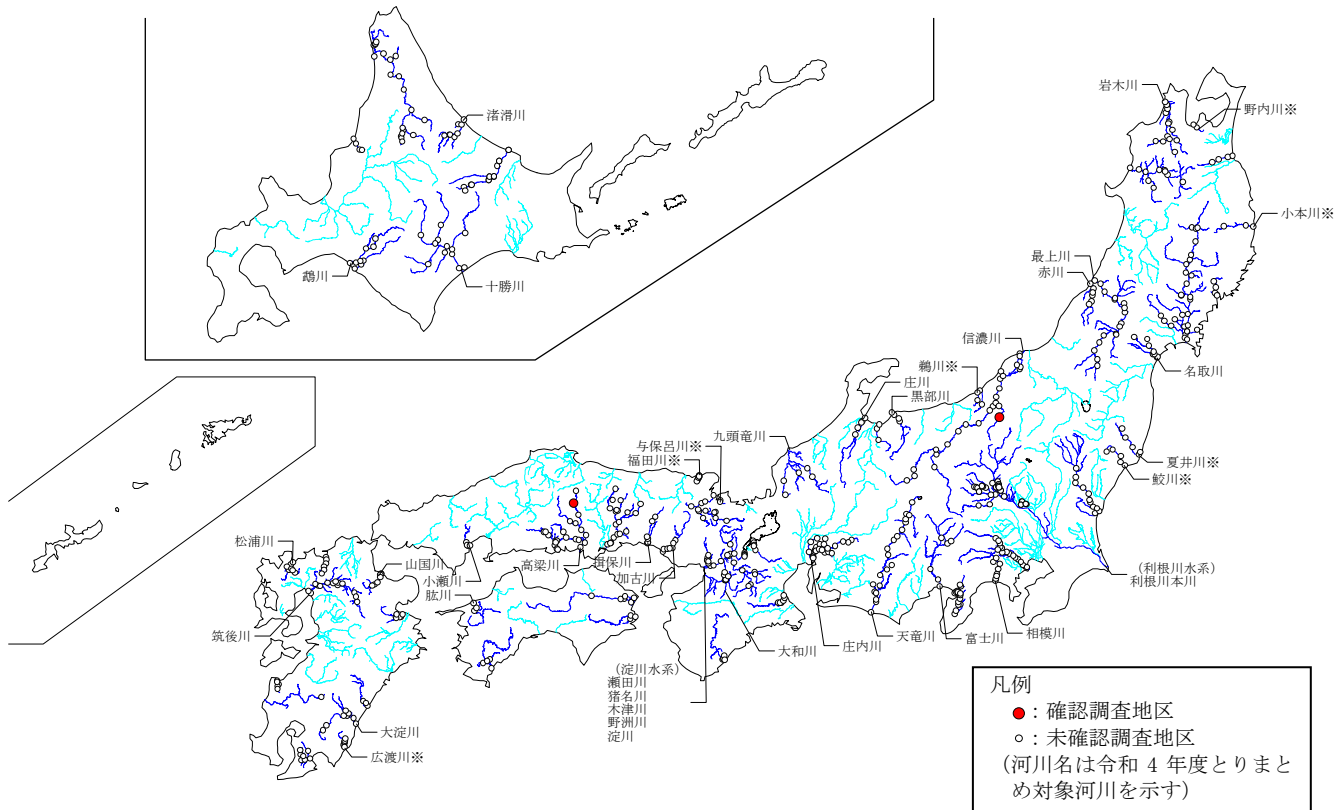
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

キンギョの確認された調査地区（4巡目調査、5巡目調査）

6 巡目調査 (平成 28～令和 2 年度)



7 巡目調査 (令和 3～4 年度)



注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系 (河川) を示す。

キングョの確認された調査地区 (6 巡目調査、7 巡目調査)

1.6 琵琶湖・淀川水系等から他地域へ分布が拡散した種

意図的あるいは非意図的な放流等により分布域が拡大しているゲンゴロウブナ、ホンモロコ、ワタカなど琵琶湖淀川水系の固有種や、カネヒラといった分布の中心が近畿地方であるが、現在は全国の広い範囲で分布が知られる種について、整理を行いました。

【琵琶湖・淀川水系から他地域へ分布が拡散した種】

(魚類調査)

・ゲンゴロウブナ、カネヒラは広い地域で確認

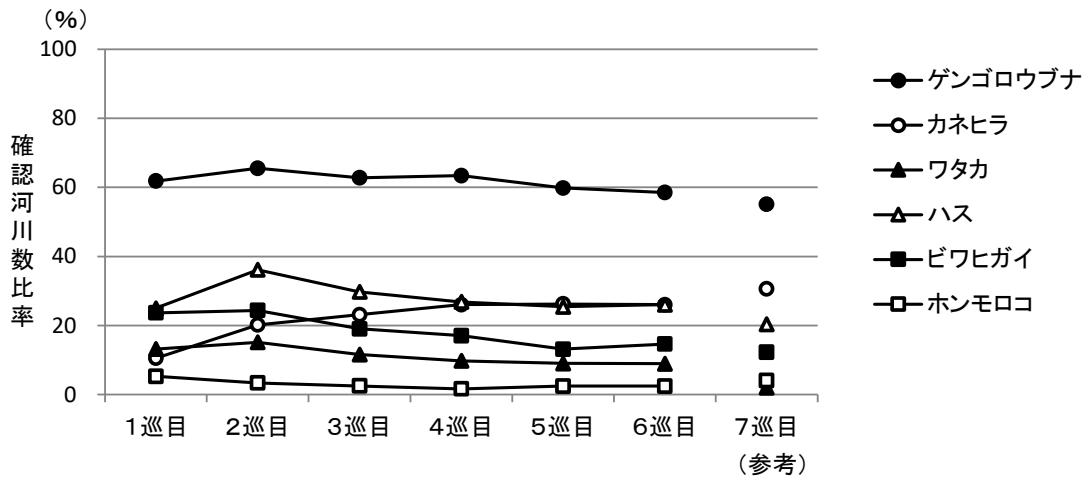
琵琶湖・淀川水系等の分布種のうち、釣り目的で放流されていると考えられるゲンゴロウブナは広い範囲で確認されました。カネヒラは、本来分布しない東北地方でも引き続き確認されました。

今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち、ゲンゴロウブナは東北から九州までの広い地域の 16 河川で、カネヒラは 9 河川で、ワタカは 1 河川で、ハスは 7 河川で、ビワヒガイは 4 河川で、ホンモロコは 1 河川で確認されました。

(資料掲載: 1-124～1-141ページ、1-150～1-153ページ)

1～7巡目調査の確認河川数の比較

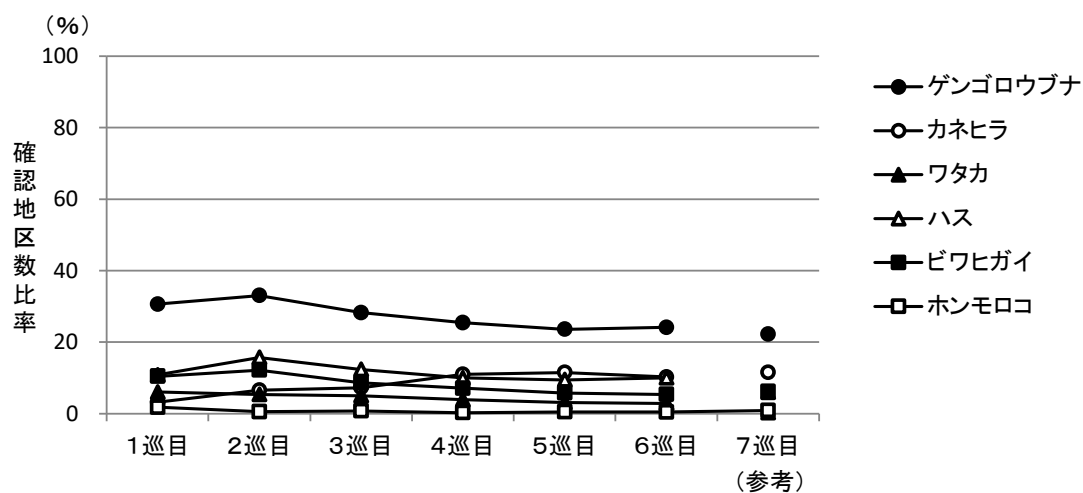
種類	1巡目調査 (76河川)	2巡目調査 (119河川)	3巡目調査 (121河川)	4巡目調査 (123河川)	5巡目調査 (122河川)	6巡目調査 (123河川)	7巡目調査 (49河川)
ゲンゴロウブナ	47河川 〔61.8〕	78河川 〔65.5〕	76河川 〔62.8〕	78河川 〔63.4〕	73河川 〔59.8〕	72河川 〔58.5〕	27河川 〔55.1〕
カネヒラ	8河川 〔10.5〕	24河川 〔20.2〕	28河川 〔23.1〕	32河川 〔26.0〕	32河川 〔26.2〕	32河川 〔26.0〕	15河川 〔30.6〕
ワタカ	10河川 〔13.2〕	18河川 〔15.1〕	14河川 〔11.6〕	12河川 〔9.8〕	11河川 〔9.0〕	11河川 〔8.9〕	1河川 〔2.0〕
ハス	19河川 〔25.0〕	43河川 〔36.1〕	36河川 〔29.8〕	33河川 〔26.8〕	31河川 〔25.4〕	32河川 〔26.0〕	10河川 〔20.4〕
ビワヒガイ	18河川 〔23.7〕	29河川 〔24.4〕	23河川 〔19.0〕	21河川 〔17.1〕	16河川 〔13.1〕	18河川 〔14.6〕	6河川 〔12.2〕
ホンモロコ	4河川 〔5.3〕	4河川 〔3.4〕	3河川 〔2.5〕	2河川 〔1.6〕	3河川 〔2.5〕	3河川 〔2.4〕	2河川 〔4.1〕



- ※ 確認河川数の比較は、調査実施全河川のうち、直轄管理区間のデータを対象とした。
- ※ 1～6巡目調査のデータは、調査実施全河川のうち、種名等についてスクリーニングされ、河川環境データベースに格納されている調査データを対象にした。
- ※ () 内は調査実施河川数を示す。
- ※ [] 内は確認河川数の調査実施河川数に対する割合 (%) を示す。

1～7巡目調査の確認地区数の比較

種類	1巡目調査 (565地区)	2巡目調査 (938地区)	3巡目調査 (981地区)	4巡目調査 (904地区)	5巡目調査 (870地区)	6巡目調査 (879地区)	7巡目調査 (356地区)
ゲンゴロウブナ	173地区 〔30.6〕	310地区 〔33.0〕	277地区 〔28.2〕	230地区 〔25.4〕	205地区 〔23.6〕	212地区 〔24.1〕	79地区 〔22.2〕
カネヒラ	18地区 〔3.2〕	51地区 〔6.5〕	71地区 〔7.2〕	99地区 〔11.0〕	100地区 〔11.5〕	90地区 〔10.2〕	41地区 〔11.5〕
ワタカ	34地区 〔6.0〕	50地区 〔5.3〕	49地区 〔5.0〕	35地区 〔3.9〕	27地区 〔3.1〕	25地区 〔2.8〕	1地区 〔0.3〕
ハス	61地区 〔10.8〕	147地区 〔15.7〕	121地区 〔12.3〕	90地区 〔10.0〕	82地区 〔9.4〕	88地区 〔10.0〕	21地区 〔5.9〕
ビワヒガイ	59地区 〔10.4〕	114地区 〔12.2〕	84地区 〔8.6〕	64地区 〔7.1〕	50地区 〔5.7〕	47地区 〔5.3〕	22地区 〔6.2〕
ホンモロコ	10地区 〔1.8〕	5地区 〔0.5〕	7地区 〔0.7〕	2地区 〔0.2〕	4地区 〔0.5〕	4地区 〔0.5〕	3地区 〔0.8〕



- ※ 確認地区数の比較は調査実施全地区のうち、直轄管理区間のデータを対象とした。
- ※ 1～6巡目調査のデータは、調査実施全地区のうち、種名等についてスクリーニングされ、河川環境管理システムに格納されている調査データを対象にした。
- ※ () 内は調査実施地区数を示す。
- ※ [] 内は確認地区数の調査実施地区数に対する割合 (%) を示す。

【意図的に導入された種】

ゲンゴロウブナは琵琶湖淀川水系の固有種で^{注1)}、主に釣りの対象魚として利用され、全国的に放流されている種です。また、原産地では個体数の減少が危惧される種です。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）では 16 河川、53 地区で確認されました。確認河川数の割合は、経年的に安定しています。

ホンモロコは琵琶湖淀川水系の固有種で^{注1)}、食用として利用される種です。また、原産地では個体数の減少が危惧されています。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）では 1 河川、2 地区で確認されました。確認河川数は、現在の所、琵琶湖淀川水系のみで、経年的に散発的です。

【非意図的に導入された種（他魚種との混入等）】

カネヒラは濃尾平野以西の本州、九州、四国に分布する種で、現在では関東、東北に生息するなど在来種の中では、最も分布域が拡大しているタナゴ類^{注1)}です。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）では 9 河川、26 地区で確認されました。確認河川数、地区数ともに経年的に増加傾向で、自然分布域ではない東北地方でも継続して確認されています。カネヒラは秋産卵種であるため、東北地方に局在し、同じ繁殖生態を備えるゼニタナゴ（特に仙台平野の個体群）の存続を脅かす可能性があることが危惧されます。

ワタカは琵琶湖淀川水系の固有種で^{注1)}原産地では個体数の減少が危惧される種です。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）では 1 河川、1 地区で確認されました。確認河川数の割合は、経年的に安定しています。

ハスは琵琶湖淀川水系の固有種で^{注1)}コイ科魚類の中で魚食性の生態を持つ種として知られています。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）では 7 河川、14 地区で確認されました。確認河川数は、経年的に安定しています。

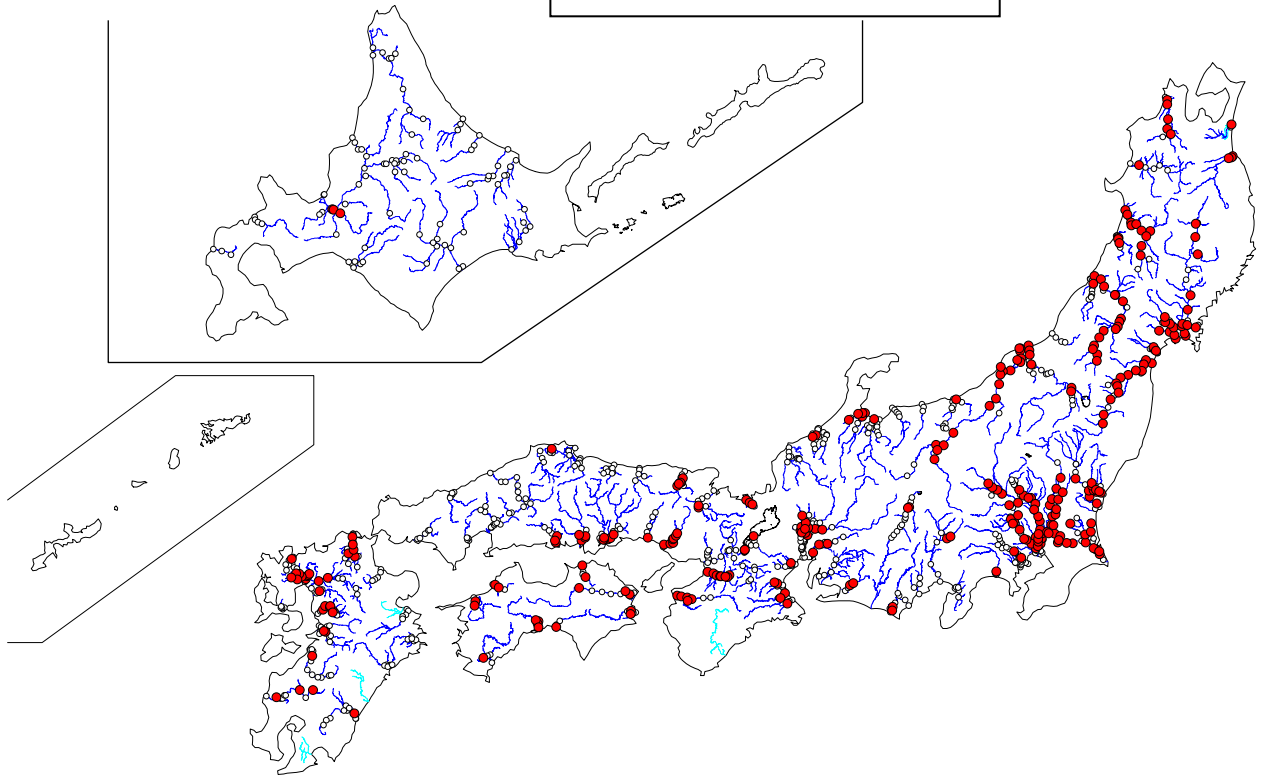
ビワヒガイは琵琶湖淀川水系の固有種で^{注1)}食用としての利用も知られる種でした^{注2)}。今回取りまとめを行った 28 河川（一級河川の直轄管理区間）では 4 河川、11 地区で確認されました。今回の調査で分布北端の岩木川で確認地区数が増加しております。確認河川数は、経年的に安定しています。

注1) 出典：山溪ハンディ図鑑 15 日本の淡水魚（2019）山と溪谷社

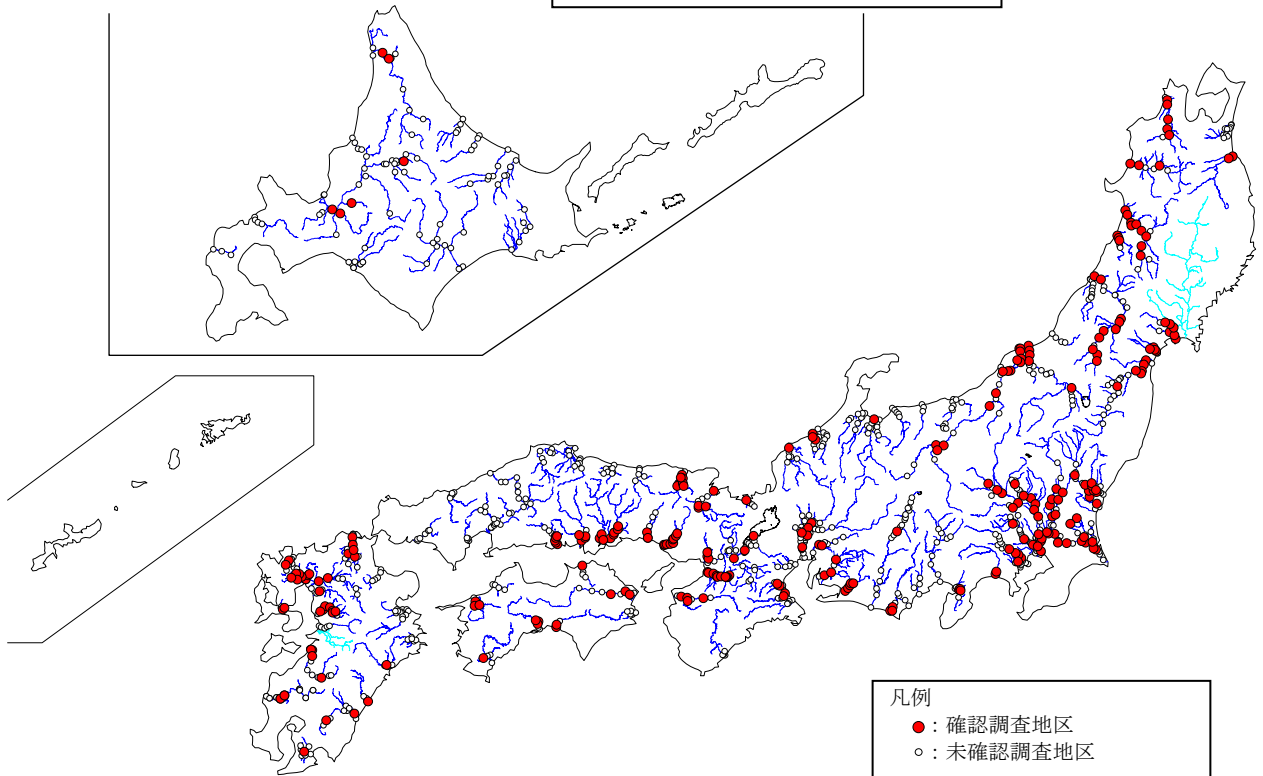
注2) 出典：山溪カラー名鑑 改訂版 日本の淡水魚（2002）山と溪谷社



2 巡目調査（平成 8～12 年度）



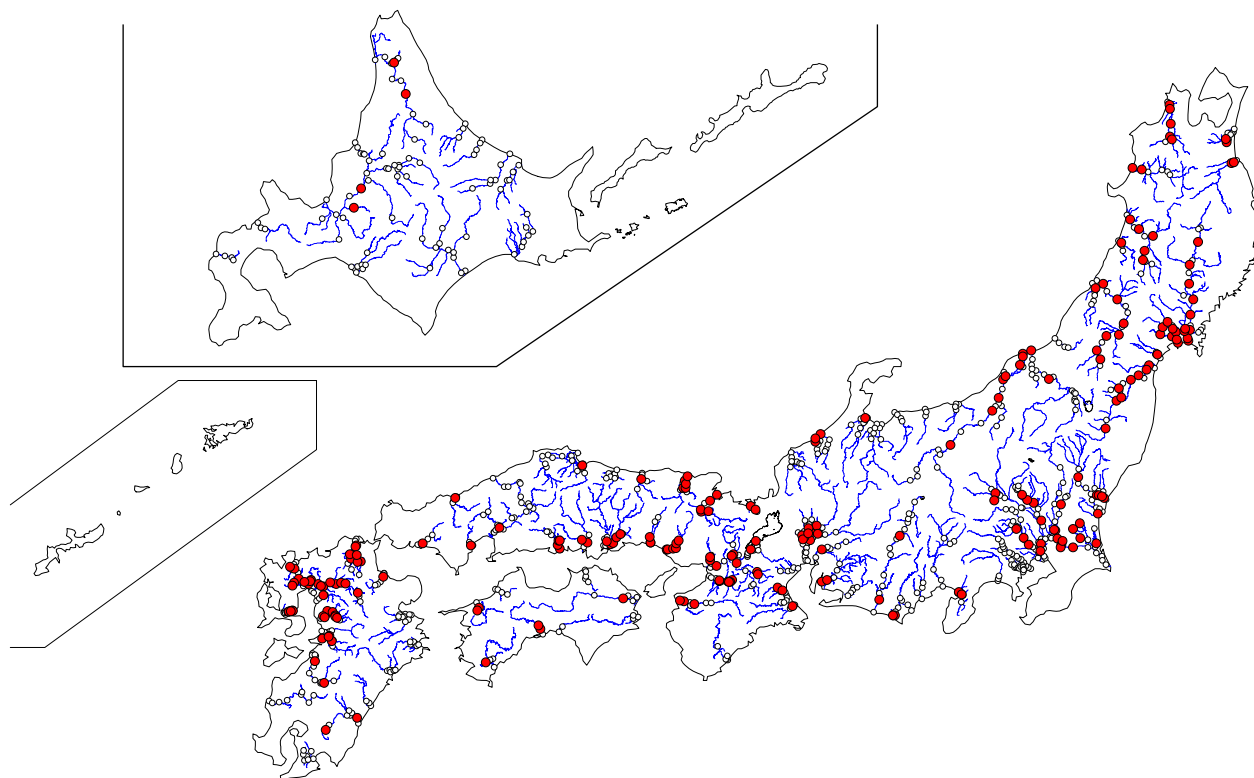
3 巡目調査（平成 13～17 年度）



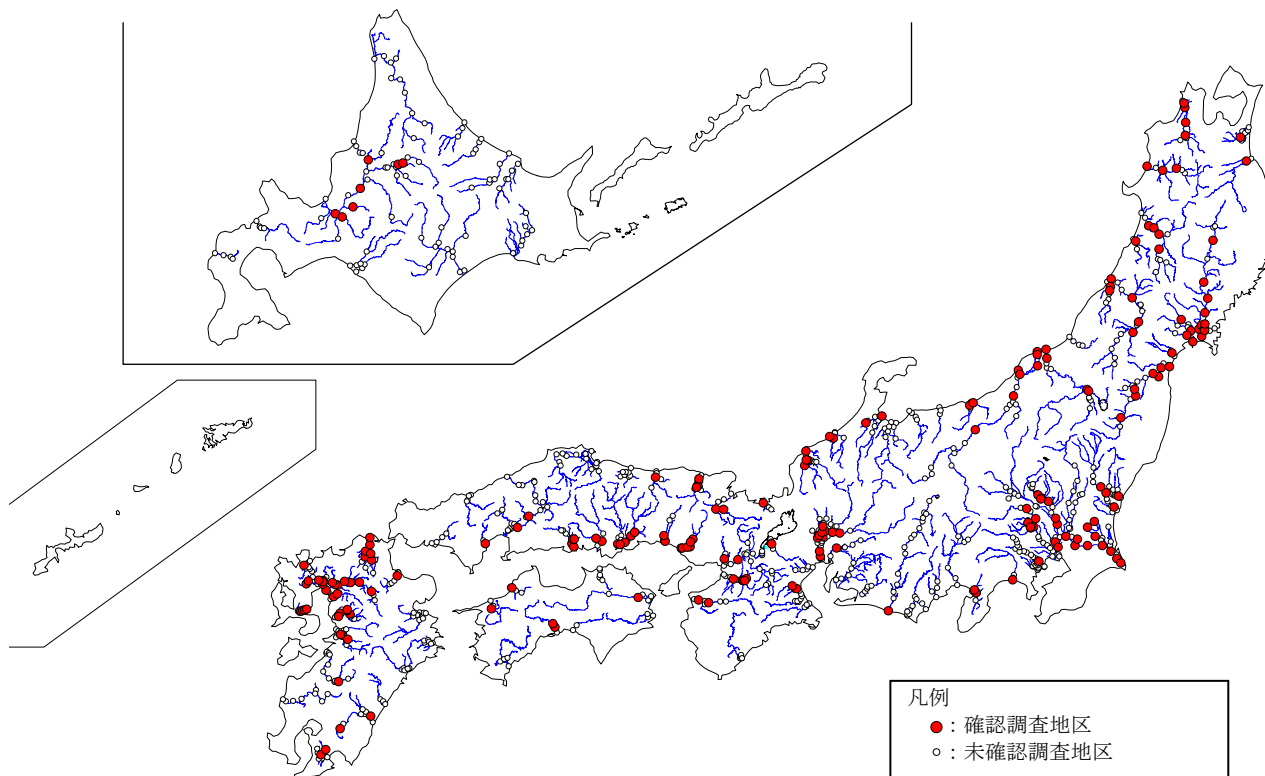
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ゲンゴロウブナの確認された調査地区（2 巡目調査、3 巡目調査）

4巡目調査（平成18～22年度）



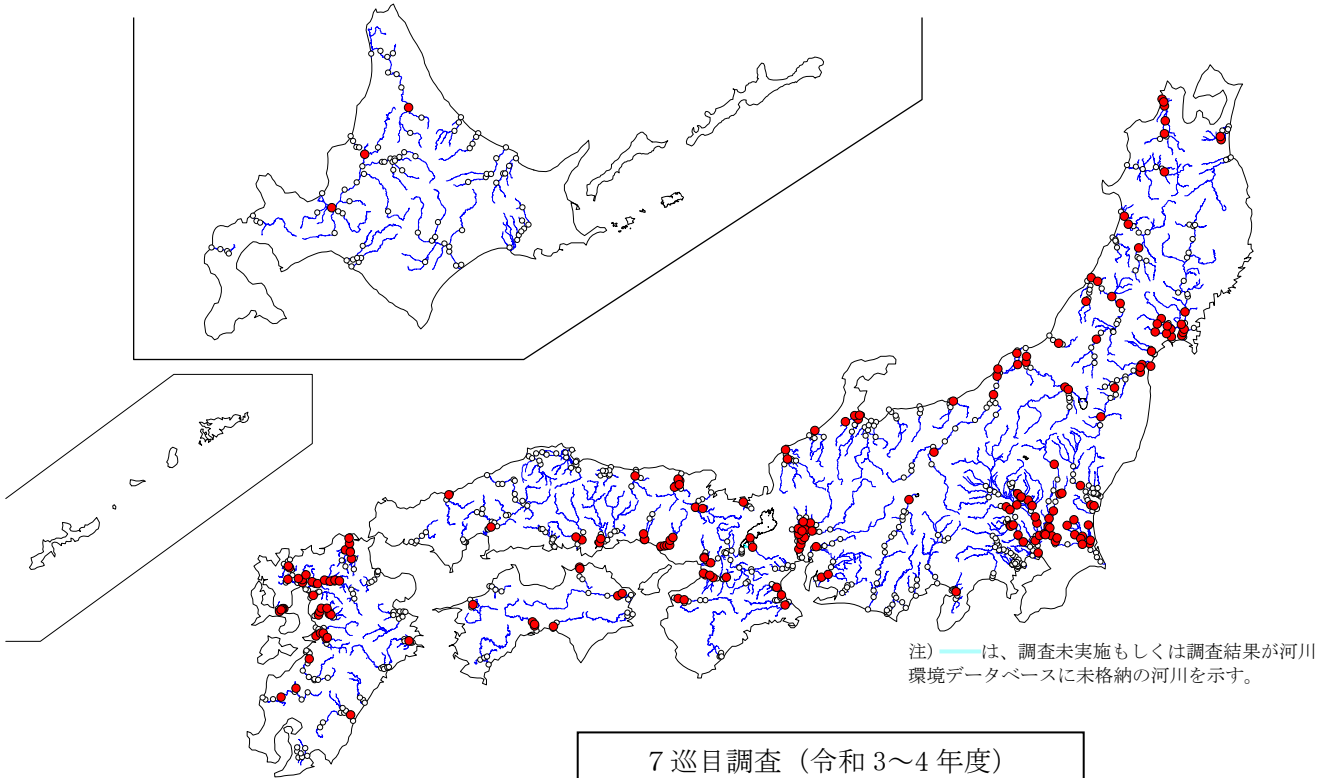
5巡目調査（平成23～27年度）



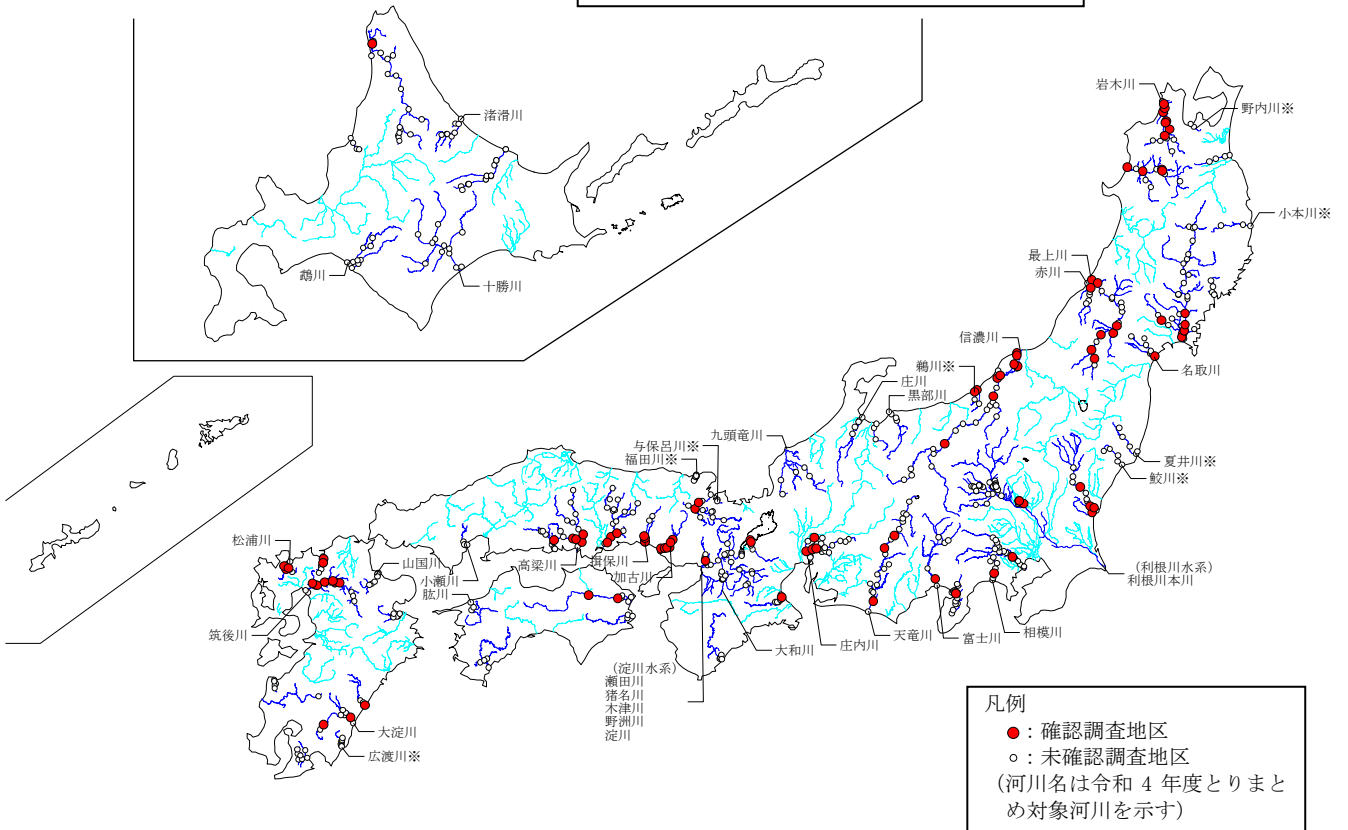
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ゲンゴロウブナの確認された調査地区（4巡目調査、5巡目調査）

6 巡目調査 (平成 28～令和 2 年度)



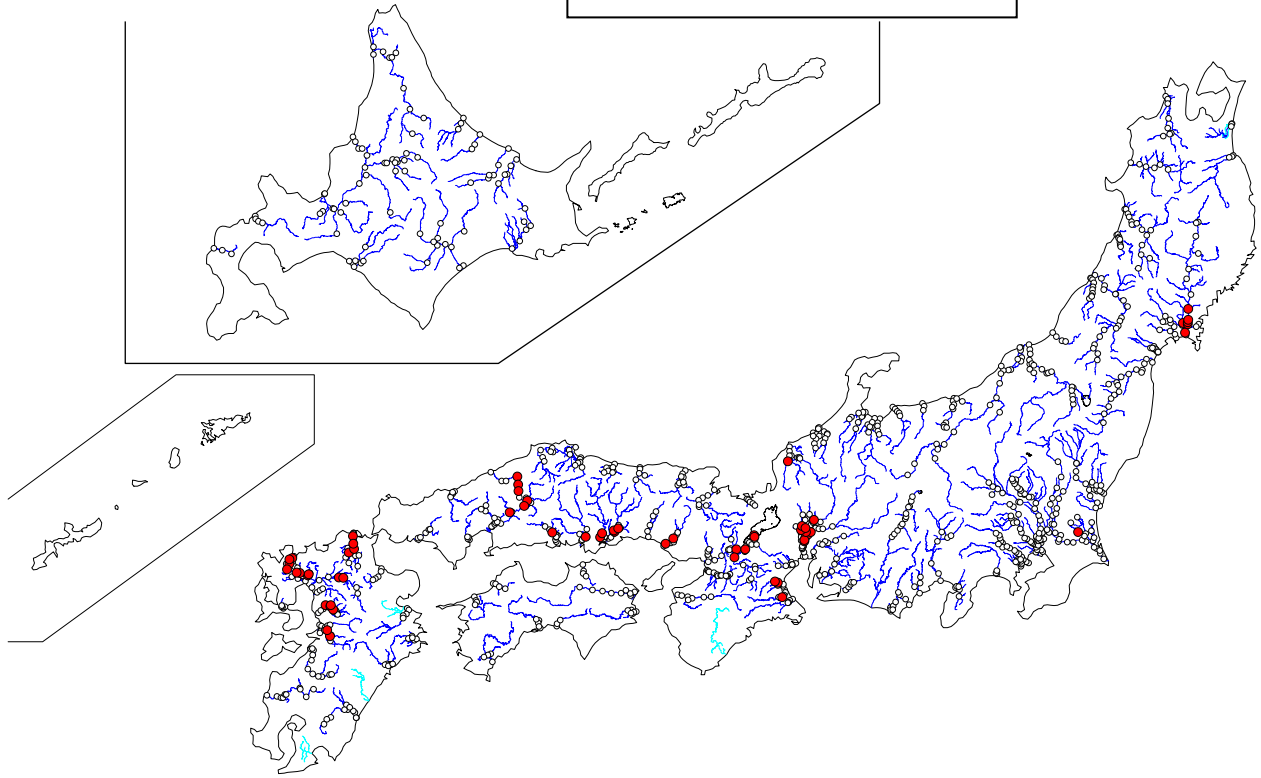
7 巡目調査 (令和 3～4 年度)



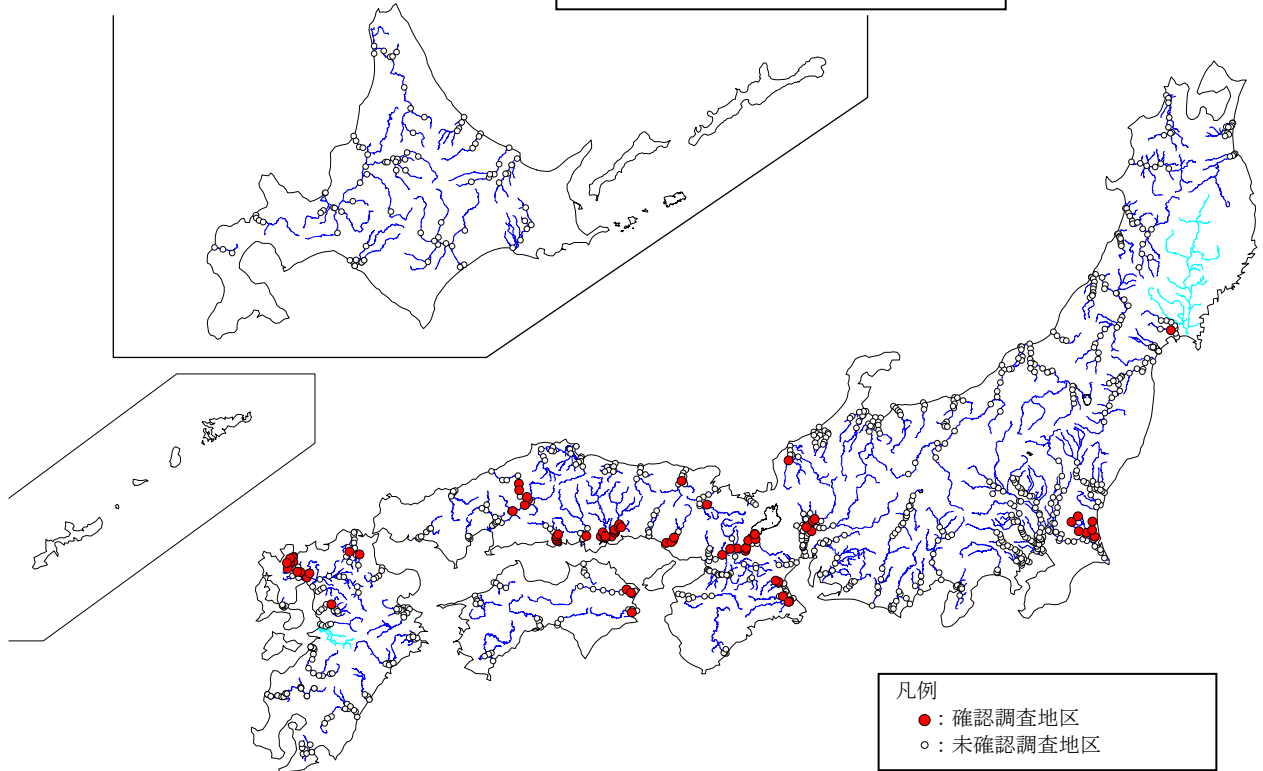
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系 (河川) を示す。

ゲンゴロウブナの確認された調査地区 (6 巡目調査、7 巡目調査)

2 巡目調査（平成 8～12 年度）



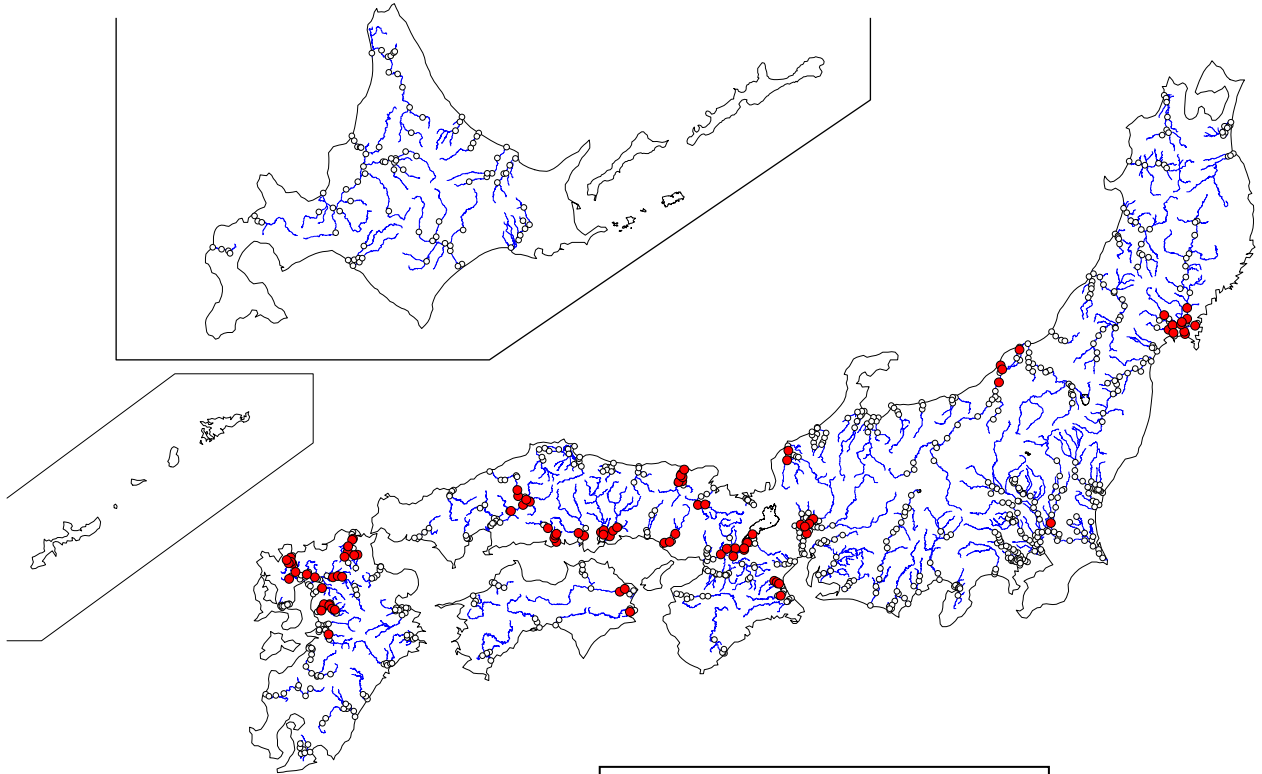
3 巡目調査（平成 13～17 年度）



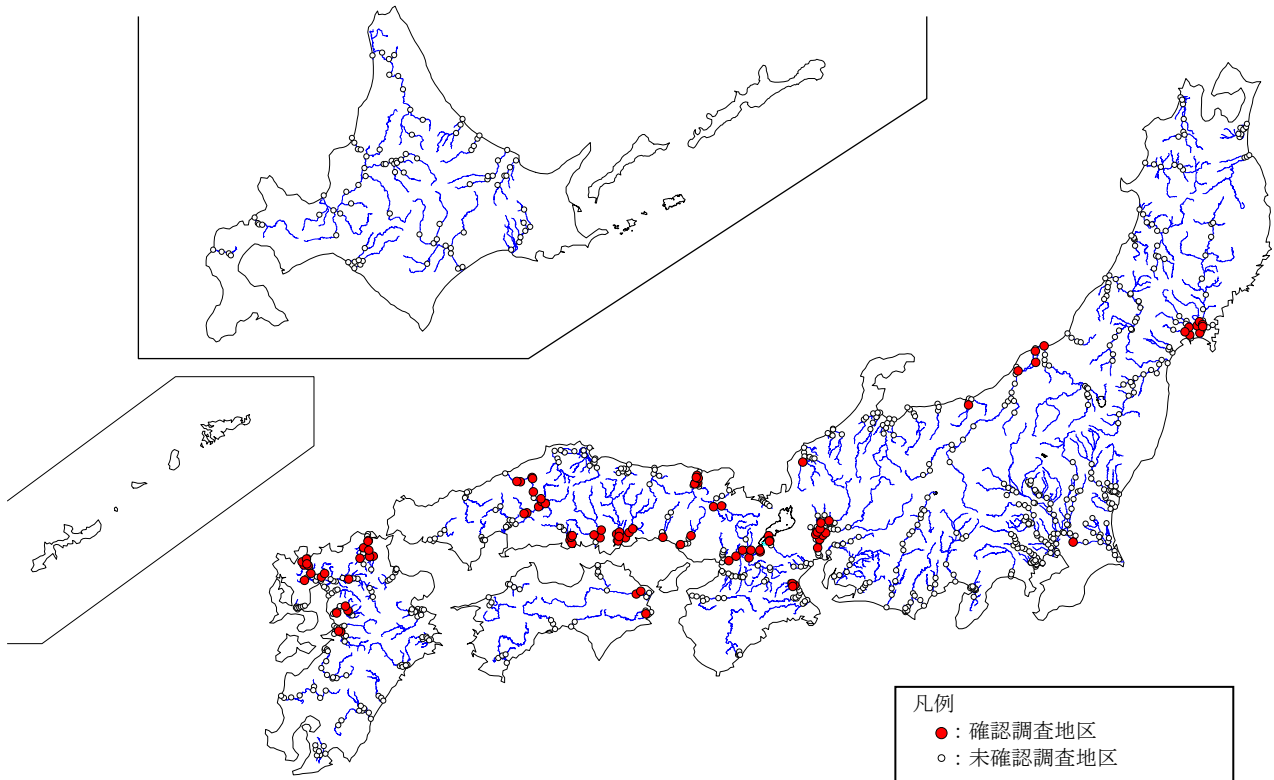
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

カネヒラの確認された調査地区（2 巡目調査、3 巡目調査）

4巡目調査（平成18～22年度）



5巡目調査（平成23～27年度）



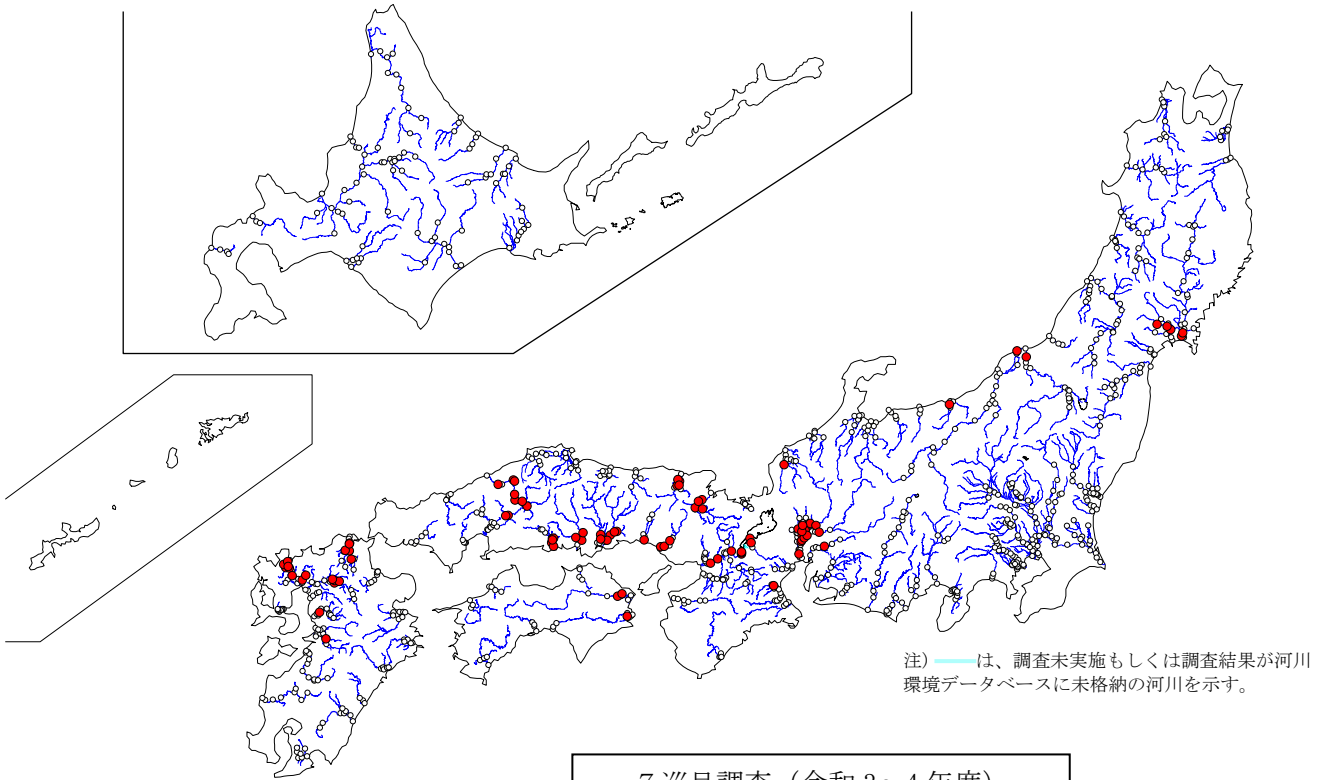
凡例

- : 確認調査地区
- : 未確認調査地区

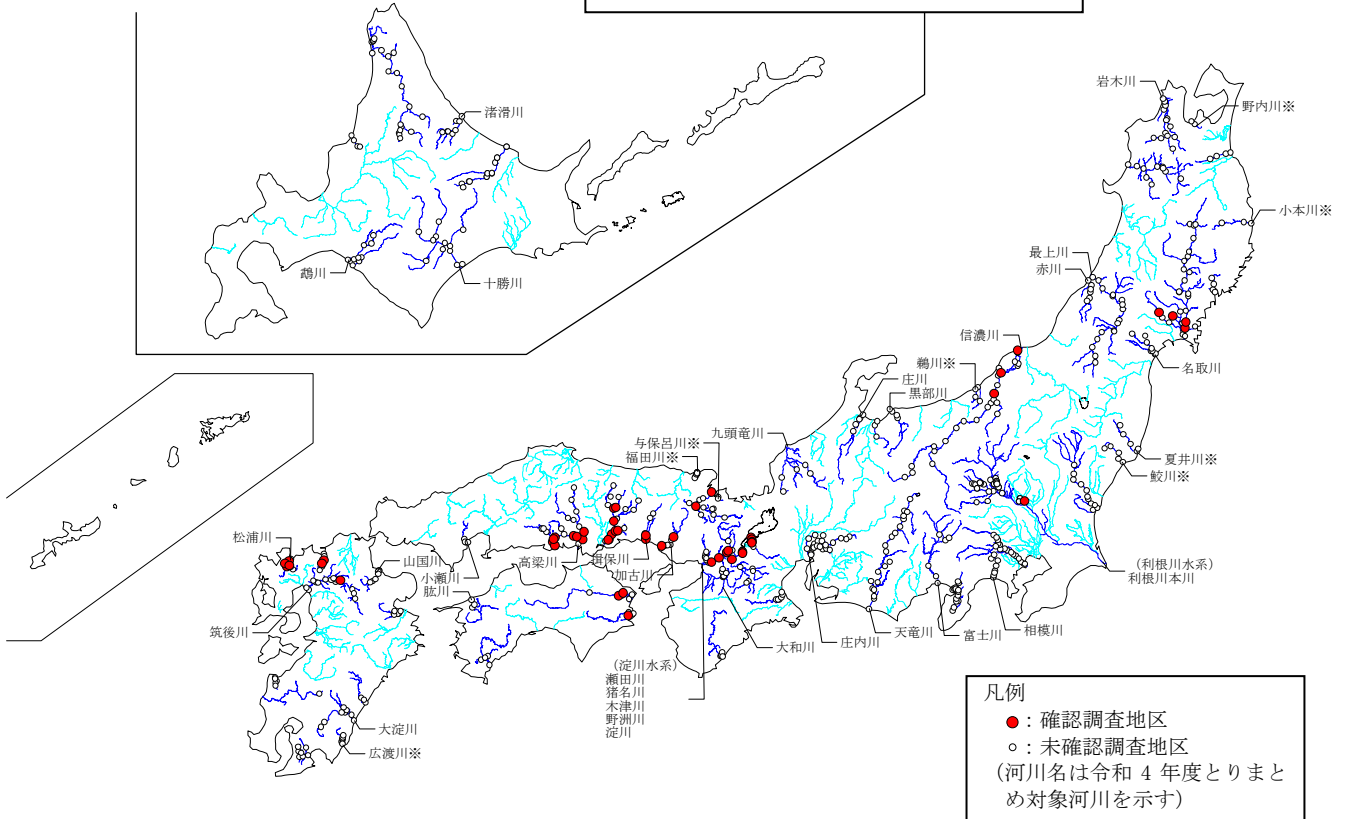
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

カネヒラの確認された調査地区（4巡目調査、5巡目調査）

6 巡目調査（平成 28～令和 2 年度）



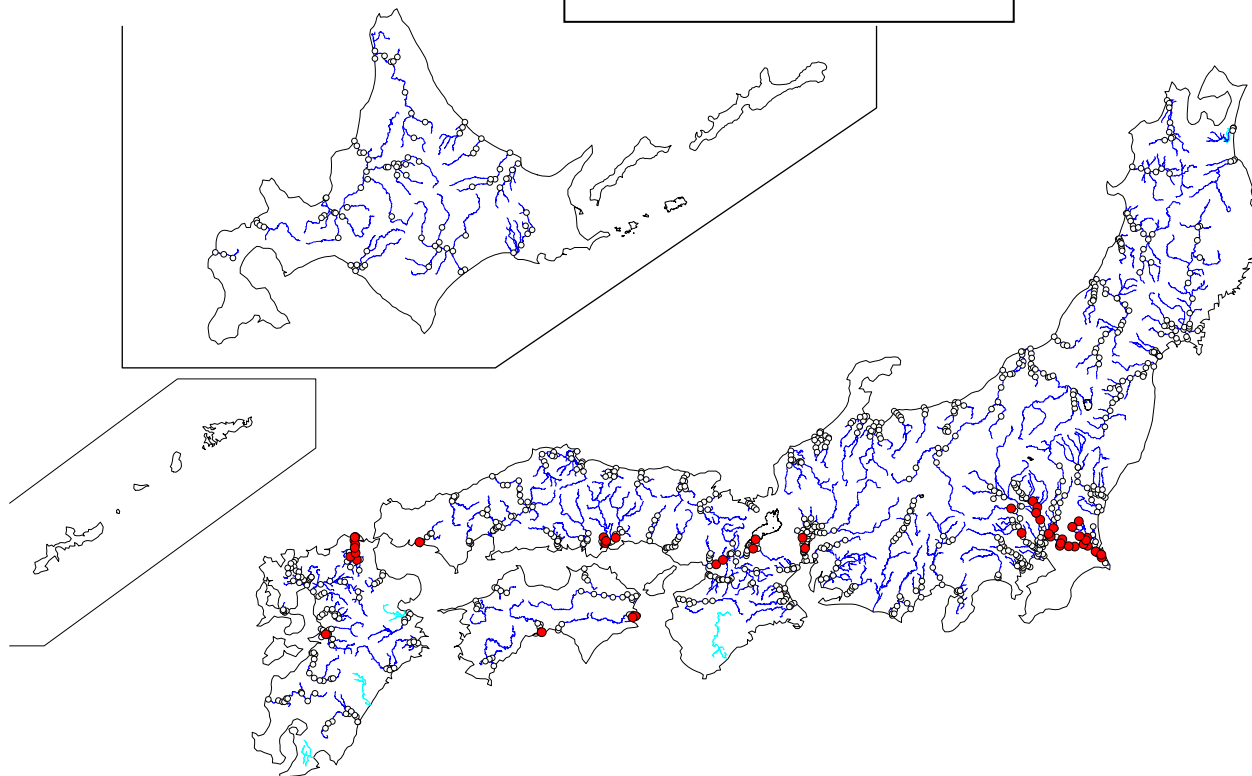
7 巡目調査（令和 3～4 年度）



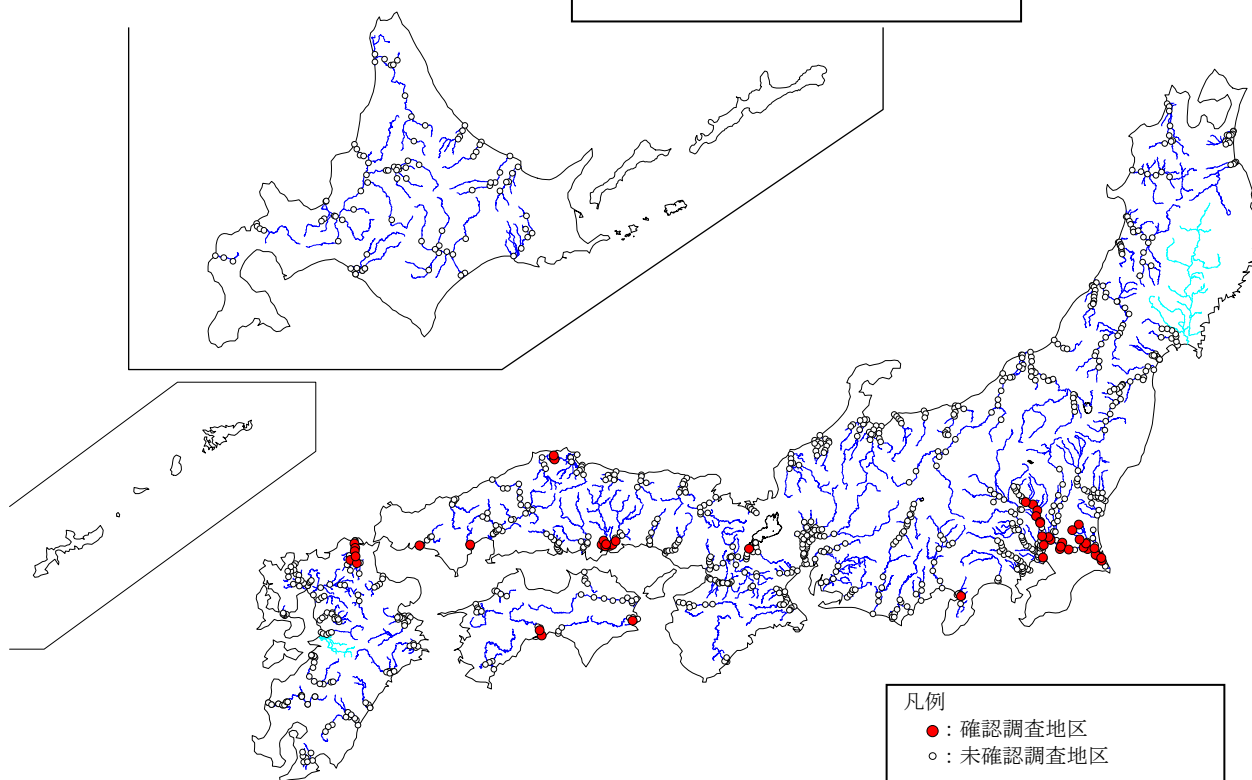
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系（河川）を示す。

カネヒラの確認された調査地区（6 巡目調査、7 巡目調査）

2 巡目調査（平成 8～12 年度）



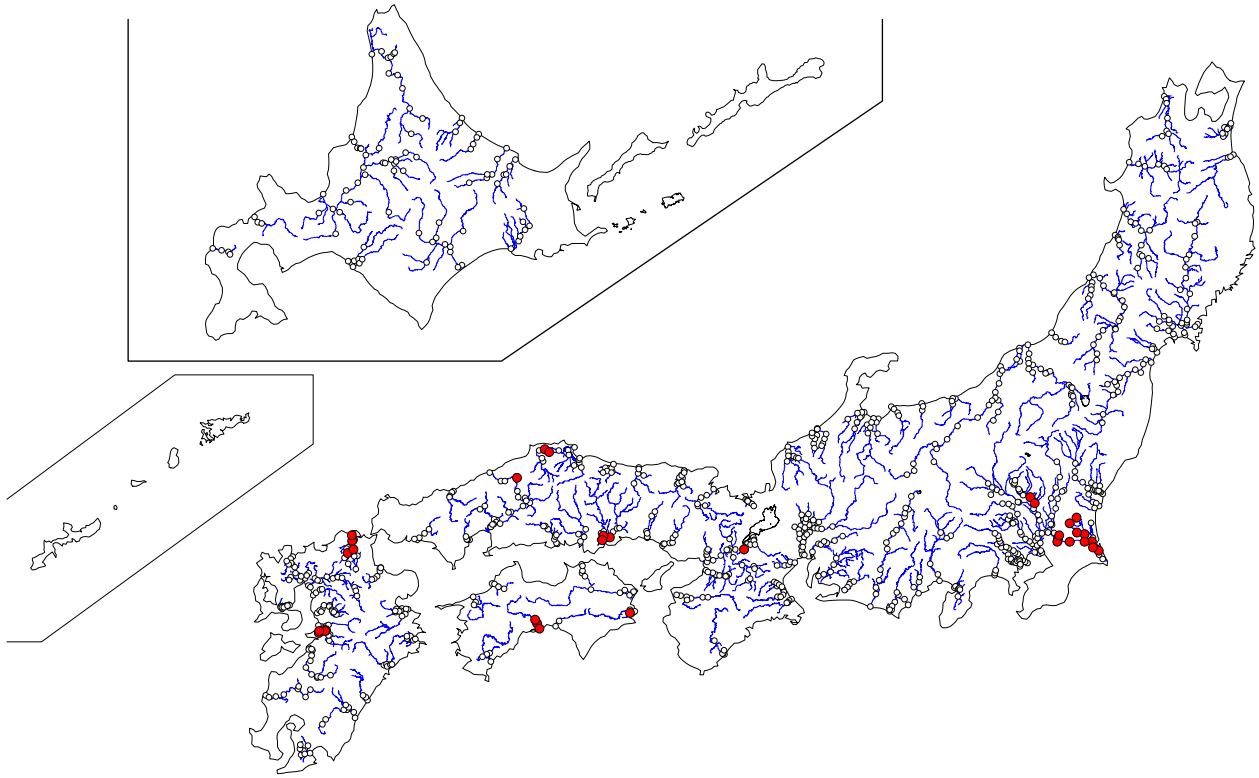
3 巡目調査（平成 13～17 年度）



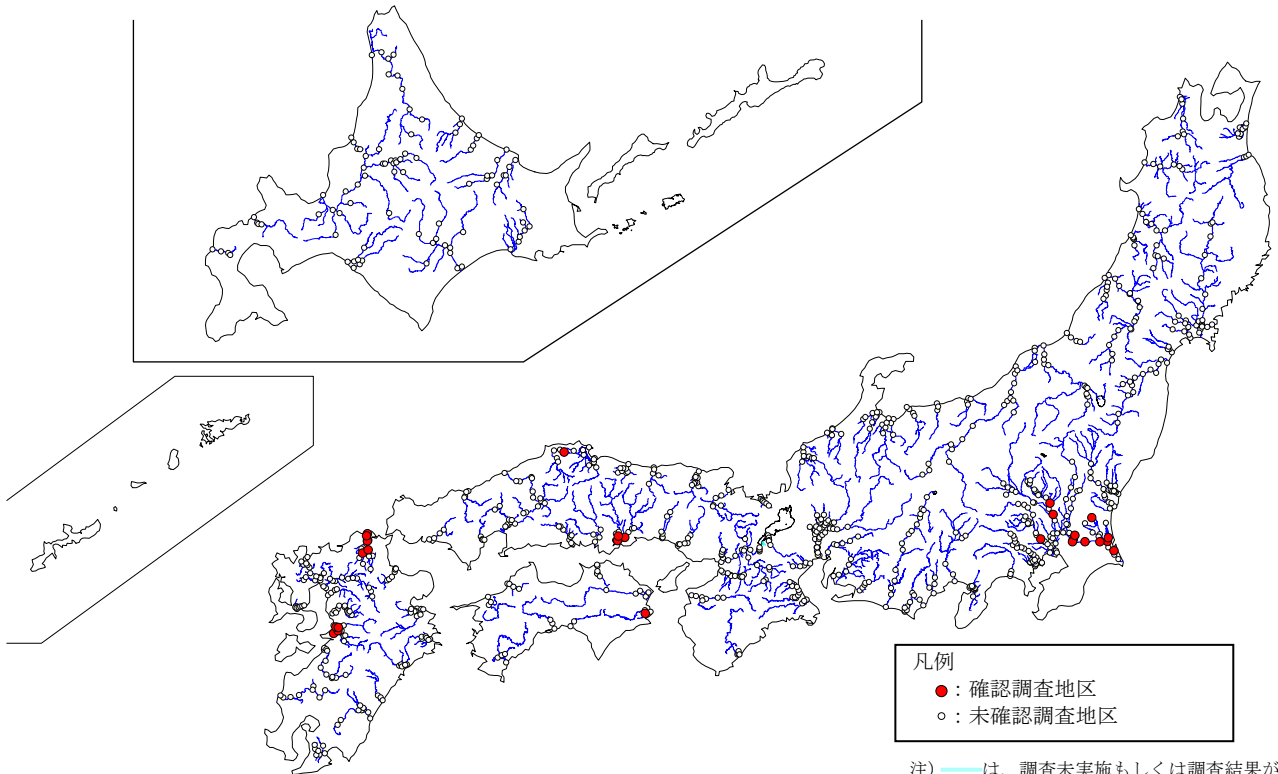
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ワタカの確認された調査地区（2 巡目調査、3 巡目調査）

4 巡目調査（平成 18～22 年度）



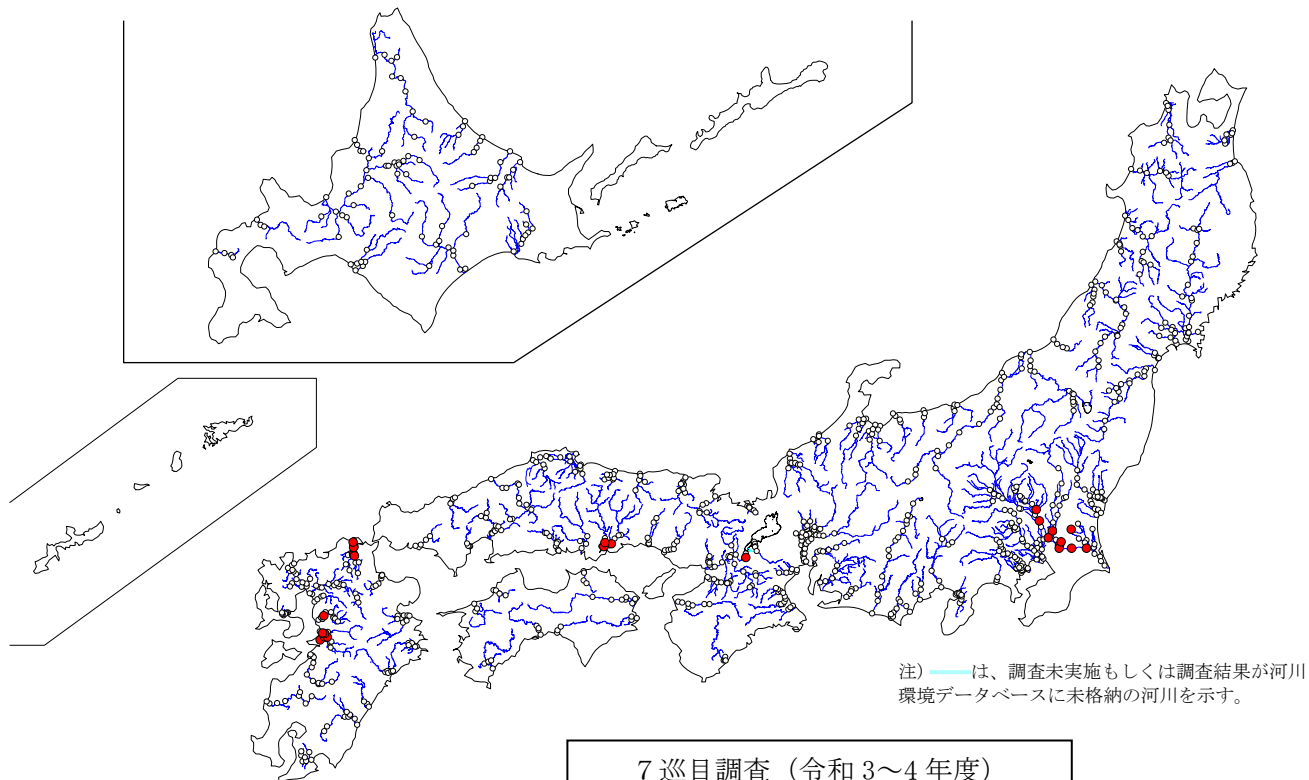
5 巡目調査（平成 23～27 年度）



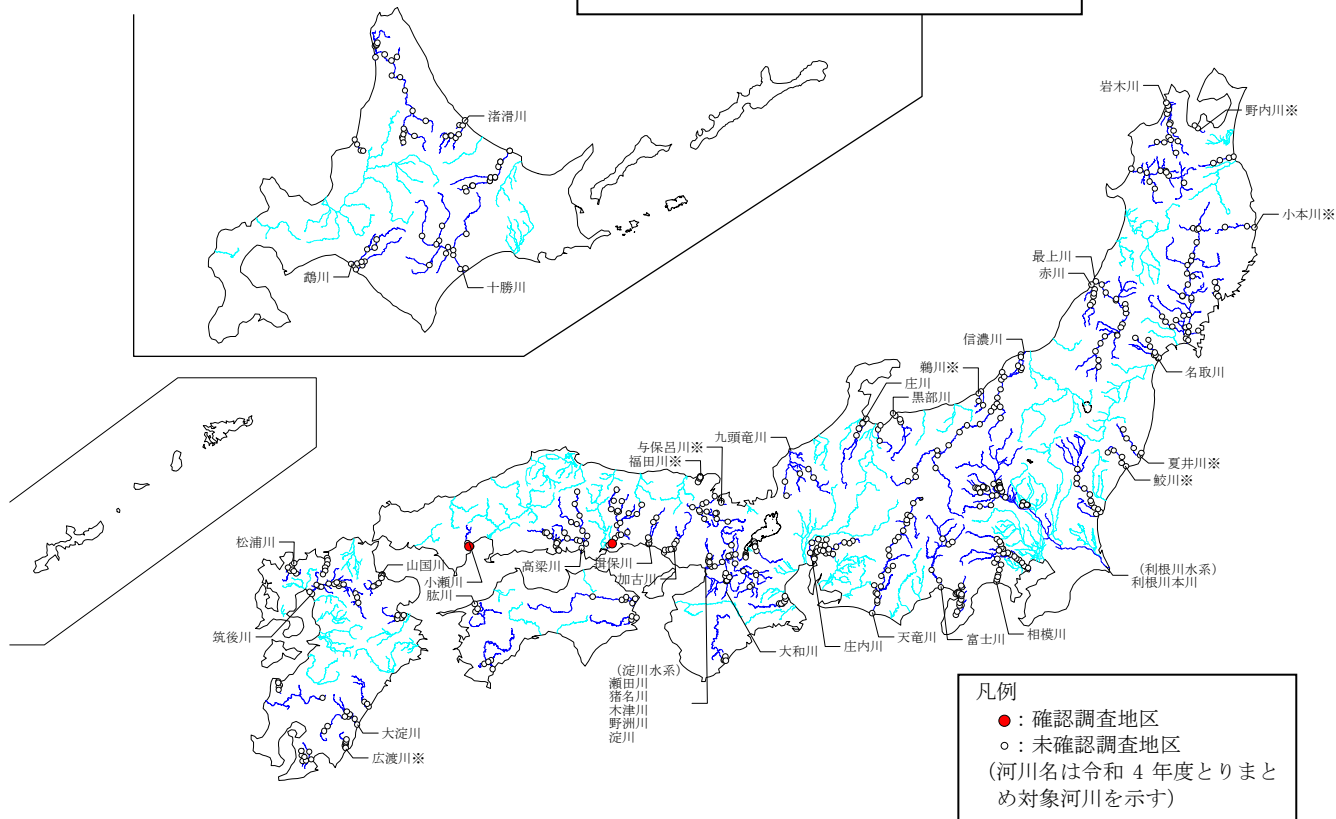
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ワタカの確認された調査地区（4 巡目調査、5 巡目調査）

6 巡目調査 (平成 28～令和 2 年度)



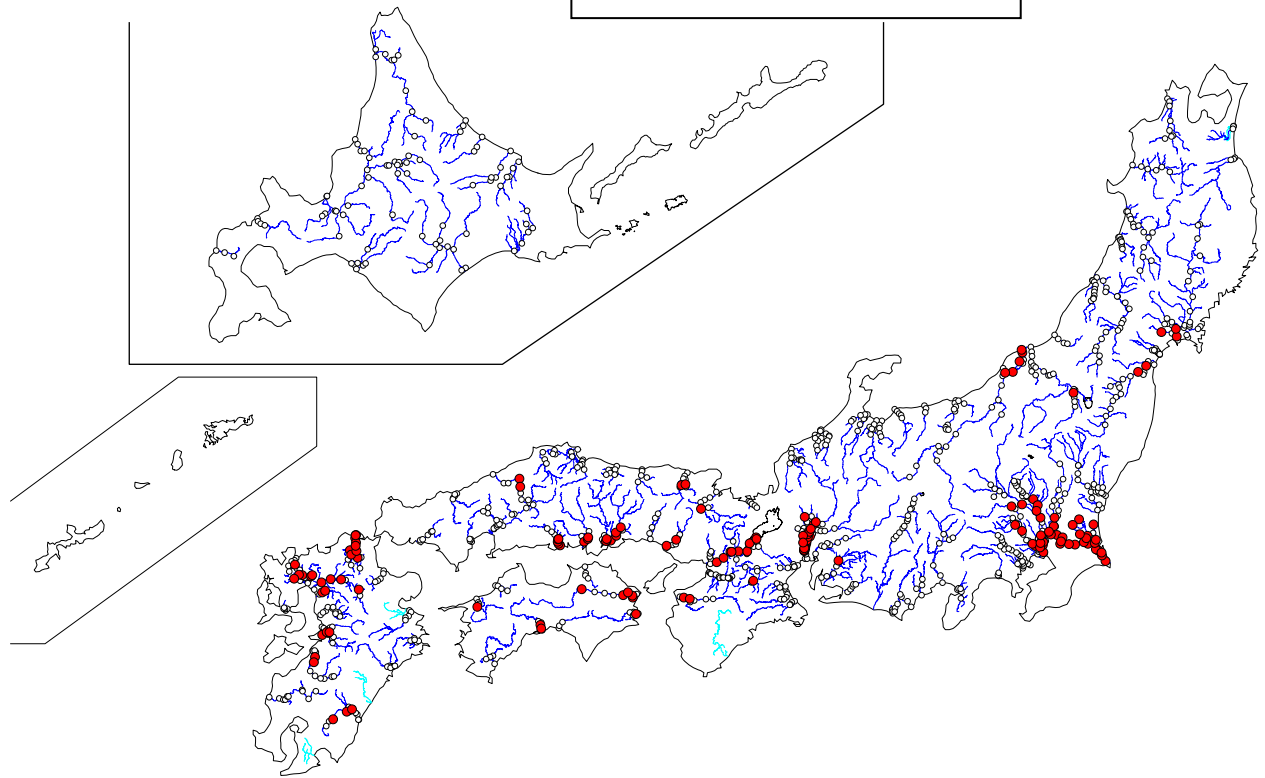
7 巡目調査 (令和 3～4 年度)



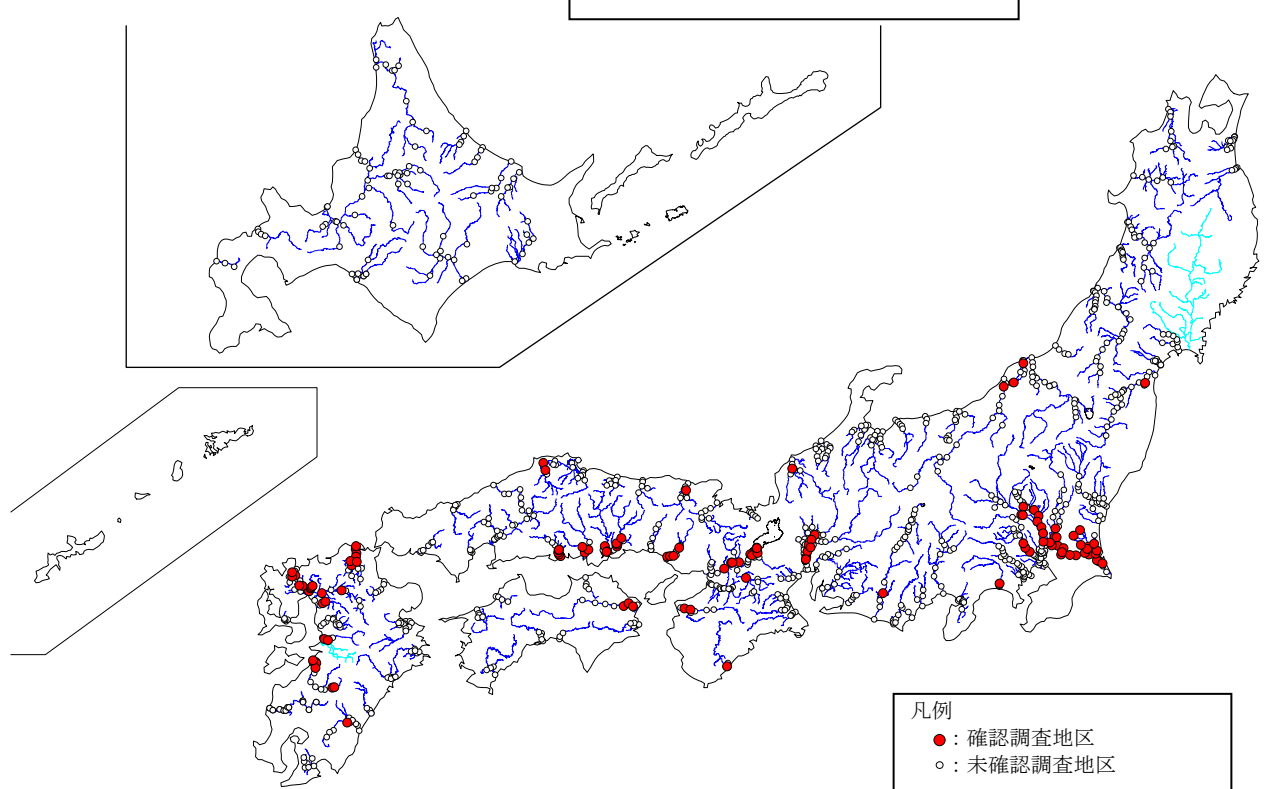
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系 (河川) を示す。

ワタカの確認された調査地区 (6 巡目調査、7 巡目調査)

2巡目調査（平成8～12年度）

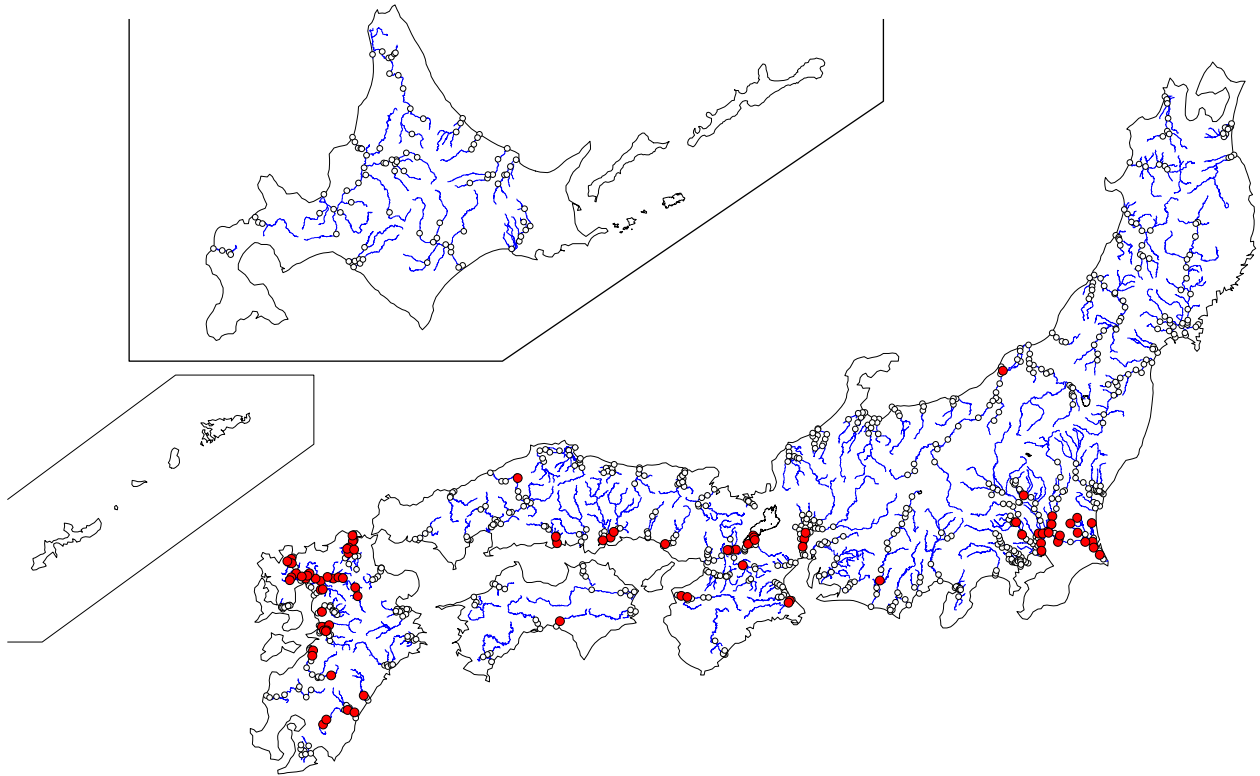


3巡目調査（平成13～17年度）

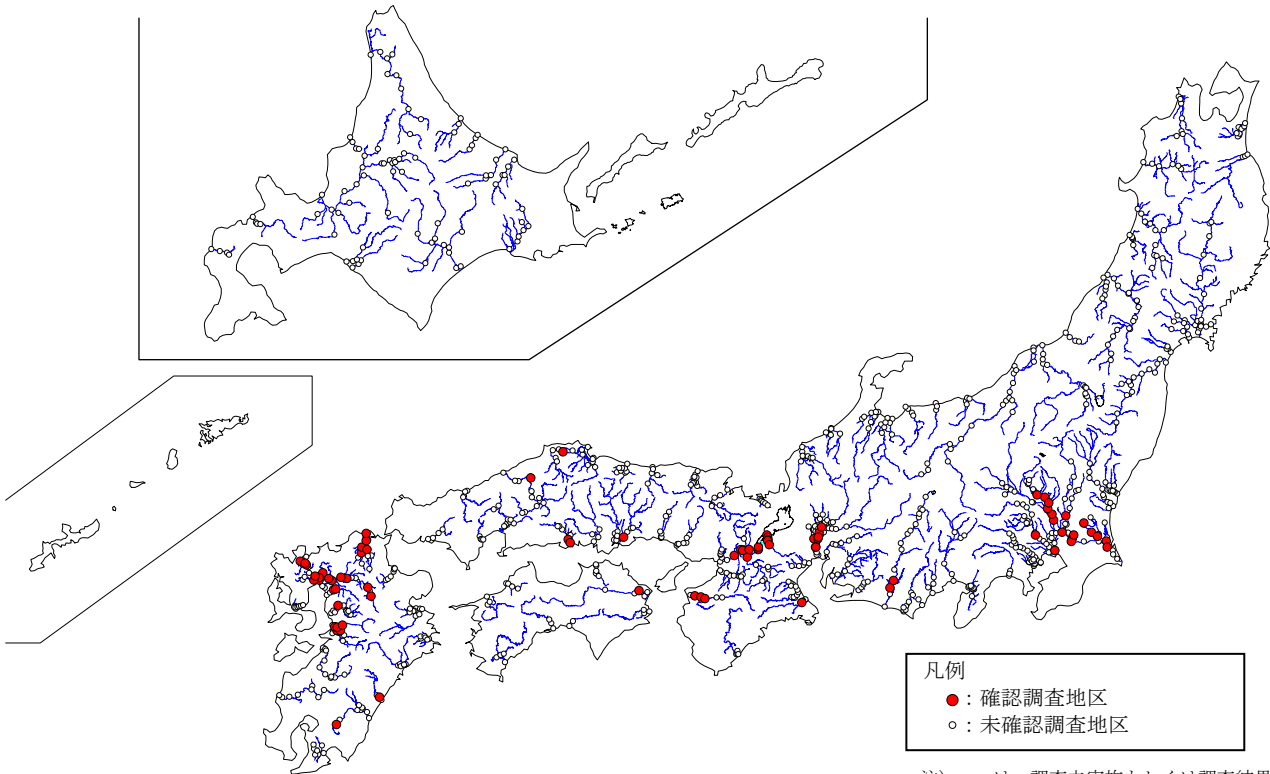


ハスの確認された調査地区（2巡目調査、3巡目調査）

4 巡目調査 (平成 18~22 年度)



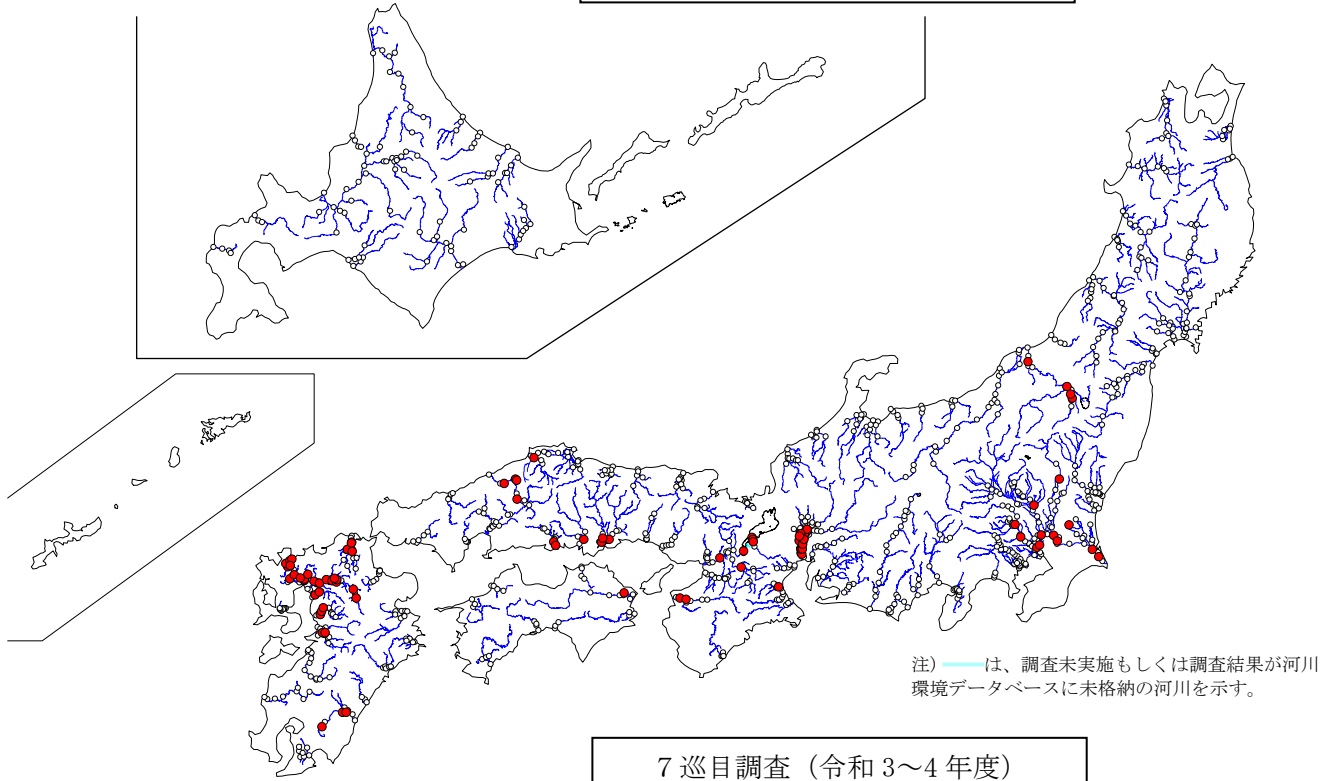
5 巡目調査 (平成 23~27 年度)



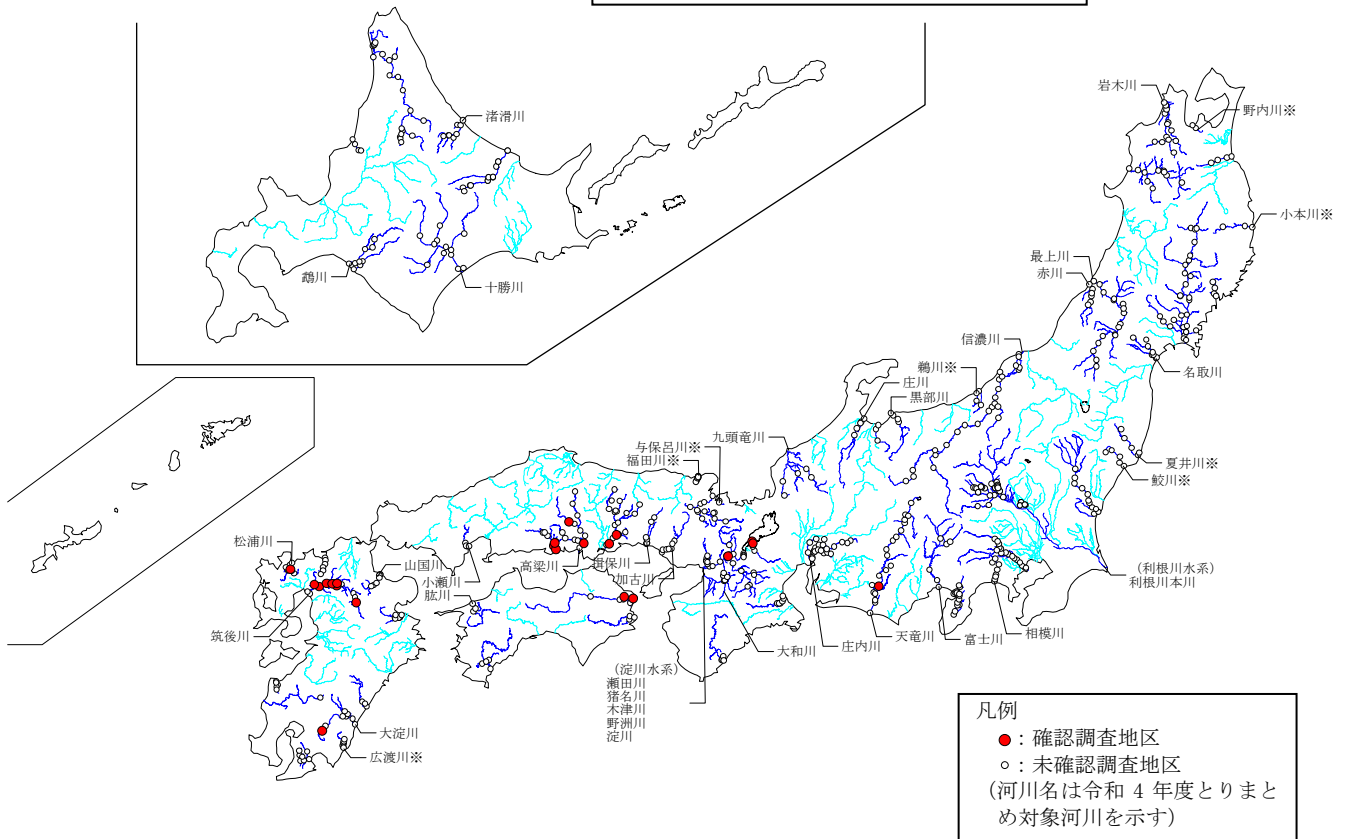
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ハスの確認された調査地区 (4 巡目調査、5 巡目調査)

6 巡目調査（平成 28～令和 2 年度）



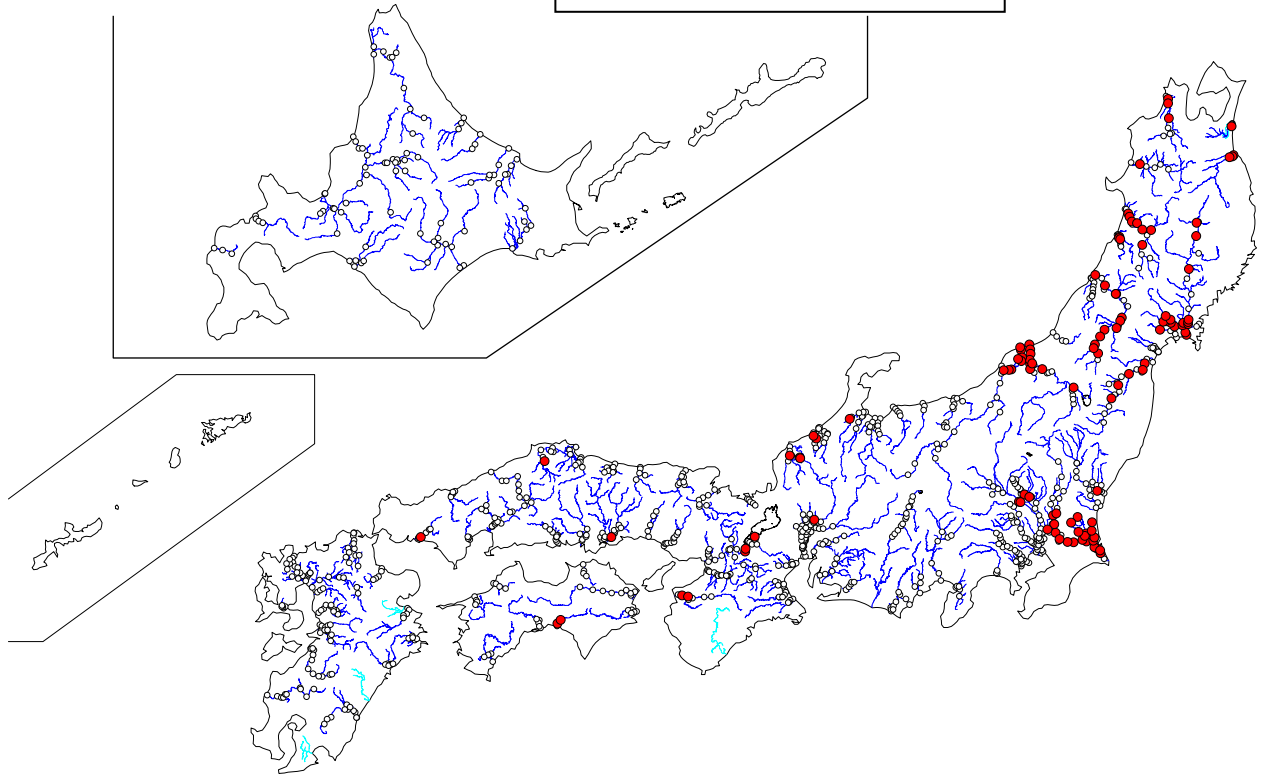
7 巡目調査（令和 3～4 年度）



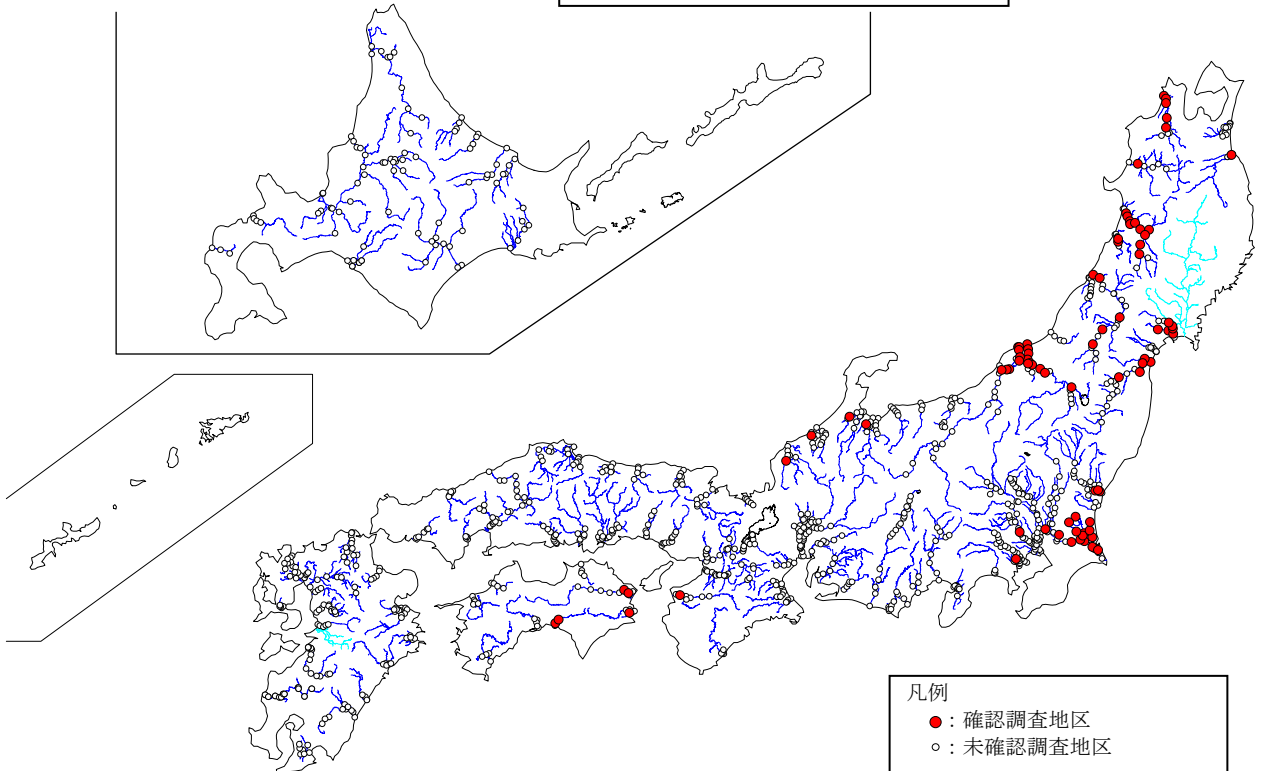
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系（河川）を示す。

ハスの確認された調査地区（6 巡目調査、7 巡目調査）

2 巡目調査 (平成 8～12 年度)



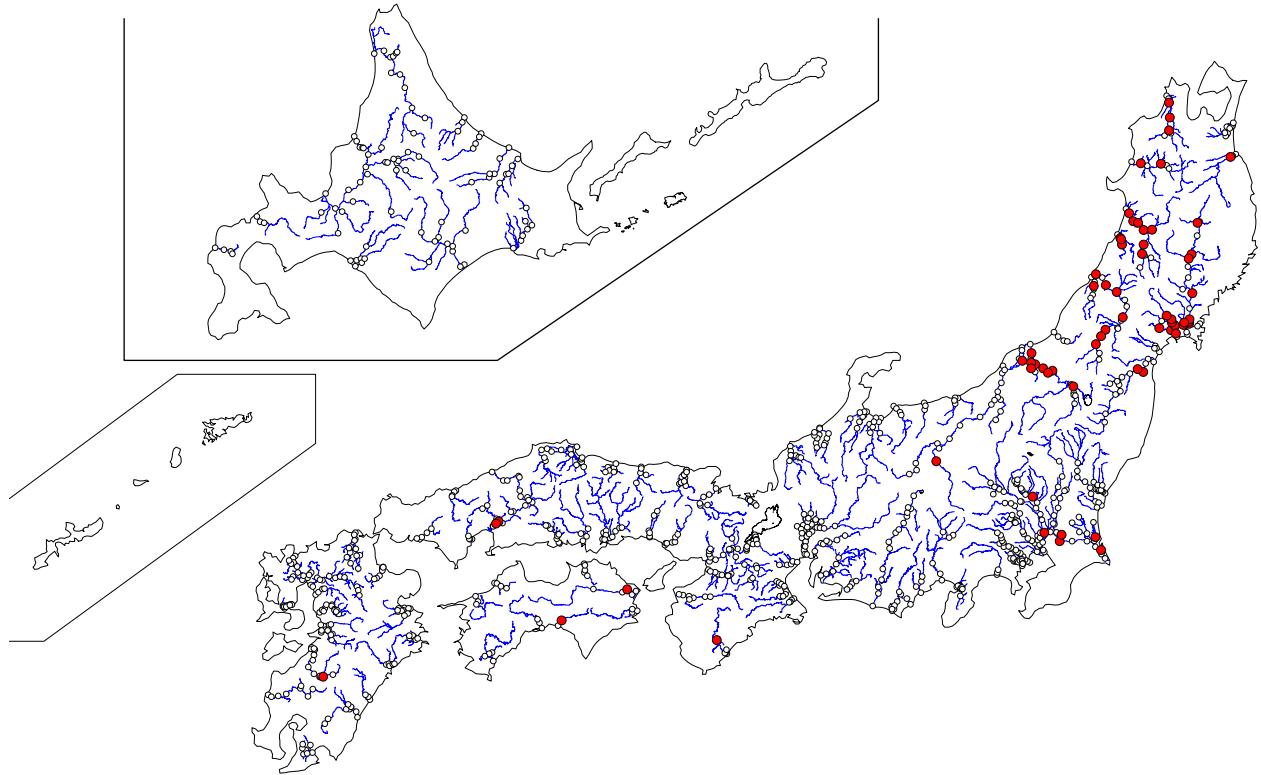
3 巡目調査 (平成 13～17 年度)



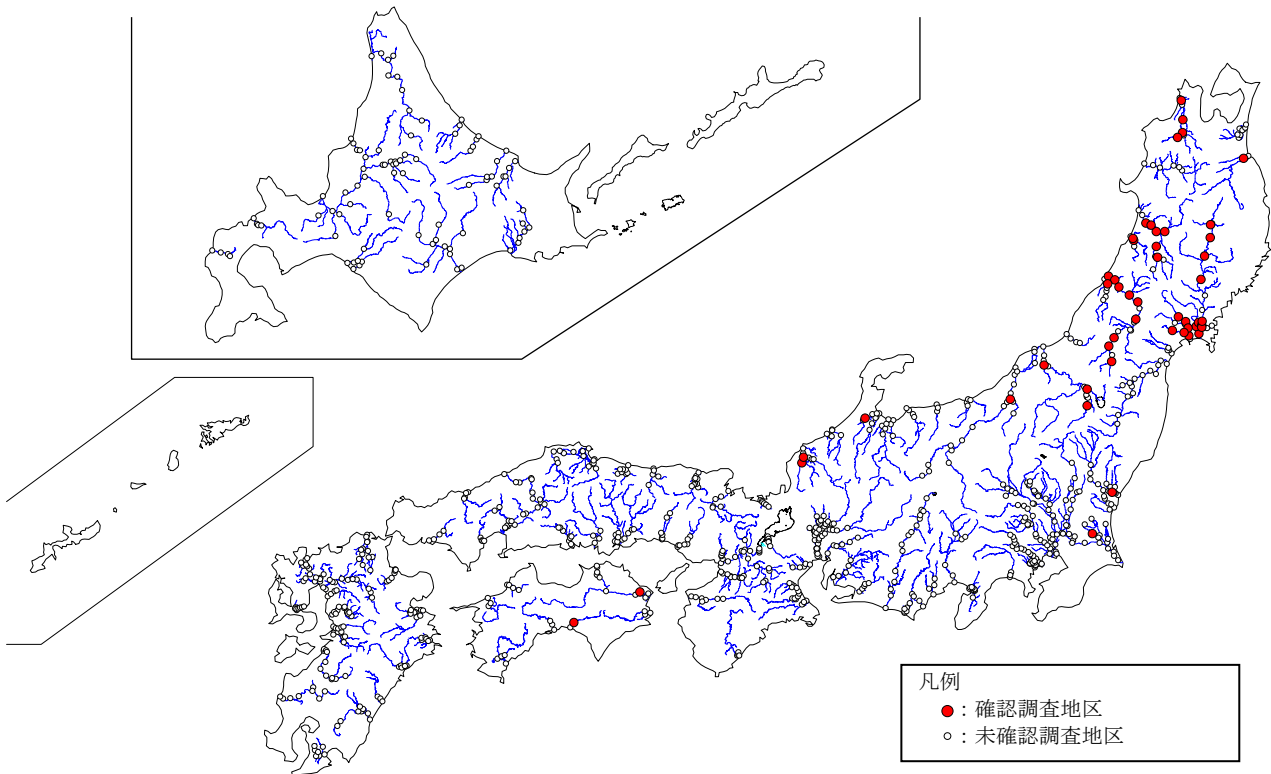
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ビワヒガイの確認された調査地区 (2 巡目調査、3 巡目調査)

4 巡目調査 (平成 18～22 年度)



5 巡目調査 (平成 23～27 年度)



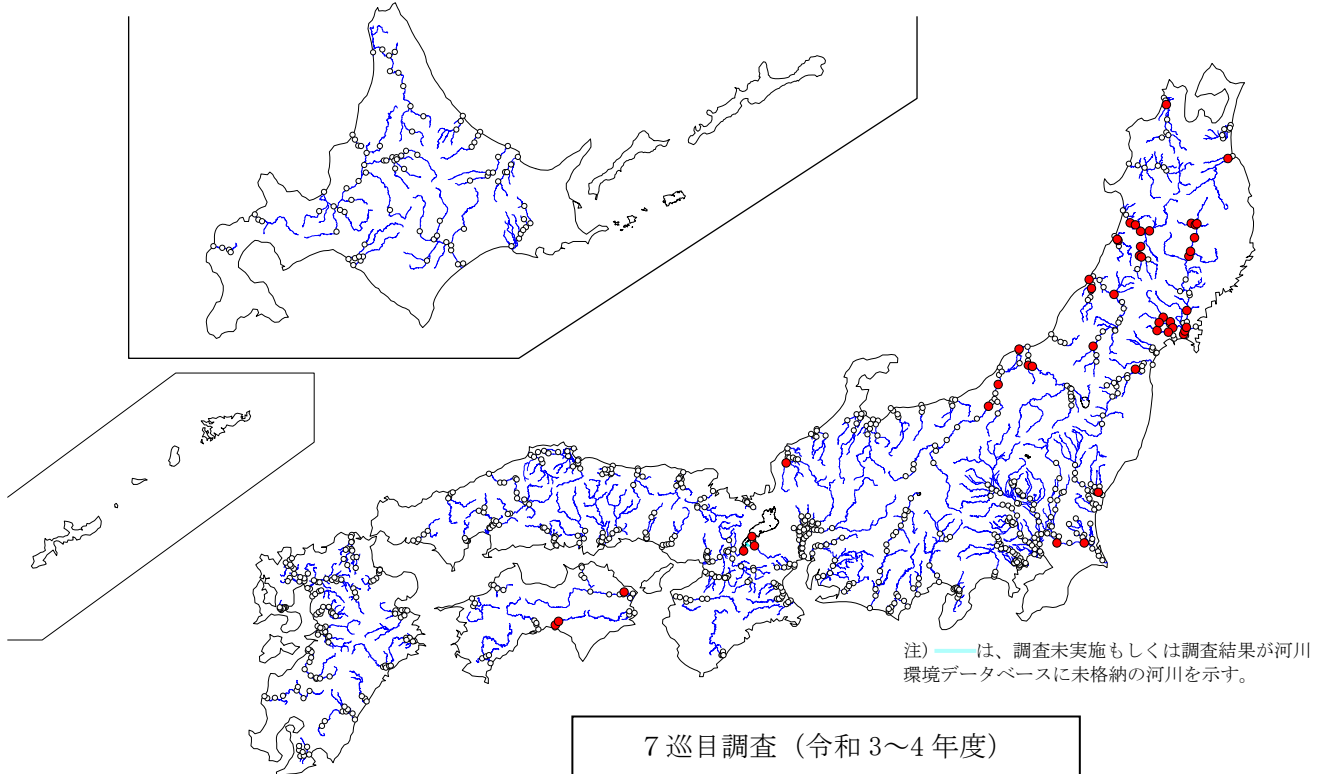
凡例

- : 確認調査地区
- : 未確認調査地区

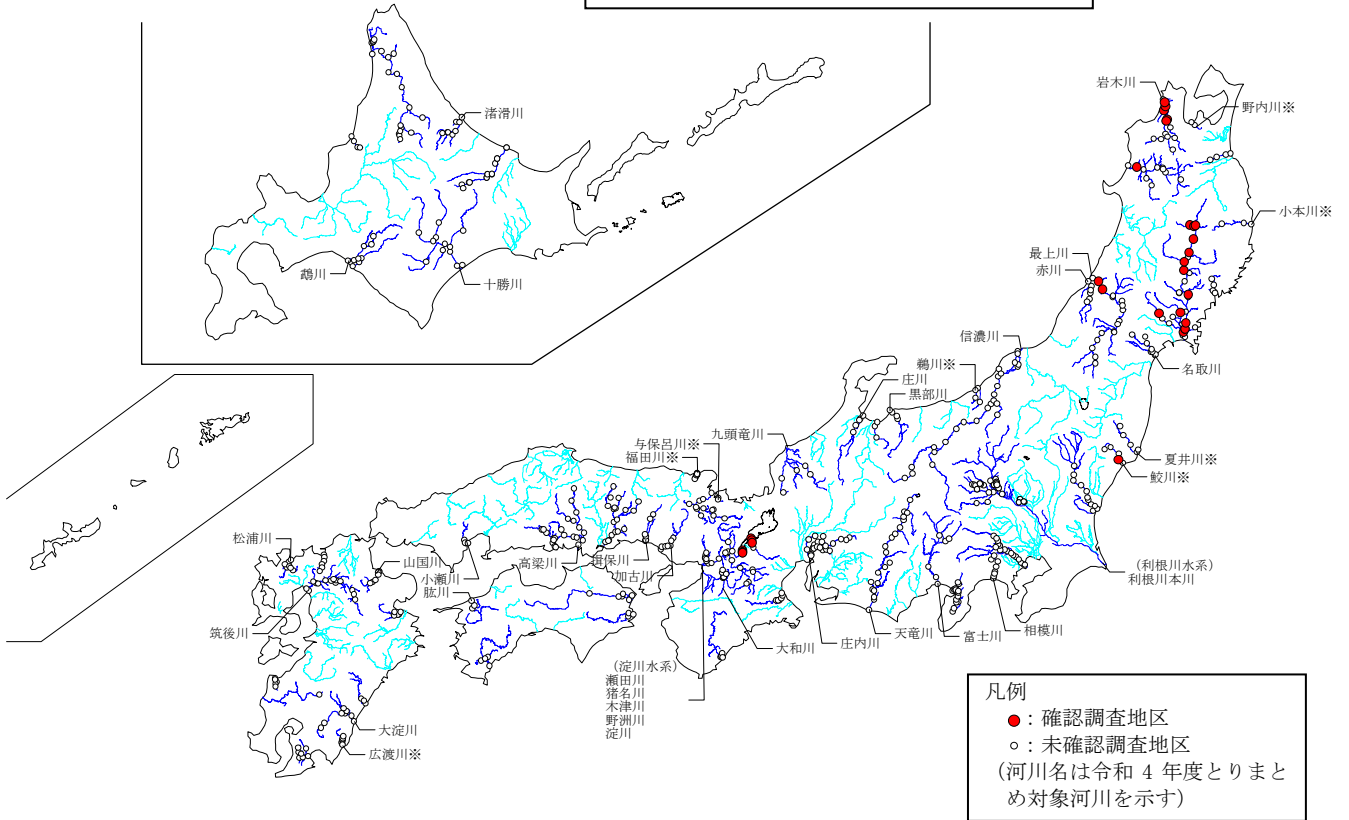
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ビワヒガイの確認された調査地区 (4 巡目調査、5 巡目調査)

6 巡目調査 (平成 28～令和 2 年度)



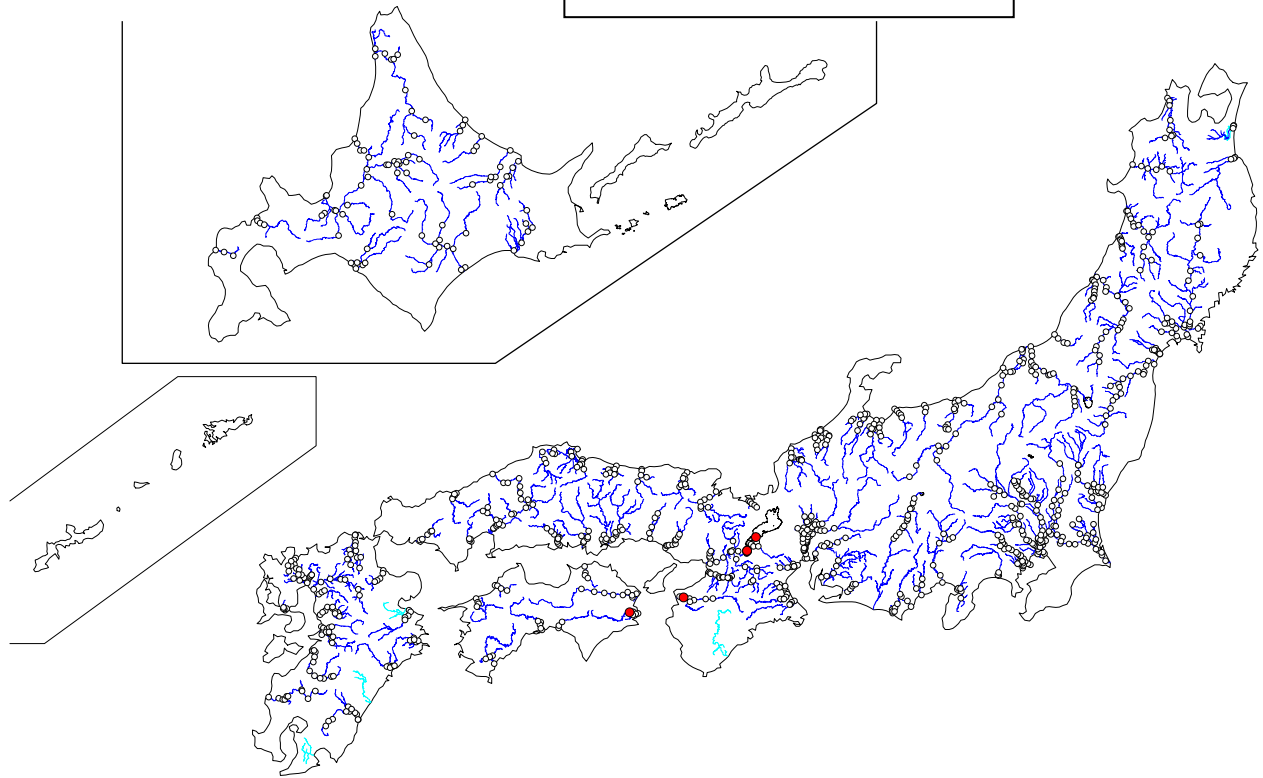
7 巡目調査 (令和 3～4 年度)



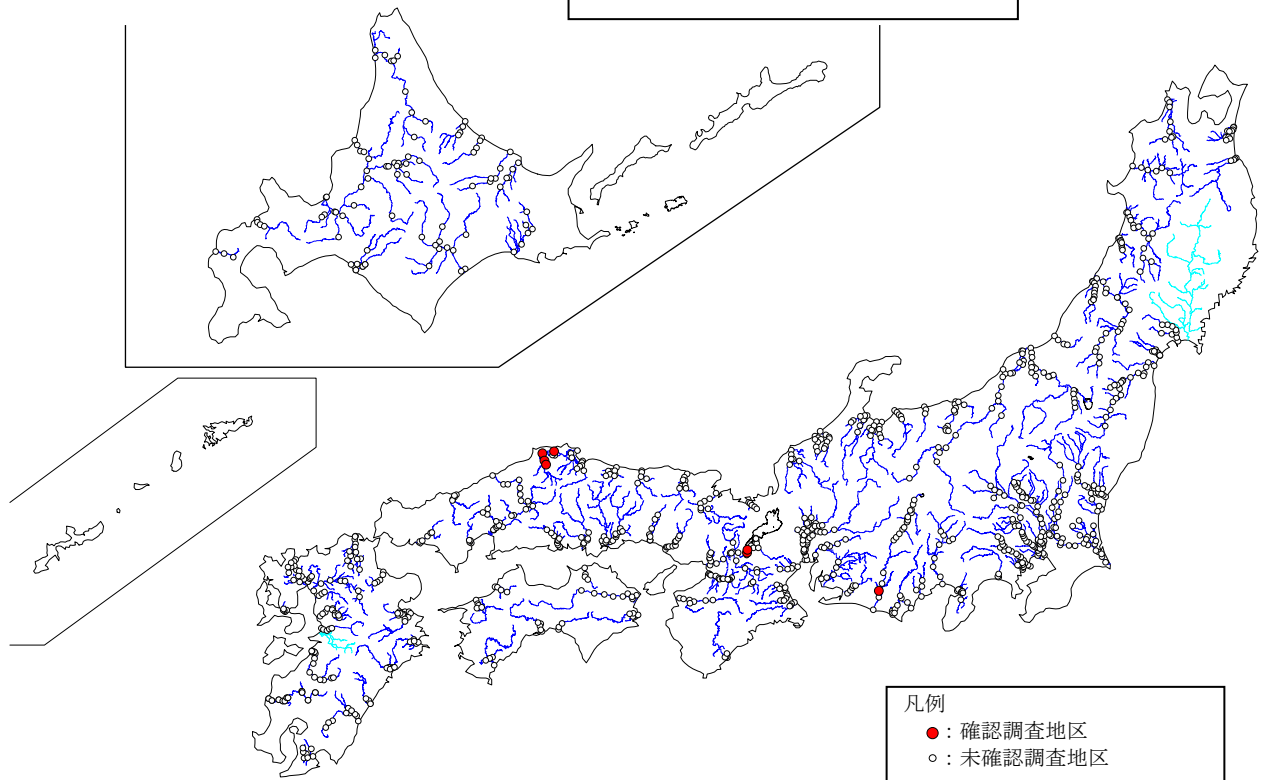
注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、〓は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系 (河川) を示す。

ビワヒガイの確認された調査地区 (6 巡目調査、7 巡目調査)

2 巡目調査 (平成 8~12 年度)



3 巡目調査 (平成 13~17 年度)



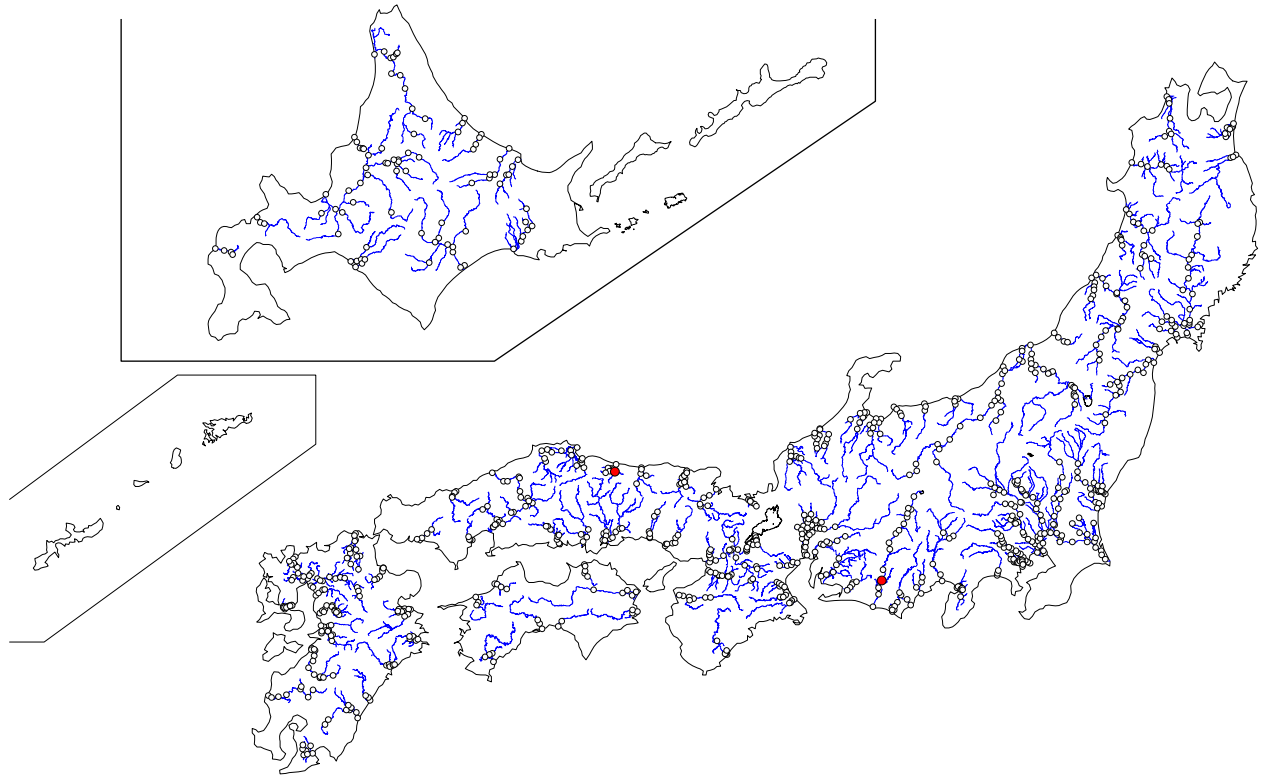
凡例

- : 確認調査地区
- : 未確認調査地区

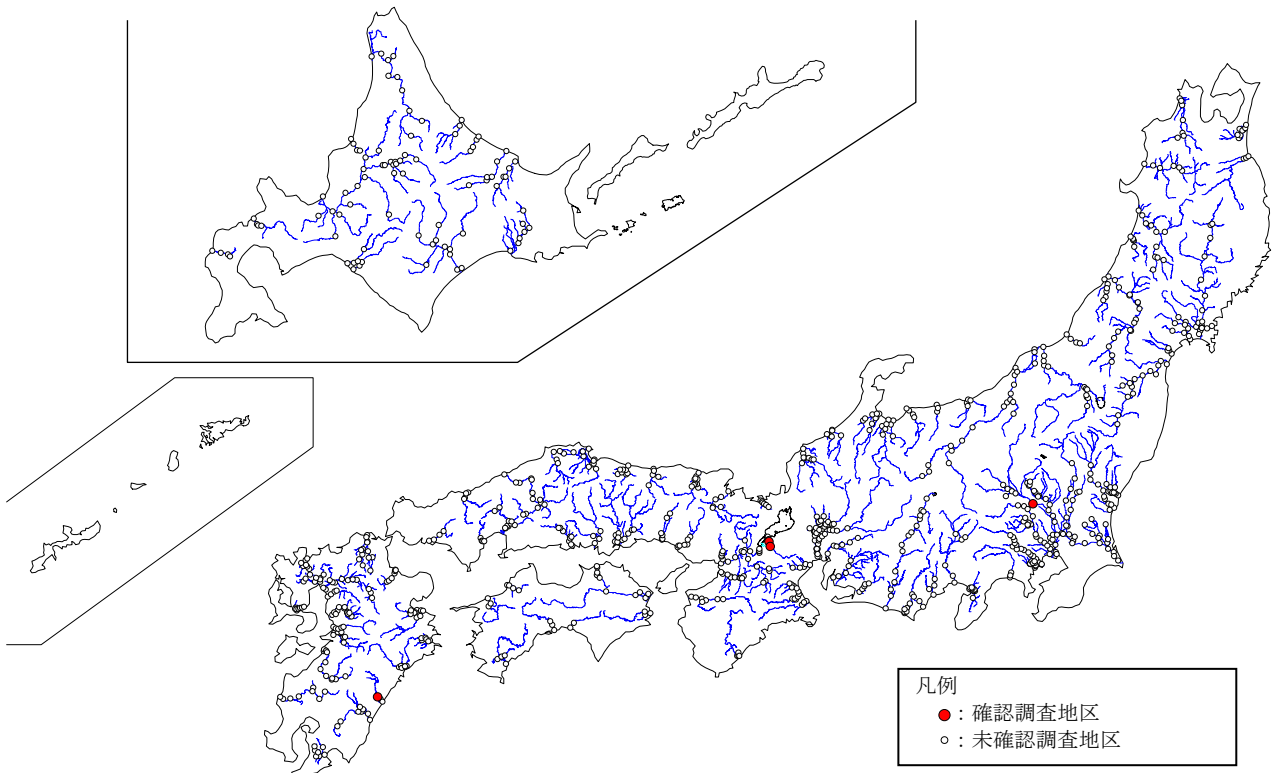
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ホンモロコの確認された調査地区 (2 巡目調査、3 巡目調査)

4 巡目調査（平成 18～22 年度）



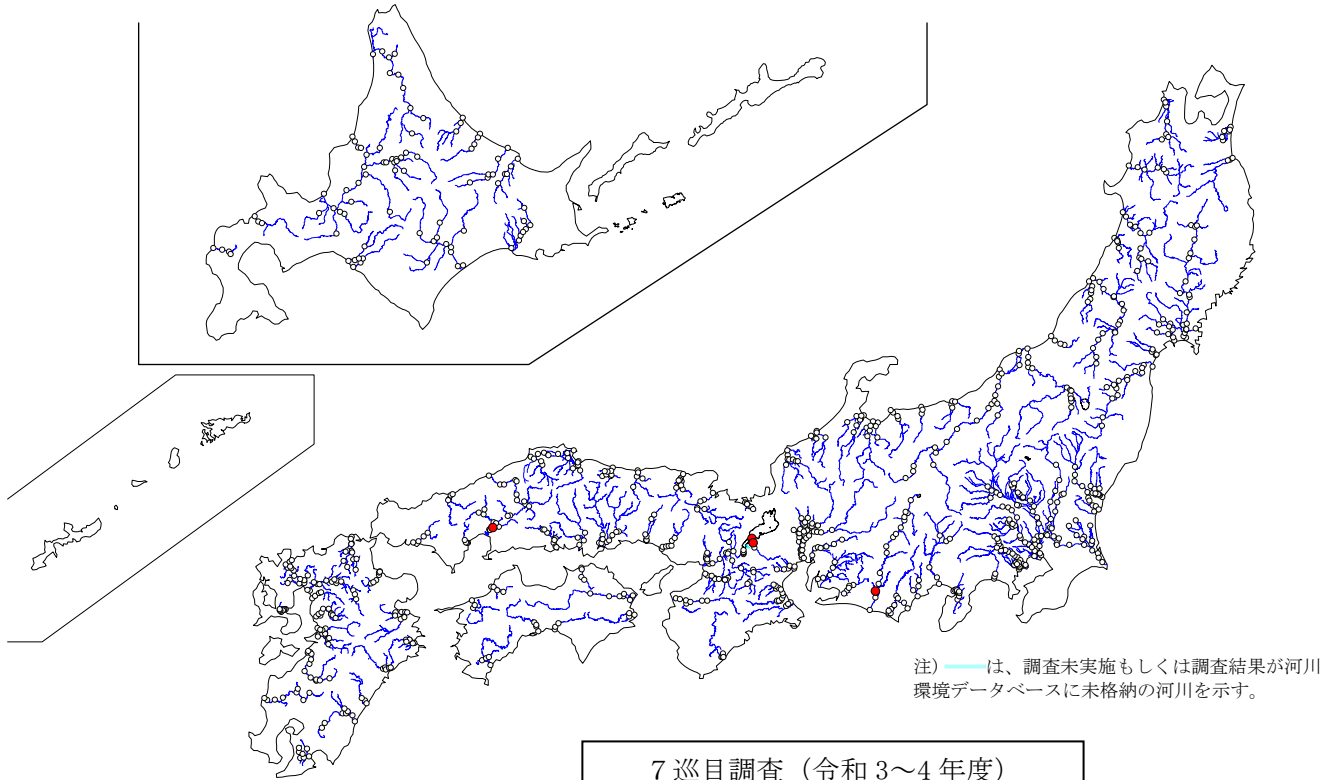
5 巡目調査（平成 23～27 年度）



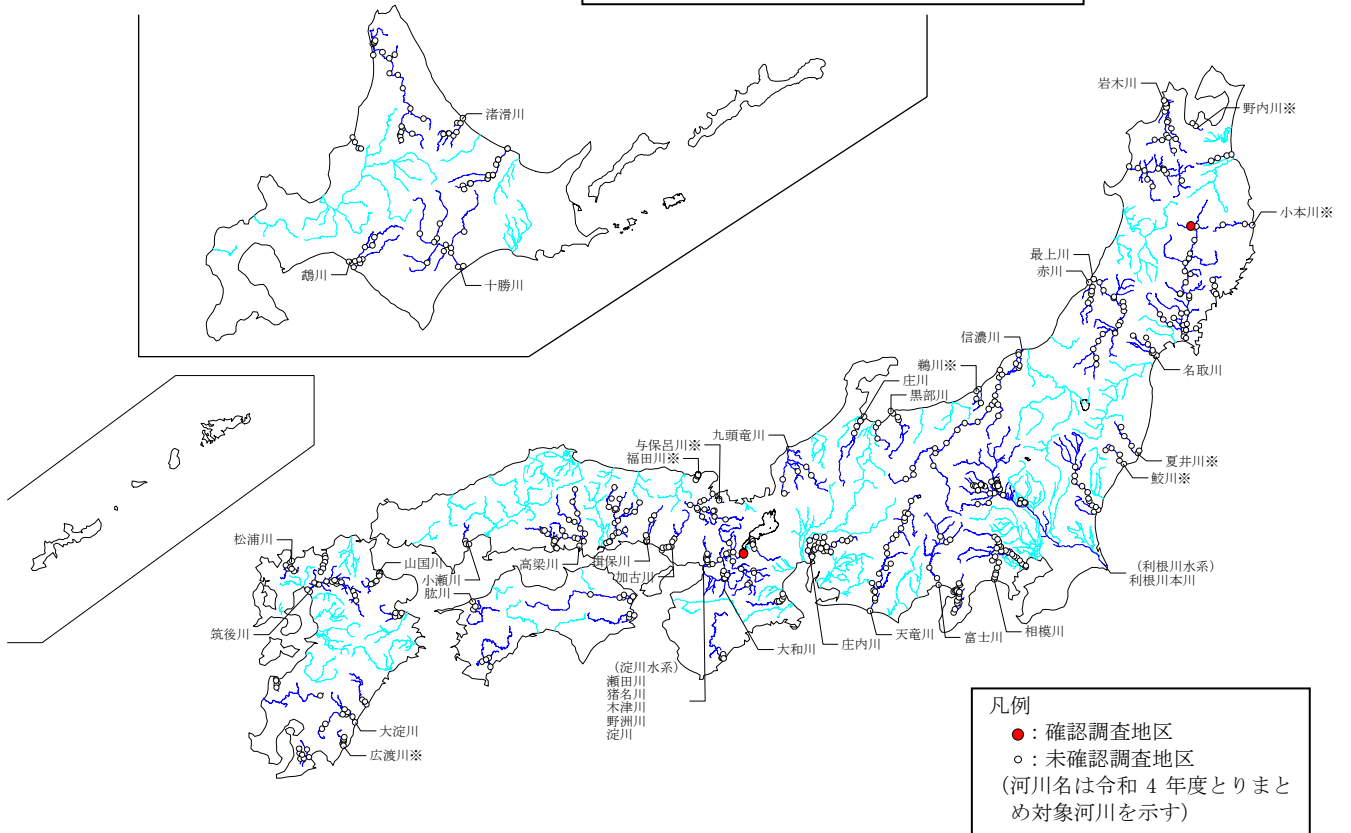
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

ホソモロコの確認された調査地区（4 巡目調査、5 巡目調査）

6 巡目調査 (平成 28～令和 2 年度)



7 巡目調査 (令和 3～4 年度)



注 1) 7 巡目調査は実施途中であり、— は調査未実施の河川を示す。
 注 2) 7 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含むことから、本文とは河川数、地区数が異なる場合がある。
 注 3) ※は、二級水系 (河川) を示す。

ホンモロコの確認された調査地区 (6 巡目調査、7 巡目調査)

1.7 分析対象種の確認状況の経年比較

分析対象種の確認状況の経年比較 (その1)

Table with columns: No., 地整, 項目 (河川名/巡目), 河川の連続性 (カマキリ, カジカ中卵型, ウツセミカジカ), 特定外来生物等の確認状況 (ブルーギル, オオクチバス, コクチバス). Rows list rivers from No. 1 to 82.

凡例 ◎●: 確認(うち◎は今年度の確認)、×: 未確認、-: 河川環境データベースに調査データが未格納
(薄字の河川は本年度とりまとめ対象外の河川である。)
注1) 1~6巡目調査のデータは、種名等についてスクリーニングされ、河川環境データベースに格納されている調査データを対象とした。
注2) 調査の継続性の観点から、経年比較のとりまとめ対象は一級河川の直轄区間とし、指定区間および二級水系は対象外とした。
注3) 1~7巡目調査の区分については、原則として1巡目調査:平成2・3~7年度、2巡目調査:平成8~12年度、3巡目調査:平成13~17年度、4巡目調査:平成18~22年度、5巡目調査:平成23~27年度、6巡目調査:平成28~令和2年度、7巡目調査:令和3年度~としたが、各河川の実施状況のバランスに応じて適宜区切りを調整した。各調査項目における具体的な巡目の区切りは調査実施年度の欄に記した。
注4) 淀川(瀬田川)の1巡目調査には、淀川(草津川)の調査結果が含まれる。
注5) 7巡目調査において、緑◎で表記した確認は、調査地区外での確認である。

分析対象種の確認状況の経年比較（その8）

No.	地整	項目 種名 河川名 / 巡目	地球温暖化による分布域の変化																												飼育（ペット）由来の国外外来種 レビソステウス科（ガー科）																							
			チチブモドキ							ヒナハゼ							ゴクラクハゼ							ウロハゼ							クロホシマンジュウダイ							レビソステウス科（ガー科）																
			1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7										
83	中国	千代川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	●	●	●	●	●	●	-	x	●	x	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	x	-	
84	中国	天神川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	-	●	●	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-
85	中国	白野川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	●	x	x	●	-	●	●	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-			
86	中国	斐伊川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	●	-	x	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-				
87	中国	神戸川	-	-	-	-	-	x	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	x	-	-	-	-	-	-	-	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	-					
88	中国	江の川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	●	x	●	x	-	x	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-				
89	中国	高津川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	●	-	●	●	●	●	●	●	-	●	●	x	●	●	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-			
90	中国	吉井川	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	●	-	●	●	●	●	●	●	-	-	x	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-			
91	中国	旭川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	●	●	●	●	●	●	-	x	●	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-			
92	中国	高梁川	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	●	●	●	●	●	●	-	-	x	x	●	●	●	◎	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-		
93	中国	戸田川	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	●	-	-	x	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-			
94	中国	太田川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	●	-	x	x	●	●	●	●	-	x	x	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-				
95	中国	小瀬川	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	●	◎	-	●	●	●	●	●	●	-	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-			
96	中国	佐波川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	●	●	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-				
97	四国	吉野川	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	●	-	●	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-				
98	四国	那賀川	-	x	x	x	x	x	-	-	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-				
99	四国	土器川	x	x	x	x	x	x	-	x	●	●	●	x	x	-	x	●	●	●	●	●	-	x	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-				
100	四国	豊後川	x	x	x	x	x	x	-	●	x	●	●	●	●	-	x	x	x	●	●	●	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-				
101	四国	肱川	x	x	x	x	x	x	-	x	●	●	●	●	x	◎	x	x	●	●	●	●	◎	x	x	x	●	●	◎	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-				
102	四国	物部川	x	x	x	x	x	x	-	x	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-					
103	四国	仁淀川	x	●	●	x	x	●	-	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	-	x	x	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-						
104	四国	(澁川水系) 四方十川	-	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	●	-				
105	九州	遠賀川	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	●	●	●	-	-	x	x	●	●	●	-	-	●	●	●	●	-	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-				
106	九州	山国川	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	●	◎	-	●	x	●	●	●	◎	◎	x	●	●	●	◎	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-				
107	九州	筑後川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	●	●	●	◎	x	●	●	●	◎	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-						
108	九州	矢部川	x	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	-	●	●	●	●	●	-	x	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-					
109	九州	松浦川	-	x	x	x	x	x	-	-	x	●	●	●	●	◎	-	●	●	●	●	◎	-	●	●	●	●	◎	-	x	x	x	x	x	x	-	◎	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-			
110	九州	六角川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	●	●	●	-	x	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-					
111	九州	嘉瀬川	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	●	●	-	-	●	●	●	●	-	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-					
112	九州	本明川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	●	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-						
113	九州	菊池川	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	-	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	-	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-					
114	九州	白川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	●	●	●	-	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-						
115	九州	緑川	-	x	-	x	x	x	-	-	x	-	-	●	●	x	-	x	-	●	●	-	-	●	-	●	●	-	-	x	-	-	x	x	-	-	x	-	-	x	-	-	x	-	-	x	-	-						
116	九州	球磨川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	●	x	●	-	-	●	●	●	x	-	-	-	●	●	●	x	-	x	●	●	●	●	-	x	x	x	x	-	x	x	x	x	-	x	x	x	x	-					
117	九州	大分川	-	-	x	x	x	x	-	-	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	-	-	-	x	x	x	x	-	-	-	x	x	x	x	-	-	-	x	x	x	x	-				
118	九州	大野川	x	x	x	x	x	x	-	●	x	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	-	x	x	x	x	-	x	x	x	x	-				
119	九州	番匠川	x	x	x	x	x	x	-	●	●	●	●	●	●	-	x	●	●	●	●	●	-	x	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	-	x	x	x	x	-	x	x	x	x	-			
120	九州	五ヶ瀬川	x	x	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	-	x	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	-	x	x	x	x	-	x	x	x	x	-				
121	九州	小丸川	x	-	●	●	●	x	-	-	●	●	●	x	-	-	●	●	●	●	x	-	-	●	●	●	●	-	x	-	x	x	x	x	-	●	-	x	x	x	x	-	x	x	x	x	-							
122	九州	大淀川	-	x	●	●	●	◎	-	x	●	●	●	●	◎	-	●	●	●	●	◎	-	●	●	●	●	◎	-	x	●	x	x	●	◎	-	x	●	x	x	◎	-	x	●	x	x	◎	-	x	●	x	x	-		
123	九州	川内川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	-	x	x	x	x	-	x	x	x	x	-					
124	九州	肝煎川	x	-	●	x	x	●	-	●	-	●	x	●	●	-	●	-	●	●	●	-	●	-	●	●	-	x	-	●	●	●	●	-	x	-	●	●	●	-	x	-	●	●	●	-	x	-	●	●	●	-		
R4年度 実施河川			確認河川 (●)					1							12							17																																

分析対象種の確認状況の経年比較（その12）

No.	地整	項目 種名 河川名 / 巡目	近畿地方分布種																												調査実施年度																
			カネヒラ							ワタカ							ハス							ビワヒガイ							ホンモロコ							調査実施年度									
			1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7			
83	中国	千代川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	H7	H12	H17	H22	H27	R2	-					
84	中国	天神川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	H5	H10	H15	H19	H25	H30	-					
85	中国	白野川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	H6	H11	H16	H21	H26	R1	-					
86	中国	斐伊川	x	x	x	x	x	x	-	●	x	●	●	●	x	-	x	x	●	x	●	x	-	x	●	x	x	x	-	x	x	●	x	x	-	H7	H12	H17	H21	H26	R1	-					
87	中国	神戸川	-	-	-	-	-	x	-	-	-	-	-	x	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	R1	-						
88	中国	江の川	●	●	●	●	●	●	-	●	x	x	●	x	x	-	●	●	x	●	●	●	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	H5	H10	H15	H20	H25	R1	-					
89	中国	高津川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	H5	H10	H15	H21	H25	R2	-					
90	中国	吉井川	-	●	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	x	-	●	●	●	●	●	●	-	●	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	H8	H13	H18	H23	H28	R3	-				
91	中国	旭川	x	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	●	-	-	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	H7	H12	H17	H21	H26	R1	-					
92	中国	高梁川	-	●	●	●	●	●	◎	-	x	x	x	x	x	-	●	●	x	x	●	◎	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	H9	H14	H19	H24	H29	R4	-					
93	中国	戸田川	-	●	●	●	●	●	-	-	x	x	x	x	x	-	-	●	●	●	●	●	-	-	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	H8	H13	H18	H23	H28	R3	-				
94	中国	太田川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	-	●	x	x	x	x	-	x	x	x	x	●	-	H7	H12	H17	H21	H26	R1	-					
95	中国	小瀬川	-	x	x	x	x	x	-	x	●	x	x	x	◎	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	H9	H14	H19	H24	H29	R4	-					
96	中国	佐波川	x	x	x	x	x	x	-	●	●	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	-	●	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	H6	H11	H16	H21	H26	H30/R1	-					
97	中国	吉野川	-	x	●	●	●	●	-	-	x	x	x	x	x	-	-	●	●	x	●	●	-	-	●	●	●	●	-	-	x	x	x	x	x	-	H8	H13	H18	H23	H28	R3	-				
98	中国	那賀川	-	x	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	x	-	-	●	x	x	x	-	-	-	x	x	x	x	-	-	●	x	x	x	x	-	H8	H13	H18	H23	H28	R3	-				
99	中国	土器川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	H6	H11	H16	H21	H26	R1	-					
100	中国	東信川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	H6	H11	H16	H21	H26	R1	-					
101	中国	脇川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	●	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	H5	H10	H15	H19	H24	H29	R4	-				
102	中国	物部川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	-	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	-	-	x	x	x	x	x	-	H7	H12	H17	H21	H26	R1	-				
103	中国	仁淀川	x	x	x	x	x	x	-	●	●	●	●	x	-	x	●	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	H7	H12	H17	H21	H26	R1	-						
104	中国	(澁川水系)四万十川	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	-	-	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	H9	H14	H18	H23	H28	R3	-						
105	九州	遠賀川	-	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	●	-	-	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	H7	H13	H19	H24	H30	-	-					
106	九州	山国川	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	H8	H14	H19	H24	H29	R4	-					
107	九州	筑後川	x	●	x	●	x	●	◎	x	x	x	x	x	x	-	x	●	●	●	●	◎	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	H5	H9	H13	H19	H24	H29	R4	-				
108	九州	矢部川	x	x	x	●	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	-	●	●	●	●	●	-	-	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	H7	H12	H17	H22	H27	R2	-					
109	九州	松浦川	-	●	●	●	●	●	◎	-	x	x	x	x	x	-	-	●	●	●	●	◎	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	H8	H13	H19	H24	H29	R4	-					
110	九州	六角川	●	●	●	●	●	●	-	x	x	x	x	x	-	-	●	●	●	●	●	-	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	H5	H11	H16	H21	H26	R1	-					
111	九州	嘉瀬川	-	●	●	●	●	●	-	-	x	x	x	x	-	-	●	●	●	●	●	-	-	-	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	H10	H15	H20	H25	R1	-						
112	九州	本明川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	-	H5/7	H12	H17	H20/22	H26	R1	-	-										
113	九州	菊池川	-	●	●	●	●	●	-	-	x	x	x	x	●	-	-	x	x	●	●	●	-	-	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	H8	H13	H18	H23	H28	R3	-					
114	九州	白川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	x	x	●	●	●	●	-	-	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	H4	H9	H15	H20	H25	H30	-						
115	九州	緑川	-	●	-	●	●	●	-	-	●	-	●	●	●	-	-	●	-	●	●	●	-	-	x	-	x	x	-	-	x	-	x	x	-	H8	-	H20	H25	H30	-	-					
116	九州	球磨川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	●	●	●	●	●	-	-	●	x	●	x	x	-	-	x	x	x	x	-	H6	H10	H16	H21	H26	H30	-						
117	九州	大分川	-	-	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	-	-	x	x	x	-	-	-	x	x	x	x	-	-	-	x	x	-	-	-	H13	H18	H23	H28	R3	-					
118	九州	大野川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	H6	H11	H16	H21	H26	R1	-					
119	九州	番匠川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	H4	H10	H15	H20	H25	H30	-					
120	九州	五ヶ瀬川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	-	●	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	H6	H12	H17	H22	H27	R2	-					
121	九州	小丸川	x	-	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	-	x	●	●	●	●	-	-	x	x	x	x	-	-	x	x	●	x	-	H7	-	H13	H18	H23	H28	R3	-				
122	九州	大淀川	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	-	●	●	●	●	◎	-	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	-	H8	H15	H21	H26	H30	R4	-						
123	九州	川内川	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	H5	H10	H15/17	H21	H26	R1	-						
124	九州	肝属川	x	-	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x	-	H7	-	H13	H18	H23	H28	R3	-					
R4年度実施河川			確認河川(●)					9						1						7							4							1													
R4年度実施河川			未確認河川(x)					19						27						21							24									27											
R4年度実施河川			確認河川比率(%)					32.1						3.6						25.0						14.3									3.6												
全実施河川			確認河川(●)	8	24	28	32	32	32	15	10	18	14	12	11	11	1	19	43	36	33	31	32	10	18	29	23	21	16	18	6	4	4	3	2	3	3	2									
全実施河川			未確認河川(x)	68	95	93	91	90	91	34	66	101	107	111	111	112	48	57	76	85	90	91	91	39	58	90	98	102	106	105	43	72	115	118	121	119	120	47									
全実施河川			確認河川比率(%)	10.5	20.2	23.1	26.0	26.2	26.0	30.6	13.2	15.1	11.6	9.8	9.0	8.9	2.0	25.0	36.1	29.8	26.8	25.4	26.0	20.4	23.7	24.4	19.0	17.1	13.1	14.6	12.2	5.3	3.4	2.5	1.6	2.5	2.4	4.1									

凡例 ◎●：確認（うち◎は今年度の確認）、x：未確認、-：河川環境データベースに調査データが未格納（薄字の河川は本年度とりまとめ対象外の